

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学院の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジンリッキョウガクイン 学校法人立教学院								
フリガナ大学の名称	リッキョウダイガクダイガクイン 立教大学大学院 (Rikkyo University Graduate School)								
大学本部の位置	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号								
大学の目的	キリスト教に基づく人格の陶冶を旨とし、学校教育法(昭和22年法律第26号)により学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めること。								
新設学部等の目的	文学研究科における定員未充足状態を改善し、適切な定員管理を行うことを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	文学研究科 【Graduate School of Arts】 英米文学専攻(M) 【Master Program of English and American Literature】 計	2年	12人 (18)	— 年次人	24人 (36)	修士(文学) 【Master of Arts】	文学関係	令和9年4月 第1年次	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	文学部史学科[定員増](1)(令和9年4月) 文学部教育学科[定員減](△1)(令和9年4月) 法学部法学科[定員減](△10)(令和9年4月) 法学部国際ビジネス法学科[定員増](10)(令和9年4月)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計	単位			
		科目	科目	科目	科目				
新設分設	学部等の名称	専任教員					助手	専任教員以外の教員(助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
	文学研究科 英米文学専攻(博士課程前期課程)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	
	計	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	
設	文学研究科 英米文学専攻(博士課程後期)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	8人 (8)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 史学専攻(博士課程前期課程)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 史学専攻(博士課程後期課程)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	11人 (11)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 教育学専攻(博士課程前期課程)	12人 (12)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	13人 (13)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 教育学専攻(博士課程後期課程)	12人 (12)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	13人 (13)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 日本文学専攻(博士課程前期)	7人 (7)	1人 (1)	0人 (0)	1人 (1)	9人 (9)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 日本文学専攻(博士課程後期課程)	7人 (7)	1人 (1)	0人 (0)	1人 (1)	9人 (9)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 フランス文学専攻(博士課程前期課程)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 フランス文学専攻(博士課程後期課程)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 ドイツ文学専攻(博士課程前期課程)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 ドイツ文学専攻(博士課程後期課程)	4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 比較文明学専攻(博士課程前期課程)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 比較文明学専攻(博士課程後期課程)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	
	文学研究科 超域文化学専攻(博士課程前期課程)	5人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0人 (0)	0人 (0)	

文学研究科 超域文化学専攻(博士課程後期課程)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
経済学研究科 経済学専攻 (博士課程前期課程)	39 (39)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	46 (46)	0 (0)	0 (0)
経済学研究科 経済学専攻 (博士課程後期課程)	32 (32)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	33 (33)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 物理学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 物理学専攻 (博士課程後期課程)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 化学専攻 (博士課程前期課程)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 化学専攻 (博士課程後期課程)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 数学専攻 (博士課程前期課程)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 数学専攻 (博士課程後期課程)	11 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 生命理学専攻 (博士課程前期課程)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
理学研究科 生命理学専攻 (博士課程後期課程)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
社会学研究科 社会学専攻 (博士課程前期課程)	29 (29)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	34 (34)	0 (0)	0 (0)
社会学研究科 社会学専攻 (博士課程後期課程)	29 (29)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	31 (31)	0 (0)	0 (0)
法学研究科 法学政治学専攻 (博士課程前期課程)	34 (34)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (0)
観光学研究科 法学政治学専攻 (博士課程後期課程)	34 (34)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (0)
観光学研究科 観光学専攻 (博士課程前期課程)	17 (17)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	0 (0)
観光学研究科 観光学専攻 (博士課程後期課程)	17 (17)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	0 (0)
コミュニティ福祉学研究科 コミュニティ福祉学専攻 (博士課程前期課程)	20 (20)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	27 (27)	0 (0)	0 (0)
コミュニティ福祉学研究科 コミュニティ福祉学専攻 (博士課程後期課程)	18 (18)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻 (博士課程前期課程)	18 (18)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	21 (21)	0 (0)	32 (32)
ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻 (博士課程後期課程)	12 (12)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
社会デザイン研究科 社会デザイン学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	34 (34)
社会デザイン研究科 社会デザイン学専攻 (博士課程後期課程)	8 (8)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	0 (0)
異文化コミュニケーション研究科 異文化コミュニケーション専攻 (博士課程前期課程)	18 (18)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
異文化コミュニケーション研究科 異文化コミュニケーション専攻 (博士課程後期課程)	18 (18)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	0 (0)
経営学研究科 経営学専攻 (博士課程前期課程)	7 (7)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	3 (3)
経営学研究科 経営学専攻 (博士課程後期課程)	14 (14)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	0 (0)
経営学研究科 国際経営学専攻 (博士課程前期課程)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 心理学専攻 (博士課程前期課程)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 心理学専攻 (博士課程後期課程)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 臨床心理学専攻 (博士課程前期課程)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 臨床心理学専攻 (博士課程後期課程)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 映像身体学専攻 (博士課程前期課程)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
現代心理学研究科 映像身体学専攻 (博士課程後期課程)	11 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
キリスト教学研究科 キリスト教学専攻 (博士課程前期課程)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	7 (7)
キリスト教学研究科 キリスト教学専攻 (博士課程後期課程)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
人工知能科学研究科 人工知能科学専攻 (博士課程前期課程)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	14 (14)
人工知能科学研究科 人工知能科学専攻 (博士課程後期課程)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	0 (0)
スポーツウエルネス学研究科 スポーツウエルネス学専攻 (博士課程前期課程)	12 (12)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)
スポーツウエルネス学研究科 スポーツウエルネス学専攻	12	7	0	0	19	0	0

(博士課程後期課程)		(12)	(7)	(0)	(0)	(19)	(0)	(0)
博士課程前期課程 計		341 (341)	78 (78)	0 (0)	10 (10)	429 (429)	0 (0)	90 (90)
博士課程後期課程 計		332 (332)	66 (66)	0 (0)	2 (2)	400 (400)	0 (0)	0 (0)
職 種		専 属		そ の 他		計		
事 務 職 員		268 人 (268)		176 人 (176)		444 人 (444)		
技 術 職 員		28 (28)		0 (0)		28 (28)		
図 書 館 職 員		21 (21)		2 (2)		23 (23)		
そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
指 導 補 助 者		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計		317 (317)		178 (178)		495 (495)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	244,539㎡	0㎡	0㎡		244,539㎡		
	そ の 他	16,219㎡	0㎡	0㎡		16,219㎡		
	合 計	260,758㎡	0㎡	0㎡		260,758㎡		
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		
		178,123㎡ (172,161㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)		178,123㎡ (172,161㎡)		
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	室	教 員 研 究 室		室		
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本	
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	
		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕
	計	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
		㎡		㎡		㎡		

経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	教員1人当り研究費等		994千円	994千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等		11,770千円	11,770千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
	図書購入費	696,312千円	696,312千円	696,312千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
	設備購入費	191,180千円	191,180千円	191,180千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
学生1人当り納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
文学研究科 (M) コミュニティ福祉学研究科 (M) キリスト教学研究科 (M) 異文化コミュニケーション研究科 (M)			915千円	690千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
文学研究科 (D) コミュニティ福祉学研究科 (D) キリスト教学研究科 (D) 異文化コミュニケーション研究科 (D)			889千円	664千円	664千円	— 千円	— 千円	— 千円
経済学研究科 (M) 社会学研究科 (M) 法学研究科 (M) 観光学研究科 (M) 経営学研究科 国際経営学専攻 (M) (教経経営学コース除く)			908千円	683千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
経済学研究科 (D) 社会学研究科 (D) 法学研究科 (D) 観光学研究科 (D)			883千円	658千円	658千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 数学専攻 (M)			1,012千円	787千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 数学専攻 (D)			958千円	733千円	733千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 物理学専攻 (M) 生命理学専攻 (M)			1,052千円	827千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 物理学専攻 (D) 生命理学専攻 (D)			998千円	773千円	773千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 化学専攻 (M)			1,092千円	867千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
理学研究科 化学専攻 (D)			1,038千円	813千円	813千円	— 千円	— 千円	— 千円
経営学研究科 経営学専攻 (M)			1,400千円	1,175千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
経営学研究科 経営学専攻 (D)			883千円	658千円	658千円	— 千円	— 千円	— 千円
経営学研究科 国際経営学専攻 公共経営学コース (M) 社会デザイン研究科社会デザイン学専攻 公共・社会デザイン学コース (M)			1,800千円	1,800千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学研究科 (M)			915千円	1,175千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
コミュニティ福祉学研究科 (D)			883千円	658千円	658千円	— 千円	— 千円	— 千円
現代心理学研究科 (M) (臨床心理学専攻除く) スポーツウェルネス学研究科 (M)			963千円	738千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
現代心理学研究科 (M) 臨床心理学専攻			978千円	753千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
現代心理学研究科 (D) スポーツウェルネス学研究科 (D)			936千円	711千円	711千円	— 千円	— 千円	— 千円
ヒューマンデザイン研究科 (M) 社会デザイン研究科社会デザイン学専攻 社会デザイン学コース (M)			1,268千円	1,043千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円

経費の見積り及び維持方法の概要

ビジネスデザイン研究科 (D) 社会デザイン研究科社会デザイン学専攻 社会デザイン学コース (D) 人工知能科学研究科 (D)	1,268千円	1,043千円	1,043千円	— 千円	— 千円	— 千円		
人工知能科学研究科 (M)	1,725千円	1,500千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、資産運用収入、寄付金収入、補助金収入等							
大 学 等 の 名 称								
学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
文学部						1.05 《0.99》		東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
キリスト教学科	4	50	—	200	学士(文学)	1.03 《0.94》	昭和24年度	
史学科	4	215	—	860	学士(文学)	1.04 《0.98》	昭和24年度	
教育学科	4	101	—	404	学士(文学)	1.14 《1.11》	昭和37年度	
文学科	4	552	—	2208	学士(文学) 学士(学術)	1.03 《0.98》	平成18年度	
経済学部						1.04 《0.99》		同上
経済学科	4	332	—	1328	学士(経済学)	1.06 《1.01》	昭和24年度	
会計ファイナンス学科	4	176	—	704	学士(経済学)	1.03 《0.95》	平成14年度	
経済政策学科	4	176	—	704	学士(経済学)	1.02 《0.97》	平成18年度	
理学部						1.01 《0.95》		同上
数学科	4	66	—	264	学士(理学)	1.03 《0.98》	昭和24年度	
物理学科	4	77	—	308	学士(理学)	1.05 《0.95》	昭和24年度	
化学科	4	77	—	308	学士(理学)	0.99 《0.93》	昭和24年度	
生命理学科	4	72	—	288	学士(理学)	1.00 《0.95》	平成14年度	
社会学部						1.06 《1.00》		同上
社会学科	4	173	—	692	学士(社会学)	1.04 《1.00》	昭和33年度	
現代文化学科	4	173	—	692	学士(社会学)	1.06 《0.99》	平成14年度	
メディア社会学科	4	173	—	692	学士(社会学)	1.07 《1.01》	平成18年度	
法学部						1.06 《1.00》		同上
法学科	4	360	—	1440	学士(法学)	0.98 《0.92》	昭和34年度	
政治学科	4	110	—	440	学士(政治学)	1.04 《0.98》	昭和63年度	
国際ビジネス法学科	4	115	—	460	学士(法学)	1.35 《1.26》	平成8年度	
観光学部						1.06 《0.99》		埼玉県新座市北野一丁目2番26号
観光学科	4	195	—	780	学士(観光学)	1.06 《1.01》	平成10年度	
交流文化学科	4	175	—	700	学士(観光学)	1.06 《0.97》	平成18年度	
コミュニティ福祉学部						1.03 《1.00》		同上
福祉学科	4	130	—	520	学士(コミュニティ福祉学)	1.05 《1.00》	平成18年度	
コミュニティ政策学科	4	220	—	880	学士(コミュニティ福祉学)	1.02 《1.00》	平成18年度	
経営学部						1.06 《1.00》		東京都豊島区西池袋三丁目34番1号
経営学科	4	230	—	920	学士(経営学)	1.03 《0.98》	平成18年度	
国際経営学科	4	155	—	620	学士(経営学)	1.10 《1.03》	平成18年度	

※平成19年4月名称変更

※令和5年度入学定員減(24人)
※令和5年度入学定員増(66人)

既設 大学等 の 状 況	現代心理学部						1.07 《1.01》		埼玉県新座市北野 一丁目2番26号	
	心理学科	4	143	—	572	学士(心理学)	1.06 《1.02》	平成18 年度		
	映像身体学科	4	176	—	704	学士(映像身体学)	1.07 《1.00》	平成18 年度		
	異文化コミュニケーション学部						1.06 《1.00》		東京都豊島区西池 袋三丁目34番1 丁目	
	異文化コミュニケーション学科	4	210	—	775	学士(異文化コミュニケーション学)	1.06 《1.00》	平成20 年度		※令和6年 度入学定員 増(65人)
	スポーツウェルネス学部						1.00 《1.00》		埼玉県新座市北野 一丁目2番26号	
	スポーツウェルネス学科	4	230	—	920	学士(スポーツウェルネス学)	1.00 《1.00》	令和5 年度		※令和5年 度設置
	環境学部						1.01 《1.01》		東京都豊島区西池 袋三丁目34番1 丁目	
	環境学科	4	204	—	204	学士(環境学)	1.01 《1.01》	令和8 年度		※令和8年 度設置
	文学研究科								同上	
	英米文学専攻(M)	2	18	—	36	修士(文学)	0.27	昭和26 年度		※平成29年 4月名称変 更
	英米文学専攻(D)	3	3	—	9	博士(文学)	0.55	昭和28 年度		
	史学専攻(M)	2	15	—	30	修士(文学)	0.83	昭和33 年度		
	史学専攻(D)	3	6	—	18	博士(文学)	0.94	昭和51 年度		
	教育学専攻(M)	2	10	—	20	修士(教育学)	0.70	昭和44 年度		
	教育学専攻(D)	3	3	—	9	博士(教育学)	0.66	昭和47 年度		
	日本文学専攻(M)	2	20	—	40	修士(文学)	0.37	昭和35 年度		
	日本文学専攻(D)	3	8	—	24	博士(文学)	0.37	昭和37 年度		
	フランス文学専攻(M)	2	8	—	16	修士(文学)	0.37	昭和40 年度		
	フランス文学専攻(D)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	昭和42 年度		
	ドイツ文学専攻(M)	2	8	—	16	修士(文学)	0.37	昭和42 年度		
	ドイツ文学専攻(D)	3	3	—	9	博士(文学)	0.11	昭和44 年度		
	比較文明学専攻(M)	2	10	—	20	修士(比較文明学)	0.65	平成10 年度		
	比較文明学専攻(D)	3	5	—	15	博士(比較文明学)	0.40	平成12 年度		
	超域文化学専攻(M)	2	5	—	10	修士(文学)	1.00	昭和42 年度	※平成22年 4月名称変 更	
	超域文化学専攻(D)	3	3	—	9	博士(文学)	0.11	昭和44 年度		
	経済学研究科								同上	
	経済学専攻(M)	2	40	—	80	修士(経済学)	0.47	昭和26 年度		
						修士(会計学)				
	経済学専攻(D)	3	5	—	15	博士(経済学)	1.00	昭和38 年度		
					博士(会計学)					
理学研究科								同上		
物理学専攻(M)	2	20	—	40	修士(理学)	1.40	昭和28 年度	※平成21年 4月名称変 更		
物理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(理学)	1.58	昭和30 年度			
化学専攻(M)	2	20	—	40	修士(理学)	1.27	昭和29 年度			
化学専攻(D)	3	4	—	12	博士(理学)	0.08	昭和37 年度			
数学専攻(M)	2	5	—	10	修士(理学)	1.10	昭和30 年度			
数学専攻(D)	3	3	—	9	博士(理学)	0.33	昭和37 年度			

生命理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(理学)	1.50	平成8年度	同上	
生命理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(理学)	0.16	平成10年度		
社会学研究科									同上
社会学専攻(M)	2	20	—	40	修士(社会学)	0.92	平成2年度	同上	
社会学専攻(D)	3	10	—	30	博士(社会学)	0.73	平成9年度		
法学研究科									同上
法学政治学専攻(M)	2	20	—	40	修士(法学)	0.47	平成18年度	同上	
					修士(政治学)				
法学政治学専攻(D)	3	8	—	24	博士(法学)	0.41	平成18年度	同上	
					博士(政治学)				
観光学研究科									埼玉県新座市北野一丁目2番26号
観光学専攻(M)	2	20	—	40	修士(観光学)	0.72	平成10年度	同上	
観光学専攻(D)	3	8	—	24	博士(観光学)	0.45	平成10年度		
コミュニティ福祉学研究科									同上
コミュニティ福祉学専攻(M)	2	15	—	30	修士(コミュニティ福祉学)	0.90	平成18年度	同上	
コミュニティ福祉学専攻(D)	3	5	—	15	博士(コミュニティ福祉学)	0.60	平成16年度		
ビジネスデザイン研究科									東京都豊島区西池袋三丁目34番1
ビジネスデザイン専攻(M)	2	90	—	180	修士(経営管理学)	1.12	平成14年度	同上	※令和6年4月名称変更
ビジネスデザイン専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営管理学)	1.13	平成19年度		
社会デザイン研究科									同上
社会デザイン学専攻(M)	2	50	—	100	修士(社会デザイン学)	1.16	平成14年度	同上	
社会デザイン学専攻(D)	3	5	—	15	博士(社会デザイン学)	0.46	平成19年度		
異文化コミュニケーション研究科									同上
異文化コミュニケーション専攻(M)	2	20	—	40	修士(異文化コミュニケーション学)	0.65	平成14年度	同上	
異文化コミュニケーション専攻(D)	3	5	—	15	博士(異文化コミュニケーション学)	1.13	平成16年度		
経営学研究科									同上
経営学専攻(M)	2	10	—	20	修士(経営学)	2.00	平成18年度	同上	
経営学専攻(D)	3	5	—	15	博士(経営学)	1.33	平成18年度		
国際経営学専攻(M)	2	50	—	100	修士(国際経営学)	0.80	平成23年度		
					修士(公共経営学)			埼玉県新座市北野一丁目2番26号	
現代心理学研究科									
心理学専攻(M)	2	10	—	20	修士(心理学)	0.35	平成18年度	同上	
心理学専攻(D)	3	3	—	9	博士(心理学)	0.11	平成18年度		
臨床心理学専攻(M)	2	15	—	30	修士(臨床心理学)	1.00	平成18年度	同上	
臨床心理学専攻(D)	3	4	—	12	博士(臨床心理学)	0.41	平成18年度		
映像身体学専攻(M)	2	15	—	30	修士(映像身体学)	0.66	平成22年度	同上	
映像身体学専攻(D)	3	4	—	12	博士(映像身体学)	0.25	平成22年度		
キリスト教学研究科									東京都豊島区西池袋三丁目34番1
キリスト教学専攻(M)	2	10	—	20	修士(神学)	0.65	平成21年度	同上	

						修士（文学）						
						修士（実践神学）						
	キリスト教学専攻(D)	3	5	—	15	博士（神学）	0.73	平成21年度				
	人工知能科学研究科					博士（文学）				同上		
	人工知能科学専攻(M)	2	63	—	126	修士（人工知能科学）	1.03	令和2年度				
	人工知能科学専攻(D)	3	8	—	24	博士（人工知能科学）	0.91	令和4年度				
	スポーツウェルネス学研究科											
	スポーツウェルネス学専攻(M)	2	#	—	20	修士（スポーツウェルネス学）	0.75	令和5年度		埼玉県新座市北野一丁目2番26号	※令和5年度設置	
	スポーツウェルネス学専攻(D)	3	5	—	15	博士（スポーツウェルネス学）	1.00	令和5年度				
附属施設の概要	該当なし											

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人立教学院 設置認可等に関わる組織の移行表

令和8年度

令和9年度

立教大学

立教大学

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	キリスト教学科	50	—	200
	史学科	215	—	860
	教育学科	101	—	404
	文学科	552	—	2,208
経済学部	経済学科	332	—	1,328
	会計ファイナンス学科	176	—	704
	経済政策学科	176	—	704
理学部	数学科	66	—	264
	物理学科	77	—	308
	化学科	77	—	308
	生命理学科	72	—	288
社会学部	社会学科	173	—	692
	現代文化学科	173	—	692
	メディア社会学科	173	—	692
法学部	法学科	360	—	1,440
	政治学科	110	—	440
	国際ビジネス法学科	115	—	460
観光学部	観光学科	195	—	780
	交流文化学科	175	—	700
コミュニティ福祉学部	福祉学科	130	—	520
	コミュニティ政策学科	220	—	880
経営学部	経営学科	230	—	920
	国際経営学科	155	—	620
現代心理学部	心理学科	143	—	572
	映像身体学科	176	—	704
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	210	—	840
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	230	—	920
環境学部	環境学科	204	—	816
計		5,066	—	20,264

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	変更の事由
文学部	キリスト教学科	50	—	200	
	史学科	216	—	864	定員変更(1)
	教育学科	100	—	400	定員変更(△1)
	文学科	552	—	2,208	
経済学部	経済学科	332	—	1,328	
	会計ファイナンス学科	176	—	704	
	経済政策学科	176	—	704	
理学部	数学科	66	—	264	
	物理学科	77	—	308	
	化学科	77	—	308	
	生命理学科	72	—	288	
社会学部	社会学科	173	—	692	
	現代文化学科	173	—	692	
	メディア社会学科	173	—	692	
法学部	法学科	350	—	1,400	定員変更(△10)
	政治学科	110	—	440	
	国際ビジネス法学科	125	—	500	定員変更(10)
観光学部	観光学科	195	—	780	
	交流文化学科	175	—	700	
コミュニティ福祉学部	福祉学科	130	—	520	
	コミュニティ政策学科	220	—	880	
経営学部	経営学科	230	—	920	
	国際経営学科	155	—	620	
現代心理学部	心理学科	143	—	572	
	映像身体学科	176	—	704	
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	210	—	840	
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	230	—	920	
環境学部	環境学科	204	—	816	
計		5,066	—	20,264	

学校法人立教学院 設置認可等に関わる組織の移行表

令和8年度

立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
文学研究科	英米文学専攻(M)	18	—	36
	英米文学専攻(D)	3	—	9
	史学専攻(M)	15	—	30
	史学専攻(D)	6	—	18
	教育学専攻(M)	10	—	20
	教育学専攻(D)	3	—	9
	日本文学専攻(M)	20	—	40
	日本文学専攻(D)	8	—	24
	フランス文学専攻(M)	8	—	16
	フランス文学専攻(D)	3	—	9
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9
	比較文明学専攻(M)	10	—	20
	比較文明学専攻(D)	5	—	15
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80
	経済学専攻(D)	5	—	15
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40
	物理学専攻(D)	4	—	12
	化学専攻(M)	20	—	40
	化学専攻(D)	4	—	12
	数学専攻(M)	5	—	10
	数学専攻(D)	3	—	9
	生命理学専攻(M)	15	—	30
	生命理学専攻(D)	4	—	12
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40
	社会学専攻(D)	10	—	30
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40
	法学政治学専攻(D)	8	—	24
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40
	観光学専攻(D)	8	—	24
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	15	—	30
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻(M)	50	—	100
	社会デザイン学専攻(D)	5	—	15
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20
	経営学専攻(D)	5	—	15
	国際経営学専攻(M)	50	—	100

令和9年度

立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
文学研究科	英米文学専攻(M)	12	—	24	定員変更(△6)
	英米文学専攻(D)	3	—	9	
	史学専攻(M)	15	—	30	
	史学専攻(D)	6	—	18	
	教育学専攻(M)	10	—	20	
	教育学専攻(D)	3	—	9	
	日本文学専攻(M)	20	—	40	
	日本文学専攻(D)	8	—	24	
	フランス文学専攻(M)	8	—	16	
	フランス文学専攻(D)	3	—	9	
	ドイツ文学専攻(M)	8	—	16	
	ドイツ文学専攻(D)	3	—	9	
	比較文明学専攻(M)	10	—	20	
	比較文明学専攻(D)	5	—	15	
経済学研究科	経済学専攻(M)	40	—	80	
	経済学専攻(D)	5	—	15	
理学研究科	物理学専攻(M)	20	—	40	
	物理学専攻(D)	4	—	12	
	化学専攻(M)	20	—	40	
	化学専攻(D)	4	—	12	
	数学専攻(M)	5	—	10	
	数学専攻(D)	3	—	9	
	生命理学専攻(M)	15	—	30	
	生命理学専攻(D)	4	—	12	
社会学研究科	社会学専攻(M)	20	—	40	
	社会学専攻(D)	10	—	30	
法学研究科	法学政治学専攻(M)	20	—	40	
	法学政治学専攻(D)	8	—	24	
観光学研究科	観光学専攻(M)	20	—	40	
	観光学専攻(D)	8	—	24	
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻(M)	15	—	30	
	コミュニティ福祉学専攻(D)	5	—	15	
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻(M)	90	—	180	
	ビジネスデザイン専攻(D)	5	—	15	
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻(M)	50	—	100	
	社会デザイン学専攻(D)	5	—	15	
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻(M)	20	—	40	
	異文化コミュニケーション専攻(D)	5	—	15	
経営学研究科	経営学専攻(M)	10	—	20	
	経営学専攻(D)	5	—	15	
	国際経営学専攻(M)	50	—	100	

学校法人立教学院 設置認可等に関わる組織の移行表

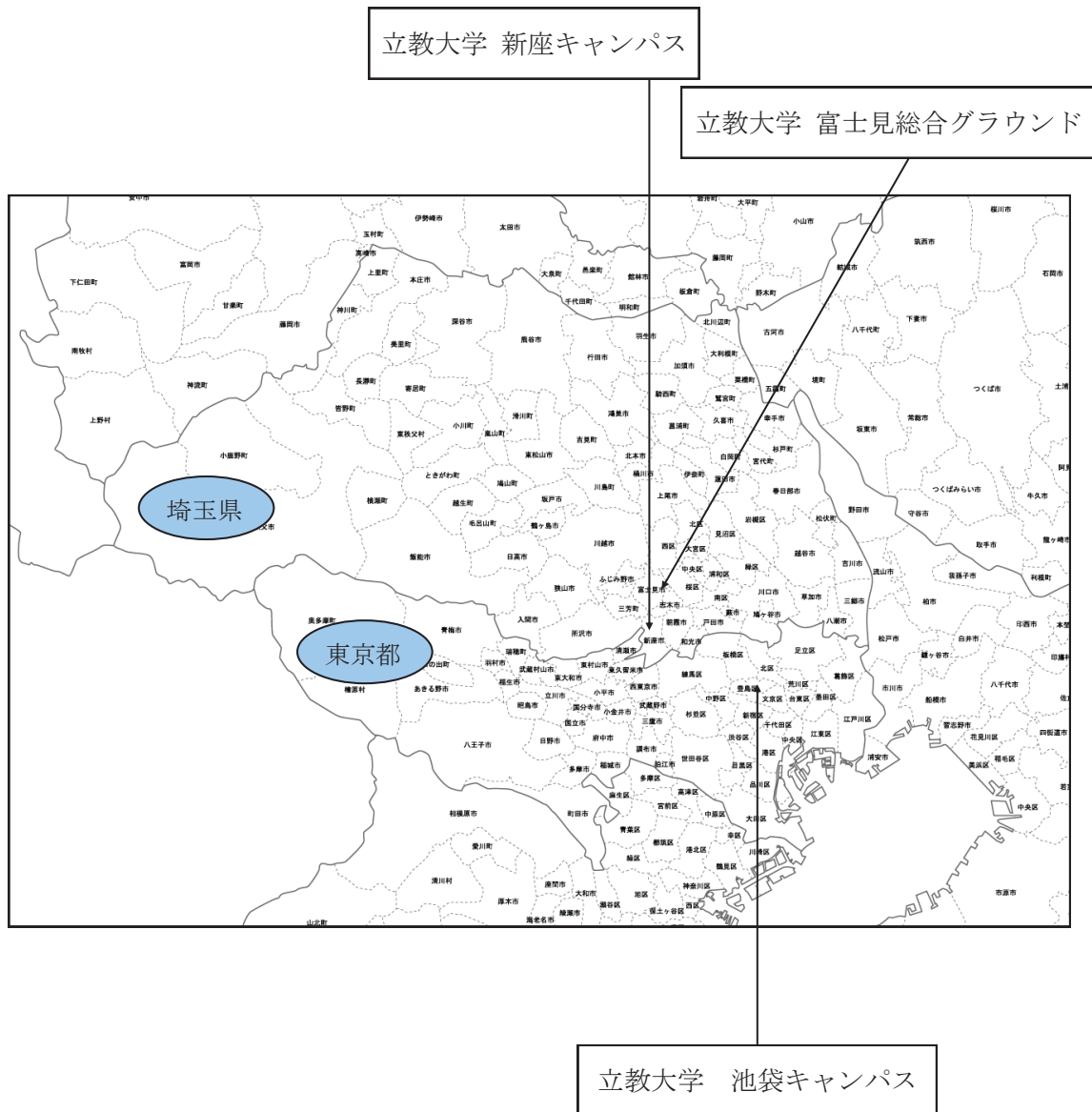
令和8年度
立教大学大学院

研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20
	心理学専攻(D)	3	—	9
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12
	映像身体学専攻(M)	15	—	30
	映像身体学専攻(D)	4	—	12
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24
スポーツウェルネス学研究科	スポーツウェルネス学専攻(M)	10	—	20
	スポーツウェルネス学専攻(D)	5	—	15
計		746	—	1,626

令和9年度
立教大学大学院

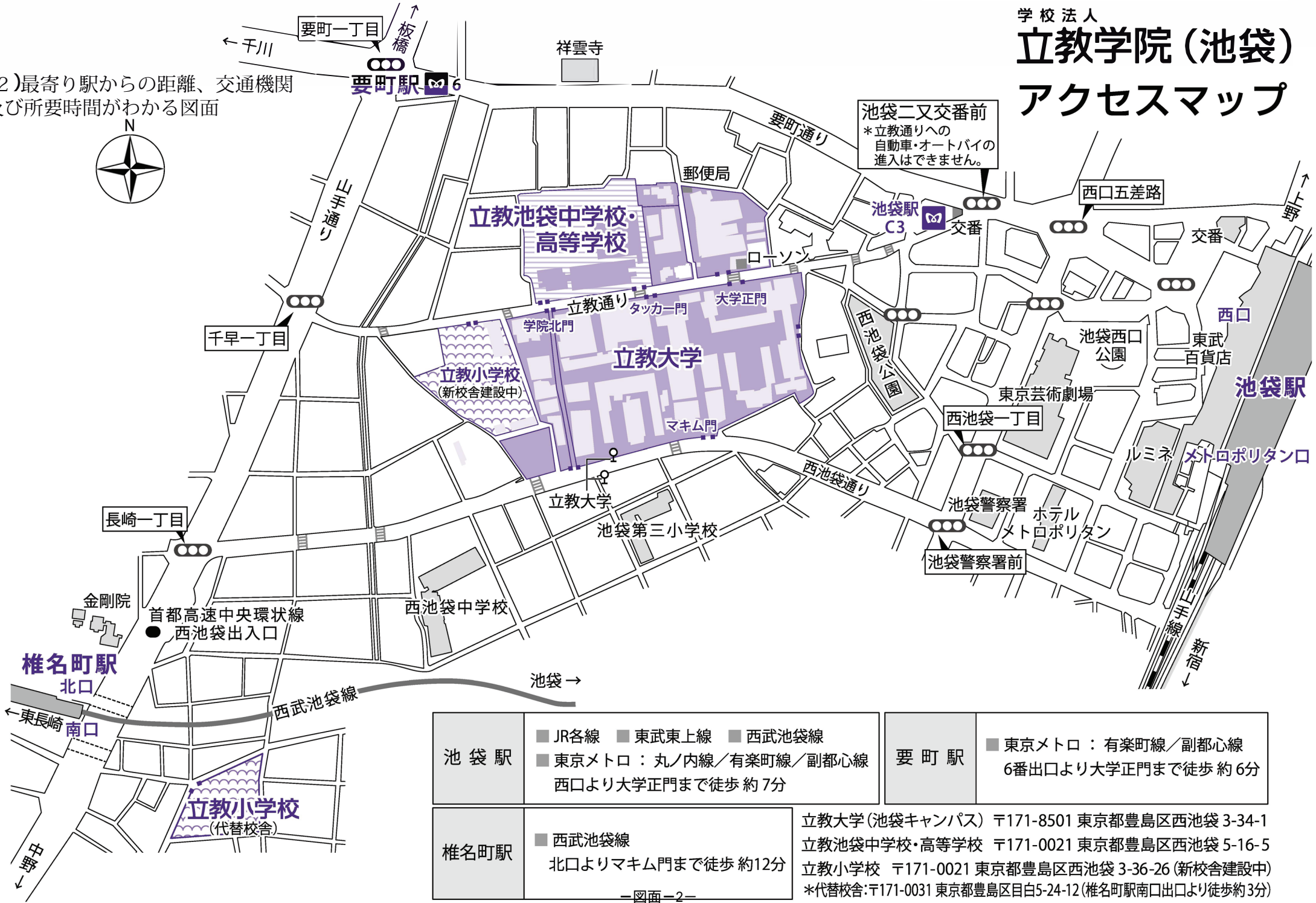
研究科	専攻	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
現代心理学研究科	心理学専攻(M)	10	—	20	
	心理学専攻(D)	3	—	9	
	臨床心理学専攻(M)	15	—	30	
	臨床心理学専攻(D)	4	—	12	
	映像身体学専攻(M)	15	—	30	
	映像身体学専攻(D)	4	—	12	
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻(M)	10	—	20	
	キリスト教学専攻(D)	5	—	15	
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻(M)	63	—	126	
	人工知能科学専攻(D)	8	—	24	
スポーツウェルネス学研究科	スポーツウェルネス学専攻(M)	10	—	20	
	スポーツウェルネス学専攻(D)	5	—	15	
計		740	—	1,614	

(1) 都道府県内における位置関係の図面



学校法人
立教学院 (池袋)
アクセスマップ

(2)最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



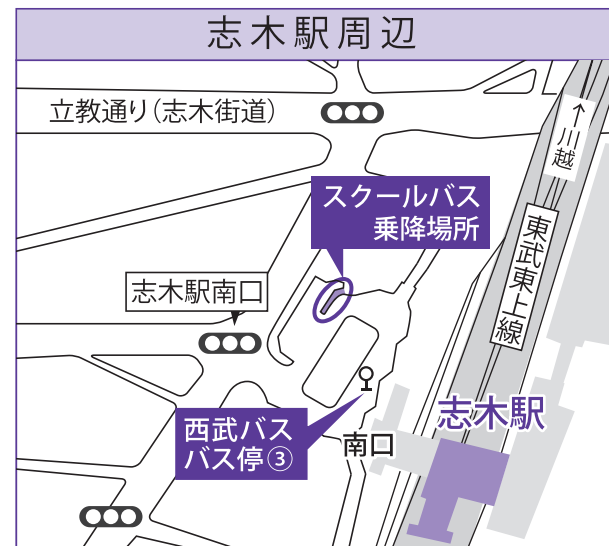
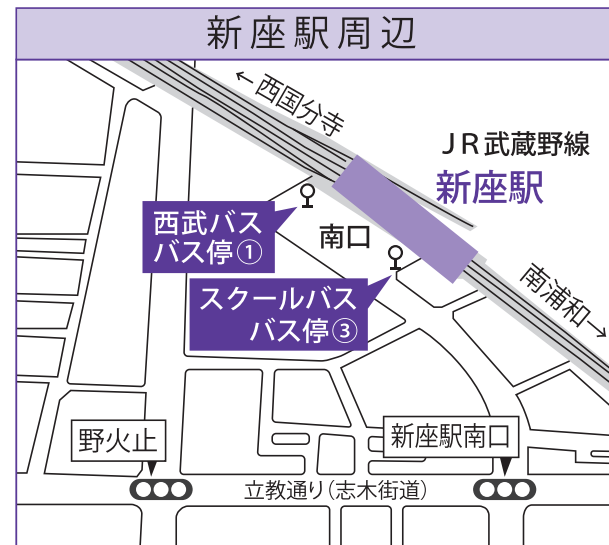
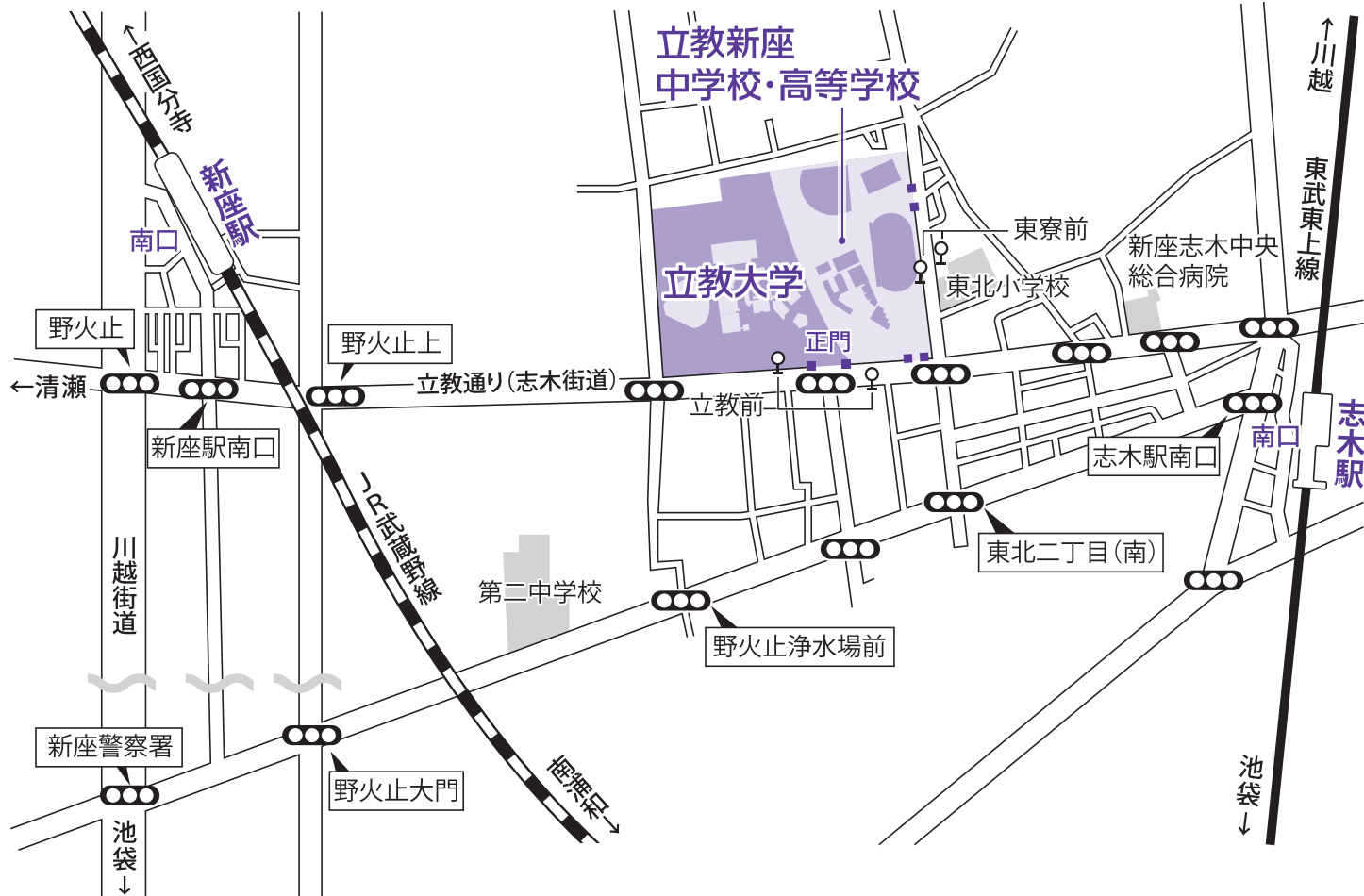
池袋二又交番前
*立教通りへの
自動車・オートバイの
進入はできません。

池袋駅	<ul style="list-style-type: none"> ■ JR各線 ■ 東武東上線 ■ 西武池袋線 ■ 東京メトロ：丸ノ内線/有楽町線/副都心線 <p>西口より大学正門まで徒歩約7分</p>	要町駅	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京メトロ：有楽町線/副都心線 <p>6番出口より大学正門まで徒歩約6分</p>
-----	---	-----	--

椎名町駅	<ul style="list-style-type: none"> ■ 西武池袋線 <p>北口よりマキム門まで徒歩約12分</p>
------	---

立教大学(池袋キャンパス) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
 立教池袋中学校・高等学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-16-5
 立教小学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-36-26 (新校舎建設中)
 *代替校舎:〒171-0031 東京都豊島区目白5-24-12 (椎名町駅南口出口より徒歩約3分)

学校法人
立教学院 (新座)
アクセスマップ



新座駅	■ JR 武蔵野線 南口より
	◎ 徒歩 正門まで約25分
	◎ スクールバス 約10分 (運行時間 7:30~18:45 運賃無料) ※
	◎ 西武バス 約10分 志木駅南口行(北野入口経由)「立教前」下車

志木駅	■ 東武東上線 (東京メトロ有楽町線/副都心線相互乗り入れ) 南口より
	◎ 徒歩 正門まで約15分
	◎ スクールバス 南口より約 7分 (運行時間 10:10~18:30 運賃無料) ※
	◎ 西武バス 南口より約10分 清瀬駅北口行/所沢駅東口行「立教前」下車

※スクールバスの運行情報・時刻表はWebサイトでご確認ください。

立教大学(新座キャンパス) 〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26
 立教新座中学校・高等学校 〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25

立教大学 富士見総合グラウンド アクセスマップ

www.rikkyo.ac.jp
www.rikkyo.ac.jp/access/fujimi



2013.05

(1) 学則案の全文

立教大学諸規程集

立教大学編

第2編 学則

立教大学学則

施行	昭和 24 年4月 1日	改正	2008 年4月 1日
改正	昭和 30 年4月 1日		2009 年4月 1日
	昭和 31 年4月 1日		2010 年4月 1日
	昭和 33 年4月 1日		2011 年4月 1日
	昭和 34 年4月 1日		2012 年4月 1日
	昭和 36 年4月 1日		2013 年4月 1日
	昭和 37 年4月 1日		2014 年4月 1日
	昭和 38 年4月 1日		2015 年4月 1日
	昭和 39 年4月 1日		2016 年4月 1日
	昭和 40 年4月 1日		2017 年4月 1日
	昭和 41 年4月 1日		2018 年4月 1日
	昭和 42 年4月 1日		2019 年4月 1日
	昭和 43 年4月 1日		2020 年4月 1日
	昭和 44 年4月 1日		2021 年4月 1日
	昭和 46 年4月 1日		2022 年4月 1日
	昭和 47 年4月 1日		2023 年4月 1日
	昭和 48 年4月 1日		2024 年4月 1日
	昭和 49 年4月 1日		2025 年4月 1日
	昭和 50 年4月 1日		2026 年4月 1日
	昭和 51 年4月 1日		2026 年4月 24日
	昭和 52 年4月 1日		2027 年4月 1日
	昭和 53 年4月 1日		
	昭和 54 年4月 1日		
	昭和 55 年4月 1日		
	昭和 56 年4月 1日		
	1982 年4月 1日		
	1983 年4月 1日		
	1984 年4月 1日		
	1985 年4月 1日		
	1986 年4月 1日		
	1987 年4月 1日		
	1988 年4月 1日		
	1989 年4月 1日		
	1990 年4月 1日		
	1991 年4月 1日		
	1991 年10月 11日		
	1992 年4月 1日		
	1993 年4月 1日		
	1994 年4月 1日		
	1995 年4月 1日		
	1995 年4月 14日		
	1996 年4月 1日		
	1997 年4月 1日		
	1998 年4月 1日		
	1999 年4月 1日		
	2000 年4月 1日		
	2001 年4月 1日		
	2002 年4月 1日		
	2003 年4月 1日		
	2004 年4月 1日		
	2005 年4月 1日		
	2006 年4月 1日		
	2007 年4月 1日		

第1章 総則

(目的)

第1条 本大学は、キリスト教に基づく人格の陶冶を旨とし、学校教育法（昭和22年法律第26号）により学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めることを目的とする。

2 学部ごとの、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表7のとおりとする。

(設置)

第2条 本大学に学部及び大学院を置く。

(学部、学科等)

第3条 本大学の学部、学科及びその収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	キリスト教学科	50名		200名
	史学科	216名		864名
	教育学科	100名		400名
	文学科	552名		2,208名
	計	918名		3,672名
経済学部	経済学科	332名		1,328名
	会計ファイナンス学科	176名		704名
	経済政策学科	176名		704名
	計	684名		2,736名
理学部	数学科	66名		264名
	物理学科	77名		308名
	化学科	77名		308名
	生命理学科	72名		288名
	計	292名		1,168名
社会学部	社会学科	173名		692名
	現代文化学科	173名		692名
	メディア社会学科	173名		692名
	計	519名		2,076名
法学部	法学科	350名		1,400名
	政治学科	110名		440名
	国際ビジネス法学科	125名		500名
	計	585名		2,340名
観光学部	観光学科	195名		780名
	交流文化学科	175名		700名
	計	370名		1,480名
コミュニティ福祉学部	福祉学科	130名		520名
	コミュニティ政策学科	220名		880名
	スポーツウェルネス学科		募集停止	
	計	350名		1,400名
経営学部	経営学科	230名		920名
	国際経営学科	155名		620名
	計	385名		1,540名
現代心理学部	心理学科	143名		572名
	映像身体学科	176名		704名
	計	319名		1,276名
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	210名		840名
スポーツウェルネス学部	スポーツウェルネス学科	230名		920名
環境学部	環境学科	204名		816名
合 計		5,066名	0名	20,264名

(修業年限)

第4条 1年次から同一学部・学科・専修に在学する者の修業年限は4年とする。ただし、在学

年数は8年を超えることができない。

- 2 2年次に編入学又は転部・転科した者の当該学部・学科の修業年限は3年とする。ただし、在学年数は7年を超えることができない。
- 3 3年次に編入学又は転部・転科・転専修した者の当該学部・学科・専修の修業年限は2年とする。ただし、在学年数は6年を超えることができない。
- 4 第1項の規定にかかわらず、NEXUSプログラムに入学した者（異文化コミュニケーション学部）に在学する者を除く。）の修業年限は、4.5年（9学期）とする。ただし、在学年数は8年を超えることができない。

（学士の学位）

- 第5条** 1年次から同一学部・学科・専修に4年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。ただし、NEXUSプログラムに入学した者（異文化コミュニケーション学部）に在学する者を除く。）の在学期間は4.5年（9学期）以上とする。
- 2 2年次に編入学又は転部・転科した場合、当該学部・学科に3年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。
 - 3 3年次に編入学又は転部・転科・転専修した場合、当該学部・学科・専修に2年以上在学して、所定の試験に合格し、所定の単位を修得した者には学士の学位を授与する。
 - 4 学部・学科において授与する学士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

学 部	学 科	専 攻 分 野 名
文学部	キリスト教学科 史学科 教育学科	文学
	文学科	文学, 学術
経済学部	経済学科 会計ファイナンス学科 経済政策学科	経済学
	理学部	数学科 物理学科 化学科 生命理学科
社会学部	社会学科 現代文化学科 メディア社会学科	社会学
	法学部	法学科 政治学科 国際ビジネス法学科
観光学部	観光学科 交流文化学科	観光学
	コミュニティ福祉学部	福祉学科 コミュニティ政策学科 スポーツウエルネス学科
経営学部	経営学科 国際経営学科	経営学
	現代心理学部	心理学科 映像身体学科
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	異文化コミュニケーション学
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	スポーツウエルネス学
環境学部	環境学科	環境学

- 第5条の2** 法学部法学科法曹コースは前2条の規定にかかわらず、3年以上在学し、所定の試験に合格し、所定の単位を優秀な成績をもって修得した者には学士の学位を授与する。
- 2 法学部法学科法曹コースの学修を許可された者は、別表8による登録料を指定された期間内に納めなければならない。

（学年）

- 第6条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。または9月20日に始まり、翌年

9月19日に終わる。

(学期)

- 第7条** 学年を分けて次の2期とする。
春学期 4月1日から9月19日まで
秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

(休業日)

- 第8条** 休業日は、次のとおりとする。
- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)で規定する休日
 - (3) 本大学創立記念日 5月5日
 - (4) 春季休業 2月上旬から3月下旬まで
 - (5) 夏季休業 7月下旬から9月中旬まで
 - (6) 冬季休業 12月下旬から翌年1月上旬まで
- 2 前項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

第2章 教育課程

第1節 単位

第9条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 輪講、実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の結果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 3 本大学は、第1項に規定する講義、演習、輪講、実験、実習及び実技による授業科目について、教育上有益と認めるときは、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第10条 学生は、第13条から第18条の8に定める所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

- 2 授業科目は、全学共通科目及び専門教育科目は配当年次の指定科目を除き全年次において履修させる。

第10条の2 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

第10条の3 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が行う短期大学又は高等専門学校等の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることのできる単位数は、前条第1項及び第2項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第10条の4 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が本大学に入学する前に、大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本大学は、教育上有益と認めるときは、教授会の定めるところにより、学生が本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転部等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第10条の2第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第10条の5 第9条第3項に定める授業科目の履修により修得できる単位数は、第13条から第18条の8に定める所定の単位のうち、60単位を上限として卒業に必要な単位とすることができる。

第11条 小学校、中学校、高等学校教諭1種免許状取得希望者は、各学部・学科・専修に配置された教科に関する専門教育科目及び文学部教育学科に配置された小学校、中学校、高等学校教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門教育科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

2 本大学の各学部・学科・専攻・専修において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

学 部	学 科	種 類 ・ 教 科		
		小学校教諭 1種免許状	中学校教諭 1種免許状	高等学校教諭 1種免許状
文学部	キリスト教学科		社会 宗教	地理歴史、公民 宗教
	史学科		社会	地理歴史、公民
	教育学科			
	教育学専攻課程 初等教育専攻課程	小学校	社会	公民
	文学科			
	英米文学専修		英語	英語
	ドイツ文学専修		ドイツ語	ドイツ語
	フランス文学専修		フランス語	フランス語
経済学部	経済学科		社会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史、 公民・商業(2018 年度入学者ま で)
	会計ファイナンス学科		社会 (2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)、 商業
	経済政策学科		社会	公民、 地理歴史・商業 (2018年度入 学者まで)
理学部	数学科		数学	数学、情報
	物理学科		理科	理科
	化学科		理科	理科
	生命理学科		理科	理科
社会学部	社会学科		社会	公民
	現代文化学科		社会	公民
	メディア社会学科		社会	公民
法学部	法学科		社会	地理歴史(2018 年度入学者ま で)、公民
	政治学科		社会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史、 公民(2018年度 入学者まで)
	国際ビジネス法学科		社会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史・公民 (2018年度入 学者まで)
観光学部	観光学科		社会 (2018年度 入学者まで)	地理歴史(2018 年度入学者ま で)
	交流文化学科		社会	地理歴史
コミュニティ福祉学部	福祉学科		社会 (2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)、 福祉(2022年度 入学者まで)
	コミュニティ政策学科		社会	公民
	スポーツウエルネス学科		保健体育	保健体育

	(2022年度入学者まで)			
経営学部 (2015年度入学者まで)	経営学科 国際経営学科		社会 社会	公民 公民
現代心理学部 (2015年度入学者まで)	心理学科			公民
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科		英語	英語
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科		保健体育	保健体育
環境学部	環境学科		社会 理科	公民 理科

3 削除

4 免許教科「情報」及び「福祉」は2000年度以降入学者が取得できる。

第12条 学芸員の資格を取得しようとする者は、各学部・学科所定の単位のほか、第19条に定められた博物館に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

博物館に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

2 司書の資格及び司書教諭の資格を取得しようとする者は、第19条に定められた図書館に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

図書館に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

3 社会教育主事の資格を取得しようとする者は、第19条に定められた社会教育に関する科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

社会教育に関する科目及びその単位は、第10条に規定する授業科目及び単位には含まれない。

第2節 全学共通科目

第13条 全学共通科目及びその単位並びに各学部における履修方法は、別表1のとおりとする。

第3節 文学部

第14条 文学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第4節 経済学部

第15条 経済学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第5節 理学部

第16条 理学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第6節 社会学部

第17条 社会学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第7節 法学部

第18条 法学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第8節 観光学部

第18条の2 観光学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第9節 コミュニティ福祉学部

第18条の3 コミュニティ福祉学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第10節 経営学部

第18条の4 経営学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第11節 現代心理学部

第18条の5 現代心理学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第12節 異文化コミュニケーション学部

第18条の6 異文化コミュニケーション学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第13節 スポーツウエルネス学部

第18条の7 スポーツウエルネス学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第14節 環境学部

第18条の8 環境学部の専門教育科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第15節 学芸員，司書，司書教諭及び社会教育主事

第19条 本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生の学芸員，司書，司書教諭及び社会教育主事の資格取得に必要な所定の科目及びその単位並びに履修方法は、別表1のとおりとする。

第16節 日本語教育センター

第19条の2 日本語教育センター科目及びその単位は、別表1のとおりとする。

第3章 試験

第20条 削除

第21条 試験は、各授業科目について行い、合格、不合格を定める。

2 試験成績は、100点を満点とし、60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

3 試験に合格した者には、その授業科目所定の単位を与える。

第22条 忌引その他の事由により試験を受けることができなかった者のために、追試験を行うことがある。

第23条 休学中は、試験を受けることができない。

第4章 入学，編入学，休学，復学，退学，再入学及び除籍

(入学)

第24条 本大学の1年次に入学を許可する者は、次の各号の一に該当する者で選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 通常の課程以外の課程により前号に相当する学校教育を修了した者

(4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

(8) その他相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本大学において認められた者

第24条の2 立教新座高等学校，立教池袋高等学校及び日本聖公会関係の各高等学校又は本大

学の推薦入学者制度の指定を受けた高等学校の卒業生中当該学校長の推薦した者については、前条の規定にかかわらず選抜試験の一部又は全部を免除することができる。

(編入学)

第25条 2年次以上に編入学又は転部・転科・転専修を許可する者は、別に定める本大学の編入学又は転部・転科・転専修の資格を有し、かつ、本大学で行う選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

第25条の2 本大学と協定のある大学長の許可を得て本大学への転入学を願い出る者に対して、教授会等の審査の上、転入学を許可することがある。

2 前項により転入学を許可された者は、第25条に定める編入学を許可された者とみなして本学則を適用する。

第26条 第24条による入学資格を有しない外国人であつて在外公館の推薦ある者は、審査の上、学修を許可することがある。

2 前項により学修を許可された者は、第5条を除き本学則を準用する。

(入学期)

第27条 入学期は、学年又は学期の初めとする。

2 第50条の2に規定する特別外国人学生の入学時期は、各年の4月1日又は9月1日とすることができる。

3 第51条の3に規定する短期プログラム受講生の受入時期は、別に定める細則による。

(入学志願手続)

第28条 入学志願者は、入学願書、出身学校長証明の調査書、写真を提出し、かつ、別表2の1若しくは別表2の2による入学検定料を納めなければならない。

(入学手続)

第29条 選抜試験に合格した者で本大学に入学しようとする者は、保証人を定め、所定の期日までに保証人届出書を提出し、その他指定された手続をしなければならない。

2 本大学は、前項の手続を完了した者に対して入学を許可する。

第30条 保証人は、本人在学中に係る一切の事項についてその責に任じ、本人の父母又はこれに代わるべき者でなければならない。

第31条 保証人が死亡し又は前条の要件を欠いた時は、遅滞なく新たな保証人を定め更に保証人届出書を提出しなければならない。

(休学及び復学)

第32条 病気その他やむを得ない事由により満2か月以上就学することができないときは、保証人連署をもって願い出て許可を受け当該学期間休学することができる。なお、その事実を証明する書面の提出を求めることがある。

2 休学中の期間は、在学年数に算入しない。

3 休学回数には、通算して8回を超えることができない。

4 休学者は、第1項により休学した期間終了後、学期の初めにおいて復学する。

(退学)

第33条 病気その他の事由により退学しようとする場合は、保証人連署をもって願い出て許可を受けなければならない。

(再入学)

第34条 願いにより退学した者が再入学を願い出るときは、学年又は学期の初めにおいて原年次に入学を許可することがある。

第35条 再入学を許可された者は、第29条に規定する手続をしなければならない。

(除籍)

第36条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1) 第4条各項のただし書に定める在学年数を超えた者

(2) 学費を納めない者

第36条の2 入学、編入学、休学、退学及び再入学の許可並びに除籍は、教授会の議を経て、総長がこれを行う。

第5章 留学

第37条 本大学の学生が本大学との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定、又は本大学からの留学に関する協議が成立している外国の大学、又はこれに相当する高等教育機関等及び本学が認めた同等の大学、機関の授業科目を履修するため当該大学等への留学を希望するときは、審査の上、本人の教育上有益であると認める場合、これを許可することがある。

2 前項による留学は、本大学における学籍上の扱いを在学のままとする留学（以下在学留学という。）及び休学とする留学（以下休学留学という。）の2種とする。

第38条 在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本大学における在学年数に算入する。

第39条 在学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、教授会が適当と認めたものは、第10条の2第2項に基づき、本大学の卒業に必要な単位として認定することがある。

2 休学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、教授会が適当と認めたものは、第10条の2第2項に基づき、本大学の単位として認定することがある。

第40条 第32条の規定は、休学留学のための休学に準用する。

第6章 学費その他

第41条 選抜試験に合格した者で本大学に入学しようとする者は、別表2の3及び別表2の4、又は別表2の3及び別表2の5による学費を指定された入学手続期間内に納めなければならない。

2 学生は、別表2の4による学費を毎学年授業開始後の指定の期日までに納めなければならない。

3 第1項及び前項に定める学費のうち授業料及び実験・実習費は、春学期・秋学期に分納するものとする。

第42条 学費とは、入学金、授業料（在籍料を含む。）及び実験・実習費をいう。

第43条 学費は、休学中も別に定める額を納めなければならない。

第44条 学年の途中で退学する場合も、学費は別に定める額を納めなければならない。

第45条 既に納めた学費その他の納入金は、次項及び第3項に定めた場合を除いて、返還しない。

2 選抜試験に合格し学費その他の納入金を納めた者のうち、やむを得ない事由により、所定の手続きに則り入学辞退願を提出した者については、入学金を除く学費その他の納入金を返還するものとする。

3 出願時に卒業見込みや所定単位修得見込みなどで選抜試験に合格し、学費その他の納入金を納めた後に、卒業不可や所定単位未修得などが確定し、入学資格要件を満たすことができなくなった者には、届け出により入学金を含む学費その他の納入金を返還するものとする。

第46条 在学中の学費その他について変更があった場合には、新たに定められた額に基づいて納めなければならない。

第47条 教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門科目及び学芸員・司書・司書教諭・社会教育主事の資格取得に必要な科目を履修する者は、別表3による受講料を納めなければならない。

第48条 削除

第49条 証明書等の交付を受ける者は、別表5による手数料を納めなければならない。

第50条 学費滞納者には、当該年次の単位認定、研究指導の認定及び学位の授与を行わない。

第6章の2 特別外国人学生

(特別外国人学生)

第50条の2 本大学と協定のある外国の大学から派遣される学生及び政府その他の機関から本大学に委託される外国人学生は、教授会等の審査の上、特別外国人学生として入学を許可することができる。

第50条の3 入学を許可された特別外国人学生は、所定の手続をし、かつ、別に定める納入金を納めなければならない。

(単位の認定)

第50条の4 特別外国人学生が履修した授業科目については、所定の単位を与えることができる。

(学則の準用)

第50条の5 特別外国人学生については、第5条を除き本学則を準用する。

第50条の6 前4条に定めるほか、特別外国人学生の受入に関して必要な事項は、立教大学学則及び立教大学大学院学則に定める特別外国人学生の受入に関する細則に定める。

第7章 科目等履修生・特別聴講学生・短期プログラム受講生

(科目等履修生)

第51条 各学部及び全学共通科目所定の授業科目中その1授業科目又は数授業科目の学修を願ひ出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することができる。

2 教職課程、学芸員課程、司書課程及び社会教育主事課程の所定の授業科目の学修を願ひ出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することができる。

3 科目等履修生として学修を願ひ出る者は、別表6による選考料を納めなければならない。

4 科目等履修生が、その履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与える。

(特別聴講学生)

第51条の2 本大学と協定のある他大学学生及び他の教育機関の学生・生徒が、本大学の授業科目の学修を願ひ出るときは、特別聴講学生として許可することができる。

2 特別聴講学生が、その聴講した科目に合格した場合には、所定の単位を与える。

(短期プログラム受講生)

第51条の3 主に海外の大学等の高等教育機関に在籍する学生で、各学部又はその他教育プログラムの提供が可能な組織が本学で実施する短期間の教育プログラムに参加を願ひ出る者に対して、短期プログラム受講生として受入を許可することができる。

2 短期プログラム受講生が履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

(登録料及び受講料)

第52条 第51条第1項及び第2項で科目等履修生として学修を許可された者は、別表6による登録料及び受講料を指定された期間内に納めなければならない。

第53条 削除

(学則の準用)

第54条 科目等履修生、特別聴講学生については、第5条を除き本学則を準用し、第51条、第51条の2及び第52条で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

第54条の2 短期プログラム受講生については、第5条及び第36条の2を除き本学則を準用し、第51条の3で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

第8章 賞罰

第55条 品行方正学業優等の者又は善行により本大学の名誉を揚げた者は、これを表彰する。

第56条 本大学の規則に違反し、又は本大学の教育方針に背いた者は、これを懲戒する。

- 2 懲戒は、訓告、停学及び退学の3種とする。
- 3 退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 学業を怠り成業の見込みのないと認められる者
 - (2) 性行不良で改善の見込みのないと認められる者
 - (3) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 停学は、行為により以下の各号が適用される場合がある。
 - (1) 停学期間を在学年数に算入しない。
 - (2) 当該年度の卒業を認めない。
- 5 停学中は以下の各号が適用される。
 - (1) 停学中は、大学からの指示がある場合を除き、原則として大学に来ることはできない。
 - (2) 当該科目の授業時数の2分の1以上の期間にわたって停学であった場合は、当該科目の単位修得は認められない。
 - (3) 停学中は休学を願い出ることはできない。
 - (4) 停学中は第37条による留学はできない。

第57条 賞罰は、教授会の議を経て、総長がこれを行う。

第9章 教職員組織

(職位)

第58条 本大学に、次の職位を置く。

- (1) 総長
- (2) チャプレン長
- (3) 研究科委員長
- (4) 研究科専攻主任
- (5) 学部長
- (6) 学科長
- (7) 全学共通カリキュラム運営センター部長
- (8) 全学共通カリキュラム運営センター構想・運営チームリーダー
- (9) 外国語教育研究センター長
- (10) 学校・社会教育講座委員長
- (11) 課程主任
- (12) 削除
- (13) 図書館長
- (14) 削除
- (15) 削除
- (16) 削除
- (17) 総長室長
- (18) 人権・ハラスメント対策センター長
- (19) 入学センター長
- (20) 国際センター長
- (21) メディアセンター長
- (22) 総合研究センター長
- (23) 削除
- (24) ボランティアセンター長
- (25) 大学教育開発・支援センター長
- (26) リサーチ・イニシアティブセンター長
- (27) 学生相談所長
- (28) 日本語教育センター長
- (29) グローバル教育センター長
- (30) 国際化推進機構長
- (31) 立教サービスラーニングセンター長
- (32) グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長
- (33) しょうがい学生支援室長
- (34) キャリアセンター長
- (35) 教学支援機構長
- (36) 学生支援機構長
- (37) 学術支援機構長
- (38) 事務部長
- (39) 副部長
- (40) 課長

- (41) 主幹
- (42) 課長補佐
- (43) 調査役

2 本大学に、次の職種を置く。

- (1) チャプレン
- (2) 教員 教授, 准教授, 特別専任教授, 助教, 講師, 教育講師, 特別任用教員
- (3) カウンセラー
- (4) 職員 事務職員, 司書職員, 技能職員, 医療技能職員, 校務職員, 嘱託その他
- (5) 実験技術員

(総長)

第59条 総長は、大学を代表し、学長として校務を統括する。

(チャプレン長及びチャプレン)

第60条 チャプレン長及びチャプレンは、本大学の礼拝を掌り、宗教教育、キリスト教活動及びその行事を主管する。

(研究科委員長)

第60条の2 研究科委員長は、研究科を主管する。

(研究科専攻主任)

第60条の3 研究科専攻主任は、研究科委員長の事項に関し研究科委員長を補佐する。

(学部長)

第61条 学部長は、学部を主管する。

(全学共通カリキュラム運営センター部長)

第62条 全学共通カリキュラム運営センター部長は、全学共通科目を主管する。

(外国語教育研究センター長)

第62条の2 外国語教育研究センター長は、外国語教育研究センターを主管する。

(学校・社会教育講座委員長)

第62条の3 学校・社会教育講座委員長は、学校・社会教育講座の運営を主管する。

(課程主任)

第62条の4 課程主任は、その課程の運営を主管する。

第62条の5 削除

(図書館長)

第63条 図書館長は、図書館に関する事項を主管する。

第64条 削除

第65条 削除

第66条 削除

第67条 削除

(総長室長)

第68条 総長室長は、総長室に関する事項を主管する。

第68条の2 削除

第68条の3 削除

第68条の4 削除

(人権・ハラスメント対策センター長)

第68条の5 人権・ハラスメント対策センター長は、人権・ハラスメント対策センターに関する事項を主管する。

(入学センター長)

第68条の6 入学センター長は、入学センターに関する事項を主管する。

(国際センター長)

第68条の7 国際センター長は、国際センターに関する事項を主管する。

(メディアセンター長)

第68条の8 メディアセンター長は、メディアセンターに関する事項を主管する。

(総合研究センター長)

第68条の9 総合研究センター長は、各研究所を統括しこれを代表する。

第68条の10 削除

第68条の11 削除

(ボランティアセンター長)

第68条の12 ボランティアセンター長は、ボランティアセンターに関する事項を主管する。

第68条の13 削除

(大学教育開発・支援センター長)

第68条の14 大学教育開発・支援センター長は、大学教育開発・支援センターに関する事項を主管する。

(リサーチ・イニシアティブセンター長)

第68条の15 リサーチ・イニシアティブセンター長は、リサーチ・イニシアティブセンターに関する事項を主管する。

第68条の16 削除

第68条の17 削除

(学生相談所長)

第68条の18 学生相談所長は、学生相談所に関する事項を主管する。

(日本語教育センター長)

第68条の19 日本語教育センター長は、日本語教育センターに関する事項を主管する。

(グローバル教育センター長)

第68条の20 グローバル教育センター長は、グローバル教育センターに関する事項を主管する。

(国際化推進機構長)

第68条の21 国際化推進機構長は、国際化推進機構に関する事項を主管する。

(立教サービスラーニングセンター長)

第68条の22 立教サービスラーニングセンター長は、立教サービスラーニングセンターに関する事項を主管する。

(グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長)

第68条の23 グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター長は、グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センターに関する事項を主管する。

(しょうがい学生支援室長)

第68条の24 しょうがい学生支援室長は、しょうがい学生支援室に関する事項を主管する。

(キャリアセンター長)

第68条の25 キャリアセンター長は、学生のキャリア支援及び就職に関する事項を主管する。

(教学支援機構長)

第68条の26 教学支援機構長は、教学支援機構に関する事項を主管する。

(学生支援機構長)

第68条の27 学生支援機構長は、学生支援機構に関する事項を主管する。

(学術支援機構長)

第68条の28 学術支援機構長は、学術支援機構に関する事項を主管する。

(学科長等)

第69条 学科長は、当該学科の事項（文学科においては、GLAPを除く。）に関し学部長を補佐する。

2 全学共通カリキュラム運営センター構想・運営チームリーダーは、当該構想・運営チームの事項に関し全学共通カリキュラム運営センター部長及び全学共通カリキュラム運営センター副部長を補佐する。

(課長等)

第70条 副部長、課長、主幹、課長補佐及び調査役は、上長を補佐し所管事項を掌る。

(教授)

第71条 教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(准教授)

第72条 准教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(特別専任教授)

第72条の2 特別専任教授は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(助教)

第72条の3 助教は、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(講師)

第72条の4 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。

(カウンセラー)

第73条 カウンセラーは、学生の相談にあずかり助育に当る。

第74条 削除

(教育講師)

第74条の2 教育講師は、所属センター長等の指揮を受け教育に従事する。

(特別任用教員)

第74条の3 特別任用教員は、学部長又は研究科委員長等の指揮を受け主に学部又は大学院の教育・研究に従事する。

(英語特定講師)

第74条の4 削除

第74条の5 削除

(実験技術員)

第75条 実験技術員は、教授、准教授、講師、特別専任教授及び助教の指揮により、研究及び教育を技術面から支援する。

(事務職員等)

第76条 事務職員、司書職員、技能職員、医療技能職員、校務職員及び嘱託その他は、その職制に基づく担当業務に従事する。

第10章 教授会

第77条 各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、当該学部の教授及び准教授をもって構成する。ただし、学部の定めるところにより専任講師をこれに加えることができる。
- 3 教授会は、学部内の人事、学部長の選挙、教育課程、試験、学生の入学、編入学、卒業、休学、退学、再入学、除籍、転部・転科及び賞罰その他学部に関する事項のほか、総長の諮問事項に関し審議する。
- 4 教授会に関する細則は、別にこれを定める。

第77条の2 削除

第77条の3 GLAPについては、グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター委員会（以下「GLAPセンター委員会」という。）を第77条第1項に規定する教授会とみなして、第10条の2から第10条の4まで、第36条の2、第39条、第57条及び第77条第3項の規定（学部長の選挙を除く。）を適用する。この場合において、第10条の2第1項、第10条の3第1項、第10条の4第1項及び第2項、第36条の2、第39条、第57条並びに第77条3項の規定中「教授会」とあるのは「グローバル・リベラルアーツ・プログラム運営センター委員会」と、同項中「学部」とあるのは「グローバル・リベラルアーツ・プログラム」とする。

- 2 前項のほか、GLAPセンター委員会その他のGLAPの運営に関し必要な事項は、別に定める。

第77条の4 日本語教育センターに所属する特別外国人学生については、日本語教育センター運営会議（以下「運営会議」という。）を第77条第1項に規定する教授会とみなして第50条の2を適用する。この場合において、規定中「教授会」とあるのは「日本語教育センター運営会議」とする。

- 2 前項のほか、日本語教育センター運営会議その他の日本語教育センター科目の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第11章 附属施設

第1節 礼拝堂

第78条 礼拝堂は、本大学の建学精神の象徴であって教職員及び学生が日本聖公会の信仰と法憲・法規に基づいてキリスト教生活を営むことを目的とする。

第79条 礼拝堂においては、次の行事を行う。

- (1) 礼拝
- (2) 本学の諸式典
- (3) キリスト教講演
- (4) 聖書研究
- (5) その他のキリスト教行事

第2節 図書館

第80条 本大学図書館は、池袋図書館、新座図書館、及び新座保存書庫をもって構成する。

第81条 本大学図書館所蔵の資料は、本学の教職員、学生及び本大学図書館が特に定めた者の利用に供する。

第82条 閲覧室の開架式による資料は自由閲覧とし、その他の資料は所定の手続によつて利用することができる。

第83条 各図書館が所蔵する資料の貸出に関する細則は、別にこれを定める。

第84条 各図書館の開館日及び開館時間に関する細則は、別にこれを定める。

第3節 診療所

第85条 診療所は、教職員並びに学生の保健衛生思想の向上、疾病の予防並びに診療を行うことを目的とする。

第86条 本診療所の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 定時並びに不定時健康診断の実施
- (2) 治療の実施
- (3) 保健衛生に関する講演会の開催
- (4) その他必要と認めた事項

第87条 本診療所の組織及びその他の細則は、別にこれを定める。

第4節 学生相談所

第88条 学生相談所は、学生が当面する問題について、カウンセリングを行うことを目的とする。

第89条 本相談所の組織及びその他の細則は、別にこれを定める。

第5節 研究所等

第90条 この大学に、研究所、センターその他の附属教育研究機関（以下「研究所等」という。）を置く。

第91条 前条の研究所等については、別に定める。

第12章 改廃

(改廃)

第92条 本学則の改廃は、順次、大学部長会、理事会の議決をもって行う。

2 前項に係る主務官庁への届出又は申請は、主務官庁の定めるところによる。

附 則

本学則は、昭和24年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和30年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和31年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和33年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和34年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和36年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和37年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和38年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和40年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 46 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 47 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1982 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1983 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1984 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1985 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1986 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、1987年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1988年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1989年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1990年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1991年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1991年10月11日から施行し、1991年7月1日から適用する。

附 則
本学則は、1992年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1995年4月14日から施行する。

附 則
本学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2003年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2016年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2018年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2023年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2024年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2025年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、2026年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、2027年4月1日から施行する。

別表1 (第13条—第19条関係)

I 全学共通科目

A 総合系科目

1 選択科目

(1) 学びの精神

世界史の中のキリスト教	2	現代心理学からの学び	2
思想を生み出すキリスト教	2	アジア地域での平和構築	2
美術の中のキリスト教	2	グローバル社会での平和構築	2
音楽の中のキリスト教	2	大学生の学び・社会で学ぶこと	2
文学を生み出すキリスト教	2	人権とジェンダー	2
国際社会の中の宗教	2	ライフマネジメントと学生生活	2
現代社会の中の宗教1	2	立教大学の歴史	2
現代社会の中の宗教2	2	西欧キリスト教社会における大学の誕生	2
人文学からの学び(文学)	2	キャリアデザイン	2
人文学からの学び(思想・教育)	2	キリスト教史に学ぶ多文化共生	2
人文学からの学び(史学)	2	美と生命について:キリスト教の美学	2
芸術への扉	2	愛について:キリスト教の倫理と哲学	2
グローバル経済社会を考える	2	GL101	2
学びの場としての社会	2	University Education in the World	2
メディアからみる学び	2	Economy and Society	2
社会学からの学び	2	Image Studies	2
法と政治の世界	2	英語によるビジネスコミュニケーション入門	2
経営学への招待	2	教養の扉をひらく	2
現代社会と観光	2	多文化共生社会と大学	4
現代社会の諸相	2	異文化コミュニケーション学からの学び	2
自然科学の探究	2	なぜ外国語を学ぶのか?	2
身体科学からの学び	2	環境学への招待	2

(2) 多彩な学び

<1. 人間の探究>

聖書と人間	2	アフリカの文化とことば	2
聖書考古学	2	イタリアの文化とことば	2
ジェンダーとキリスト教	2	ドイツ語圏の文化	2
イスラームの世界	2	フランス語圏の文化	2
仏教の世界	2	スペイン語圏の文化	2
日本の宗教	2	中国語圏の文化	2
「宗教」とは何か	2	朝鮮語圏の文化	2
現代社会と人間	2	Japanese Ethnology	2
哲学への扉	2	立教ゼミナール1	2
論理的思考法	2	立教ゼミナール発展編1	2
教育と人間	2	睡眠文化論	2
歴史への扉	2	ボランティア論	2
地域研究への扉	2	World History	4
教育学への扉	2	現代社会における言葉の持つ意味	2
多文化の世界	2	哲学対話 in Rikkyo	2
文化を生きる	2	ジェンダー・宗教・社会	2
日本文化と精神性	2	立教学院とポールラッシュ	2
人権思想の根源	2	Religions in Asia	2
手話と人権を考える	2	Peace and Human Rights 1	1
点字から考える人権	2	Peace and Human Rights 2	1
アジアの文化とことば	2	International Humanities 1	2
ヨーロッパの文化とことば	2	International Humanities 2	2
ラテンアメリカの文化とことば	2	Introduction to Gender Studies	2
ロシア・東欧の文化とことば	2	多文化共生社会と日本	4
中東の文化とことば	2	多文化社会と異文化コミュニケーション	2

子どもの権利から考える国際協力	2		
＜2. 社会への視点＞			
入門・経済教室	2	社会調査の技法	2
世界経済と日本	2	データ分析入門	2
統計情報で社会・経済を診断する	2	データの科学	2
景気・格差問題と統計情報	2	多変量解析入門	2
日本国憲法	2	データサイエンス入門	2
法と社会	2	データサイエンス応用	2
政治と社会	2	Introduction to Statistics 1	2
グローバル社会における法と政治	2	Introduction to Statistics 2	2
現代のビジネスを学ぶ	2	立教ゼミナール2	2
企業と社会	2	立教ゼミナール発展編2	2
現代社会と環境	2	グローバルシティ・ソウルを読み解く	2
情報と倫理	2	RSL ゼミナール	2
近代日本社会と人権	2	異文化コミュニケーションを考えるA	2
メディアと人間	2	異文化コミュニケーションを考えるB	2
文化と社会	2	異文化コミュニケーションを考えるC	2
現代社会の解読	2	SDGs×AI×経済×法	2
いのちの尊厳と福祉を考える	2	大衆演劇の世界	2
コミュニティをデザインする	2	立教卒業生の「社長の履歴書」	2
観光学への誘い	2	ファミリービジネスの可能性	2
シティズンシップを考える	2	世界を動かす変革のチカラ	2
経験から学ぶ、世界とつながる	2	持続可能性の理論と実践	2
対話を学ぶ	2	持続可能な公共サービス提供体制の構築	2
大学と現代社会	2	福島原発事故と社会の持続性	2
日本の「多文化」政策を問い直す	2	倫理・法・社会からみたスポーツ	2
世界の中のロシア	2	Native と学ぶ社会開発	2
パレスチナ問題の歴史と現在	2	人間と環境	2
国際情勢を読み解く	2	Food Cultures and the Acceptance of Japanese	
ドイツ語圏の社会	2	Food in the World	2
フランス語圏の社会	2	Humans and Other Animals	2
スペイン語圏の社会	2	Business Communication	2
中国語圏の社会	2	Global and Japanese Political Economy 1	2
朝鮮語圏の社会	2	Global and Japanese Political Economy 2	2
Modern Japanese History1	2	Japanese Society and Culture 1	2
Modern Japanese History2	2	Japanese Society and Culture 2	2
Japanese Politics & Economy1	2	Introduction to Sociology	2
Japanese Politics & Economy2	2	Introduction to Tourism Studies	2
Japanese Relations in Asia1	2	The Dignity of Life and Welfare	2
Japanese Relations in Asia2	2	Selected Topics in Intercultural Communication A	2
Japanese Society1	2	Selected Topics in Intercultural Communication B	2
Japanese Society2	2	Knowledge and Society 1	1
Tokyo Studies	2	Knowledge and Society 2	1
Political Sociology	4	Learning and Teaching Today 1	1
Economic Thought	4	Learning and Teaching Today 2	1
University in Modern Society	2	Introduction to International Cooperation	2
Career and University Education in the Global		Introduction to the Social Survey	2
World	2	Introduction to the Multivariate Analysis	2
Saitama Studies	2	SDGs と現代社会の課題とその関わり方入門	2
社会調査入門	2		
＜3. 芸術・文化への招待＞			
文学への扉	2	音楽の歴史	2
表象文化	2	音楽と社会	2
美術の歴史	2	美術論演習	2
美術と社会	2	音楽論演習	2

キリスト教美術	2	Japanese Culture 2	2
キリスト教音楽	2	Japanese Arts A	2
日本の美術	2	Japanese Arts B	2
日本の音楽	2	Literature and Society	4
都市と芸術	2	Culture and Fine Arts	4
建築と文化	2	立教ゼミナール3	2
舞踊論	2	立教ゼミナール発展編3	2
映像と社会	2	演芸の世界	2
身体表現と哲学	2	観光と文学	2
日本の演劇	2	The Psychology of Literature1	1
ドイツ語圏の文学	2	The Psychology of Literature2	1
フランス語圏の文学	2	Exploring Children's Literature	2
スペイン語圏の文学	2	Techniques for reading and enjoying a	
中国語圏の文学	2	picturebook in English	2
朝鮮語圏の文学	2	International Humanities 3	2
Japanese Culture 1	2	Topics in Humanities and Arts	2
<4. 心身への着目>			
認知・行動・身体	2	レジャー・レクリエーションと現代社会	2
心の科学	2	アウトドアの知恵に学ぶ	2
パーソナリティの心理	2	Japanese Mind	2
対人関係の心理	2	Health and Wellness	4
心の健康	2	立教ゼミナール4	2
身体パフォーマンス	2	立教ゼミナール発展編4	2
ストレスマネジメント	2	いのちを健康で彩る智慧	2
癒しの科学	2	Individual Differences in Psychology	2
スポーツの科学	2	Understanding Speech Sounds 1	1
健康の科学	2	Understanding Speech Sounds 2	1
栄養の科学	2	Health Science	2
アンチエイジングの科学	2	Applied Data Science with the focus on Sport	
スポーツとメディア	2	and Wellness	2
スポーツと社会	2	スポーツとデータ活用	2
スポーツと文化	2		
<5. 自然の理解>			
数学の世界	2	脳と心	2
宇宙の科学	2	オーダーメイド医療最前線	2
生命の科学	2	大学と科学技術	2
物質の科学	2	Science Studies	2
身近な物質の化学	2	Nature of the Earth	4
化学と自然	2	立教ゼミナール5	2
化学と社会	2	宇宙から地球の未来を考える	2
行動の科学	2	カーボンニュートラル人材育成講座	2
生命の歩み	2	科学と環境	2
地球の理解	2	Understanding of Agricultural Science	2
情報科学A	2	Importance of Global Plant Health	2
情報科学B	2	Ecology:Environment and Sustainability 1	1
自然環境の保全	2	Ecology:Environment and Sustainability 2	1
生物の多様性	2	Topics in Environment	2
地球環境の未来	2	Topics in Natural Science	2
自然と人間の共生	2		
<6. 知識の現場>			
GL102	2	GL202	2
GL103	2	国連ユースボランティア	12
GL104	2	陸前高田プロジェクト	2
GL111	2	海外ワークエクスペリエンス 1	1
GL201	2	海外ワークエクスペリエンス 2	2

ACE パートナー大学オンライン (SNU)	2	RSL-グローバル(フィリピン)	2
ACE パートナー大学オンライン (PKU)	2	国際的協働のためのキャリア実践	2
ACE パートナー大学オンライン (NUS)	2	グローバルワークエクスペリエンス(オンライン)	1
ACE パートナー大学オンライン (RIK)	2	グローバル経験とキャリア	2
RSL-コミュニティ(池袋)	2	RSL-ローカル(地域共生)	2
RSL-コミュニティ(埼玉)	2	RSL-グローバル A	2
RSL-ローカル(南魚沼)	2	RSL-グローバル B	2
RSL-ローカル(陸前高田)	2		

(3) スポーツ実習

スポーツプログラム1	1	スポーツスタディ2	2
スポーツプログラム2	1	スポーツスタディ3	2
スポーツプログラム3	1	スポーツスタディ4	2
スポーツプログラム4	1	スポーツスタディ e	2
スポーツスタディ1	2		

B 言語系科目

1 必修科目

英語

6	ドイツ語	} いずれか 1 言語選択, 4
	フランス語	
	スペイン語	
	中国語	
	朝鮮語	
	ロシア語*	
	日本語*	

*ロシア語は、文学部、経済学部、社会学部、法学部、観光学部、コミュニティ福祉学部(コミュニティ政策学科・スポーツウエルネス学科)、現代心理学部、異文化コミュニケーション学部、スポーツウエルネス学部、環境学部のみ選択可

*日本語は、留学生及び文学部の GLAP の学生のみ選択可。

*NEXUS プログラムの学生、PEACE プログラム(法学部、異文化コミュニケーション学部)の学生及び、法学部ビジネス法学科グローバルコース(外国人留学生書類選考入試)の留学生は、上記に変えて、必修科目として日本語 10 単位を修得する。

*NEXUS プログラムの学生は、学部カリキュラムの履修の前に、必修科目である日本語 10 単位を修得し、かつ、所定の成績を修める必要がある。

2 自由科目

<英語>

英語R	1	Academic Communication	2
Self-directed and Reflective Language Learning	2	Introduction to Global Studies A: Humanities	2
Intercultural Studies	2	Introduction to Global Studies B: Social Science	2
Reading for Pleasure	2	Introduction to Global Studies C: Natural Science	2
Current News through English Media	2	CLIL Seminars: Literature	2
Study Abroad Preparation: TOEFL 1 (Basic)	2	CLIL Seminars: Ecology	2
Study Abroad Preparation: TOEFL 2 (Intermediate)	2	CLIL Seminars: Japanology	2
Study Abroad Preparation: TOEFL 3 (Advanced)	2	CLIL Seminars: SDGS	2
Study Abroad Preparation: IELTS 1 (Basic)	2	CLIL Seminars: Psychology	2
Study Abroad Preparation: IELTS 2 (Intermediate)	2	CLIL Seminars: Tourism	2
Study Abroad Preparation: IELTS 3 (Advanced)	2	CLIL Seminars: History	2
Multimodal Communication in English	2	CLIL Seminars: Art	2
		CLIL Seminars: Health and Wellness	2

CLIL Seminars: Globalization and Business	2	ビクトリア夏ESL2	2
CLIL Seminars: Movies	2	ハワイ夏ESL1	1
CLIL Seminars: International Relations and Politics	2	ダブリン夏ESL3	3
CLIL Seminars: Advertising and the Media	2	ダブリン春ESL3	3
CLIL Seminars: Intercultural Communication	2	ビクトリア春ESL2	2
CLIL Seminars: Language Learning	2	ハワイ春ESL1	1
CLIL Seminars: Gender Issues	2	グリフィス春ESL3	3
Communication for Global Business	2	短期語学研修科目(英語)	1
Collaborative Business Projects	2		
英語海外文化研修	2		
<ドイツ語>			
ドイツ語総合1	2	キャリアドイツ語2	2
ドイツ語総合2	2	キャリアドイツ語3	2
ドイツ語総合3	2	キャリアドイツ語4	2
ドイツ語総合4	2	ドイツ語トレーニング1	2
ドイツ語総合5	2	ドイツ語トレーニング2	2
ドイツ語総合6	2	ドイツ語トレーニング3	2
ドイツ語総合7	2	ドイツ語トレーニング4	2
ドイツ語演習1	2	アカデミックドイツ語1	2
ドイツ語演習2	2	アカデミックドイツ語2	2
ドイツ語演習3	2	アカデミックドイツ語3	2
ドイツ語演習4	2	アカデミックドイツ語4	2
ドイツ語演習5	2	ドイツ語CLIL1	2
ドイツ語演習6	2	ドイツ語CLIL2	2
入門ドイツ語	2	ドイツ語海外言語文化研修(春学期)	2
キャリアドイツ語1	2	ドイツ語海外言語文化研修(秋学期)	2
<フランス語>			
上級フランス語ライティング1	2	フランス語演習1	2
上級フランス語ライティング2	2	フランス語演習2	2
フランス語総合1	2	フランス語演習3	2
フランス語総合2	2	フランス語演習4	2
フランス語総合3	2	フランス語演習5	2
フランス語総合4	2	フランス語演習6	2
フランス語総合5	2	入門フランス語	2
フランス語総合6	2	キャリアフランス語1	2
フランス語総合7	2	キャリアフランス語2	2
フランス語総合8	2	キャリアフランス語3	2
フランス語総合9	2	フランス語トレーニング1	2
フランス語総合10	2	アカデミックフランス語1	2
フランス語総合11	2	フランス語海外言語文化研修(秋学期)	2
<スペイン語>			
スペイン語総合1	2	スペイン語演習7	2
スペイン語総合2	2	入門スペイン語	2
スペイン語総合3	2	キャリアスペイン語1	2
スペイン語総合4	2	キャリアスペイン語2	2
スペイン語総合5	2	スペイン語トレーニング1	2
スペイン語総合6	2	スペイン語トレーニング2	2
スペイン語演習1	2	スペイン語トレーニング3	2
スペイン語演習2	2	アカデミックスペイン語1	2
スペイン語演習3	2	アカデミックスペイン語2	2
スペイン語演習4	2	スペイン語 CLIL	2
スペイン語演習5	2	スペイン語海外言語文化研修(秋学期)	2
スペイン語演習6	2		
<中国語>			
上級中国語コミュニケーション1	2	上級中国語リスニング・リーディング2	2
上級中国語コミュニケーション2	2	上級中国語ライティング1	2
上級中国語リスニング・リーディング1	2	上級中国語ライティング2	2

中国語総合 1	2	キャリア中国語 3	2
中国語総合 2	2	中国語トレーニング 1	2
中国語総合 3	2	中国語トレーニング 2	2
中国語演習 1	2	アカデミック中国語 1	2
中国語演習 2	2	アカデミック中国語 2	2
中国語演習 3	2	中国語 CLIL1	2
入門中国語	2	中国語海外言語文化研修(春学期)	2
キャリア中国語 1	2	中国語海外言語文化研修(秋学期)	2
キャリア中国語 2	2		
<朝鮮語>			
上級朝鮮語演習 1	2	朝鮮語演習 4	2
上級朝鮮語演習 2	2	入門朝鮮語	2
朝鮮語総合 1	2	キャリア朝鮮語 1	2
朝鮮語総合 2	2	キャリア朝鮮語 2	2
朝鮮語総合 3	2	キャリア朝鮮語 3	2
朝鮮語総合 4	2	キャリア朝鮮語 4	2
朝鮮語演習 1	2	アカデミック朝鮮語 1	2
朝鮮語演習 2	2	アカデミック朝鮮語 2	2
朝鮮語演習 3	2	朝鮮語海外言語文化研修(春学期)	2
<ロシア語>			
ロシア語総合 1	2	入門ロシア語	2
ロシア語総合 2	2	ロシア語演習 1	2
ロシア語総合 3	2	ロシア語演習 2	2
ロシア語総合 4	2	ロシア語演習 3	2
ロシア語総合 5	2		
<ポルトガル語>			
ポルトガル語(ブラジル)1	2	ポルトガル語(ブラジル)2	2
<日本語>			
日本の社会と文化 A	2	論文作成の技法	2
日本の社会と文化 B	2	キャリアの日本語 A	2
日本の社会と文化 C	2	キャリアの日本語 B	2
社会の中の日本語 A	2	ビジネスのための口頭運用力 A	2
社会の中の日本語 B	2	ビジネスのための口頭運用力 B	2
論文読解の技法	2	ビジネスメールと文書	2
<日本手話>			
日本手話初級 1	2	日本手話中級 1	2
日本手話初級 2	2	日本手話中級 2	2
<インドネシア語>			
入門インドネシア語	2		
<タイ語>			
入門タイ語	2		
<タガログ語>			
入門タガログ語	2		
<ベトナム語>			
入門ベトナム語	2		

総合系科目の選択科目については、各学部（文学部のGLAPを除く）とも下表に定める単位数を修得しなければならない。なお、必要単位数を超えて修得した単位についても、各学部が定めるところにより卒業要件単位として認められることがある。

履 修 区 分		必要単位	合計
学びの精神		4	18
多彩な学び	1 人間の探究 2 社会への視点 3 芸術・文化への招待 4 心身への着目 5 自然の理解 6 知識の現場	14	
スポーツ実習	スポーツプログラム スポーツスタディ		
*法学部の学生は、「学びの精神」の「法と政治の世界」、「多彩な学び」「2 社会への視点」の「法と社会」「政治と社会」を履修しても卒業要件単位とはならない。			

[注意] 全学共通科目の開講科目・担当者一覧の備考欄に「**学部所属学生履修不可」とある科目については、「**学部」に所属する学生は履修できない。

言語系科目については、各学部とも英語及びそれ以外の1言語を修得しなければならない。各学部の言語系科目の卒業に必要な単位数は、表1に定めるとおりである。

また、PEACEプログラム、NEXUSプログラムの学生が卒業に必要な単位数は、表2及び表3に定めるとおりである。

表1

学 部	言 語	必 要 単 位
文学部 経済学部 社会学部 法学部 観光学部 コミュニティ福祉学部 (コミュニティ政策学科・スポーツウエルネス学科) *スポーツウエルネス学科は募集停止	英語	6
現代心理学部 異文化コミュニケーション学部 スポーツウエルネス学部 環境学部	ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語、ロシア語、日本語のうちいずれか1言語	4
理学部 経営学部 コミュニティ福祉学部 (福祉学科)	英語	6
	ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、朝鮮語、日本語のうちいずれか1言語	4

なお、言語系科目のうち日本語は、外国人留学生（文学部文学科ドイツ文学専修・フランス文学専修を除く。）及び文学部のGLAPの学生を対象とするものであり、他の言語にかえて4単位を限度として修得するものとする。

表2 PEACEプログラム学生

学部	言語	必要単位
法学部(*) 異文化コミュニケーション学部	日本語	10
文学部(GLAP)	英語	6
	日本語	4

*) 法学部国際ビジネス法学科グローバルコース(外国人書類選考入試)の外国人留学生を含む。

表3 NEXUSプログラム学生

学部	言語	必要単位
文学部 経済学部 社会学部 法学部 経営学部 異文化コミュニケーション学部 コミュニティ福祉学部 現代心理学部 スポーツウエルネス学部 環境学部	日本語	10

II 文学部

A 文学部基幹科目(G L A Pを除く。)

1 必修科目

① 基幹科目A

人文学とキャリア形成 a	2	人文学とキャリア形成 b	2
--------------	---	--------------	---

2 選択科目

① 基幹科目B

インターンシップ	2	Humanities Study5 (Literature)	2
海外フィールドスタディ<1.海外EAP>	4	Humanities Study6 (Literature)	2
海外フィールドスタディ<2.海外ASD>	4	SDGs 演習 1[環境思想]	2
海外フィールドスタディ<3.海外SLV>	4	SDGs 演習 2[対話スキルと合意形成法]	2
書道 1	1	SDGs 特論1[環境の文学]	2
書道 2	1	SDGs 特論2[緑の政治・経済]	2
SDGs フィールドワーク<グローバル>	2	SDGs 特論3[コミュニティ・地域づくり]	2
SDGs フィールドワーク<ローカル>	2	SDGs 特論4[人権と平等]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3a	2	人文情報・メディア学演習1[人文情報メディア基礎論(文献講読)]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3b	2	人文情報・メディア学演習2[人文情報メディア応用論(報告と対話)]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3c	2	人文情報・メディア学特論1[人文情報とメディア]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)3d	2	人文情報・メディア学特論2[人文情報と社会]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4a	2	人文情報・メディア学特論3[電子メディア基礎論]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4b	2	人文情報・メディア学特論4[電子メディア応用論]	2
情報処理(PCプレゼンテーション)4c	2		
情報処理(PCプレゼンテーション)4d	2		
Humanities Study1 (History)	2		
Humanities Study2 (Education)	2		
Humanities Study3 (Religion)	2		
Humanities Study4 (History)	2		

② 基幹科目C

音楽と感性	2	(欧米のキリスト教)	
言葉と感性	2	倫理思想	2
デジタルアーカイブ論	2	英米文学概論	2
テキストマイニング論	2	ドイツ語圏文化概論 1	2
心理学 1	2	ドイツ語圏文化概論 2	2
心理学 2	2	フランス文学・文化概論	2
情報処理 1	2	日本語学概論 1	2
情報処理 2	2	日本語学概論 2	2
宗教思想 1 (キリスト教と「知」)	2	漢文学概論	2
宗教思想 2	2	日本文学概論	2
		文芸・思想概論	2

世界史概論 1 (海域・海洋世界)	2	家庭教育論	2
世界史概論 2 (大陸世界)	2	教育と福祉	2
日本史概論 1	2	教育と宗教	2
日本史概論 2	2	Humanities Lecture1(History)	2
超域文化学概論	2	Humanities Lecture2(Literature)	2
教育制度・政策論	2	SDGs 入門	2
		人文情報・メディア学入門	2

③ 基幹科目D

ヘブライ語 1	2	英語文献講読 1	2
ヘブライ語 2	2	Japan in Asian Context	2
ギリシア語 1	2	Traditional Arts in Japan	2
ギリシア語 2	2	Postmodern Turn in Japanese Arts	2
ラテン語 1	2	Development of Gender Studies	2
ラテン語 2	2	Intellectual History of Japan	2
ドイツ語文献講読 1	2	Christianity in Japan	2
ドイツ語文献講読 2	2	Japanese Literature in the World	2
フランス語文献講読 1	2	Rethinking European Literatures	2
フランス語文献講読 2	2		

B 各学科専門教育科目

(1) キリスト教学科専門教育科目

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 A1a	2	キリスト教学基礎演習 A1a	2
入門演習 A1b	2	キリスト教学基礎演習 A1b	2
入門演習 A2a	2	キリスト教学基礎演習 A2a	2
入門演習 A2b	2	キリスト教学基礎演習 A2b	2

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 A1	2	演習 A10	2
演習 A2	2	演習 A11	2
演習 A3	2	演習 A12	2
演習 A4	2	演習 A13	2
演習 A5	2	演習 A14	2
演習 A6	2	演習 A15	2
演習 A7	2	演習 A16	2
演習 A8	2	演習 A17	2
演習 A9	2	演習 A18	2

② 指定科目B2

フィールドワーク A1	2	ラテン語購読2	2
キリスト教学特論	2	ヘブライ語購読1	2
ヘブライ語購読2	2	ギリシア語購読1	2
ギリシア語購読2	2	ラテン語購読1	2

③ 指定科目C

キリスト教学入門講義 1 (聖書1)	2	キリスト教学入門講義 6 (宗教と文化2)	2
キリスト教学入門講義 2 (聖書2)	2	キリスト教学講義 1 (旧約聖書学1)	2
キリスト教学入門講義 3 (キリスト教史1)	2	キリスト教学講義 2 (旧約聖書学2)	2
キリスト教学入門講義 4 (キリスト教史2)	2	キリスト教学講義 3 (新約聖書学1)	2
キリスト教学入門講義 5 (宗教と文化1)	2	キリスト教学講義 4 (新約聖書学2)	2

キリスト教学講義 5 (キリスト教思想史1)	2	キリスト教学講義 20 (アジアの宗教2)	2
キリスト教学講義 6 (キリスト教思想史2)	2	キリスト教学講義 21 (キリスト教と美術1)	2
キリスト教学講義 7 (比較宗教学1)	2	キリスト教学講義 22 (キリスト教と美術2)	2
キリスト教学講義 8 (比較宗教学2)	2	キリスト教学講義 23 (キリスト教と音楽1)	2
キリスト教学講義 9 (神学思想1)	2	キリスト教学講義 24 (キリスト教と音楽2)	2
キリスト教学講義 10 (神学思想2)	2	キリスト教学講義 25 (キリスト教美術史1)	2
キリスト教学講義 11 (キリスト教倫理学1)	2	キリスト教学講義 26 (キリスト教美術史2)	2
キリスト教学講義 12 (キリスト教倫理学2)	2	キリスト教学講義 27 (キリスト教音楽学1)	2
キリスト教学講義 13 (宗教社会学)	2	キリスト教学講義 28 (キリスト教音楽学2)	2
キリスト教学講義 14 (宗教心理学)	2	キリスト教学講義 33 (キリスト教の礼拝1)	2
キリスト教学講義 15 (キリスト教と教育1)	2	キリスト教学講義 34 (キリスト教の礼拝2)	2
キリスト教学講義 16 (キリスト教と教育2)	2	キリスト教学講義 35 (キリスト教と現代社会1)	2
キリスト教学講義 17 (アジアのキリスト教1)	2	キリスト教学講義 36 (キリスト教と現代社会2)	2
キリスト教学講義 18 (アジアのキリスト教2)	2	キリスト教学講義 37 (日本キリスト教史)	2
キリスト教学講義 19 (アジアの宗教1)	2	キリスト教学講義 38 (日本宗教史)	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2
4 随意科目			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2
社会・地理歴史科教育法2	2	宗教科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	宗教科教育法演習1	2
社会・公民科教育法1	2	宗教科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	宗教科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

キリスト教学科は、全学共通科目28単位、必修科目10単位(うち基幹科目2単位)、選択科目58単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

(2) 史学科専門教育科目

[1] 世界史学専修

1 必修科目			
① 指定科目A			
入門演習 G1a	2	入門演習 G2b	2
入門演習 G1b	2	入門演習 G2c	2
入門演習 G1c	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2a	2		
2 選択科目			
① 指定科目B1			
演習 G1	2	演習 G13	2
演習 G2	2	演習 G14	2
演習 G3	2	演習 G15	2
演習 G4	2	演習 G16	2
演習 G5	2	演習 G17	2
演習 G6	2	演習 G18	2
演習 G7	2	演習 G19	2
演習 G8	2	演習 G20	2
演習 G9	2	演習 G21	2
演習 G10	2	演習 G22	2
演習 G11	2	演習 G23	2
演習 G12	2	演習 G24	2
② 指定科目B2			
専門基礎1	2	専門基礎5	2
(アジア・アフリカ系言語1)		(アカデミックライティング)	
専門基礎2	2	専門基礎6	2
(アジア・アフリカ系言語2)		(ヨーロッパ系言語2)	
専門基礎3	2	専門基礎7	2
(ヨーロッパ系言語1)		(ヨーロッパ系言語3)	
専門基礎4	2		
(イングリッシュ・コンプリヘンジョン)			
③ 指定科目C			
史学講義 1	2	史学講義 15	2
(地中海世界1)		(アジア海域1)	
史学講義 2	2	史学講義 16	2
(地中海世界2)		(アジア海域2)	
史学講義 3	2	史学講義 17	2
(前近代ヨーロッパ1)		(世界大戦とヨーロッパ)	
史学講義 4	2	史学講義 18	2
(前近代ヨーロッパ2)		(世界大戦とアジア)	
史学講義 5	2	史学講義 19	2
(近代ヨーロッパ1)		(近現代における法と社会)	
史学講義 6	2	史学講義 21	2
(近代ヨーロッパ2)		(社会史の方法)	
史学講義 7	2	史学講義 22	2
(グローバルヒストリー)		(マイノリティと境界)	
史学講義 8	2	史学講義 23	2
(地域からの歴史)		(人間と都市)	
史学講義 9	2	史学講義 24	2
(前近代東アジア・ユーラシア1)		(人間と環境)	
史学講義 10	2	史学講義 25	2
(前近代東アジア・ユーラシア2)		(信仰と知の歴史1)	
史学講義 11	2	史学講義 26	2
(前近代における法と国家)		(信仰と知の歴史2)	
史学講義 13	2	自然地理学 1	2
(近代東アジア・ユーラシア1)		比較政治史 1	2
史学講義 14	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
(近代東アジア・ユーラシア2)			

3 自由科目

社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2

4 随意科目

社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・地理歴史科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

史学科世界史学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位（うち基幹科目2単位）、選択科目60単位（うち基幹科目10単位）、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[2] 日本史学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 G1d	2	入門演習 G2e	2
入門演習 G1e	2	入門演習 G2f	2
入門演習 G1f	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2d	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 H1	2	演習 H13	2
演習 H2	2	演習 H14	2
演習 H3	2	演習 H15	2
演習 H4	2	演習 H16	2
演習 H5	2	演習 H17	2
演習 H6	2	演習 H18	2
演習 H7	2	演習 H19	2
演習 H8	2	演習 H20	2
演習 H9	2	演習 H21	2
演習 H10	2	演習 H22	2
演習 H11	2	演習 H23	2
演習 H12	2	演習 H24	2

② 指定科目B2

フィールドワーク H1a	2	専門基礎 17	2
フィールドワーク H1b	2	(古文書・古代)	
フィールドワーク H2a	2	専門基礎 18	2
フィールドワーク H2b	2	(古文書・中世)	
専門基礎 9 (近代史料論)	2	専門基礎 19	2
専門基礎 10 (現代史料論)	2	(古文書・近世)	

③ 指定科目C

史学講義 27 (古代日本とアジア1)	2	史学講義 29 (律令制国家論1)	2
史学講義 28 (古代日本とアジア2)	2	史学講義 30 (律令制国家論2)	2

史学講義 31 (中世日本史論1)	2	史学講義 43 (現代日本史論)	2
史学講義 32 (中世日本史論2)	2	史学講義 44 (現代日本と世界)	2
史学講義 33 (中世日本と世界)	2	史学講義 45 (伝統社会史論2)	2
史学講義 34 (中世国家と民衆)	2	史学講義 46 (日本社会史論2)	2
史学講義 35 (近世日本史論)	2	史学講義 47 (戦争と平和の歴史1)	2
史学講義 36 (伝統社会史論1)	2	史学講義 48 (戦争と平和の歴史2)	2
史学講義 37 (近世日本と世界)	2	史学講義 49 (都市と村落)	2
史学講義 38 (日本社会史論1)	2	史学講義 50 (日本の思想・文化)	2
史学講義 39 (近代日本史論1)	2	史学講義 51 (日本変動期史論1)	2
史学講義 40 (近代日本史論2)	2	史学講義 54 (史科学)	2
史学講義 41 (近代日本と世界)	2	自然地理学 2	2
史学講義 42 (日本女性史)	2	比較政治史 2	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2
4 随意科目			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・地理歴史科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

史学科日本史学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[3] 超域文化学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 G1g	2	入門演習 G2h	2
入門演習 G1h	2	入門演習 G2i	2
入門演習 G1i	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 G2g	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 I1	2	演習 I4	2
演習 I2	2	演習 I5	2
演習 I3	2	演習 I6	2

演習 I7	2	演習 I16	2
演習 I8	2	演習 I17	2
演習 I9	2	演習 I18	2
演習 I10	2	演習 I19	2
演習 I11	2	演習 I20	2
演習 I12	2	演習 I21	2
演習 I13	2	演習 I22	2
演習 I14	2	演習 I23	2
演習 I15	2	演習 I24	2
② 指定科目B2			
フィールドワーク I1	2	専門基礎 16	2
フィールドワーク I2	2	(フィールドワーク方法論)	
専門基礎 13	2	宗教の多様性と社会	2
(アジア・アフリカ系言語 3)			
専門基礎 15	2		
(カルトグラフィ)			
③ 指定科目C			
超域文化学講義 1	2	超域文化学講義 15	2
(文化人類学1)		(文化環境学1)	
超域文化学講義 2	2	超域文化学講義 16	2
(文化人類学2)		(文化環境学2)	
超域文化学講義 3	2	超域文化学講義 17	2
(地域研究論1)		(農耕牧畜論)	
超域文化学講義 4	2	超域文化学講義 18	2
(地域研究論2)		(考古学)	
超域文化学講義 5	2	超域文化学講義 19	2
(地域研究論3)		(都市空間論)	
超域文化学講義 7	2	超域文化学講義 20	2
(アメリカ社会史1)		(文化ダイナミクス論)	
超域文化学講義 8	2	超域文化学講義 21	2
(アメリカ社会史2)		(フォークロア1)	
超域文化学講義 9	2	超域文化学講義 22	2
(アメリカ社会史3)		(フォークロア2)	
超域文化学講義 11	2	超域文化学講義 23	2
(イスラーム複合社会史1)		(比較技術論)	
超域文化学講義 12	2	超域文化学講義 24	2
(イスラーム複合社会史2)		(人類生態学)	
超域文化学講義 13	2	地理学概説 1	2
(イスラーム複合社会論1)		地理学概説 2	2
超域文化学講義 14	2	地誌学 1	2
(イスラーム複合社会論2)		地誌学 2	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
社会学	2	法律学	2
経済学	2	政治学	2
4 随意科目			
社会・地理歴史科教育法1	2	社会・公民科教育法1	2
社会・地理歴史科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・地理歴史科教育法2	2	社会・公民科教育法2	2
社会・地理歴史科教育法演習2	2	社会・公民科教育法演習2	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入すること

ができる。

史学科超域文化学専修は、全学共通科目 28 単位、必修科目 8 単位（うち基幹科目 2 単位）、選択科目 60 単位（うち基幹科目 10 単位）、自由科目 28 単位、計 124 単位以上を修得しなければならない。

(3) 教育学科専門教育科目

[1] 教育学専攻課程

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 J1a	2	入門演習 J2d	2
入門演習 J1b	2	教育学	2
入門演習 J1c	2	教育心理学 1	2
入門演習 J1d	2	教育社会学 1	2
入門演習 J2a	2	教育史 1	2
入門演習 J2b	2	教育哲学 1	2
入門演習 J2c	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 J1	2	演習 J10	2
演習 J2	2	演習 J11	2
演習 J3	2	演習 J12	2
演習 J4	2	演習 J13	2
演習 J5	2	演習 J14	2
演習 J6	2	演習 J15	2
演習 J7	2	演習 J16	2
演習 J8	2	演習 J17	2
演習 J9	2	演習 J18	2

② 指定科目B2

教育調査実習 1	2	教育調査実習 4a	2
教育調査実習 2	2	教育調査実習 4b	2
教育調査実習 3a	2	教育実践研究	2
教育調査実習 3b	2		

③ 指定科目C

教育方法学	2	教育臨床論	2
教育とメディア	2	教育臨床心理学	2
特別活動の理論と方法	2	発達心理学	2
生徒指導・進路指導	2	現代教育の諸問題 1	2
教育相談	2	現代教育の諸問題 2	2
カウンセリング	2	子ども文化論	2
道德教育の理論と方法	2	哲学的人間学	2
幼児教育学	2	国語科教育論	2
比較教育学 1	2	社会科教育論	2
比較教育学 2	2	算数科教育論	2
キリスト教と教育 1	2	理科教育論	2
キリスト教と教育 2	2	生活科教育論	2
教育心理学 2	2	家庭科教育論	2
教育社会学 2	2	英語科教育論	1
教育史 2	2	特別支援教育の理論と方法	2
教育哲学 2	2	総合的な学習の時間の理論と方法	2
社会教育・生涯学習論	2	人間と哲学1	2
教育課程論	2	人間と哲学2	2
国際教育論	2	ICT活用の理論と方法(小学校)	2
環境教育論	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
教育と表現	2		

3 自由科目

世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2

4 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2

5 学科関連科目

開発経済学	2	若者とメディア	2
アジア経済論	2	現代政治理論	4
セクシュアリティの社会学	2	日本政治論	4
都市生活誌	2		

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

教育学科教育学専攻課程は、全学共通科目28単位、必修科目16単位（うち基幹科目2単位）、選択科目52単位（うち基幹科目10単位）、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[2] 初等教育専攻課程

1 必修科目

① 指定科目A1

入門演習 J1a	2	入門演習 J2d	2
入門演習 J1b	2	教育学	2
入門演習 J1c	2	教育心理学 1	2
入門演習 J1d	2	教育社会学 1	2
入門演習 J2a	2	教育史 1	2
入門演習 J2b	2	教育哲学 1	2
入門演習 J2c	2		

② 指定科目A2

国語科教育法	2	音楽実技 2	1
社会科教育法	2	造形表現 1	1
算数科教育法	2	造形表現 2	1
理科教育法	2	体育実技	1
生活科教育法	2	教育方法学	2
家庭科教育法	2	特別活動の理論と方法	2
音楽科教育法	2	生徒指導・進路指導	2
図画工作科教育法	2	教育相談	2
英語科教育法	2	道德教育の理論と方法	2
体育科教育法	2	教育課程論	2
教職実践演習(小学校)	2	特別支援教育の理論と方法	2
教職論	2	総合的な学習の時間の理論と方法	2
初等教育実習	5	ICT活用の理論と方法(小学校)	2
音楽実技 1	1		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 J1	2	演習 J4	2
演習 J2	2	演習 J5	2
演習 J3	2	演習 J6	2

演習 J7	2	演習 J13	2
演習 J8	2	演習 J14	2
演習 J9	2	演習 J15	2
演習 J10	2	演習 J16	2
演習 J11	2	演習 J17	2
演習 J12	2	演習 J18	2
② 指定科目B2			
教育調査実習 1	2	教育調査実習 4a	2
教育調査実習 2	2	教育調査実習 4b	2
教育調査実習 3a	2	教育実践研究	2
教育調査実習 3b	2		
③ 指定科目C1			
国語科教育論	2	生活科教育論	2
社会科教育論	2	家庭科教育論	2
算数科教育論	2	英語科教育論	1
理科教育論	2		
④ 指定科目C2			
教育とメディア	2	環境教育論	2
カウンセリング	2	教育と表現	2
幼児教育学	2	教育臨床論	2
比較教育学 1	2	教育臨床心理学	2
比較教育学 2	2	発達心理学	2
キリスト教と教育 1	2	子ども文化論	2
キリスト教と教育 2	2	哲学的人間学	2
教育心理学 2	2	指定科目C1	超過履修分
教育社会学 2	2	現代教育の諸問題 1	2
教育史 2	2	現代教育の諸問題 2	2
教育哲学 2	2	人間と哲学1	2
社会教育・生涯学習論	2	人間と哲学2	2
国際教育論	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
3 自由科目			
世界史	2	経済学	2
日本史	2	法律学	2
社会学	2	政治学	2

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

教育学科初等教育専攻課程は、全学共通科目28単位、必修科目67単位(うち基幹科目2単位)、選択科目31単位(うち基幹科目10単位)、自由科目8単位、計134単位以上を修得しなければならない。

[3] 中学校・高等学校の教育職員免許状に必要な教育の基礎的理解に関する科目等

① 必修科目

教職概論	2	ICT活用の理論と方法	1
教育原論	2	生徒・進路指導の理論と方法	2
教育制度論・教育課程論	2	学校教育相談の理論と方法	2
教育心理学	2	教職実践演習(中・高)	2
道德教育の理論と方法(中学校)	2	中・高教育実習事前指導	1
特別支援教育の理論と方法(中・高)	2	中・高教育実習	4
特別活動及び総合的な学習の時間の理論と方法	2	高校教育実習	2
教育方法論	2	教職特別演習	2

教育の基礎的理解に関する科目等については、中学校の教育職員免許状取得希望者について定めた科目を 28 単位, 高等学校の教育職員免許状取得希望者について定めた科目を 24 単位修得しなければならない。

(4) 文学科専門教育科目

[1] 英米文学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門講義 1	2	基礎演習 1g	2
入門講義 2	2	基礎演習 2a	2
入門演習 B1a	2	基礎演習 2b	2
入門演習 B1b	2	基礎演習 2c	2
入門演習 B1c	2	基礎演習 2d	2
入門演習 B1d	2	基礎演習 2e	2
入門演習 B1e	2	基礎演習 2f	2
入門演習 B1f	2	基礎演習 2g	2
入門演習 B1g	2	英語基礎演習 1a	2
入門演習 B2a	2	英語基礎演習 1b	2
入門演習 B2b	2	英語基礎演習 1c	2
入門演習 B2c	2	英語基礎演習 1d	2
入門演習 B2d	2	英語基礎演習 1e	2
入門演習 B2e	2	英語基礎演習 1f	2
入門演習 B2f	2	英語基礎演習 1g	2
入門演習 B2g	2	英語基礎演習 2a	2
基礎演習 1a	2	英語基礎演習 2b	2
基礎演習 1b	2	英語基礎演習 2c	2
基礎演習 1c	2	英語基礎演習 2d	2
基礎演習 1d	2	英語基礎演習 2e	2
基礎演習 1e	2	英語基礎演習 2f	2
基礎演習 1f	2	英語基礎演習 2g	2

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 B1 (英語文学)	2	演習 B13 (英語文学)	2
演習 B2 (英語文学)	2	演習 B14 (英語文学)	2
演習 B3 (英語文学)	2	演習 B15 (英語文学)	2
演習 B4 (英語文学)	2	演習 B16 (英語文学)	2
演習 B5 (英語文学)	2	演習 B17 (英語学)	2
演習 B6 (英語文学)	2	演習 B18 (英語学)	2
演習 B7 (英語文学)	2	演習 B19 (英語学)	2
演習 B8 (英語文学)	2	演習 B20 (英語学)	2
演習 B9 (英語文学)	2	演習 B21 (英語文学)	2
演習 B10 (英語文学)	2	演習 B22 (英語文学)	2
演習 B11 (英語文学)	2	演習 B23 (英語文学)	2
演習 B12 (英語文学)	2	演習 B24 (英語文学)	2

演習 B25 (英語文学)	2	演習 B28 (英語学)	2
演習 B26 (英語文学)	2	演習 B29	2
演習 B27 (英語学)	2	演習 B30	2
② 指定科目B2			
英語表現演習 1	2	英語表現演習 11	2
英語表現演習 2	2	英語表現演習 12	2
英語表現演習 3	2	英語表現演習 13	2
英語表現演習 4	2	英語表現演習 14	2
英語表現演習 5	2	英語表現演習 15	2
英語表現演習 6	2	英語表現演習 16	2
英語表現演習 7	2	英語表現演習 17	2
英語表現演習 8	2	英語表現演習 18	2
英語表現演習 9	2	英語表現演習 19	2
英語表現演習 10	2	英語表現演習 20	2
③ 指定科目C			
文学講義 1 (英語学概説1)	2	文学講義 21 (比較文学1)	2
文学講義 2 (英語学概説2)	2	文学講義 22 (比較文学2)	2
文学講義 3 (イギリス文学概説1)	2	文学講義 23 (英語圏文学1)	2
文学講義 4 (イギリス文学概説2)	2	文学講義 24 (英語圏文学2)	2
文学講義 5 (アメリカ文学概説1)	2	文学講義 25 (表象芸術1)	2
文学講義 6 (アメリカ文学概説2)	2	文学講義 26 (表象芸術2)	2
文学講義 7 (イギリス散文1)	2	文学講義 27 (英語発達史1)	2
文学講義 8 (イギリス散文2)	2	文学講義 28 (英語発達史2)	2
文学講義 9 (アメリカ散文1)	2	文学講義 29 (英語構造論1)	2
文学講義 10 (アメリカ散文2)	2	文学講義 30 (英語構造論2)	2
文学講義 11 (英米詩1)	2	文学講義 31 (音声学1)	2
文学講義 12 (英米詩2)	2	文学講義 32 (音声学2)	2
文学講義 13 (シェイクスピア1)	2	文学講義 33 (英米事情1)	2
文学講義 14 (シェイクスピア2)	2	文学講義 34 (英米事情2)	2
文学講義 15 (文学批評・理論1)	2	文学講義 35 (イギリス文化1)	2
文学講義 16 (文学批評・理論2)	2	文学講義 36 (イギリス文化2)	2
文学講義 17 (英米演劇1)	2	文学講義 37 (アメリカ文化1)	2
文学講義 18 (英米演劇2)	2	文学講義 38 (アメリカ文化2)	2
文学講義 19 (中世英文学)	2	文学講義 39 (英語圏文化1)	2
文学講義 20 (児童文学)	2	文学講義 40 (英語圏文化2)	2

文学講義 41 (比較文化1)	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10
文学講義 42 (比較文化2)	2		

3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

4 随意科目

英語科教育法1	2	英語科教育法2	2
英語科教育法演習1	2	英語科教育法演習2	2

文学科英米文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目18単位(うち基幹科目2単位)、選択科目50単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[2] ドイツ文学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 C1a	2	ドイツ語基礎演習 1a	2
入門演習 C1b	2	ドイツ語基礎演習 1b	2
入門演習 C1c	2	ドイツ語基礎演習 1c	2
入門演習 C2a	2	ドイツ語基礎演習 2a	2
入門演習 C2b	2	ドイツ語基礎演習 2b	2
入門演習 C2c	2	ドイツ語基礎演習 2c	2
ドイツ語入門 1a	2	ドイツ語基礎演習 3a	2
ドイツ語入門 1b	2	ドイツ語基礎演習 3b	2
ドイツ語入門 1c	2	ドイツ語基礎演習 3c	2
ドイツ語入門 2a	2	ドイツ語基礎演習 3d	2
ドイツ語入門 2b	2	ドイツ語基礎演習 4a	2
ドイツ語入門 2c	2	ドイツ語基礎演習 4b	2
ドイツ語入門 3a	2	ドイツ語基礎演習 4c	2
ドイツ語入門 3b	2	ドイツ語基礎演習 5a	2
ドイツ語入門 3c	2	ドイツ語基礎演習 5b	2
ドイツ語入門 4a	2	ドイツ語基礎演習 5c	2
ドイツ語入門 4b	2	ドイツ語基礎演習 5d	2
ドイツ語入門 4c	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 C1 (現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化)	2	演習 C7 (言語文化)	2
演習 C2 (現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化)	2	演習 C8 (言語文化)	2
演習 C3 (メディア文化・表象文化)	2	演習 C9 (伝承・物語)	2
演習 C4 (メディア文化・表象文化)	2	演習 C10 (伝承・物語)	2
演習 C5 (日独における越境の文化)	2	演習 C11 (比較文化)	2
演習 C6 (日独における越境の文化)	2	演習 C12 (比較文化)	2

② 指定科目B2

ドイツ語表現演習 1A (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 3 (文学3・青少年・伝承)	2
ドイツ語表現演習 1B (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 4 (日独比較文化タンデム)	4
ドイツ語表現演習 2A (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 5 (歴史社会1・近現代)	2
ドイツ語表現演習 2B (討論1)	2	ドイツ文学・文化演習 6 (歴史社会3・中近世)	2
ドイツ語表現演習 3A (討論2)	2	ドイツ文学・文化演習 7 (歴史社会2・近現代)	2
ドイツ語表現演習 3B (討論2)	2	ドイツ文学・文化演習 8 (検定ドイツ語)	2
ドイツ語表現演習 4A (討論3)	2	ドイツ文学・文化演習 101 (文化1・比較文化)	2
ドイツ語表現演習 4B (討論3)	2	ドイツ文学・文化演習 103 (文化2・メディア・表象)	2
ドイツ語表現演習 5 (小論文)	2	ドイツ文学・文化演習 105 (文化3・メディア・表象)	2
ドイツ語表現演習 6 (小論文)	2	ドイツ文学・文化演習 107 (歴史社会4・中・近世)	2
ドイツ文学・文化演習 1 (文学1・一般)	2	ドイツ文学・文化演習 109 (文学4・青少年・伝承)	2
ドイツ文学・文化演習 2 (文学2・一般)	2	ドイツ文学・文化演習 111 (文化4・比較文化)	2
③ 指定科目C			
文学講義 101 (ドイツの言語)	2	文学講義 114 (ドイツの音楽・舞台芸術)	2
文学講義 103 (東ドイツの文化)	2	文学講義 115 (ドイツの生活文化)	2
文学講義 104 (現代の言語論)	2	文学講義 116 (ドイツのユダヤ系文化)	2
文学講義 105 (言語研究の諸相)	2	文学講義 117 (ドイツと異文化)	2
文学講義 106 (ドイツ文学にみるジェンダー文化)	2	文学講義 118 (ドイツ中世の文学・文化)	2
文学講義 107 (ドイツのメディア論)	2	文学講義 157 (ドイツの学術文化)	2
文学講義 108 (日独文化交流)	2	文学講義 160 (ドイツの児童文学)	2
文学講義 109 (日独比較文化)	2	文学講義 161 (バロックの文化)	2
文学講義 110 (ドイツのメルヘン)	2	文学講義 162 (ドイツの表象文化)	2
文学講義 111 (ゲーテの時代)	2	文学講義 164 (ドイツの映像文化)	2
文学講義 112 (ドイツの近代社会と思想)	2	文学講義 168 (ドイツ近世の文学・文化)	2
文学講義 113 (ドイツの都市文化)	2	卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

4 随意科目

ドイツ語科教育法1	2	ドイツ語科教育法2	2
ドイツ語科教育法演習1	2	ドイツ語科教育法演習2	2

文学科ドイツ文学専修は、全学共通科目 28 単位、必修科目 24 単位（うち基幹科目 2 単位）、選択科目 44 単位（うち基幹科目 10 単位）、自由科目 28 単位、計 124 単位以上を修得しなければならない。

[3] フランス文学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 D1a	2	フランス語入門 4c	2
入門演習 D1b	2	フランス語基礎演習 1a	2
入門演習 D1c	2	フランス語基礎演習 1b	2
入門演習 D2a	2	フランス語基礎演習 1c	2
入門演習 D2b	2	フランス語基礎演習 2a	2
入門演習 D2c	2	フランス語基礎演習 2b	2
フランス語入門 1a	2	フランス語基礎演習 2c	2
フランス語入門 1b	2	フランス語基礎演習 3a	2
フランス語入門 1c	2	フランス語基礎演習 3b	2
フランス語入門 2a	2	フランス語基礎演習 3c	2
フランス語入門 2b	2	フランス語基礎演習 4a	2
フランス語入門 2c	2	フランス語基礎演習 4b	2
フランス語入門 3a	2	フランス語基礎演習 4c	2
フランス語入門 3b	2	フランス語基礎演習 5a	2
フランス語入門 3c	2	フランス語基礎演習 5b	2
フランス語入門 4a	2	フランス語基礎演習 5c	2
フランス語入門 4b	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 D1	2	演習 D7	2
演習 D2	2	演習 D8	2
演習 D3	2	演習 D9	2
演習 D4	2	演習 D10	2
演習 D5	2	演習 D11	2
演習 D6	2	演習 D12	2

② 指定科目B2

フランス語表現演習 1 (資格のためのフランス語1)	2	フランス文学・文化演習 1 (フィクション1)	2
フランス語表現演習 2 (資格のためのフランス語2)	2	フランス文学・文化演習 2 (フィクション2)	2
フランス語表現演習 3 (コミュニケーション1)	2	フランス文学・文化演習 3 (エッセー1)	2
フランス語表現演習 4 (コミュニケーション2)	2	フランス文学・文化演習 4 (エッセー2)	2
フランス語表現演習 5 (コミュニケーション3)	2	フランス文学・文化演習 5 (時事フランス語1)	2
フランス語表現演習 6 (コミュニケーション4)	2	フランス文学・文化演習 6 (時事フランス語2)	2
フランス語表現演習 7 (ライティング1)	2	フランス文学・文化演習 7 (映像文化1)	2
フランス語表現演習 8 (ライティング2)	2	フランス文学・文化演習 8 (映像文化2)	2
フランス語表現演習 9 (パフォーマンス1)	2	フランス文学・文化演習 9 (フィクション3)	2
フランス語表現演習 10 (パフォーマンス2)	2	フランス文学・文化演習 10 (フィクション4)	2

③ 指定科目C

文学講義 201 (仏中世・ルネサンス文学)	2	文学講義 210 (表象文化論)	2
文学講義 202 (仏中世・ルネサンス思想)	2	文学講義 211 (フランス美術)	2
文学講義 203 (仏古典主義文学)	2	文学講義 212 (日仏比較)	2
文学講義 204 (仏近代社会)	2	文学講義 213 (ヨーロッパとフランス)	2
文学講義 205 (仏近・現代小説1)	2	文学講義 214 (仏詩・戯曲)	2
文学講義 206 (仏近・現代小説2)	2	文学講義 215 (フランス文化史)	2
文学講義 207 (フランス語圏文学)	2	文学講義 216 (仏現代社会)	2
文学講義 208 (フランス哲学)	2	文学講義 217 (フランス語学概説1)	2
文学講義 209 (フランス思想)	2	文学講義 218 (フランス語学概説2)	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

4 随意科目

フランス語科教育法1	2	フランス語科教育法2	2
フランス語科教育法演習1	2	フランス語科教育法演習2	2

文学部フランス文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目24単位(うち基幹科目2単位)、選択科目44単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[4] 日本文学専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 E1a	2	入門演習 E2b	2
入門演習 E1b	2	入門演習 E2c	2
入門演習 E1c	2	入門演習 E2d	2
入門演習 E1d	2	入門演習 E2e	2
入門演習 E1e	2	日本文学研究法	2
入門演習 E2a	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 E1	2	演習 E11	2
演習 E2	2	演習 E12	2
演習 E3	2	演習 E13	2
演習 E4	2	演習 E14	2
演習 E5	2	演習 E15	2
演習 E6	2	演習 E16	2
演習 E7	2	演習 E17	2
演習 E8	2	演習 E18	2
演習 E9	2	演習 E19	2
演習 E10	2	演習 E20	2

演習 E21	2	演習 E29	2
演習 E22	2	演習 E30	2
演習 E23	2	演習 E31	2
演習 E24	2	演習 E32	2
演習 E25	2	演習 E33	2
演習 E26	2	演習 E34	2
演習 E27	2	演習 E35	2
演習 E28	2	演習 E36	2
② 指定科目B2			
日本文学講読 1 (古代)	2	漢文学講読 1 (漢文)	2
日本文学講読 2 (古代)	2	漢文学講読 2 (漢文)	2
日本文学講読 3 (中世)	2	漢文学講読 3 (漢文)	2
日本文学講読 4 (中世)	2	漢文学講読 4 (漢文)	2
日本文学講読 5 (近世)	2	卒業論文(制作)予備研究 1	2
日本文学講読 6 (近世)	2	卒業論文(制作)予備研究 2	2
日本文学講読 7 (和歌・俳諧)	2	研究小論文 1b	2
日本文学講読 8 (和歌・俳諧)	2	研究小論文 2a	2
		研究小論文 2b	2
③ 指定科目C			
文学講義 301 (日本文学史・古代1)	2	文学講義 317 (古代日本文学1)	2
文学講義 302 (日本文学史・古代2)	2	文学講義 318 (古代日本文学2)	2
文学講義 303 (日本文学史・古代3)	2	文学講義 319 (古代日本文学3)	2
文学講義 304 (日本文学史・古代4)	2	文学講義 320 (古代日本文学4)	2
文学講義 305 (日本文学史・中世1)	2	文学講義 321 (中世日本文学1)	2
文学講義 306 (日本文学史・中世2)	2	文学講義 322 (中世日本文学2)	2
文学講義 307 (日本文学史・和歌・俳諧1)	2	文学講義 323 (中世日本文学3)	2
文学講義 308 (日本文学史・和歌・俳諧2)	2	文学講義 324 (中世日本文学4)	2
文学講義 309 (日本文学史・和歌・俳諧3)	2	文学講義 325 (和歌・俳諧1)	2
文学講義 310 (日本文学史・和歌・俳諧4)	2	文学講義 326 (和歌・俳諧2)	2
文学講義 311 (日本文学史・近世1)	2	文学講義 327 (和歌・俳諧3)	2
文学講義 312 (日本文学史・近世2)	2	文学講義 328 (和歌・俳諧4)	2
文学講義 313 (日本文学史・近現代1)	2	文学講義 329 (近世日本文学1)	2
文学講義 314 (日本文学史・近現代2)	2	文学講義 330 (近世日本文学2)	2
文学講義 315 (日本語史1)	2	文学講義 331 (近現代日本文学1)	2
文学講義 316 (日本語史2)	2	文学講義 332 (近現代日本文学2)	2

文学講義 333 (近現代日本文学3)	2	文学講義 340 (日本語学4)	2
文学講義 334 (近現代日本文学4)	2	文学講義 341 (日本語学5)	2
文学講義 335 (近現代日本文学5)	2	文学講義 342 (日本語学6)	2
文学講義 336 (近現代日本文学6)	2	文学講義 343 (書誌学1)	2
文学講義 337 (日本語学1)	2	文学講義 344 (書誌学2)	2
文学講義 338 (日本語学2)	2	文学講義 345 (文献解読1)	2
文学講義 339 (日本語学3)	2	文学講義 346 (文献解読2)	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

4 随意科目

国語科教育法1	2	国語科教育法2	2
国語科教育法演習1	2	国語科教育法演習2	2

文学部日本文学専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[5] 文芸・思想専修

1 必修科目

① 指定科目A

入門演習 F1a	2	入門演習 F2b	2
入門演習 F1b	2	入門演習 F2c	2
入門演習 F1c	2	入門演習 F2d	2
入門演習 F1d	2	卒業論文(制作)予備演習	2
入門演習 F2a	2		

2 選択科目

① 指定科目B1

演習 F1	2	演習 F19	2
演習 F2	2	演習 F20	2
演習 F3	2	演習 F21	2
演習 F4	2	演習 F22	2
演習 F5	2	演習 F23	2
演習 F6	2	演習 F24	2
演習 F7	2	演習 F25	2
演習 F8	2	演習 F26	2
演習 F9	2	演習 F27	2
演習 F10	2	演習 F28	2
演習 F11	2	演習 F29	2
演習 F12	2	演習 F30	2
演習 F17	2	演習 F31	2
演習 F18	2	演習 F32	2

② 指定科目B2

文芸・思想文献講読 1	2	文芸・思想文献講読 3	2
文芸・思想文献講読 2	2	文芸・思想文献講読 4	2

③ 指定科目C

文学講義 401 (文明批評論1)	2	文学講義 415 (文芸編集論)	2
文学講義 402 (文明批評論2)	2	文学講義 416 (演劇)	2
文学講義 403 (文芸評論1)	2	文学講義 417 (現代歌謡論)	2
文学講義 404 (文芸評論2)	2	文学講義 418 (世界文学論1)	2
文学講義 405 (文化翻訳論1)	2	文学講義 419 (世界文学論2)	2
文学講義 406 (文化翻訳論2)	2	哲学講義 1 (西洋哲学)	2
文学講義 407 (マンガ/アニメ表現論1)	2	哲学講義 2 (東洋哲学)	2
文学講義 408 (マンガ/アニメ表現論2)	2	哲学講義 3 (芸術論1)	2
文学講義 409 (小説創作論1)	2	哲学講義 4 (芸術論2)	2
文学講義 410 (小説創作論2)	2	哲学講義 5 (現代思想の諸問題1)	2
文学講義 411 (詩創作論1)	2	哲学講義 6 (現代思想の諸問題2)	2
文学講義 412 (詩創作論2)	2	哲学講義 7 (死生論)	2
文学講義 413 (ジェンダー論)	2	哲学概論 1	2
文学講義 414 (広告文芸論)	2	哲学概論 2	2
		現代倫理	2
		卒業論文(制作)・卒業論文(制作)指導演習	10

3 自由科目

指定単位を超えて修得した全学共通科目・文学部基幹科目・指定科目、文学部他学科指定科目、他学部科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。ただし、他学部科目及び4大学間単位互換制度による他大学の科目はあわせて16単位まで、大学院文学研究科の科目及びキリスト教学研究科の科目はあわせて8単位まで卒業要件単位に算入することができる。

4 随意科目

国語科教育法1	2	国語科教育法2	2
国語科教育法演習1	2	国語科教育法演習2	2

文学科文芸・思想専修は、全学共通科目28単位、必修科目8単位(うち基幹科目2単位)、選択科目60単位(うち基幹科目10単位)、自由科目28単位、計124単位以上を修得しなければならない。

[6] GLAP

1 必修科目

Tutorial 1	2	Globalism and Humanities	4
Tutorial 2	2	Citizenship Education	4
Liberal Arts in Higher Education	4	International Business	4
GL111	2	Final Year Seminar 1	2
GL202	2	Final Year Seminar 2	2
Second Year Seminar	2	Graduation Paper	8

2 選択科目

① 英語リベラルアーツ(ELA)科目

World History	4	Topics in Environment	2
Culture and Fine Arts	4	Topics in Natural Science	2
Political Sociology	4	Topics in Humanities and Arts	2
Nature of the Earth	4	GLAP Special Seminar 1	2
Literature and Society	4	GLAP Special Seminar 2	2
Economic Thought	4	Career Planning	2
Health and Wellness	4		

② GLAP 夏季短期集中プログラム科目

University Education in the World	2	Career and University Education	2
University in Modern Society	2	in the Global World	

③ 海外留学研修

Study Abroad 1	12	Study Abroad 2	12
----------------	----	----------------	----

④ Global Studies Electives

Global Studies Pre-Seminar	2	Cross-Fields Research	4
----------------------------	---	-----------------------	---

<Global Studies Humanities>

Humanites First Seminar	2	Seminar in Literature	2
Christianity in Japan	2	and Culture Studies 2	
Japanese Literature in the World	2	Seminar in Literature	2
Japan in Asian Context	2	and Culture Studies 3	
Rethinking European Literatures	2	Seminar in Literature	2
Traditional Arts in Japan	2	and Culture Studies 4	
Postmodern Turn in Japanese Arts	2	Seminar in Literature	2
Development of Gender Studies	2	and Culture Studies 5	
Intellectual History of Japan	2	Seminar in Literature	2
Seminar in Literature	2	and Culture Studies 6	
and Culture Studies 1			

<Global Studies Citizenship>

Citizenship First Seminar	2	Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
Principles of Sociology	2	Sociological Studies A	2
Global Sociology	2	Sociological Studies B	2
Global City	2	Sociological Studies C	2
Gender/Minority Studies	2	Sociological Studies D	2
International Relations	2	Lecture and Discussion on Gender C	2
UN and International Organizations	2	Lecture and Discussion on Culture D	2
Civil Society Organization (NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	2		

<Global Studies Business>

Business First Seminar	2	Business Project	4
Business and Society	2	Business Communication	2
Introduction to Finance	2	Marketing Communications and Penetrating	2
Introduction to Accounting	2	the Japanese Market	
Introduction to Marketing	2	Intercultural Business Management	2
Corporate Finance and Valuation	2	Global Innovation Management	2
Financial Statement Analysis	2	International Human Resource Management	2
Marketing Research	2	Global Strategic Management	2
Advanced Business Project	4	Marketing Positioning Strategy	2
Business Project	2		

3 自由科目

GLAP は、全学共通科目 10 単位、必修科目 38 単位、選択科目 60 単位(英語リベラルアーツ(ELA)科目を 20 単位、GLAP 夏季短期集中プログラム科目を 2 単位、海外留学研修または Global Studies Electives を 38 単位)、自由科目 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。な

お、Global Studies Electives において Humanities, Citizenship, Business より 1 つのフィールドを選択し、当該分野の科目を 14 単位以上修得しなければならない。

指定単位を超えて修得した英語リベラルアーツ (ELA) 科目を Global Studies Electives の単位として、卒業要件単位に算入する。また、指定単位を超えて修得した選択科目、全学共通科目、各学部専門教育科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を自由科目の単位として卒業要件単位に算入することができる。

III 経済学部

(1) 経済学科専門教育科目

1 必修科目

① 必修科目

社会経済学入門	2	マイクロ・マクロ経済学入門	2
---------	---	---------------	---

2 選択科目

① 基本選択科目

社会経済学1	2	初級マイクロ経済学2	2
社会経済学2	2	初級マクロ経済学1	2
初級マイクロ経済学1	2	初級マクロ経済学2	2

② 共通選択科目 1

基礎ゼミナール1	2	経済史2	2
基礎ゼミナール2	2	外書講読・英A	2
データ分析入門1	2	外書講読・英B	2
データ分析入門2	2	経営学1	2
統計学1	2	経営学2	2
統計学2	2	簿記1	2
経済数学入門	2	簿記2	2
経済史1	2		

③ 共通選択科目 2

応用社会経済学1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6
応用社会経済学2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
中級マイクロ経済学	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
中級マクロ経済学	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
経済学史1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)	6
経済学史2	2	Japanese Economy1	2
経済統計学1	2	Japanese Economy2	2
経済統計学2	2	Japanese Economic History1	2
計量経済学1	2	Japanese Economic History2	2
計量経済学2	2	Japanese Management1	2
日本経済論1	2	Japanese Management2	2
日本経済論2	2	Economics	2
国際経済論	2	Statistics	2
世界経済論	2	Accounting1	2
財政学1	2	Accounting2	2
財政学2	2	Finance1	2
金融論1	2	Finance2	2
金融論2	2	Introductory English for Current Economic Issues1	2
日本経済史1	2	Introductory English for Current Economic Issues2	2
日本経済史2	2	Intermediate English for Current Economic Issues1	2
データ分析演習A	2	Intermediate English for Current Economic Issues2	2
データ分析演習B	2	Economics Applied to Current Issues1	2
Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	6	Economics Applied to Current Issues2	2
Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8		

④ 学科選択科目

数理経済学	2	ヨーロッパ経済史2	2
景気変動論1	2	経営史1	2
景気変動論2	2	経営史2	2
社会思想史	2	公共経済学1	2
現代社会思想	2	公共経済学2	2
ヨーロッパ経済史1	2	産業経済論1	2

産業経済論2	2	国際貿易論	2
労働経済論1	2	国際経済政策論	2
労働経済論2	2	経済政策論1	2
社会政策論1	2	経済政策論2	2
社会政策論2	2	租税論1	2
農業経済論	2	租税論2	2
農業政策論	2	地方財政論1	2
都市政策論1	2	地方財政論2	2
都市政策論2	2	証券経済論	2
環境経済学1	2	証券市場論	2
環境経済学2	2	外国為替論	2
開発経済学	2	国際金融論	2
アジア経済論	2	統計調査論1	2
アメリカ経済論	2	統計調査論2	2
アメリカ経済政策論	2		

3 自由科目

① 自由選択科目 1

アジア経済史1	2	会計史1	2
アジア経済史2	2	会計史2	2
アメリカ経済史1	2	コーポレートファイナンス1	2
アメリカ経済史2	2	コーポレートファイナンス2	2
中小企業論1	2	金融工学	2
中小企業論2	2	ポートフォリオ論	2
消費者政策論	2	金融機関論	2
生活経済論	2	金融政策論	2
比較公共政策論1	2	年金経済論	2
比較公共政策論2	2	保険論	2
社会開発論	2	金融史	2
医療経済論	2	現代企業論1	2
福祉経済論	2	現代企業論2	2
流通経済論	2	国際経営論1	2
流通政策論	2	国際経営論2	2
EU経済論	2	マーケティング論1	2
地域経済統合論	2	マーケティング論2	2
中国経済論	2	コーポレートガバナンス論1	2
中国経済政策論	2	コーポレートガバナンス論2	2
国際政治経済学	2	企業法1	2
会计学1	2	企業法2	2
会计学2	2	ゼミナールA	4
中級簿記1	2	ゼミナールB	4
中級簿記2	2	ゼミナール(単年度)	4
ファイナンス基礎	2	外書講読・独A	2
経営分析論1	2	外書講読・独B	2
経営分析論2	2	外書講読・仏A	2
財務会計論1	2	外書講読・仏B	2
財務会計論2	2	データサイエンス概論	2
管理会計論1	2	調査実習	4
管理会計論2	2	経済地理学1	2
原価計算論1	2	経済地理学2	2
原価計算論2	2	課題解決演習A	2
会計監査論1	2	課題解決演習B	2
会計監査論2	2	課題解決演習C	2
租税法1	2	企画講座1	2
租税法2	2	企画講座2	2
上級簿記1	2	企画講座3	2
上級簿記2	2	企画講座4	2
国際会計論1	2	企画講座5	2
国際会計論2	2	企画講座6	2
会計情報論1	2	企画講座7	2
会計情報論2	2	インターンシップ	4
税務会計論	2	キャリアデザイン論	2
会計政策論	2	キャリアコンサルティング論	2
環境会計論	2	憲法1	2
非営利会計論	2	憲法2	2

民法1	2	行政学2	2
民法2	2	地方自治論	2
経済法1	2	労働法	4
経済法2	2	経済ビッグデータ解析入門	2
行政学1	2	機械学習入門	2

② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学1	2
世界史	2	自然地理学2	2
政治学	2	心理学1	2
地誌学1	2	心理学2	2
地誌学2	2	宗教思想1	2
地理学概説1	2	宗教思想2	2
地理学概説2	2	哲学概論1	2
		哲学概論2	2

4 随意科目

社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・公民科教育法 2	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法演習 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
社会・地理歴史科教育法演習 2	2	商業科教育法 1	2
社会・公民科教育法 1	2	商業科教育法演習 1	2

経済学科は、全学共通科目を 28 単位、専門教育必修科目を 4 単位、選択科目を 58 単位（基本選択科目を 8 単位、共通選択科目 1 を 14 単位、共通選択科目 2 を 12 単位、学科選択科目を 24 単位）、自由科目を 34 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位数に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 8 単位を上限とする。

(2) 会計ファイナンス学科専門教育科目

1 必修科目

① 必修科目

簿記 1	2	会計学 2	2
簿記 2	2	社会経済学入門	2
会計学 1	2	ミクロ・マクロ経済学入門	2

2 選択科目

① 共通選択科目 1

基礎ゼミナール 1	2	外書講読・英 B	2
基礎ゼミナール 2	2	経営学 1	2
データ分析入門 1	2	経営学 2	2
データ分析入門 2	2	社会経済学 1	2
統計学 1	2	社会経済学 2	2
統計学 2	2	初級ミクロ経済学 1	2
経済数学入門	2	初級マクロ経済学 1	2
外書講読・英 A	2		

② 共通選択科目 2

中級簿記1	2	データ分析演習A	2
中級簿記2	2	データ分析演習B	2
ファイナンス基礎	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	6
経営分析論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8
経営分析論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6
金融論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
金融論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
景気変動論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
景気変動論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)	6
初級ミクロ経済学2	2	Japanese Economy1	2
初級マクロ経済学2	2	Japanese Economy2	2

Japanese Economic History1	2	Finance1	2
Japanese Economic History2	2	Finance2	2
Japanese Management1	2	Introductory English for Economic Issues1	2
Japanese Management2	2	Introductory English for Economic Issues2	2
Economics	2	Intermediate English for Economic Issues1	2
Statistics	2	Intermediate English for Economic Issues2	2
Accounting1	2	Economics Applied to Current Issues1	2
Accounting2	2	Economics Applied to Current Issues2	2

③学科選択科目

A アカウンティング

財務会計論 1	2	上級簿記 2	2
財務会計論 2	2	国際会計論 1	2
管理会計論 1	2	国際会計論 2	2
管理会計論 2	2	会計情報論 1	2
原価計算論 1	2	会計情報論 2	2
原価計算論 2	2	税務会計論	2
会計監査論 1	2	会計政策論	2
会計監査論 2	2	環境会計論	2
租税法 1	2	非営利会計論	2
租税法 2	2	会計史 1	2
上級簿記 1	2	会計史 2	2

B ファイナンス

コーポレートファイナンス 1	2	金融工学	2
コーポレートファイナンス 2	2	ポートフォリオ論	2
証券経済論	2	金融機関論	2
証券市場論	2	金融政策論	2
外国為替論	2	年金経済論	2
国際金融論	2	保険論	2
計量経済学 1	2	金融史	2
計量経済学 2	2		

C マネジメント

経営史 1	2	マーケティング論 1	2
経営史 2	2	マーケティング論 2	2
現代企業論 1	2	コーポレート・ガバナンス論 1	2
現代企業論 2	2	コーポレート・ガバナンス論 2	2
国際経営論 1	2	企業法 1	2
国際経営論 2	2	企業法 2	2

3 自由科目

① 自由選択科目 1

経済史 1	2	応用社会経済学 1	2
経済史 2	2	応用社会経済学 2	2
経済学史 1	2	中級ミクロ経済学	2
経済学史 2	2	中級マクロ経済学	2
経済統計学 1	2	公共経済学 1	2
経済統計学 2	2	公共経済学 2	2
日本経済論 1	2	数理経済学	2
日本経済論 2	2	社会思想史	2
国際経済論	2	現代社会思想	2
世界経済論	2	EU 経済論	2
日本経済史 1	2	地域経済統合論	2
日本経済史 2	2	中国経済論	2
経済政策論 1	2	中国経済政策論	2
経済政策論 2	2	国際政治経済学	2
財政学 1	2	ヨーロッパ経済史 1	2
財政学 2	2	ヨーロッパ経済史 2	2
国際貿易論	2	アジア経済史 1	2
国際経済政策論	2	アジア経済史 2	2

アメリカ経済史 1	2	データサイエンス概論	2
アメリカ経済史 2	2	統計調査論 1	2
産業経済論 1	2	統計調査論 2	2
産業経済論 2	2	調査実習	4
労働経済論 1	2	外書講読・独 A	2
労働経済論 2	2	外書講読・独 B	2
環境経済学 1	2	外書講読・仏 A	2
環境経済学 2	2	外書講読・仏 B	2
開発経済学	2	経済地理学 1	2
アジア経済論	2	経済地理学 2	2
アメリカ経済論	2	課題解決演習 A	2
アメリカ経済政策論	2	課題解決演習 B	2
租税論 1	2	課題解決演習 C	2
租税論 2	2	企画講座 1	2
地方財政論 1	2	企画講座 2	2
地方財政論 2	2	企画講座 3	2
社会政策論 1	2	企画講座 4	2
社会政策論 2	2	企画講座 5	2
農業経済論	2	企画講座 6	2
農業政策論	2	企画講座 7	2
都市政策論 1	2	インターンシップ	4
都市政策論 2	2	キャリアデザイン論	2
中小企業論 1	2	キャリアコンサルティング論	2
中小企業論 2	2	憲法 1	2
消費者政策論	2	憲法 2	2
生活経済論	2	民法 1	2
比較公共政策論 1	2	民法 2	2
比較公共政策論 2	2	経済法 1	2
社会開発論	2	経済法 2	2
医療経済論	2	行政学 1	2
福祉経済論	2	行政学 2	2
流通経済論	2	地方自治論	2
流通政策論	2	労働法	4
ゼミナール A	4	経済ビッグデータ解析入門	2
ゼミナール B	4	機械学習入門	2
ゼミナール(単年度)	4		

② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学 2	2
世界史	2	心理学 1	2
政治学	2	心理学 2	2
地誌学 1	2	宗教思想 1	2
地誌学 2	2	宗教思想 2	2
地理学概説 1	2	哲学概論 1	2
地理学概説 2	2	哲学概論 2	2
自然地理学 1	2		

4 随意科目

社会・公民科教育法 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
社会・公民科教育法 2	2	商業科教育法 1	2
社会・公民科教育法演習 1	2	商業科教育法演習 1	2

会計ファイナンス学科は、全学共通科目を 28 単位、専門教育必修科目を 12 単位、選択科目を 58 単位（共通選択科目 1 を 14 単位、共通選択科目 2 を 12 単位、学科選択科目を 32 単位）、自由科目を 26 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位数に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学

後の他大学認定科目における修得単位は8単位を上限とする。

(3) 経済政策学科専門教育科目

1 必修科目

① 必修科目

社会経済学入門	2	政策分析概論	2
ミクロ・マクロ経済学入門	2		

2 選択科目

① 基本選択科目

社会経済学1	2	初級ミクロ経済学2	2
社会経済学2	2	初級マクロ経済学1	2
初級ミクロ経済学1	2	初級マクロ経済学2	2

② 共通選択科目 1

基礎ゼミナール1	2	経済史2	2
基礎ゼミナール2	2	外書講読・英A	2
データ分析入門1	2	外書講読・英B	2
データ分析入門2	2	経営学1	2
統計学1	2	経営学2	2
統計学2	2	簿記1	2
経済数学入門	2	簿記2	2
経済史1	2		

③ 共通選択科目 2

経済政策論1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(CHN)	6
経済政策論2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(AUS)	6
財政学1	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(PHL)	4
財政学2	2	Short-term Study Abroad Program in Economics(MYS)	6
社会政策論1	2	Japanese Economy1	2
社会政策論2	2	Japanese Economy2	2
産業経済論1	2	Japanese Economic History1	2
産業経済論2	2	Japanese Economic History2	2
国際経済論	2	Japanese Management1	2
世界経済論	2	Japanese Management2	2
データ分析演習A	2	Economics	2
データ分析演習B	2	Statistics	2
金融論1	2	Accounting1	2
金融論2	2	Accounting2	2
日本経済論1	2	Finance1	2
日本経済論2	2	Finance2	2
経済統計学1	2	Introductory English for Economic Issues1	2
経済統計学2	2	Introductory English for Economic Issues2	2
計量経済学1	2	Intermediate English for Economic Issues1	2
計量経済学2	2	Intermediate English for Economic Issues2	2
データサイエンス概論	2	Economics Applied to Current Issues1	2
Short-term Study Abroad Program in Economics(USA)	6	Economics Applied to Current Issues2	2
Short-term Study Abroad Program in Economics(UK)	8		
Short-term Study Abroad Program in Economics(CAN)	6		

④ 学科選択科目

A 公共サービスと生活

租税論1	2	生活経済論	2
租税論2	2	比較公共政策論1	2
地方財政論1	2	比較公共政策論2	2
地方財政論2	2	公共経済学1	2
都市政策論1	2	公共経済学2	2
都市政策論2	2	医療経済論	2
環境経済学1	2	福祉経済論	2
環境経済学2	2	年金経済論	2
消費者政策論	2		

B 競争と規制

農業経済論	2	中小企業論1	2
農業政策論	2	中小企業論2	2

労働経済論1	2	現代企業論1	2
労働経済論2	2	現代企業論2	2
流通経済論	2	金融機関論	2
流通政策論	2	金融政策論	2
C グローバル化と地域			
国際貿易論	2	国際政治経済学	2
国際経済政策論	2	アメリカ経済論	2
開発経済学	2	アメリカ経済政策論	2
アジア経済論	2	EU経済論	2
外国為替論	2	地域経済統合論	2
国際金融論	2	中国経済論	2
社会開発論	2	中国経済政策論	2
D 政策と法			
憲法1	2	労働法	2
憲法2	2	民法1	2
経済法1	2	民法2	2
経済法2	2	企業法1	2
行政学1	2	企業法2	2
行政学2	2	租税法1	2
地方自治論	2	租税法2	2
3 自由科目			
① 自由選択科目 1			
経済学史1	2	国際会計論2	2
経済学史2	2	会計情報論1	2
日本経済史1	2	会計情報論2	2
日本経済史2	2	税務会計論	2
証券経済論	2	会計政策論	2
証券市場論	2	環境会計論	2
景気変動論1	2	非営利会計論	2
景気変動論2	2	会計史1	2
応用社会経済学1	2	会計史2	2
応用社会経済学2	2	コーポレートファイナンス1	2
中級ミクロ経済学	2	コーポレートファイナンス2	2
中級マクロ経済学	2	金融工学	2
数理経済学	2	ポートフォリオ論	2
社会思想史	2	保険論	2
現代社会思想	2	金融史	2
ヨーロッパ経済史1	2	国際経営論1	2
ヨーロッパ経済史2	2	国際経営論2	2
経営史1	2	マーケティング論1	2
経営史2	2	マーケティング論2	2
アジア経済史1	2	コーポレートガバナンス論1	2
アジア経済史2	2	コーポレートガバナンス論2	2
アメリカ経済史1	2	外書講読・独A	2
アメリカ経済史2	2	外書講読・独B	2
会計学1	2	外書講読・仏A	2
会計学2	2	外書講読・仏B	2
中級簿記1	2	ゼミナールA	4
中級簿記2	2	ゼミナールB	4
ファイナンス基礎	2	ゼミナール(単年度)	4
経営分析論1	2	統計調査論1	2
経営分析論2	2	統計調査論2	2
財務会計論1	2	調査実習	4
財務会計論2	2	経済地理学1	2
管理会計論1	2	経済地理学2	2
管理会計論2	2	課題解決演習A	2
原価計算論1	2	課題解決演習B	2
原価計算論2	2	課題解決演習C	2
会計監査論1	2	企画講座1	2
会計監査論2	2	企画講座2	2
上級簿記1	2	企画講座3	2
上級簿記2	2	企画講座4	2
国際会計論1	2	企画講座5	2

企画講座6	2	キャリアコンサルティング論	2
企画講座7	2	経済ビッグデータ解析入門	2
インターンシップ	4	機械学習入門	2
キャリアデザイン論	2		

② 自由選択科目 2

日本史	2	自然地理学1	2
世界史	2	自然地理学2	2
政治学	2	心理学1	2
地誌学1	2	心理学2	2
地誌学2	2	宗教思想1	2
地理学概説1	2	宗教思想2	2
地理学概説2	2	哲学概論1	2
		哲学概論2	2

4 随意科目

社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・公民科教育法 2	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法演習 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
社会・地理歴史科教育法演習 2	2	商業科教育法 1	2
社会・公民科教育法 1	2	商業科教育法演習 1	2

経済政策学科は、全学共通科目を 28 単位、専門教育必修科目を 6 単位、選択科目を 64 単位（基本選択科目を 4 単位、共通選択科目 1 を 16 単位、共通選択科目 2 を 16 単位、学科選択科目を 28 単位）、自由科目を 26 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

ただし、全学共通科目で卒業要件単位数を超えて修得した単位・自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 14 単位までを卒業要件単位数に算入することができる。なお、自由選択科目 2・他学部科目・4 大学間単位互換制度・入学後の他大学認定科目における修得単位は 8 単位を上限とする。

IV 理学部

*1 は 2023 年度以前入学者に適用

*2 は 2024 年度入学者に適用

(1) 数学科専門教育科目

1 必修科目

線形代数学入門	2	線形代数学 2	2
線形代数学入門演習	1	線形代数学 2 演習	1
集合と写像	2	群論入門	2
線形代数学 1	2	群論入門演習	1
線形代数学 1 演習	1	微分と積分 2	2
微分と積分入門	2	微分と積分 2 演習	1
微分と積分入門演習	1	微分と積分 3	2
微分と積分 1	2	微分と積分 3 演習	1
微分と積分 1 演習	1	数学講究	8 } 8
計算機入門 1	2	応用数学講究	
計算機入門 1 演習	1		
計算機入門 2	2		
計算機入門 2 演習	1		

2 選択科目

① 専門選択科目 1

代数学 1	2	解析学 1	2
代数学 1 演習	1	解析学 1 演習	1
代数学 2	2	解析学 2	2
代数学 2 演習	1	解析学 2 演習	1
幾何学 1	2	情報数理 1	2
幾何学 1 演習	1	情報数理 1 演習	1
幾何学 2	2	情報数理 2	2
幾何学 2 演習	1	情報数理 2 演習	1

② 専門選択科目2

代数学3	2	幾何学4	2
幾何学3	2	解析学4	2
解析学3	2	情報数理4	2
情報数理3	2	現代数学概論	2
代数学4	2		

③ 専門選択科目3

整数論入門	2	代数学諸論3	2
微分方程式入門	2	代数学諸論4	2
数学セミナー1	2	代数学諸論5	2
数学セミナー2	2	代数学諸論6	2
数学セミナー3	2	幾何学諸論1	2
数学セミナー4	2	幾何学諸論2	2
計算機1	2	幾何学諸論3	2
計算機2	2	幾何学諸論4	2
計算機3	2	幾何学諸論5	2
計算機4	2	幾何学諸論6	2
確率と統計1	2	解析学諸論1	2
確率と統計2	2	解析学諸論2	2
情報科学1	2	解析学諸論3	2
情報科学2	2	解析学諸論4	2
情報科学3	2	解析学諸論5	2
情報科学4	2	解析学諸論6	2
情報科学6	2	確率論諸論1	2
計算機諸論1	2	確率論諸論2	2
計算機諸論2	2	確率論諸論3	2
計算機諸論3	2	確率論諸論4	2
情報科学諸論1	2	統計数学諸論1	2
情報科学諸論2	2	統計数学諸論2	2
情報科学諸論3	2	統計数学諸論3	2
情報科学諸論4	2	統計数学諸論4	2
情報科学諸論6	2	科学英語1(数)	2
応用数学諸論1	2	科学英語2(数)	2
応用数学諸論2	2	物理学(数)	2
応用数学諸論3	2	線形代数学統論	2
応用数学諸論4	2	確率論序論1	2
応用数学諸論5	2	確率論序論3	2
応用数学諸論6	2	数理統計学序論1	2
代数学諸論1	2	数理統計学序論2	2
代数学諸論2	2	数理統計学序論3	2

④ 学部共通科目

理学とキャリア	2	地学概説	2
理数教育企画	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2
科学史	2	医学概論	2
数学ことはじめ	2	短期海外留学プログラム1	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム2	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム3	2
サイエンスコミュニケーション入門	2	短期海外留学プログラム4	2

3 自由科目

① 数学科自由科目

情報産業論	2	情報科学A	2
情報社会論	2	情報科学B	2
情報と倫理	2		

4 随意科目

*1 地学総合実験	1	共通教育ゼミナール2	2
共通教育ゼミナール1	2	数学科教育法1	2

数学科教育法 2	2	情報科教育法 1	2
数学科教育法演習 1	2	情報科教育法演習 1	2
数学科教育法演習 2	2	*2 理科総合実験	2

数学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 40 単位、選択科目を 26 単位（専門選択科目 1 を 12 単位、専門選択科目 2 を 2 単位、専門選択科目 3 を 8 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 34 単位以上、計 128 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した専門選択科目 1～3 及び学部共通科目の単位を算入することができる。また、数学科自由科目、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、指定単位数を超えて修得した総合系科目（全学共通）、並びに 4 大学間単位互換制度による他大学の科目から、合わせて 16 単位までを算入することができる。

(2) 物理学科専門教育科目

1 必修科目

物理学概論	2	電磁気学 1	2
熱力学	2	電磁気学 2	2
力学 1	2	物理数学 1	2
力学 2	2	物理数学 2	2
微分積分 1	2	物理学演習 1	1
微分積分 2	2	物理学演習 2	1
線形代数 1	2	物理数学演習	1
線形代数 2	2	基礎物理実験	2
基礎数学演習	1	量子力学 1	2
基礎物理学演習 1	1	統計力学 1	2
基礎物理学演習 2	1	統計力学演習 1	1
コンピュータ実験 1	1	物理学実験 1	4
コンピュータ実験 2	1	卒業研究 1	4
解析力学	2	卒業研究 2	4
波動と量子	2	量子力学演習 1	1

2 選択科目

① 専門選択科目 1

物理入門ゼミナール	2	理論物理学講究 1 (相対論)	2
物理計測論	2	理論物理学講究 2 (素粒子論)	2
流体力学	2	理論物理学講究 3 (宇宙論)	2
エレクトロニクス	2	理論物理学講究 5 (数理物理学)	2
情報処理	2	理論物理学講究 6 (統計物理学)	2
物理数学 3	2	原子核・放射線物理学講究 1 (原子核物理学)	2
宇宙物理概論	2	原子核・放射線物理学講究 3 (原子・分子物理学)	2
原子核概論	2	原子核・放射線物理学講究 4 (分子分光物理学)	2
惑星物理概論	2	原子核・放射線物理学講究 5 (ハドロン物理学)	2
原子・分子・光物理概論	2	宇宙地球系物理学講究 1 (宇宙放射線物理学)	2
素粒子概論	2	宇宙地球系物理学講究 7 (惑星大気物理学)	2
物性物理学	2	宇宙地球系物理学講究 8 (惑星物理学)	2
量子光学	2	宇宙地球系物理学講究 9	2
電磁気学 3	2	(高エネルギー宇宙物理学)	
物理学特別講義 1	2	研究所実習 (物)	2
物理学特別講義 2	2		

② 専門選択科目 2

化学 (物)	2	科学英語 2 (物)	2
生物学 (物)	2	*1 化学実験 (物)	1
科学英語 1 (物)	2	*1 生物学実験 (物)	1

③ 専門選択科目 3

量子力学 2	2	物理学実験 2	4
統計力学 2	2	量子力学・統計力学演習 2	1

④ 学部共通科目

理学とキャリア	2	理数教育企画	2
---------	---	--------	---

科学史	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2
数学ことはじめ	2	医学概論	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム 1	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム 2	2
サイエンスコミュニケーション入門	2	短期海外留学プログラム 3	2
地学概説	2	短期海外留学プログラム 4	2
*1 地学総合実験	1	理科総合実験	2

3 自由科目

4 随意科目

共通教育ゼミナール 1	2	理科教育法 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	理科教育法演習 1	2
理科教育法 1	2	理科教育法演習 2	2

物理学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 56 単位、選択科目を 24 単位（専門選択科目 1 を 12 単位、専門選択科目 2 を 4 単位、専門選択科目 3 を 4 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科学科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、並びに 4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

(3) 化学科専門教育科目

1 必修科目

物理化学入門	2	反応速度論	2
基礎化学実験	2	有機化学 2	2
有機化学入門	2	有機構造決定法	2
無機化学入門	2	分析化学入門	2
数学(化)	2	無機化学 1	2
分析化学 1	2	科学英語(化)	2
有機化学 1	2	化学実験 B	4
物理化学 1	2	化学実験 C	4
物理学 1(化)	2	輪講	2
化学実験 A	2	卒業研究	8
物理化学 2	2		

2 選択科目

① 専門選択科目

基礎物理学	2	天然物有機化学	2
化学ゼミナール	2	有機合成化学	2
生物学(化)	2	物性科学	2
物理学 2	2	物理化学 3	2
分析化学 2	2	錯体化学 2	2
情報科学(化)	2	分子軌道論	2
有機化学 3	2	高分子化学	2
無機化学 2	2	高分子物性	2
有機化学演習	2	化学の最前線	2
物理化学演習	2	研究実験 1	2
錯体化学 1	2	研究実験 2	2
分析化学 3	2	*1 物理学実験(化)	2
光物理化学	2	*1 生物学実験(化)	1
分子動力学論	2		

② 学部共通科目

理学とキャリア	2	知的財産権概論	2
理数教育企画	2	サイエンスコミュニケーション入門	2
科学史	2	地学概説	2
数学ことはじめ	2	*1 地学総合実験	1
科学の倫理	2	理学とビジネスリーダーシップ(BL4)	2

医学概論	2	短期海外留学プログラム 3	2
短期海外留学プログラム 1	2	短期海外留学プログラム 4	2
短期海外留学プログラム 2	2	理科総合実験	2

3 自由科目

4 随意科目

共通教育ゼミナール 1	2	理科教育法 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	理科教育法演習 1	2
理科教育法 1	2	理科教育法演習 2	2

化学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 52 単位、選択科目を 28 単位（専門選択科目を 24 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 16 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、並びに 4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

(4) 生命理学科専門教育科目

1 必修科目

生命理学概論	2	基礎化学	2
生物学序論	2	分子生物学 2	2
化学序論	2	生物物理学 1	2
基礎情報科学	2	分子細胞学 2	2
生命理学基礎実験	2	生命理学実験 1	5
生物化学 1	2	分子生物学 3	2
分子細胞学 1	2	分子細胞学 3	2
*1 物理学実験(生)	1	生命理学実験 2A	5
*1 化学実験(生)	1	生命理学実験 2B	5
分子生物学 1	2	卒業研究	8
生物化学 2	2	輪講	2

2 選択科目

① 専門選択科目 1

植物科学 1	2	分子発生生物学	2
動物科学	2	生命理学実験法	2
微生物科学	2	植物科学 2	2
生物物理学 2	2	科学英語 1(生)	2
分子神経学	2	生物統計学	2
分子免疫学	2		

② 専門選択科目 2

物理学 1 (生)	2	バイオテクノロジー	2
生命理学ゼミナール 1	2	科学英語 2(生)	2
物理学 2	2	バイオインフォマティクス	2
多様性の生物学	2	生命理学の最前線	2
生命理学ゼミナール 2	2	生命理学特別演習 1	1
生命倫理	2	生命理学特別演習 2	1

③ 学部共通科目

理学とキャリア	2	*1 地学総合実験	1
理数教育企画	2	理学とビジネスリーダーシップ (BL4)	2
科学史	2	医学概論	2
数学ことはじめ	2	短期海外留学プログラム 1	2
科学の倫理	2	短期海外留学プログラム 2	2
知的財産権概論	2	短期海外留学プログラム 3	2
サイエンスコミュニケーション入門	2	短期海外留学プログラム 4	2
地学概説	2	理科総合実験	2

3 自由科目

4 随意科目

共通教育ゼミナール 1	2	理科教育法 2	2
共通教育ゼミナール 2	2	理科教育法演習 1	2
理科教育法 1	2	理科教育法演習 2	2

生命理学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目必修科目を 55 単位、選択科目を 24 単位（専門選択科目 1 を 12 単位、専門選択科目 2 を 8 単位、学部共通科目を 4 単位）、自由科目を 17 単位以上、計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、理学部他学科科目、他学部科目、言語自由科目（全学共通）、並びに 4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

V 社会学部

A 社会学部共通科目

1 必修科目

社会学原論 1	2	社会調査法 2	2
社会学原論 2	2	基礎演習	2
社会調査法 1	2		

2 専門教育選択科目 1

① 社会学科科目

現代社会論	2	公共性の社会学	2
自己と他者の社会学	2	現代社会変動論	2
成熟社会論	2		

② 現代文化学科科目

文化の社会理論	2	環境社会論	2
都市社会論	2	現代文化論	2
グローバル社会論	2		

③ メディア社会学科科目

情報社会論	2	メディア・コミュニケーション論	2
メディア社会学	2	ジャーナリズム論	2

3 専門教育選択科目 2

① 領域横断科目

コミュニケーション論	2	教育社会学	2
ジェンダーの社会学	2	青年期の社会学	2
宗教社会学	2	職業選択・キャリア形成論	2
地域社会学	2	ダイバーシティとキャリア	2
現代社会と政策	2	現代社会研究 A	2
グローバリゼーション論	2	現代社会研究 B	2
消費社会論	2	現代社会研究 C	2
文化の社会学	2	現代社会研究 D	2
都市とメディア	2	現代社会研究 E	2
文化表象論	2	現代社会研究 F	2
流行論	2	Sociological Studies A	2
比較社会・文化論	2	Sociological Studies B	2
生命・身体社会学	2	Sociological Studies C	2
開発・発展の社会学	2	Sociological Studies D	2
「人間の安全保障」と NGO	2	社会学古典文献講読	2
紛争と和解・共生	2	災害の社会学	2
エスノメソドロジー	2		

② 社会調査科目

フィールドスタディーズ	2	多変量解析	2
社会統計学	2	社会調査演習	4
③ ソーシャルデータサイエンス系科目			
プログラミング基礎実習 B	2	ソーシャルデータサイエンス1基礎	2
プログラミング応用実習 B	2	ソーシャルデータサイエンス1発展	2
ソーシャルデータサイエンス概論	2	ソーシャルデータサイエンス2基礎	2
ソーシャルデータサイエンス実習1B	2	ソーシャルデータサイエンス2発展	2
④ 学部英語科目			
Introduction to Sociology A	2	Lecture & Discussion on Media and Communication C	2
Introduction to Sociology B	2		
Introduction to Sociology C	2	Lecture & Discussion on Media and Communication D	2
Introduction to Sociology D	2		
Introduction to Sociology E	2	Writing Academic English A	2
Lecture & Discussion Gender A	2	Writing Academic English B	2
Lecture & Discussion Gender B	2	Writing Academic English C	2
Lecture & Discussion Gender C	2	Writing Academic English D	2
Lecture & Discussion on Globalization A	2	Writing Academic English E	2
Lecture & Discussion on Globalization B	2	Global Study Program (Sydney)	6
Lecture & Discussion on Culture A	2	Principles of Sociology	2
Lecture & Discussion on Culture B	2	Global City	2
Lecture & Discussion on Culture C	2	International Relations	2
Lecture & Discussion on Culture D	2	Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	2
Lecture & Discussion on Media and Communication A	2	Global Sociology	2
Lecture & Discussion on Media and Communication B	2	Gender/Minority studies	2
		UN and International Organizations	2
		Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
4 自由科目			
① 隣接領域科目			
現代史	2	社会言語学	2
政治学 A(政治学理論)	2	科学技術論	2
政治学 B(現代政治)	2	数理科学	2
現代経済	2	国際政治と紛争	2
国際関係論	2	国際政治	2
社会心理学	2	社会認識と哲学	2
文化人類学	2	情報社会と倫理	2
② その他			
自主講座			
B 各学科専門教育科目			
(1) 社会学科専門教育科目			
1 必修科目			
専門演習 1	2		
2 専門教育選択科目 1			
<中級調査法科目>			
データ分析法	2	質的研究法	2
<演習>			
専門演習 2A	2	専門演習 2B	2

<卒業論文>			
卒業論文演習 1	2	卒業論文	8
卒業論文演習 2	2		
<卒業研究>			
卒業研究 1	2	卒業研究 2	2
3 専門教育選択科目 2			
<理論と方法領域>			
社会学理論	2	シミュレーションの社会学	2
社会学史	2	データ対話型分析法	2
計量社会学	2		
<自己と関係領域>			
アイデンティティ論	2	差別と偏見の社会学	2
相互行為論	2	セクシュアリティの社会学	2
逸脱の社会学	2		
<生活と人生領域>			
家族社会学	2	保健・医療の社会学	2
ライフコース論	2	少子・高齢社会論	2
共生社会論	2		
<公共性と政策領域>			
福祉の社会学	2	公共政策とガバナンス	2
平等と公正	2	NPO/NGOの社会学	2
社会問題の社会学	2		
<構造と変動領域>			
労働社会学	2	社会人口学	2
社会階層論	2	歴史社会学	2
社会運動論	2		
<その他>			
寄附講座	4		
4 自由科目			
<隣接科目>			
哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		
5 随意科目			
社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

社会学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 12 単位（社会学部共通科目から 10 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教

育選択科目1を14単位(うち自学科科目から6単位), 学科科目から16単位(演習4単位, 卒業論文12単位)の計30単位, 卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目1を14単位(うち自学科科目から6単位), 学科科目から卒業研究を4単位の計18単位, 専門教育選択科目2を, 卒業論文による卒業の場合には22単位, 卒業研究による卒業の場合に34単位, そして自由科目を32単位以上, 合計124単位以上を修得しなければならない。ただし, 両者とも, 卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目1・2, 隣接領域科目及び隣接科目(制限なし), 社会学部他学科科目(32単位まで), 次のもの【他学部科目, 4大学間単位互換制度による他大学の科目, 指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて16単位まで, 及び留学単位認定科目(12単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

(2) 現代文化学科専門教育科目

1 必修科目

<演習>

専門演習1 2

2 専門教育選択科目1

<中級調査法科目>

データ分析法 2 質的研究法 2

<演習>

専門演習2A 2 専門演習2B 2

<卒業論文>

卒業論文演習1 2 卒業論文 8

卒業論文演習2 2

<卒業研究>

卒業研究1 2 卒業研究2 2

3 専門教育選択科目2

<都市とコミュニティ領域>

都市社会構造論 2 まちづくり論 2

グローバル都市論 2 都市生活誌 2

都市マイノリティ論 2 都市文化論 2

都市コミュニティ論 2

<グローバル化とエスニシティ領域>

文化変容論 2 国際社会学 2

エスニシティ論 2 民族文化誌 2

マイグレーション論 2 エスノグラフィー論 2

多文化の社会理論 2

<環境とエコロジー領域>

環境と文化 2 自然環境保全論 2

くらしの環境史 2 環境政策論 2

環境の思想 2 環境と人類 2

環境教育論 2

<価値とライフスタイル領域>

消費文化論 2 セラピー文化論 2

アートの社会学 2 写真文化論 2

パフォーマンス文化論 2 生活文化論 2

ポピュラーカルチャー論 2

<その他>

寄附講座 2

4 自由科目

<隣接科目>

哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		

5 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

現代文化学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 12 単位（社会学部共通科目から 10 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から 16 単位（演習 4 単位、卒業論文 12 単位）の計 30 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 18 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 22 単位、卒業研究による卒業の場合に 34 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2、隣接領域科目及び隣接科目（制限なし）、社会学部他学科科目（32 単位まで）、次のもの【他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目（12 単位まで）を自由科目の単位として算入することができる。

(3) メディア社会学科専門教育科目

1 必修科目

専門演習 1 2

2 専門教育選択科目 1

<中級調査法科目>

データ分析法 2 質的研究法 2

<演習>

専門演習 2A 2 専門演習 2B 2

<卒業論文>

卒業論文演習 1 2 卒業論文 8
卒業論文演習 2 2

<卒業研究>

卒業研究 1 2 卒業研究 2 2

3 専門教育選択科目 2

<社会システムとテクノロジー領域(領域展開科目)>

メディア・テクノロジー・社会 2 メディア産業論 2

<社会システムとテクノロジー領域(領域応用科目)>

コミュニケーション政策論 2 グローバル・コミュニケーション論 2

リスク・コミュニケーション論	2	視覚文化論	2
出版産業論	2	メディアとスポーツ	2
＜生活世界の経験と歴史領域(領域展開科目)＞			
メディア史	2	メディア素養論	2
＜生活世界の経験と歴史領域(領域応用科目)＞			
オーディエンス論	2	映像メディア論	2
若者とメディア	2	広告・PR論	2
音楽社会学	2	メディア・環境・コミュニティ	2
災害情報論	2		
＜ジャーナリズムと公共性領域(領域展開科目)＞			
情報法	2	比較ジャーナリズム史	2
＜ジャーナリズムと公共性領域(領域応用科目)＞			
ニュースの社会学 1	2	ニュースの社会学 5	2
ニュースの社会学 2	2	ニュースの社会学 6	2
ニュースの社会学 3	2	世論調査論	2
ニュースの社会学 4	2		
＜実習・実践科目クラスター＞			
メディア・調査実習入門1～4	2	メディア社会特殊講義(3)	2
メディア・調査実習応用1～6	2	メディア社会特殊講義(4)	2
メディア・調査実習入門5～6	2	メディア社会特殊講義(5)	2
メディアインターンシップ入門	2	メディア社会特殊講義(6)	2
メディア社会特殊講義(1)	2	立教メディア学	2
メディア社会特殊講義(2)	2	寄附講座	2

4 自由科目

＜隣接科目＞

哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		

5 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

メディア社会学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目を 12 単位（社会学部共通科目から 10 単位、学科科目から 2 単位）、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から 16 単位（演習 4 単位、卒業論文 12 単位）の計 30 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位（うち自学科科目から 6 単位）、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 18 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 22 単位、卒業研究による卒業の場合に 34 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2、隣接領域科目及び隣接科目（制限なし）、社会学部他学科科目(32 単位まで)、次のもの【他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目(12 単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

C 国際社会コース

1 必修科目

<社会学部共通科目>

社会学原論 1	2	社会調査法 2	2
社会学原論 2	2	基礎演習	2
社会調査法 1	2		

<学科科目>

Reading Sociology in English	2		
------------------------------	---	--	--

2 専門教育選択科目 1

<社会学部共通科目>

現代社会論	2	グローバル社会論	2
自己と他者の社会学	2	環境社会論	2
成熟社会論	2	現代文化論	2
公共性の社会学	2	情報社会論	2
現代社会変動論	2	メディア社会学	2
文化の社会理論	2	メディア・コミュニケーション論	2
都市社会論	2	ジャーナリズム論	2

<中級調査法科目>

データ分析法	2	質的研究法	2
--------	---	-------	---

<演習>

専門演習 2A	2	専門演習 2B	2
---------	---	---------	---

<卒業論文>

卒業論文演習 1	2	卒業論文	8
卒業論文演習 2	2		

<卒業研究>

卒業研究 1	2	卒業研究 2	2
--------	---	--------	---

3 専門教育選択科目 2(コース指定選択科目)

<社会学部共通科目(領域横断科目)>

グローバリゼーション論	2	Sociological Studies A	2
消費社会論	2	Sociological Studies B	2
流行論	2	Sociological Studies C	2
比較社会・文化論	2	Sociological Studies D	2
開発・発展の社会学	2	Global Study Program (Sydney)	6
「人間の安全保障」とNGO	2	Principles of Sociology	2
紛争と和解・共生	2	Global City	2
職業選択・キャリア形成論	2	International Relations	2
ダイバーシティとキャリア	2	Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	2
現代社会研究 A	2	Global Sociology	2
現代社会研究 B	2	Gender/Minority studies	2
現代社会研究 C	2	UN and International Organizations	2
現代社会研究 D	2	Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
現代社会研究 E	2		
現代社会研究 F	2		

<社会学部共通科目(隣接領域科目)>

国際関係論	2	文化人類学	2
-------	---	-------	---

<社会学部共通科目(社会調査科目)>

社会統計学	2	社会調査演習	4
多変量解析	2		

<社会学科科目>

少子・高齢社会論	2	社会階層論	2
共生社会論	2	社会運動論	2
公共政策とガバナンス	2	平等と公正	2
家族社会学	2	NPO/NGO の社会学	2
労働社会学	2	社会人口学	2
逸脱の社会学	2		

<現代文化学科科目>

国際社会学	2	グローバル都市論	2
消費文化論	2	都市マイノリティ論	2
民族文化誌	2	マイグレーション論	2
文化変容論	2	多文化の社会理論	2
エスニシティ論	2	アートの社会学	2
環境教育論	2	ポピュラーカルチャー論	2
エスノグラフィー論	2		

<メディア社会学科科目>

ニュースの社会学 1	2	比較ジャーナリズム史	2
若者とメディア	2	オーディエンス論	2
情報法	2	出版産業論	2
ニュースの社会学 2	2	視覚文化論	2
リスク・コミュニケーション論	2	メディア・環境・コミュニティ	2
グローバルコミュニケーション論	2	メディアとスポーツ	2

4 専門教育選択科目 3

<Introduction to Sociology>

Introduction to Sociology A	2	Introduction to Sociology D	2
Introduction to Sociology B	2	Introduction to Sociology E	2
Introduction to Sociology C	2		

<Lecture & Discussion>

Lecture & Discussion on Gender A	2	Lecture & Discussion on Media and Communication A	2
Lecture & Discussion on Gender B	2		
Lecture & Discussion on Gender C	2	Lecture & Discussion on Media and Communication B	2
Lecture & Discussion on Globalization A	2		
Lecture & Discussion on Globalization B	2	Lecture & Discussion on Media and Communication C	2
Lecture & Discussion on Culture A	2		
Lecture & Discussion on Culture B	2	Lecture & Discussion on Media and Communication D	2
Lecture & Discussion on Culture C	2		
Lecture & Discussion on Culture D	2		

<Writing Academic English>

Writing Academic English A	2	Writing Academic English D	2
Writing Academic English B	2	Writing Academic English E	2
Writing Academic English C	2		

5 自由科目

① コース指定自由科目(社会学部)共通科目

<領域横断科目>

コミュニケーション論	2	地域社会学	2
ジェンダーの社会学	2	現代社会と政策	2
宗教社会学	2	文化の社会学	2

都市とメディア	2	教育社会学	2
文化表象論	2	青年期の社会学	2
生命・身体社会学	2	社会学古典文献講読	2
エスノメソドロジー	2	災害社会学	2
＜社会調査科目＞			
フィールドスタディーズ	2		
＜ソーシャルデータサイエンス系科目＞			
プログラミング基礎実習 B	2	ソーシャルデータサイエンス1基礎	2
プログラミング応用実習 B	2	ソーシャルデータサイエンス1発展	2
ソーシャルデータサイエンス概論	2	ソーシャルデータサイエンス2基礎	2
ソーシャルデータサイエンス実習1B	2	ソーシャルデータサイエンス2発展	2
＜隣接領域科目＞			
現代史	2	科学技術論	2
政治学 A(政治学理論)	2	数理科学	2
政治学 B(現代政治)	2	国際政治と紛争	2
現代経済	2	国際政治	2
社会心理学	2	社会認識と哲学	2
社会言語学	2	情報社会と倫理	2
② コース指定自由科目 (学科科目)			
社会学理論	2	写真文化論	2
社会学史	2	生活文化論	2
計量社会学	2	メディア・テクノロジー・社会	2
シミュレーションの社会学	2	コミュニケーション政策論	2
データ対話型分析法	2	災害情報論	2
アイデンティティ論	2	メディア産業論	2
相互行為論	2	メディア史	2
差別と偏見の社会学	2	ニュースの社会学 3	2
セクシュアリティの社会学	2	ニュースの社会学 4	2
ライフコース論	2	ニュースの社会学 5	2
保健・医療の社会学	2	ニュースの社会学 6	2
福祉の社会学	2	映像メディア論	2
社会問題の社会学	2	広告・PR 論	2
歴史社会学	2	音楽社会学	2
都市社会構造論	2	メディア素養論	2
都市コミュニティ論	2	世論調査論	2
まちづくり論	2	メディア社会特殊講義(1)	2
都市生活誌	2	メディア社会特殊講義(2)	2
都市文化論	2	メディア社会特殊講義(3)	2
環境と文化	2	メディア社会特殊講義(4)	2
くらしの環境史	2	メディア社会特殊講義(5)	2
環境の思想	2	メディア社会特殊講義(6)	2
自然環境保全論	2	メディア・調査実習入門1～4	2
環境政策論	2	メディア・調査実習応用1～6	2
環境と人類	2	メディア・調査実習入門5～6	2
パフォーマンス文化論	2	メディアインターンシップ入門	2
セラピー文化論	2	立教メディア学	2
＜その他＞			
寄附講座	2		
③ 自由科目(隣接科目)			
哲学概論 1	2	哲学概論 2	2

宗教思想 1	2	地理学概説 1	2
宗教思想 2	2	地理学概説 2	2
世界史概論 1	2	地誌学 1	2
世界史概論 2	2	地誌学 2	2
日本史概論 1	2	心理学 1	2
日本史概論 2	2	心理学 2	2
世界史	2	国際政治	4
日本史	2		

6 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

国際社会コースは、全学共通科目 28 単位、必修科目を 12 単位(社会学部共通科目から 10 単位、学科科目から 2 単位)、選択科目を、卒業論文による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位、学科科目から 16 単位(演習 4 単位、卒業論文 12 単位)の計 30 単位、卒業研究による卒業の場合には社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 14 単位、学科科目から卒業研究を 4 単位の計 18 単位、専門教育選択科目 2 を、卒業論文による卒業の場合には 10 単位、卒業研究による卒業の場合に 22 単位、専門教育選択科目 3 を 12 単位、そして自由科目を 32 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2・3、コース指定自由科目及び隣接科目(制限なし)、次のもの【他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目(12 単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

D ソーシャルデータサイエンスコース

1 必修科目

<社会学部共通科目>

社会学原論 1	2	社会調査法 2	2
社会学原論 2	2	基礎演習	2
社会調査法 1	2		

<学科科目>

専門演習 1	2	データ分析法	2
--------	---	--------	---

<ソーシャルデータサイエンス系講義科目>

ソーシャルデータサイエンス概論	2	メディア・コミュニケーション論	2
情報社会論	2		

<ソーシャルデータサイエンス系演習科目>

プログラミング基礎実習 A	2	ソーシャルデータサイエンス実習 1A	2
プログラミング応用実習 A	2	ソーシャルデータサイエンス実習 2	2

2 専門教育選択科目 1

<社会学部共通科目>

現代社会論	2	都市社会論	2
自己と他者の社会学	2	グローバル社会論	2
成熟社会論	2	環境社会論	2
公共性の社会学	2	現代文化論	2
現代社会変動論	2	メディア社会学	2
文化の社会理論	2	ジャーナリズム論	2

<演習>

専門演習 2A	2		
---------	---	--	--

専門演習 2B	2		
＜卒業論文＞			
卒業論文演習 1	2	卒業論文	8
卒業論文演習 2	2		

3 専門教育選択科目 2(コース指定選択科目)

＜社会調査科目＞

社会統計学	2	フィールドスタディーズ	2
多変量解析	2	データ対話型分析法	2
社会調査演習	4	質的研究法	2
計量社会学	2		

＜ソーシャルデータサイエンス系講義科目＞

ソーシャルデータサイエンス1基礎	2	ソーシャルデータサイエンス2基礎	2
ソーシャルデータサイエンス1発展	2	ソーシャルデータサイエンス2発展	2

＜社会と技術関連科目＞

社会認識と哲学	2	シミュレーションの社会学	2
情報社会と倫理	2	コミュニケーション政策論	2
科学技術論	2	災害情報論	2
メディア・テクノロジー・社会	2		
メディア素養論	2		

4 自由科目 コース指定自由科目(共通科目)

＜領域横断科目＞

コミュニケーション論	2	教育社会学	2
ジェンダーの社会学	2	青年期の社会学	2
宗教社会学	2	職業選択・キャリア形成論	2
地域社会学	2	ダイバーシティとキャリア	2
現代社会と政策	2	現代社会研究 A	2
グローバリゼーション論	2	現代社会研究 B	2
消費社会論	2	現代社会研究 C	2
文化の社会学	2	現代社会研究 D	2
都市とメディア	2	現代社会研究 E	2
文化表象論	2	現代社会研究 F	2
流行論	2	社会学古典文献購読	2
比較社会・文化論	2	災害の社会学	2
生命・身体社会学	2	Sociological Studies A	2
開発・発展の社会学	2	Sociological Studies B	2
「人間の安全保障」と NGO	2	Sociological Studies C	2
紛争と和解・共生	2	Sociological Studies D	2
エスノメソドロジー	2		

＜社会学部共通科目(学部英語科目)＞

Introduction to Sociology A	2	Lecture & Discussion on Culture A	2
Introduction to Sociology B	2	Lecture & Discussion on Culture B	2
Introduction to Sociology C	2	Lecture & Discussion on Culture C	2
Introduction to Sociology D	2	Lecture & Discussion on Culture D	2
Introduction to Sociology E	2	Lecture & Discussion on Media and Communication A	2
Lecture & Discussion on Gender A	2		
Lecture & Discussion on Gender B	2	Lecture & Discussion on Media and Communication B	2
Lecture & Discussion on Gender C	2		
Lecture & Discussion on Globalization A	2	Lecture & Discussion on Media and Communication C	2
Lecture & Discussion on Globalization B	2		

Lecture & Discussion on Media and Communication D	2	Global City	2
Writing Academic English A	2	International Relations	2
Writing Academic English B	2	Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	2
Writing Academic English C	2	Global Sociology	2
Writing Academic English D	2	Gender/Minority studies	2
Writing Academic English E	2	UN and International Organizations	2
Global Study Program (Sydney)	6	Area Studies - Africa, Islam and Asia	2
Principles of Sociology	2		

<隣接領域科目>

現代史	2	文化人類学	2
政治学 A(政治学理論)	2	社会言語論	2
政治学 B(現代政治)	2	数理科学	2
現代経済	2	国際政治と紛争	2
国際関係論	2	国際政治	2
社会心理学	2		

<その他>

自主講座	2		
------	---	--	--

5 コース指定自由科目(学科科目)

<社会学科科目>

社会学理論	2	少子・高齢社会論	2
社会学史	2	福祉の社会学	2
アイデンティティ論	2	平等と公平	2
相互行為論	2	社会問題の社会学	2
逸脱の社会学	2	公共政策とガバナンス	2
差別と偏見の社会学	2	NPO/NGO の社会学	2
セクシュアリティの社会学	2	労働社会学	2
家族社会学	2	社会階層論	2
ライフコース論	2	社会運動論	2
共生社会論	2	社会人口学	2
保険・医療の社会学	2	歴史社会学	2

<現代文化学科科目>

都市社会構造論	2	環境と文化	2
グローバル都市論	2	くらしの環境史	2
都市マイノリティ論	2	環境の思想	2
都市コミュニティ論	2	環境教育論	2
まちづくり論	2	自然環境保全論	2
都市生活誌	2	環境政策論	2
都市文化論	2	環境と人類	2
文化変容論	2	消費文化論	2
エスニシティ論	2	アートの社会学	2
マイグレーション論	2	パフォーマンス文化論	2
多文化の社会理論	2	ポピュラーカルチャー論	2
国際社会学	2	セラピー文化論	2
民族文化誌	2	写真文化論	2
エスノグラフィー論	2	生活文化論	2

<メディア社会学科科目>

メディア産業論	2	出版産業論	2
グローバルコミュニケーション論	2	視覚文化論	2
リスク・コミュニケーション論	2	メディアとスポーツ	2

メディア史	2	ニュースの社会学 6	2
オーディエンス論	2	世論調査論	2
若者とメディア	2	メディア・調査実習入門1～4	2
音楽社会学	2	メディア・調査実習応用1～6	2
映像メディア論	2	メディア・調査実習入門5～6	2
広告・PR論	2	メディア社会特殊講義(1)	2
メディア・環境・コミュニティ	2	メディア社会特殊講義(2)	2
情報法	2	メディア社会特殊講義(3)	2
比較ジャーナリズム史	2	メディア社会特殊講義(4)	2
ニュースの社会学 1	2	メディア社会特殊講義(5)	2
ニュースの社会学 2	2	メディア社会特殊講義(6)	2
ニュースの社会学 3	2	メディアインターンシップ入門	2
ニュースの社会学 4	2	立教メディア学	2
ニュースの社会学 5	2		
<その他>			
寄附講座	2		

③ 自由科目(隣接科目)

哲学概論 1	2	日本史	2
哲学概論 2	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	地誌学 1	2
世界史概論 1	2	地誌学 2	2
世界史概論 2	2	心理学 1	2
日本史概論 1	2	心理学 2	2
日本史概論 2	2	国際政治	4
世界史	2		

6 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

ソーシャルデータサイエンスコースは、全学共通科目 28 単位、必修科目を 28 単位(社会学部共通科目から 24 単位、学科科目から 4 単位)、選択科目を、社会学部共通科目から専門教育選択科目 1 を 8 単位、学科科目から 16 単位(演習4単位、卒業論文 12 単位)の計 24 単位、専門教育選択科目 2 を、コース指定選択科目(社会調査科目)から 2 単位、コース指定選択科目(SDS 系講義科目)から 4 単位、コース指定選択科目(社会と技術関連科目)から 4 単位、そして自由科目を 34 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、両者とも、卒業要件単位を超えて修得した専門教育選択科目 1・2・3、コース指定自由科目及び隣接科目(制限なし)、次のもの【他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目、指定を超えて修得した全学共通科目】をあわせて 16 単位まで、及び留学単位認定科目(12 単位まで)を自由科目の単位として算入することができる。

VI 法学部

(1) 法学科専門教育科目

1 選択科目

① 法学科A

法学入門	2	刑法(2)	4
政治学入門	2	商法(1)	4
憲法(1)	4	商法(2)	2
憲法(2)	2	比較憲法	2
民法(1)	2	行政法 1	4
民法(2)	4	行政法 2	4
民法(3)	2	国際法 1	4
刑法(1)	4	国際法 2	4

民事訴訟法(1)	4	法社会学 1	2
民事訴訟法(2)	2	法社会学 2	2
労働法	4	刑事訴訟法	4
刑事学	4	民事執行・保全法	2
法哲学	4		
② 法学科 B 演習系科目 演習論文			
社会調査法	2	法学特殊講義 (Constitutional Law B)	2
民法(4)	4	法学特殊講義 (Comparative Family Law)	2
商法(3)	2	法学特殊講義 (立法学)	2
商法(4)	2	法学特殊講義 (企業のビジネス戦略と契約実務)	2
金融取引法 1	2	法学特殊講義 (Comparative Contract Law)	2
金融取引法 2	2	法学特殊講義 (Law & Economics)	2
倒産法	2	法学特殊講義 (Criminal Procedure)	2
国際民事手続法	2	法学特殊講義 (西オーストラリア大学短期研修)	4
国際私法(1)	2	現代政治理論	4
国際私法(2)	2	国際政治	4
国際ビジネス法総合・基礎	2	環境政治	2
国際ビジネス法総合 1A	2	行政学 1	2
国際ビジネス法総合 1B	2	行政学 2	2
国際ビジネス法総合 2	2	日本政治論	4
環境法 1	2	ヨーロッパ政治論	4
環境法 2	2	アメリカ政治論	4
少年法	2	アジア政治論	4
社会保障法	2	日本政治史	4
経済法 1	2	日本政治思想史(1)	2
経済法 2	2	日本政治思想史(2)	2
国際経済法 1	2	欧州政治思想史	4
国際経済法 2	2	政治過程論 1	2
租税法 1	2	政治過程論 2	2
租税法 2	2	比較政治理論	2
知的財産法	4	公共政策論	2
英米法 1	2	地方自治	2
英米法 2	2	比較政治 1	2
比較法	2	比較政治 2	2
外国法(中国法)	2	比較政治 3	2
外国法(フランス法)	2	日本外交論	2
外国法(ドイツ法)	2	国際政治史	2
法制史(西洋法制史)	2	平和研究	2
法制史(東洋法制史)	2	政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多角的分析)	2
法制史(日本法制史)	2	政治学特殊講義(地方創生—理論と実践)	2
法政ゲートウェイ講義(公務入門)	2	政治学特殊講義(政治とマスメディア)	2
法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	2	会計学	4
法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	2	財政学	4
法政ゲートウェイ講義(法学部生と海外学修)	2	社会政策論	4
法政ゲートウェイ講義(金融入門)	2	経済原論	4
法学特殊講義(ITと法)	2	統計学	4
法学特殊講義(国際環境法)	2	社会科学情報処理	2
法学特殊講義(子ども法—理論と実践)	2	キャリア意識の形成	2
法学特殊講義(多文化共生と法—理論と実践)	2	法学部合同講義	6
法学特殊講義(Securities Regulations)	2	法学部特別講義	2
法学特殊講義(信託法)	2	キャリアデザイン—インターンシップを通じた学修	2
法学特殊講義(金融商品取引法)	2	自治体長期インターンシップ	2
法学特殊講義(地方自治法)	2	海外研究論文	4
法学特殊講義(スポーツと法)	2	Negotiation Basics	2
法学特殊講義 (Constitutional Law A)	2		

Introduction to Legal Studies A	2	実践演習2B(法務)	2
Introduction to Legal Studies B	2	実践演習3A(法務)	2
Contract A	2	実践演習3B(法務)	2
Contract B	2	実践演習2A(法律相談)	2
Torts	2	実践演習2B(法律相談)	2
Dispute Resolution	2	実践演習2A(企業法務)	2
Civil Procedure	2	実践演習2B(企業法務)	2
Moot Court	2	実践演習3A(企業法務)	2
Corporate Law A	2	実践演習3B(企業法務)	2
Corporate Law B	2	実践演習2A(国際ビジネス)	2
International Business Law A	2	実践演習2B(国際ビジネス)	2
International Business Law B	2	実践演習3A(国際ビジネス)	2
International Business Law C	2	実践演習3B(国際ビジネス)	2
Cross-Border Litigation	2	実践演習2A(金融)	2
Anglo-American Law A	2	実践演習2B(金融)	2
Anglo-American Law B	2	実践演習3A(金融)	2
Labor Law	2	実践演習 3B(金融)	2
Property	2	実践演習 2A(公務)	2
Intellectual Property Law	2	実践演習 2B(公務)	2
Fiduciary Law	2	実践演習 3A(公務)	2
Financial Law	2	実践演習 3B(公務)	2
Advanced Legal Writing	2	実践演習 2A(メディア)	2
基礎文献講読	2	実践演習 2B(メディア)	2
法学基礎演習	2	実践演習 3A(メディア)	2
政治学基礎演習	2	実践演習 3B(メディア)	2
公務基礎演習	2	憲法発展演習	2
演習	2	行政法発展演習	2
演習	4	民法発展演習	2
2年次演習 A	2	商法発展演習	2
2年次演習 B	2	民事訴訟法発展演習	2
法政外国語演習	2	刑法発展演習	2
SeminarA	2	刑事訴訟法発展演習	2
SeminarB	2	演習論文	2
実践演習2A(法務)	2		
③ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	哲学概論 2	2
日本史概説	2	地理学概説 1	2
世界史概説	2	地理学概説 2	2
宗教思想 1	2	自然地理学 1	2
宗教思想 2	2	自然地理学 2	2
哲学の人間学	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
倫理思想	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2
地誌学 2	2	社会・公民科教育法 1	2
心理学 1	2	社会・公民科教育法 2	2
心理学 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
哲学概論 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
④ 法学部言語科目【随意科目】			
法政日本語演習 A	2	法政日本語演習 B	2

法学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 80 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超過して修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・4 大学間単位互換制度の各科目から 16 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

(2) 政治学科専門教育科目

1 選択科目

① 政治学科A

法学入門	2	日本政治思想史(2)	2
政治学入門	2	欧州政治思想史	4
憲法(1)	4	政治過程論 1	2
憲法(2)	2	政治課程論 2	2
民法概論	4	比較政治理論	2
現代政治理論	4	比較憲法	2
国際政治	4	地方自治	2
行政学 1	2	比較政治 1	2
行政学 2	2	比較政治 2	2
日本政治論	4	比較政治 3	2
ヨーロッパ政治論	4	国際法 1	4
アメリカ政治論	4	国際法 2	4
アジア政治論	4	労働法	4
日本政治史	4		
日本政治思想史(1)	2		

② 政治学科B 演習系科目 演習論文

民法(1)	4	国際私法(2)	2
民法(2)	4	国際ビジネス法総合・基礎	2
民法(3)	2	国際ビジネス法総合 1A	2
民法(4)	4	国際ビジネス法総合 1B	2
刑法(1)	4	国際ビジネス法総合 2	2
刑法(2)	4	刑事訴訟法	4
環境法 1	2	刑事学	4
環境法 2	2	少年法	2
経済原論	4	社会保障法	2
統計学	4	経済法 1	2
社会調査法	2	経済法 2	2
環境政治	2	国際経済法 1	2
公共政策論	2	国際経済法 2	2
日本外交論	2	租税法 1	2
国際政治史	2	租税法 2	2
平和研究	2	知的財産法	4
政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多角的分析)	2	英米法 1	2
政治学特殊講義(地方創生—理論と実践)	2	英米法 2	2
政治学特講(政治とマスメディア)	2	法哲学	4
行政法 1	4	法社会学 1	2
行政法 2	4	法社会学 2	2
商法(1)	4	比較法	2
商法(2)	2	外国法(中国法)	2
商法(3)	2	外国法(フランス法)	2
商法(4)	2	外国法(ドイツ法)	2
金融取引法 1	2	法制史(西洋法制史)	2
金融取引法 2	2	法制史(東洋法制史)	2
民事訴訟法(1)	4	法制史(日本法制史)	2
民事訴訟法(2)	2	法政ゲートウェイ講義(公務入門)	2
国際民事手続法	2	法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	2
倒産法	2	法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	2
民事執行・保全法	2	法政ゲートウェイ講義(法学部生と海外学修)	2
国際私法(1)	2	法政ゲートウェイ講義(金融入門)	2
		法学特殊講義(ITと法)	2

法学特殊講義(国際環境法)	2	Advanced Legal Writing	2
法学特殊講義(子ども法—理論と実践)	2	基礎文献講読	2
法学特殊講義(多文化共生と法—理論と実践)	2	法学基礎演習	2
法学特殊講義(Securities Regulations)	2	政治学基礎演習	2
法学特殊講義(信託法)	2	公務基礎演習	2
法学特殊講義(金融商品取引法)	2	演習	2
法学特殊講義(地方自治法)	2	演習	4
法学特殊講義(スポーツと法)	2	2年次演習 A	2
法学特殊講義(Constitutional Law A)	2	2年次演習 B	2
法学特殊講義(Constitutional Law B)	2	法政外国語演習	2
法学特殊講義(Comparative Family Law)	2	SeminarA	2
法学特殊講義(立法学)	2	SeminarB	2
法学特殊講義(企業のビジネス戦略と契約実務)	2	公務実践演習	2
法学特殊講義(Comparative Contract Law)	2	実践演習2A(法務)	2
法学特殊講義(Law & Economics)	2	実践演習2B(法務)	2
法学特殊講義(Criminal Procedure)	2	実践演習3A(法務)	2
法学特殊講義(西オーストラリア大学短期研修)	4	実践演習3B(法務)	2
会計学	4	実践演習2A(法律相談)	2
財政学	4	実践演習2B(法律相談)	2
社会政策論	4	実践演習2A(企業法務)	2
社会科学情報処理	2	実践演習2B(企業法務)	2
キャリア意識の形成	2	実践演習3A(企業法務)	2
法学部合同講義	6	実践演習3B(企業法務)	2
法学部特別講義	2	実践演習2A(国際ビジネス)	2
キャリアデザイナーインターンシップを通じた学修	2	実践演習2B(国際ビジネス)	2
自治体長期インターンシップ	2	実践演習3A(国際ビジネス)	2
海外研究論文	4	実践演習3B(国際ビジネス)	2
Negotiation Basics	2	実践演習2A(金融)	2
Introduction to Legal Studies A	2	実践演習2B(金融)	2
Introduction to Legal Studies B	2	実践演習3A(金融)	2
Contract A	2	実践演習 3B(金融)	2
Contract B	2	実践演習 2A(公務)	2
Torts	2	実践演習 2B(公務)	2
Dispute Resolution	2	実践演習 3A(公務)	2
Civil Procedure	2	実践演習 3B(公務)	2
Moot Court	2	実践演習 2A(メディア)	2
Corporate Law A	2	実践演習 2B(メディア)	2
Corporate Law B	2	実践演習 3A(メディア)	2
International Business Law A	2	実践演習 3B(メディア)	2
International Business Law B	2	憲法発展演習	2
International Business Law C	2	行政法発展演習	2
Cross-Border Litigation	2	民法発展演習	2
Anglo-American Law A	2	商法発展演習	2
Anglo-American Law B	2	民事訴訟法発展演習	2
Labor Law	2	刑法発展演習	2
Property	2	刑事訴訟法発展演習	2
Intellectual Property Law	2	演習論文	2
Fiduciary Law	2		
Financial Law	2		
③ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	哲学の人間学	2
日本史概説	2	倫理思想	2
世界史概説	2	現代倫理	2
宗教思想 1	2	地誌学 1	2
宗教思想 2	2	地誌学 2	2

心理学 1	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
心理学 2	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
哲学概論 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
哲学概論 2	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2
地理学概説 1	2	社会・公民科教育法 1	2
地理学概説 2	2	社会・公民科教育法 2	2
自然地理学 1	2	社会・公民科教育法演習 1	2
自然地理学 2	2	社会・公民科教育法演習 2	2

④ 法学部言語科目【随意科目】

法政日本語演習 A	2	法政日本語演習 B	2
-----------	---	-----------	---

政治学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 80 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・4 大学間単位互換制度の各科目から 16 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

(3) 国際ビジネス法学科専門教育科目

1 選択科目

① 国際ビジネス法学科A

法学入門	2	国際ビジネス法総合・基礎	2
政治学入門	2	国際ビジネス法総合 1A	2
憲法(1)	4	国際ビジネス法総合 1B	2
憲法(2)	2	国際ビジネス法総合 2	2
民法概論	4	労働法	4
刑法(1)	4	経済法 1	2
刑法(2)	4	経済法 2	2
商法(1)	4	国際経済法 1	2
商法(2)	2	国際経済法 2	2
商法(3)	2	租税法 1	2
商法(4)	2	租税法 2	2
倒産法	2	知的財産法	4
民事執行・保全法	2	英米法 1	2
国際私法(1)	2	英米法 2	2
国際私法(2)	2		

② 国際ビジネス法学科B 演習系科目 演習論文

民法(1)	4	少年法	2
民法(2)	4	社会保障法	2
民法(3)	2	法哲学	4
民法(4)	4	法社会学 1	2
比較憲法	2	法社会学 2	2
行政法 1	4	比較法	2
行政法 2	4	外国法(中国法)	2
国際法 1	4	外国法(フランス法)	2
国際法 2	4	外国法(ドイツ法)	2
環境法 1	2	法制史(西洋法制史)	2
環境法 2	2	法制史(東洋法制史)	2
金融取引法 1	2	法制史(日本法制史)	2
金融取引法 2	2	法政ゲートウェイ講義(公務入門)	2
民事訴訟法(1)	4	法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	2
民事訴訟法(2)	2	法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	2
国際民事手続法	2	法政ゲートウェイ講義(法学部生と海外学修)	2
刑事訴訟法	4	法政ゲートウェイ講義(金融入門)	2
刑事学	4	法学特殊講義(ITと法)	2

法学特殊講義(国際環境法)	2	自治体長期インターンシップ	2
法学特殊講義(子ども法－理論と実践)	2	海外研究論文	4
法学特殊講義(多文化共生と法－理論と実践)	2	Negotiation Basics	2
法学特殊講義(Securities Regulations)	2	Introduction to Legal Studies A	2
法学特殊講義(信託法)	2	Introduction to Legal Studies B	2
法学特殊講義(金融商品取引法)	2	Contract A	2
法学特殊講義(地方自治法)	2	Contract B	2
法学特殊講義(スポーツと法)	2	Torts	2
法学特殊講義(Constitutional Law A)	2	Dispute Resolution	2
法学特殊講義(Constitutional Law B)	2	Civil Procedure	2
法学特殊講義(Comparative Family Law)	2	Moot Court	2
法学特殊講義(立法学)	2	Corporate Law A	2
法学特殊講義(企業のビジネス戦略と契約実務)	2	Corporate Law B	2
法学特殊講義(Comparative Contract Law)	2	International Business Law A	2
法学特殊講義(Law & Economics)	2	International Business Law B	2
法学特殊講義(Criminal Procedure)	2	International Business Law C	2
法学特殊講義(西オーストラリア大学短期研修)	4	Cross-Border Litigation	2
代政治理論	4	Anglo-American Law A	2
国際政治	4	Anglo-American Law B	2
環境政治	2	Labor Law	2
行政学 1	2	Property	2
行政学 2	2	Intellectual Property Law	2
日本政治論	4	Fiduciary Law	2
ヨーロッパ政治論	4	Financial Law	2
アメリカ政治論	4	Advanced Legal Writing	2
アジア政治論	4	基礎文献講読	2
日本政治史	4	法学基礎演習	2
日本政治思想史(1)	2	政治学基礎演習	2
日本政治思想史(2)	2	公務基礎演習	2
欧州政治思想史	4	演習	2
政治過程論 1	2	演習	4
政治過程論 2	2	2 年次演習 A	2
比較政治理論	2	2 年次演習 B	2
公共政策論	2	法政外国語演習	2
地方自治	2	SeminarA	2
比較政治 1	2	SeminarB	2
比較政治 2	2	実践演習2A(法務)	2
比較政治 3	2	実践演習2B(法務)	2
日本外交論	2	実践演習3A(法務)	2
国際政治史	2	実践演習3B(法務)	2
平和研究	2	実践演習2A(法律相談)	2
政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多角的分析)	2	実践演習2B(法律相談)	2
政治学特殊講義(地方創生－理論と実践)	2	実践演習2A(企業法務)	2
政治学特講(政治とマスメディア)	2	実践演習2B(企業法務)	2
会計学	4	実践演習3A(企業法務)	2
財政学	4	実践演習3B(企業法務)	2
社会政策論	4	実践演習2A(国際ビジネス)	2
経済原論	4	実践演習2B(国際ビジネス)	2
統計学	4	実践演習3A(国際ビジネス)	2
社会調査法	2	実践演習3B(国際ビジネス)	2
社会科学情報処理	2	実践演習2A(金融)	2
キャリア意識の形成	2	実践演習2B(金融)	2
法学部合同講義	6	実践演習3A(金融)	2
法学部特別講義	2	実践演習 3B(金融)	2
キャリアデザイン－インターンシップを通じた学修	2	実践演習 2A(公務)	2

実践演習 2B(公務)	2	行政法発展演習	2
実践演習 3A(公務)	2	民法発展演習	2
実践演習 3B(公務)	2	商法発展演習	2
実践演習 2A(メディア)	2	民事訴訟法発展演習	2
実践演習 2B(メディア)	2	刑法発展演習	2
実践演習 3A(メディア)	2	刑事訴訟法発展演習	2
実践演習 3B(メディア)	2	演習論文	2
憲法発展演習	2		
③ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	哲学概論 2	2
日本史概説	2	地理学概説 1	2
世界史概説	2	地理学概説 2	2
宗教思想 1	2	自然地理学 1	2
宗教思想 2	2	自然地理学 2	2
哲学的人間学	2	社会・地理歴史科教育法 1	2
倫理思想	2	社会・地理歴史科教育法 2	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2
地誌学 2	2	社会・公民科教育法 1	2
心理学 1	2	社会・公民科教育法 2	2
心理学 2	2	社会・公民科教育法演習 1	2
哲学概論 1	2	社会・公民科教育法演習 2	2
④ 法学部言語科目【随意科目】			
法政日本語演習 A	2	法政日本語演習 B	2

国際ビジネス法学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門教育選択科目区分の科目を 66 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・留学認定・他学部等・4 大学間単位互換制度の各科目から 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。

(4) 国際ビジネス法学科グローバルコース専門教育科目

1 選択科目

① 学びの精神

Law and Society in Japan A	2	Law and Society in Japan B	2
----------------------------	---	----------------------------	---

② 国際ビジネス法学科グローバルコースA

Introduction to Legal Studies A	2	Civil Procedure	2
Introduction to Legal Studies B	2	Moot Court	2
Contract A	2	Corporate Law A	2
Contract B	2	Corporate Law B	2
Negotiation Basics	2	Intellectual Property Law	2
Torts	2	Cross-Border Litigation	2
Legal Presentation	2	Fiduciary Law	2
Legal Writing	2	Financial Law	2
Anglo-American Law A	2	Advanced Legal Writing	2
Anglo-American Law B	2	法学入門	2
Dispute Resolution	2	民法概論	4
Labor Law	2	労働法	4
Property	2	経済法 1	2
International Business Law A	2	経済法 2	2
International Business Law B	2	国際経済法 1	2
International Business Law C	2	国際経済法 2	2
法学部合同講義	6	租税法 1	2

租税法 2	2	国際私法(1)	2
商法(1)	4	国際私法(2)	2
商法(2)	2	国際ビジネス法総合・基礎	2
商法(3)	2	国際ビジネス法総合 1A	2
商法(4)	2	国際ビジネス法総合 1B	2
知的財産法	4	国際ビジネス法総合 2	2
③ 国際ビジネス法学科グローバルコース B、演習系科目、演習論文			
法学特殊講義(ITと法)	2	民法(2)	4
法学特殊講義(国際環境法)	2	民法(3)	2
法学特殊講義(子ども法ー理論と実践)	2	民法(4)	4
法学特殊講義(多文化共生と法ー理論と実践)	2	刑法(1)	4
法学特殊講義(Securities Regulations)	2	刑法(2)	4
法学特殊講義(信託法)	2	民事訴訟法(1)	4
法学特殊講義(金融商品取引法)	2	民事訴訟法(2)	2
法学特殊講義(地方自治法)	2	刑事訴訟法	4
法学特殊講義(スポーツと法)	2	倒産法	2
法学特殊講義(Constitutional Law A)	2	民事執行・保全法	2
法学特殊講義(Constitutional Law B)	2	英米法 1	2
法学特殊講義(Comparative Family Law)	2	英米法 2	2
法学特殊講義(立法学)	2	比較憲法	2
法学特殊講義(企業のビジネス戦略と契約実務)	2	行政法 1	4
法学特殊講義(Comparative Contract Law)	2	行政法 2	4
法学特殊講義(Law & Economics)	2	国際法 1	4
法学特殊講義(Criminal Procedure)	2	国際法 2	4
法学特殊講義(西オーストラリア大学短期研修)	4	環境法 1	2
Contemporary Culture in Japn	2	環境法 2	2
Religion and Society in Asia	2	金融取引法 1	2
Japan in Asia	2	金融取引法 2	2
Ethnicity and Globalization in Japan	2	国際民事手続法	2
Multiculturalism in Japan	2	刑事学	4
Social Movements and Social Change	2	少年法	2
Tourism Study 1(Business)	2	社会保障法	2
Tourism Study 2(Society)	2	法哲学	4
Tourism Study 3(Destination)	2	法社会学 1	2
Tourism Study 4(Culture)	2	法社会学 2	2
Japanese Economy 1	2	比較法	2
Japanese Economy 2	2	外国法(中国法)	2
Japanese Economic History 1	2	外国法(フランス法)	2
Japanese Economic History 2	2	外国法(ドイツ法)	2
Marketing Management in Japan	2	法制史(西洋法制史)	2
Business and Society	2	法制史(東洋法制史)	2
Financial Statement Analysis	2	法制史(日本法制史)	2
Modern Consumer Culture and Society	2	法政ゲートウェイ講義(公務入門)	2
Accounting 1	2	法政ゲートウェイ講義(ビジネスとメディア)	2
Accounting 2	2	法政ゲートウェイ講義(司法職入門)	2
Finance 1	2	法政ゲートウェイ講義(法学部生と海外学修)	2
Finance 2	2	法政ゲートウェイ講義(金融入門)	2
Japanese Management 1	2	現代政治理論	4
Japanese Management 2	2	国際政治	4
政治学入門	2	環境政治	2
憲法(1)	4	行政学 1	2
憲法(2)	2	行政学 2	2
民法(1)	4	日本政治論	4

ヨーロッパ政治論	4	2 年次演習 A	2
アメリカ政治論	4	2 年次演習 B	2
アジア政治論	4	法政外国語演習	2
日本政治史	4	SeminarA	2
日本政治思想史(1)	2	SeminarB	2
日本政治思想史(2)	2	実践演習2A(法務)	2
欧州政治思想史	4	実践演習2B(法務)	2
政治過程論 1	2	実践演習3A(法務)	2
政治過程論 2	2	実践演習3B(法務)	2
比較政治理論	2	実践演習2A(法律相談)	2
公共政策論	2	実践演習2B(法律相談)	2
地方自治	2	実践演習2A(企業法務)	2
比較政治 1	2	実践演習2B(企業法務)	2
比較政治 2	2	実践演習3A(企業法務)	2
比較政治 3	2	実践演習3B(企業法務)	2
日本外交論	2	実践演習2A(国際ビジネス)	2
国際政治史	2	実践演習2B(国際ビジネス)	2
平和研究	2	実践演習3A(国際ビジネス)	2
政治学特殊講義(「ロシア・ウクライナ戦争」の多 角的分析)	2	実践演習3B(国際ビジネス)	2
政治学特殊講義(地方創生－理論と実践)	2	実践演習2A(金融)	2
政治学特講(政治とマスメディア)	2	実践演習2B(金融)	2
会計学	4	実践演習3A(金融)	2
財政学	4	実践演習 3B(金融)	2
社会政策論	4	実践演習 2A(公務)	2
経済原論	4	実践演習 2B(公務)	2
統計学	4	実践演習 3A(公務)	2
社会調査法	2	実践演習 3B(公務)	2
社会科学情報処理	2	実践演習 2A(メディア)	2
キャリア意識の形成	2	実践演習 2B(メディア)	2
キャリアデザイン－インターンシップを通じた学 修	2	実践演習 3A(メディア)	2
自治体長期インターンシップ	2	実践演習 3B(メディア)	2
法学部特別講義	2	憲法発展演習	2
海外研究論文	4	行政法発展演習	2
First-Year Seminar	2	民法発展演習	2
政治学基礎演習	2	商法発展演習	2
公務基礎演習	2	民事訴訟法発展演習	2
演習	2	刑法発展演習	2
演習	4	刑事訴訟法発展演習	2
		演習論文	2
④ 法学部自由科目			
情報処理入門	2	哲学概論 1	2
日本史概説	2	哲学概論 2	2
世界史概説	2	地理学概説 1	2
宗教思想 1	2	地理学概説 2	2
宗教思想 2	2	自然地理学 1	2
哲学の人間学	2	自然地理学 2	2
倫理思想	2	社会・地理歴史科教育法1	2
現代倫理	2	社会・地理歴史科教育法2	2
地誌学 1	2	社会・地理歴史科教育法演習1	2
地誌学 2	2	社会・地理歴史科教育法演習2	2
心理学 1	2	社会・公民科教育法1	2
心理学 2	2	社会・公民科教育法2	2

社会・公民科教育法演習1	2	社会・公民科教育法演習2	2
--------------	---	--------------	---

⑤ 法学部言語科目【随意科目】

法政日本語演習 A	2	法政日本語演習 B	2
-----------	---	-----------	---

国際ビジネス法学科グローバルコースは、全学共通科目 24 単位以上、学びの精神 4 単位、専門教育選択科目区分の科目を 66 単位、全学共通科目・専門教育の各科目で卒業要件単位数を超えて修得した科目並びに法学部自由科目・日本語教育センター科目（※）・留学認定・他学部等・4 大学間単位互換制度の各科目から 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。（※）PEACE プログラム生及び留学生（外国人書類選考入試）のみ履修可。

VII 観光学部

(1) 観光学科専門教育科目

1 必修科目

① 専門必修科目

観光学概論	2		
-------	---	--	--

2 選択科目

① 学科選択科目 1

基礎演習	2	観光経営学	2
観光史	2	観光行動論	2
観光事業論	2	マーケティング	2
観光経済学	2	観光地経営論	2

② 学科選択科目 2

観光政策・行政論	2	ホテル経営論	2
経営戦略論	2	旅行産業論	2
観光計画論	2	風土と観光	2
観光施設論	2	観光感性論	2
観光心理学	2	消費論	2
地域経済学	2		

③ 学科選択科目 3

国際観光政策論	2	旅行産業演習 2(B)	2
投資計画論1	2	宿泊産業演習 2(A)	2
企業情報分析	2	宿泊産業演習 2(B)	2
簿記論	2	政策評価論	2
ホテル運営論	2	地域デザイン論	2
外食産業論	2	環境・景観論	2
観光交通論(鉄道等)	2	都市計画論	2
観光交通論(国際航空)	2	施設・空間造形論	2
旅行産業演習 1(A)	2	観光関連法	2
旅行産業演習 1(B)	2	投資計画論2	2
宿泊産業演習 1(A)	2	旅行情報システム	2
宿泊産業演習 1(B)	2	旅行業経営実務	2
エコツーリズム論	2	農村観光論	2
都市観光論	2	ヘリテージと観光	2
市民参加とまちづくり	2	レジャー論	2
サービス・マネジメント	2	情報処理演習	2
宿泊産業論	2	地域経営論	2
ホテルアセットマネジメント論	2	地域社会論	2
コンベンション産業論	2	GIS 演習	2
経営財務論	2	観光デザイン論	2
都市型エンターテイメント論	2	観光ビジネスプロジェクト A	2
旅行産業演習 2(A)	2	観光ビジネスプロジェクト B	2

観光リスクマネジメント	2	宿泊ビジネスプロジェクト 2(A)	2
フィールドワーク論	2	宿泊ビジネスプロジェクト 2(B)	2
宿泊ビジネスプロジェクト 1(A)	2		
宿泊ビジネスプロジェクト 1(B)	2		

④ 他学科選択科目

他学科の学科選択科目 1・2・3

3 自由科目

① 学部自由科目

グローバル・スタディ・プログラム1	2	卒業研究指導 A	2
グローバル・スタディ・プログラム2	2	卒業研究指導 B	2
Introduction to Tourism 1	2	卒業論文	6
Introduction to Tourism 2	2	観光インターンシップ	2
Tourism Study 1 (Business)	2	経団連インターンシップ	2
Tourism Study 2 (Society)	2	観光ビジネス概論	2
Tourism Study 3 (Destination)	2	交通産業特論	2
Tourism Study 4 (Culture)	2	観光 IT 戦略論	2
Current Trends in Tourism 1	2	観光学特別演習 1(A)	2
Current Trends in Tourism 2	2	観光学特別演習 1(B)	2
観光特論(TSE)	2	観光学特別演習 2(A)	2
演習(2年)A	2	観光学特別演習 2(B)	2
演習(2年)B	2	観光ビッグデータ分析	2
演習(3年)A	2	観光地再生論	2
演習(3年)B	2		

② 関連基礎科目

データ情報処理	2	外国史 2	2
法学 1	2	地誌学	2
法学 2	2	生涯学習支援論 1	2
政治学	2	生涯学習支援論 2	2
経済学	2	生涯学習概論 1	2
経営学	2	生涯学習概論 2	2
社会学 1	2	社会教育経営論 1	2
社会学 2	2	社会教育経営論 2	2
心理学 1	2	自然地理学	2
心理学 2	2	文学	2
地理学 1	2	哲学	2
地理学 2	2	人類学	2
日本史 1	2	美学	2
日本史 2	2	民法	2
外国史 1	2		

観光学科は、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 2 単位、学科選択科目 1 を 6 単位、学科選択科目 2 を 10 単位、学科選択科目 3 を 30 単位、他学科選択科目を 14 単位、自由科目を 34 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、指定単位を超えて修得した学科選択科目 1・2・3、他学科選択科目の全てを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。また言語自由科目、指定単位数を超えて修得した全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目は合わせて 20 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

(2) 交流文化学科専門教育科目

1 必修科目

① 専門必修科目

観光学概論	2
-------	---

2 選択科目

① 学科選択科目 1

基礎演習	2	観光地理学概論	2
観光人文学概論	2	観光文学概論	2
観光社会学概論	2	観光歴史学概論	2
観光人類学概論	2		
② 学科選択科目 2			
観光社会学 1(都市)	2	観光地理学 4(文化)	2
観光社会学 2(移動)	2	観光地理学 5(自然環境)	2
観光社会学 3(ジェンダー)	2	観光地理学 6(日本地誌)	2
観光社会学 4(文化)	2	観光地理学 7(外国地誌 1)	2
観光社会学 5(メディア)	2	観光地理学 8(外国地誌 2)	2
観光社会学 6(若者)	2	観光地理学 9(外国地誌 3)	2
観光社会学 7(文化遺産)	2	観光地理学 10(外国地誌 4)	2
観光人類学 1(文化の表象)	2	観光文学 1(移動)	2
観光人類学 2(エスニシティ)	2	観光文学 2(SF)	2
観光人類学 3(民俗)	2	観光文学 3(紀行文)	2
観光人類学 4(宗教)	2	観光文学 4(トラベルライティング)	2
観光人類学 5(グローバルイゼーション)	2	観光文学 5(思想)	2
観光人類学 6(コミュニティ)	2	観光歴史学 1(近世)	2
観光人類学 7(開発援助)	2	観光歴史学 2(近代)	2
観光人類学 8(生態)	2	観光歴史学 3(現代)	2
観光地理学 1(都市)	2	観光学講義	2
観光地理学 2(農村)	2	文献講読	2
観光地理学 3(リゾート地)	2	フィールドワーク論	2
③ 学科選択科目 3			
観光と文化 1(芸術)	2	観光と社会 1(移動)	2
観光と文化 2(メディア)	2	観光と社会 2(交通)	2
観光と文化 3(ポップカルチャー)	2	観光と社会 3(政策)	2
観光と文化 4(スポーツ)	2	観光と社会 4(医療)	2
観光と文化 5(食)	2	観光と社会 5(環境)	2
観光と文化 6(風景)	2	観光と社会 6(国際関係)	2
観光と文化 7(産業)	2	観光と社会 7(国際協力)	2
④ 他学科選択科目			
他学科の学科選択科目 1・2・3			
3 自由科目			
① 学部自由科目			
グローバル・スタディ・プログラム1	2	卒業研究指導 A	2
グローバル・スタディ・プログラム2	2	卒業研究指導 B	2
Introduction to Tourism 1	2	卒業論文	6
Introduction to Tourism 2	2	観光インターンシップ	2
Tourism Study 1 (Business)	2	経団連インターンシップ	2
Tourism Study 2 (Society)	2	観光ビジネス概論	2
Tourism Study 3 (Destination)	2	交通産業特論	2
Tourism Study 4 (Culture)	2	観光 IT 戦略論	2
Current Trends in Tourism 1	2	観光学特別演習 1(A)	2
Current Trends in Tourism 2	2	観光学特別演習 1(B)	2
観光特論(TSE)	2	観光学特別演習 2(A)	2
演習(2年)A	2	観光学特別演習 2(B)	2
演習(2年)B	2	観光ビッグデータ分析	2
演習(3年)A	2	観光地再生論	2
演習(3年)B	2		
② 関連基礎科目			
データ情報処理	2	法学 2	2
法学 1	2	政治学	2

経済学	2	生涯学習概論 1	2
経営学	2	生涯学習概論 2	2
社会学 1	2	生涯学習支援論 1	2
社会学 2	2	生涯学習支援論 2	2
心理学 1	2	社会教育経営論 1	2
心理学 2	2	社会教育経営論 2	2
地理学 1	2	自然地理学	2
地理学 2	2	文学	2
日本史 1	2	哲学	2
日本史 2	2	人類学	2
外国史 1	2	美学	2
外国史 2	2	民法	2
地誌学	2		

4 随意科目

社会・地理歴史科教育法 1	2	社会・地理歴史科教育法演習 1	2
社会・地理歴史科教育法 2	2	社会・地理歴史科教育法演習 2	2

交流文化学科は、全学共通科目 28 単位、専門必修科目を 2 単位、学科選択科目 1 を 8 単位、学科選択科目 2 を 30 単位、学科選択科目 3 を 8 単位、他学科選択科目 14 単位、自由科目を 34 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、指定単位を超えて修得した学科選択科目 1・2・3、他学科選択科目の全てを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。また言語自由科目、指定単位数を超えて修得した全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目は合わせて 20 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

VIII コミュニティ福祉学部

(1) 福祉学科専門教育科目

1 必修科目

社会福祉の原理と政策 1	2	社会福祉入門演習	2
基礎演習(学びの技法を含む)	2	社会問題のインターセクショナルリティ	2

2 選択科目

① 専門基礎科目

異文化スタディ	2	メンタルヘルスと福祉	2
情報処理1	2	ソーシャルワークの基盤と専門職 1	2
情報処理2	2	ソーシャルワークの基盤と専門職 2	2
ノーマライゼーション論	2	児童福祉論	2
社会福祉とキャリア形成	2	高齢者福祉論	2
家族をめぐる福祉問題	2	障害者福祉論	2
現代社会とケアシステム	2	社会保障総論	2
ソーシャルワークの理論と方法1	2		

② 専門応用科目

グローバル社会で活躍するための英語(福祉系)	2	社会福祉発達史 2	2
現代コミュニティ福祉学特別講義(福祉系)	2	心理学理論と心理的支援	2
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(福祉系)	2	社会理論と社会システム	2
英語で学ぶ海外の福祉の現状	2	医学概論	2
人権論	2	子ども理解と子育て支援論	2
福祉文化論	2	貧困に対する支援	2
社会福祉調査の基礎	2	高齢者福祉実践論	2
ジェンダーとセクシュアリティ入門	2	地域福祉論 1	2
障害学入門	2	地域福祉論 2	2
社会福祉発達史 1	2	女性福祉論	2
		保健医療と福祉	2

発達障害支援論	2	比較福祉国家論	2
ソーシャルワークの理論と方法 2	2	ケアの倫理と社会福祉	2
ソーシャルワークの理論と方法 3	2	社会福祉調査実践論	2
社会保障論	2	災害福祉論	2
刑事司法と福祉	2	居住福祉論	2
Human Diversity and Social Justice in Social Work	2	教育福祉論	2
権利擁護を支える法制度	2	ソーシャルワーク演習	2
社会福祉の原理と政策 2	2	ソーシャルワーク演習（専門） 1	3
ソーシャルワークの理論と方法 4	2	ソーシャルワーク実習指導 1	1
福祉マネジメント論	2	インターンシップ	4
福祉情報と ICT	2	ソーシャルワーク実習指導 2	4
ケアマネジメント論	2	ソーシャルワーク実習	5
福祉学特論	2	ソーシャルワーク演習（専門） 2	4
医療ソーシャルワーク実践論	2	キャリア形成演習	4
支援者支援論: ストレスマネジメントを学ぶ	2	専門ゼミナール	4
セルフヘルプグループ論	2	卒業研究	6
多文化ソーシャルワーク論	2	卒業研究指導演習	2

③ 専門関連科目

心理学 1	2	生涯学習支援論 1	2
心理学 2	2	生涯学習支援論 2	2
生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2

福祉学科は、全学共通科目 28 単位以上、専門必修科目を 8 単位、専門基礎科目を 16 単位、専門応用科目を 50 単位、自由科目を 24 単位以上、合計 126 単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

(2) コミュニティ政策学科専門教育科目

1 必修科目

① 必修科目（共通）

基礎演習（学びの技法を含む）	2	政策学演習 1A	2
コミュニティ政策学入門	2	政策学演習 1B	2
社会調査入門	2	講読演習 A	2
コミュニティ学演習 1A	2	講読演習 B	2
コミュニティ学演習 1B	2	社会調査実習	4

② 必修科目（コミュニティ学専修）

コミュニティ学入門演習	2
-------------	---

③ 必修科目（政策学専修）

政策学入門演習	2
---------	---

2 選択科目

① スタディスキル科目

統計学入門	2	情報処理 1	2
リサーチ・デザイン	2	情報処理 2	2
質的リサーチ	2	情報処理 3	2
データ分析入門	2	情報処理 4	2
データ分析法	2	異文化スタディ	2
キャリアデザイン	2	グローバル社会で活躍するための英語（コミュニティ政策系）	2
政策分析のメソドロジー	2		

海外留学・海外インターンシップを目指す人 への英語（コミュニティ政策系）	2	イ政策系） 英語で学ぶ社会問題	2
英語で学ぶコミュニティ政策	2		
現代コミュニティ福祉学特別講（コミュニテ	2		
② 専門基礎科目			
コミュニティ福祉とキリスト教	2	コミュニティ開発論	2
少子高齢社会論	2	地方自治論	2
国際NGO論	2	政策学の基礎知識	2
現代コミュニティ論	2	経営組織論	2
貧困と格差	2	コミュニティ人間形成論	2
コミュニティ・ビジネス	2	ボランティア・NPO論	2
持続可能な福祉コミュニティ	2	若者政策	2
社会問題の社会学	2	日本近現代史	2
福祉社会論	2	地域社会と法	2
フィールドワーク入門	2	地域社会と経済	2
公共空間論	2	地域社会と政治	2
地域学への招待	2	地域社会と労働	2
③ 専門応用科目			
A コミュニティ学専修			
現代キリスト教人間学	2	国際平和論	2
いのちの倫理学	2	ファシリテーション論	2
生活困窮者支援	2	比較宗教学	2
日本の文化とコミュニティ	2	アートとコミュニティ	2
公共哲学	2	現代生活学	2
コミュニティと福祉	2	国際経済論	2
まちづくり論	2	国際移動論	2
国際福祉論	2	多文化共生論	2
社会開発論	2	自然災害論	2
Global Society and Local Communities	2	村落社会論	2
都市と地域	2	地域交通論	2
シェアライフ論	2	現代環境論	2
社会運動論	2	地域地理学	2
いのちの尊厳とジェンダー	2	ファンドレイジング論	2
差別論	2	インターンシップ	4
地球コミュニティ論	2	コミュニティ学演習 2A	2
家族社会学	2	コミュニティ学演習 2B	2
コミュニティ心理学	2	卒業論文	6
B 政策学専修			
政策科学	2	Introduction to Local Governance	2
地方財政論	2	福祉制度論	2
福祉経済学	2	経営戦略論	2
行政学	2	居住福祉	2
政策過程論	2	グローバリゼーション論	2
市民教育論	2	協同組合論	2
自治体政策論	2	NPO マネジメント論	2
福祉政治学	2	社会思想史	2
パートナーシップ論	2	マス・コミュニケーション論	2
社会的連帯経済論	2	現代資本主義論	2
社会教育論	2	ジェンダー政策論	2
政策評価論	2	契約と法	2
コミュニティ・オーガナイズング論	2	政策法務	2
オンブズマンと市民参加	2	地域経営論	2
サービスマーケティング論	2	地方自治法	2

都市計画論	2	政策学演習 2A	2
比較政治経済	2	政策学演習 2B	2
インターンシップ	4	卒業論文	6

④ 専門関連科目

社会学 1	2	経済学	2
社会学 2	2	生涯学習概論 1	2
心理学 1	2	生涯学習概論 2	2
心理学 2	2	生涯学習支援論 1	2
法学 1	2	生涯学習支援論 2	2
法学 2	2	社会教育経営論 1	2
政治学	2	社会教育経営論 2	2

3 随意科目

社会・公民科教育法1	2	社会・公民科教育法演習1	2
社会・公民科教育法2	2	社会・公民科教育法演習2	2

コミュニティ政策学科コミュニティ学専修は全学共通科目を 28 単位以上、専門必修科目（共通）を 10 単位、専門必修科目（コミュニティ学専修）を 2 単位、スタディスキル科目を 6 単位、専門基礎科目を 18 単位、専門応用科目を 42 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。

専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（コミュニティ学専修）から 28 単位以上を修得する必要がある。

卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門必修科目（共通）のうち、コミュニティ学演習 1A・B（政策学演習 1A・B）、講読演習 A・B、社会調査実習から 4 単位を選択必修とする。

コミュニティ政策学科政策学専修は全学共通科目を 28 単位以上、専門必修科目（共通）を 10 単位、専門必修科目（政策学専修）を 2 単位、スタディスキル科目を 6 単位、専門基礎科目を 18 単位、専門応用科目を 42 単位、自由科目を 20 単位以上、合計 126 単位以上を別に定める方法に従って修得しなければならない。

専門応用科目については、専修を問わず履修可能であるが、専門応用科目（政策学専修）から 28 単位以上を修得する必要がある。

卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目と選択科目、専門関連科目、他学部科目、他学科科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門必修科目（共通）のうち、政策学演習 1A・B（コミュニティ学演習 1A・B）、講読演習 A・B、社会調査実習から 4 単位を選択必修とする。

【2023 年度以降 募集停止】

(3) スポーツウエルネス学科専門教育科目

1 必修科目

スポーツウエルネス学入門	2	スポーツウエルネスワークショップ A	2
基礎演習(学びの技法を含む)	2	スポーツウエルネスワークショップ B	2
運動方法学演習 1	2	スポーツウエルネスワークショップ C	2
運動方法学演習 2	2	卒業研究指導演習	2
運動方法学演習 9	2	卒業研究 ベイシックコース	2

2 選択科目

① 学部共通科目

ノーマライゼーション論	2	コミュニティ福祉とキリスト教	2
情報処理 1	2	社会保障総論	2
情報処理 2	2	人間心理の深層	2
ウエルネス福祉演習	2	日本の文化と思想	2
キャリア形成論 1	2	発育・発達・加齢論	2
キャリア形成論 2	2	コミュニティ平和論	2
ウエルネス福祉論	2	家族心理学の基礎	2
現代キリスト教人間学	2	ファシリテーション論	2
社会調査法	2	ライフサイクルの心理学	2
社会福祉調査の基礎	2	リスクマネジメント論	2
人権論	2	セクノロジー	2
福祉文化論	2	グリーンスタディ	2
生涯スポーツ論	2	アジアの宗教と文化	2
情報処理 3	2	社会福祉発達史 1	2
情報処理 4	2	社会福祉発達史 2	2
グローバル社会で活躍するための英語 1	2	地域コミュニティと生協	2
グローバル社会で活躍するための英語 2	2	異文化スタディ	2
高齢社会システム論	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 A	2
ジェンダー論	2	現代コミュニティ福祉学特別講義 B	2
障害学入門	2	心理学理論と心理的支援	2
家族社会学	2	社会理論と社会システム	2

② 学科科目

A 専門基礎科目

ウエルネス科学総論	2	運動方法学演習 3	2
運動処方・療法	2	運動方法学演習 4	2
生理学	2	運動方法学演習 5	2
運動生理学	2	運動方法学演習 6	2
スポーツ科学総論	2	運動方法学演習 7	2
介護概論	2	運動方法学演習 8	2
運動方法学	2	循環器検査・救急処置演習	2
解剖学	2		

B 専門基幹科目

アダプテッドスポーツ論	2	測定評価演習	2
トレーナー演習	2	余暇生活論	2
生活習慣病の科学	2	スポーツウエルネス心理学	2
身体文化論	2	ウエルネススポーツ医学	2
スポーツ政策	2	ストレングス・コンディショニング論	2
健康政策	2	海外留学・海外インターンを目指す人への英語(スポーツウエルネス系)	2
スポーツコーチ学	2	英語で学ぶスポーツマネジメント・スポーツビジネス	2
スポーツ社会学	2	International Society and Sport	2
運動・スポーツ栄養学	2		

C 専門展開科目

コミュニティスポーツ論	2	スポーツビジネス論	2
ウエルネスプロモーション論	2	スポーツジャーナリズム	2
レクリエーション援助論	2	動作分析法演習	2
レクリエーション援助演習	2	スポーツコーチング演習	2
リハビリテーション論	2	スポーツ倫理学	2
小児保健・精神保健	2	バイオメカニクス	2
ユニバーサルスポーツ援助技術演習	2	スポーツマネジメント論	2
健康運動指導演習	2	スポーツコーチング特論	2
障害者スポーツ論	2	メンタルマネジメント	2
障害者スポーツ実践論	2	公衆衛生学	2

インターンシップ	4	専門演習 2	2
専門演習 1	2		
① 専門関連科目			
心理学 1	2	生涯学習支援論 1	2
心理学 2	2	生涯学習支援論 2	2
生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2
3 随意科目			
保健体育科教育法 1	2	保健体育科教育法演習 1	2
保健体育科教育法 2	2	保健体育科教育法演習 2	2

スポーツウエルネス学科の卒業研究ベシックコースは、全学共通科目 28 単位以上、必修科目を 16 単位、学部共通科目を 16 単位、専門基礎科目を 10 単位、専門基幹科目を 12 単位、専門展開科目を 22 単位、自由科目を 22 単位、合計 126 単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。卒業研究アドバンスコースは、全学共通科目 28 単位以上、必修科目を 22 単位、学部共通科目を 16 単位、専門基礎科目を 10 単位、専門基幹科目を 10 単位、専門展開科目を 18 単位、自由科目を 22 単位、合計 126 単位を別に定める方法に従って修得しなければならない。ただし、いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目から 22 単位までを自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

IX 経営学部

(1) 経営学科専門教育科目

1 必修科目			
経営学入門	2	会計学入門	2
経済学入門	2		
2 選択科目			
① 基礎科目			
A ビジネス基礎			
リーダーシップ入門 (BL0)	2	グッド・ビジネス	2
B コンセントレーション基礎			
ビジネス概論A (マーケティング・マネジメント・コミュニケーション)	2	ビジネス概論B (会計学・ファイナンス・経済学)	2
C ビジネスリテラシー			
ICTリテラシー	2	経営学のための数学	2
ビジネスリテラシー1	2	社会調査実習	4
ビジネスリテラシー2	2		
② 基幹科目			
A BLP			
BL1	2	BL3-B	2
BL2	2	BL3-C	2
BL3-A	2	BL4	2
B GBI			
CSR	2	サステナビリティ&ビジネス	2
経営史	2	Business and Society	2
ビジネスロー	2	グッド・ビジネス・ワークショップ	2
経営と社会	2	Good Business Seminar	2
コーポレートガバナンス	2	Basics in Business and Society	2
③ コンセントレーション科目			
サービス・マーケティング	2	マーケティング・マネジメント	2
流通システム論	2	Marketing Management in Japan	2
マーケティング・リサーチ	2	Marketing Positioning Strategy	2

デジタル・トランスフォーメーション	2	税務会計	2
伝統産業とマーケティング	2	インベストメント	2
消費者行動論	2	ファイナンスのための数学	2
マーケティング・コミュニケーション	2	Corporate Finance and Valuation	2
リテイル・マーケティング	2	Language and Culture	2
Modern Consumer Culture and Society	2	Advanced Small Group Communication	2
マーケティング・セオリー	2	グローバリゼーションと地域	2
データ・マイニング	2	コミュニケーション・リサーチ	2
組織と戦略	2	Business Communication	2
経営と技術	2	Basics in Finance	2
国際経営論	2	Basics in Accounting	2
経営と心理	2	Basics in Marketing	2
組織行動論	2	Intermediate Finance	2
マネジメントの理論	2	Intermediate Accounting	2
経営戦略論	2	Intermediate Marketing	2
異文化コミュニケーション論	2	音楽産業・新ビジネス創生概論	2
Introduction to Strategic Management	2	ワークショップ演習 A	2
Global Innovation Management	2	ワークショップ演習 B	2
人材マネジメント論	2	ワークショップ演習 C	2
組織マネジメント	2	ワークショップ演習 D	2
生産管理論	2	ワークショップ演習 E	2
比較組織論	2	ワークショップ演習 F	2
イノベーション・マネジメント	2	ワークショップ演習 G	2
Global Strategic Management	2	ワークショップ演習 H	2
Strategic Management	2	ワークショップ演習 I	2
ビジネスエコノミクス	2	ワークショップ演習 J	2
財務会計	2	2年次演習1	2
管理会計	2	2年次演習2	2
財務諸表分析	2	3年次演習1	2
コーポレート・ファイナンス	2	3年次演習2	2
Financial Accounting	2	卒論演習1	2
Finance	2	卒論演習2	2
会計監査	2	卒業論文	4

④ Global Study, Topics in Business

Global Study 1	2	Global Study 9	8
Global Study 2	2	Global Study (Pre-departure)	1
Global Study 3	3	Topics in Business 1	2
Global Study 4	3	Topics in Business 2	2
Global Study 5	1	Topics in Business 3	2
Global Study 6	1	Topics in Business 4	2
Global Study 7	1	Topics in Business 5	2
Global Study 8	1		

3 自由科目

① 企業人セミナー・自主講座

企業人セミナー1	2	経営学部特別講義 2	2
企業人セミナー2	2	経営学部特別講義 3	2
企業人セミナー3	2	経営学部特別講義 4	2
経営学部特別講義 1	2		

② インターンシップ・短期留学プログラム

Global Internship	4	Short-term Study Abroad Program 2	4
Long-term Global Internship	10	Sports Facility Management	2
Short-term Study Abroad Program 1	4		

③ 国際経営分野

Overseas EAP (海外EAP)	4	International Business - B	2
EAP 1	2	ESP-A	2
EAP 2	6	ESP-B	2
Business Project	2	Marketing Communications and	2
Business Project	4	Penetrating the Japanese Market	
Advanced Business Project	4	International Human Resource Management	2
International Business - A	2	Financial Statement Analysis	2

Business Negotiation	2	Japanese and East Asian	2
International Business Management (Uvic Summer Prog)	4	Business Environments	
Argumentation and Debate	2	Intercultural Business Management	2

経営学科は、全学共通科目で 28 単位、専門教育科目で必修科目 6 単位、選択科目の基礎科目 4 単位、基幹科目 56 単位、自由科目 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。なお、専門演習は 16 単位を限度として専門選択科目に算入する。

指定単位を超えて修得した専門選択科目、全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を自由科目の単位として卒業単位に算入することができる。ただし、全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学科目から卒業単位に算入することができるのは、あわせて 12 単位までとする。

(2) 国際経営学科専門教育科目

1 必修科目

経営学入門	2	会計学入門	2
経済学入門	2		

2 選択科目

① 基礎科目

A ビジネス基礎

リーダーシップ入門 (BL0)	2	International Business - A	2
グッド・ビジネス	2	International Business - B	2
国際経営論	2		

B コンセントレーション基礎

ビジネス概論A (マーケティング・マネジメント・コミュニケーション)	2	ビジネス概論B (会計学・ファイナンス・経済学)	2
---------------------------------------	---	-----------------------------	---

C ビジネスリテラシー

ICTリテラシー	2	経営学のための数学	2
ビジネスリテラシー1	2	社会調査実習	4
ビジネスリテラシー2	2		

② 基幹科目

A BBL

Overseas EAP (海外EAP)	4	ESP-B	2
Introduction to BBL(BBL0)	2	Business Project	2
EAP 1	2	Business Project	4
EAP 2	6	Advanced Business Project	4
ESP-A	2		

B GBI

CSR	2	サステナビリティ&ビジネス	2
経営史	2	Business and Society	2
ビジネスロー	2	グッド・ビジネス・ワークショップ	2
経営と社会	2	Good Business Seminar	2
コーポレートガバナンス	2	Basics in Business and Society	2

③ コンセントレーション科目

Marketing Management in Japan	2	組織と戦略	2
Marketing Positioning Strategy	2	International Human Resource Management	2
マーケティング・マネジメント	2	Global Strategic Management	2
伝統産業とマーケティング	2	Strategic Management	2
Modern Consumer Culture and Society	2	人材マネジメント論	2
Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market	2	Financial Accounting	2
デジタル・トランスフォーメーション	2	Finance	2
Introduction to Strategic Management	2	財務会計	2
Global Innovation Management	2	インベストメント	2
International Business Management (Uvic Summer Prog)	4	Financial Statement Analysis	2
経営と心理	2	Corporate Finance and Valuation	2
		Language and Culture	2
		Advanced Small Group Communication	2

Argumentation and Debate	2	ワークショップ演習 A	2
異文化コミュニケーション論	2	ワークショップ演習 B	2
組織行動論	2	ワークショップ演習 C	2
Business Communication	2	ワークショップ演習 D	2
Business Negotiation	2	ワークショップ演習 E	2
Intercultural Business Management	2	ワークショップ演習 F	2
Japanese and East Asian Business Environments	2	ワークショップ演習 G	2
グローバリゼーションと地域	2	ワークショップ演習 H	2
マーケティング・コミュニケーション	2	ワークショップ演習 I	2
コミュニケーション・リサーチ	2	ワークショップ演習 J	2
Basics in Finance	2	2年次演習1	2
Basics in Accounting	2	2年次演習2	2
Basics in Marketing	2	3年次演習1	2
Intermediate Finance	2	3年次演習2	2
Intermediate Accounting	2	卒論演習1	2
Intermediate Marketing	2	卒論演習2	2
音楽産業・新ビジネス創生概論	2	卒業論文	4
④ Global Study, Topics in Business			
Global Study 1	2	Global Study 9	8
Global Study 2	2	Global Study (Pre-departure)	1
Global Study 3	3	Topics in Business 1	2
Global Study 4	3	Topics in Business 2	2
Global Study 5	1	Topics in Business 3	2
Global Study 6	1	Topics in Business 4	2
Global Study 7	1	Topics in Business 5	2
Global Study 8	1		
3 自由科目			
① 企業人セミナー・自主講座			
企業人セミナー1	2	経営学部特別講義 2	2
企業人セミナー2	2	経営学部特別講義 3	2
企業人セミナー3	2	経営学部特別講義 4	2
経営学部特別講義 1	2		
② インターンシップ・短期留学プログラム			
Global Internship	4	Short-term Study Abroad Program 2	4
Long-term Global Internship	10	Sports Facility Management	2
Short-term Study Abroad Program 1	4		
③ 経営分野			
BL1	2	消費者行動論	2
BL2	2	流通システム論	2
BL3-A	2	マーケティング・リサーチ	2
BL3-B	2	経営と技術	2
BL3-C	2	マネジメントの理論	2
BL4	2	ビジネスエコノミクス	2
コーポレート・ファイナンス	2	財務諸表分析	2
マーケティング・セオリー	2	リテイル・マーケティング	2
データ・マイニング	2	組織マネジメント	2
管理会計	2	イノベーション・マネジメント	2
経営戦略論	2	会計監査	2
生産管理論	2	税務会計	2
比較組織論	2	ファイナンスのための数学	2
サービス・マーケティング	2		

国際経営学科は、全学共通科目で 28 単位、専門教育科目で必修科目 6 単位、選択科目の基礎科目 6 単位、基幹科目 54 単位、自由科目 30 単位、合計 124 単位を修得しなければならない。なお、専門演習は 16 単位を限度として専門選択科目に算入する。

指定単位を超えて修得した専門選択科目、全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を自由科目の単位として卒業単位に算入することができる。ただし、全学共通科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学科目から卒業単位に算入することができるのは、あわせて 12 単位までとする。

X 現代心理学部

(1) 心理学科専門教育科目

1 必修科目

現代心理学入門	2	心理学実験実習1(心理学実験)	2
キャリアと心理学	2	心理学調査実習1	2
心理学概論1	2	心理学実験実習2(心理学実験)	1
心理学概論2	2	心理学調査実習2	1
心理学統計法1	2	心理学文献講読1	2
心理学統計法2	2	心理学文献講読2	2

2 選択科目

①学部コラボレーション科目

学部コラボレーション科目1	2	学部コラボレーション科目2	2
---------------	---	---------------	---

② 学科選択科目A

心理学演習 A1	2	心理学演習 F2	2
心理学演習 A2	2	心理学演習 G1	2
心理学演習 B1	2	心理学演習 G2	2
心理学演習 B2	2	心理学演習 H1	2
心理学演習 C1	2	心理学演習 H2	2
心理学演習 C2	2	心理学演習 I1	2
心理学演習 D1	2	心理学演習 I2	2
心理学演習 D2	2	心理学演習 J1	2
心理学演習 E1	2	心理学演習 J2	2
心理学演習 E2	2	心理学演習 K1	2
心理学演習 F1	2	心理学演習 K2	2

③ 学科選択科目B

知覚心理学(知覚・認知心理学)	2	臨床心理学概論	2
学習心理学(学習・言語心理学)	2	生理心理学(神経・生理心理学)	2
認知心理学(知覚・認知心理学)	2	教育心理学(教育・学校心理学)	2
発達心理学	2	感情・人格心理学	2
社会心理学(社会・集団・家族心理学)	2	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	2
産業・組織心理学	2		

④ 学科選択科目C

心理学研究法 1	2	心理学研究法 3	2
心理学研究法 2	2	心理学研究法 4(心理的アセスメント)	2

⑤ 学科選択科目D

精神疾患とその治療	2	健康・医療心理学	2
心理学的支援法	2	福祉心理学	2
言語心理学(学習・言語心理学)	2	人体の構造と機能及び疾病	2
消費者心理学	2	自己理解・他者理解の心理学	2
司法・犯罪心理学	2	行動分析学	2
コミュニティ心理学	2	比較認知科学	2
神経心理学(神経・生理心理学)	2	キャリアの心理学演習	2
心理学海外体験プログラム	2	社会調査概論	2
文化心理学	2	社会調査設計法	2
学校心理学(教育・学校心理学)	2	社会調査演習	4
障害者・障害児心理学	2		

⑥ 学科選択科目E

卒業論文	8	卒業論文指導演習 2	2
卒業論文指導演習 1	2		

3 自由科目

<自由選択科目>

心理学原書講読(入門)	2	心理学英語文献講読演習 1	2
-------------	---	---------------	---

心理学英語文献講読演習 2	2	情報処理	2
心理学英語表現演習 1	2	公認心理師の職責	2
心理学英語表現演習 2	2	関係行政論	2
英語心理学研究法演習 1	2	心理演習	2
英語心理学研究法演習 2	2	心理実習	2
英語心理学特講	2	観光心理学	2

心理学科卒業論文選択者は、全学共通科目 28 単位、必修科目 22 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A 4 単位、学科選択科目 B 10 単位、学科選択科目 C 4 単位、学科選択科目 D 16 単位、学科選択科目 E 12 単位、自由科目 26 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

心理学科卒業論文非選択者は、全学共通科目 28 単位、必修科目 22 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A 4 単位、学科選択科目 B 10 単位、学科選択科目 C 4 単位、学科選択科目 D 16 単位、自由科目 38 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目は、上記科目のほか、指定単位を超えて修得した科目（全学共通科目、学部コラボレーション科目、学科選択科目）、現代心理学部他学科科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目である。

(2) 映像身体学科専門教育科目

1 必修科目

現代心理学入門	2	映像身体学入門1	2
入門演習1	2	映像身体学入門2	2
入門演習2	2	映像身体学とキャリア	2

2 選択科目

① 学部コラボレーション科目

学部コラボレーション科目 1	2	学部コラボレーション科目 2	2
----------------	---	----------------	---

② 学科選択科目 A

基礎演習 1	2	基礎演習 12	2
基礎演習 2	2	基礎演習 13	2
基礎演習 3	2	基礎演習 14	2
基礎演習 4	2	基礎演習 15	2
基礎演習 5	2	身体学文献講読 1	2
基礎演習 6	2	身体学文献講読 2	2
基礎演習 7	2	身体学文献講読 3	2
基礎演習 8	2	映像学文献講読 1	2
基礎演習 9	2	映像学文献講読 2	2
基礎演習 10	2	映像学文献講読 3	2
基礎演習 11	2	映像身体学文献講読	2

③ 学科選択科目 B

専門演習 A1	2	専門演習 I2	2
専門演習 A2	2	専門演習 J1	2
専門演習 B1	2	専門演習 J2	2
専門演習 B2	2	専門演習 K1	2
専門演習 C1	2	専門演習 K2	2
専門演習 C2	2	専門演習 L1	2
専門演習 D1	2	専門演習 L2	2
専門演習 D2	2	専門演習 M1	2
専門演習 E1	2	専門演習 M2	2
専門演習 E2	2	専門演習 N1	2
専門演習 F1	2	専門演習 N2	2
専門演習 F2	2	専門演習 O1	2
専門演習 G1	2	専門演習 O2	2
専門演習 G2	2	専門演習 P1	2
専門演習 H1	2	専門演習 P2	2
専門演習 H2	2		
専門演習 I1	2		

④ 学科選択科目C

他者の現象学	2	メディア論	2
アフォーダンス	2	映像の思想	2
フィルム・スタディーズの基礎	2	アメリカ映画論	2
オートポイエーシス	2	ヨーロッパ映画論	2
養生論の思想	2	日本映画論	2
生命システム論	2	アジア映画論	2
現代思想概説	2	ドキュメンタリー映画論	2
身体社会論	2	写真映像論	2
映像社会論	2	イメージとメディア	2
生態心理学	2	芸術の思想	2
身体表現史	2	映像技術論 1	2
映像表現史	2	映像技術論 2	2
生態心理学実験	2	ファッションの思想	2
身体系ワークショップ 1	2	広告論	2
身体系ワークショップ 2	2	映像人類学	2
身体系ワークショップ 3	2	ジェンダー文化論	2
身体系ワークショップ 4	2	ポストコロナル論	2
身体系ワークショップ 5	2	音の思想 1	2
身体系ワークショップ 6	2	音の思想 2	2
身体系ワークショップ 7	2	言語芸術論	2
映像系ワークショップ 1	2	視聴覚文化論	2
映像系ワークショップ 2	2	認知科学	2
映像系ワークショップ 3	2	アートの心理学	2
映像系ワークショップ 4	2	芸能の理論と歴史	2
映像系ワークショップ 5	2	映像身体学特講 1	2
映像系ワークショップ 6	2	映像身体学特講 2	2
超域系ワークショップ 1	2	映像身体学特講 3	2
戯曲シナリオ演習 1	2	映像身体学特講 4	2
戯曲シナリオ演習 2	2	映像身体学特講 5	2
映像シナリオ演習 1	2	映像身体学特講 6	2
映像シナリオ演習 2	2	映像身体学特講 7	2
映像シナリオ演習 3	2	映像身体学特講 8	2
身体の思想	2	映像技術入門 A	2
現代演劇論 1	2	映像技術入門 B	2
現代演劇論 2	2	映像技術中級 1	2
比較舞踊論	2	映像技術中級 2	2
パフォーマンスと身体	2	舞台技術演習	2
身体人類学	2	都市の記憶と表象文化	2
芸術人類学	2		

⑤ 学科選択科目D

卒業論文・卒業制作	8	卒業論文・卒業制作指導演習 1	2
		卒業論文・卒業制作指導演習 2	2

3 自由科目

<自由選択科目>

映像身体学科は、全学共通科目 28 単位、必修科目 16 単位、学部コラボレーション科目 2 単位、学科選択科目 A2 単位、学科選択科目 B～D56 単位、自由科目 20 単位、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目は、上記科目のほか、指定単位を超えて修得した科目（全学共通科目、学部コラボレーション科目、学科選択科目）、現代心理学部他学科科目、他学部科目、4 大学間単位互換制度による他大学の科目である。

X I 異文化コミュニケーション学部

(1) 異文化コミュニケーション学科一般専門教育科目

1 必修科目

① 学部必修科目

異文化コミュニケーション研究入門	2	基礎演習B	2
基礎演習A	2	Cultural Exchange	2

2 選択科目

① 学びの精神

College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
-------------------------	---	-------------------------	---

② 基盤科目

コミュニケーションセミナー1(ドイツ語)	2	海外日本語教育実践	2
コミュニケーションセミナー1(フランス語)	2	海外日本語教育インターンシップ	2
コミュニケーションセミナー1(スペイン語)	2	Seminar in English A	2
コミュニケーションセミナー1(中国語)	2	Seminar in English B	2
コミュニケーションセミナー1(朝鮮語)	2	Seminar in English C	2
コミュニケーションセミナー1(ロシア語)	2	Seminar in English D	2
コミュニケーションセミナー2(ドイツ語)	2	Seminar in English E	2
コミュニケーションセミナー2(フランス語)	2	Seminar in English F	2
コミュニケーションセミナー2(スペイン語)	2	Seminar in English G	2
コミュニケーションセミナー2(中国語)	2	Seminar in English H	2
コミュニケーションセミナー2(朝鮮語)	2	日本語コミュニケーションA	2
コミュニケーションセミナー2(ロシア語)	2	日本語コミュニケーションB	2
コミュニケーションセミナー3A-R(英語)	4	日本語コミュニケーションC	2
コミュニケーションセミナー3B-R(ドイツ語)	4	日本語コミュニケーションD	2
コミュニケーションセミナー3B-R(フランス語)	4	Japan Studies Program A	4
コミュニケーションセミナー3B-R(スペイン語)	4	Japan Studies Program B	2
コミュニケーションセミナー3B-R(中国語)	4	Japan Studies Program C	2
コミュニケーションセミナー3B-R(朝鮮語)	4	Japan Studies Program D	2
ドイツ語Lecture A	2	Japan Studies Program E	4
ドイツ語Lecture B	2	Japan Studies Program F	2
フランス語Lecture A	2	海外留学研修C1	12
フランス語Lecture B	2	海外留学研修C2	12
スペイン語Lecture A	2	Study Abroad in Asia A	12
スペイン語Lecture B	2	Study Abroad in Asia B	12
中国語Lecture A	2	留学、学びのデザイン、キャリア	2
中国語Lecture B	2	海外フィールドスタディA	2
朝鮮語Lecture A	2	海外フィールドスタディB	2
朝鮮語Lecture B	2	国内フィールドスタディA	2
ビジネス日本語コミュニケーション演習	2	国内フィールドスタディB	2
キャリア実践演習A	2	サービスマーケティングA	2
キャリア実践演習B	2	サービスマーケティングB	2
諸言語特別演習A	2	サービスマーケティングC	2
諸言語特別演習B	2	言語研究調査法	2
海外留学研修A	12	異文化トレーニング演習	2
海外留学研修B	14	コミュニケーション研究調査法	2
キャリア形成実習	2	フィールドワーク	2
インターンシップ	2		

③ 基礎科目

異文化コミュニケーション概論	2	コミュニケーション研究概論	2
英語学概論	2	国際協力・開発学概論	2
日本語学概論A	2	カルチュラル・スタディーズ概論	2
日本語学概論B	2	グローバル化とジェンダー	2
コンピュータ・リテラシー	2	人間環境概論	2
文化人類学概論	2	多文化共生概論	2
視覚芸術概論	2	グローバル化と宗教	2
音楽学概論	2	メディアコミュニケーション概論	2
言語学概論	2	国際協力・紛争研究概論	2
通訳翻訳学概論	2		

④ 専門科目

対人コミュニケーション論	2	非言語コミュニケーション論	2
集団コミュニケーション論	2	説得コミュニケーション論	2
グローバル社会とコミュニケーション	2	バイリンガリズム研究	2

社会言語学	2	通訳翻訳実習	2
認知言語学	2	通訳翻訳特論	2
語用論	2	異文化コミュニケーション特論	2
通訳入門	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
文化記号論	2	コミュニケーション特論	2
エスニシティとナショナリズム	2	グローバル文化研究特論	2
英語圏文学論	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
間文化研究	2	グローバル化と思想	2
国際協力・開発学特論	2	言語文化論	2
宗教と文化	2	グローバル化と言語	2
国際協力・紛争研究特論	2	自然共生特論	2
子どもの貧困	2	人間環境特論	2
国際協力とビジネス	2	グローバル研究調査法	2
音楽学特論	2	Teaching English to Speakers of Other	2
視覚芸術特論	2	Language: Basic Principles	
人と移動	2	Communication and Citizenship	2
多文化共生特論	2	Transcultural Cinema	2
日本語学特論	2	Contemporary Culture in Japan	2
心理言語学	2	Religions and Society in Asia	2
英語科教育研究	2	Japan in Asia	2
第1言語習得理論	2	Ethnicity and Globalization in Japan	2
第2言語習得理論	2	Multiculturalism in Japan	2
外国語教育評価論	2	Language Policy and Multilingualism	2
日本語教授法A	2	Special Topics in ICC	2
日本語教授法B	2	Social Movements and Social Change	2
日本語教育実習	4	Motivation in Language Learning	2
コミュニケーション文法	2	Intercultural Communication	2
英語教育学	2	in the Language Classroom	
英語コミュニケーション教育学	2	Advanced Seminar: Intercultural Communication	4
言語研究特論	2	Advanced Seminar: Language and Identity	4
逐次通訳	2	Advanced Seminar: International Cooperation	4
同時通訳入門	2	Advanced Seminar: Gender and Communication	4
翻訳入門	2	Advanced Seminar: Globalization and Media	4
翻訳応用実践1	2		
翻訳応用実践2	2		
⑤ 専門演習・卒業研究			
専門演習1	2	専門演習3	2
専門演習2	2	卒業研究	4
⑥ 卒業課題			
卒業課題A	2	卒業課題B	2

異文化コミュニケーション学科一般学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 8 単位、基盤科目 20 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 26 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・4 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

(2) 異文化コミュニケーション学科 Dual Language Pathway 専門教育科目

1 必修科目

① 学部必修科目

Academic Skills A	2	Overview of Intercultural Communication Studies	2
Academic Skills B	2	Cultural Exchange	2

② 専門演習・卒業研究

Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 2	2
--------------------	---	--------------------	---

Advanced Seminar 3	2	Senior Research and Thesis	4
2 選択科目			
① 学びの精神			
College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
② 基盤科目			
Communication Seminar 1(German)	2	Lecture in Chinese A	2
Communication Seminar 1(French)	2	Lecture in Chinese B	2
Communication Seminar 1(Spanish)	2	Lecture in Korean A	2
Communication Seminar 1(Chinese)	2	Lecture in Korean B	2
Communication Seminar 1(Korean)	2	Overseas Study Program A	12
Communication Seminar 1 (Russian)	2	Overseas Study Program B	14
Communication Seminar 2(German)	2	Communication Seminar(Intensive) A	2
Communication Seminar 2(French)	2	Communication Seminar(Intensive) B	2
Communication Seminar 2(Spanish)	2	Overseas Japanese Language Teaching Practicum	2
Communication Seminar 2(Chinese)	2	Overseas Japanese Language Education Internship	2
Communication Seminar 2(Korean)	2	Career Development Practicum	2
Communication Seminar 2 (Russian)	2	Internship	2
Communication Seminar 3A-R(English)	4	Japan Studies Program E	4
Communication Seminar 3B-R(German)	4	Japan Studies Program F	2
Communication Seminar 3B-R(French)	4	Overseas Study Program C1	12
Communication Seminar 3B-R(Spanish)	4	Overseas Study Program C2	12
Communication Seminar 3B-R(Chinese)	4	Study Abroad in Asia A	12
Communication Seminar 3B-R(Korean)	4	Study Abroad in Asia B	12
Seminar in English A	2	Study Abroad, Study Planning, and Career Development	2
Seminar in English B	2	Overseas Field Study A	2
Seminar in English C	2	Overseas Field Study B	2
Seminar in English D	2	Domestic Field Study A	2
Seminar in English E	2	Domestic Field Study B	2
Seminar in English F	2	Service Learning A	2
Seminar in English G	2	Service Learning B	2
Seminar in English H	2	Service Learning C	2
Lecture in German A	2	Research Methods in Language Studies	2
Lecture in German B	2	Seminar in Intercultural Training	2
Lecture in French A	2	Research Methods	2
Lecture in French B	2	in Communication Studies	2
Lecture in Spanish A	2	Fieldwork	2
Lecture in Spanish B	2		
③ 基礎科目			
Introduction to Linguistics	2	Introduction to Cultural Studies	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	Introduction to International Development and Cooperation	2
Introduction to Communication	2	Introduction to the Study of English	2
Introduction to Intercultural Communication	2	Introduction to Cultural Anthropology	2
Introduction to Media Communication	2	Globalization and Gender	2
④ 専門科目			
Psycholinguistics	2	Translation and Interpreting Practicum	2
Sociolinguistics	2	Topics in Translation and Interpreting	2
Cognitive Linguistics	2	Communication and Citizenship	2
Pragmatics	2	Transcultural Cinema	2
Theories of Second Language Acquisition	2	Contemporary Culture in Japan	2
Bilingualism	2	Religions Society in Asia	2
Measurement and Evaluation in Language Education	2	Japan in Asia	2
Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles	2	Ethnicity and Globalization in Japan	2
Introduction to Interpreting	2	Multiculturalism in Japan	2
Consecutive Interpreting	2	Language Policy and Multilingualism	2
Introduction to Simultaneous Interpreting	2	Special Topics in ICC	2
Introduction to Translation	2	Social Movements and Social Change	2
Intermediate Translation 1	2	Motivation in Language Learning	2
Intermediate Translation 2	2	Intercultural Communication	2
		in the Language Classroom	
		Advanced Seminar: Intercultural Communication	4

Advanced Seminar: Language and Identity	4	日本語学特論	2
Advanced Seminar: International Cooperation	4	英語科教育研究	2
Advanced Seminar: Gender and Communication	4	第1言語習得理論	2
Advanced Seminar: Globalization and Media	4	日本語教授法A	2
対人コミュニケーション論	2	日本語教授法B	2
集団コミュニケーション論	2	日本語教育実習	4
グローバル社会とコミュニケーション	2	コミュニケーション文法	2
非言語コミュニケーション論	2	英語教育学	2
説得コミュニケーション論	2	英語コミュニケーション教育学	2
文化記号論	2	言語研究特論	2
エスニシティとナショナリズム	2	異文化コミュニケーション特論	2
英語圏文学論	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
間文化研究	2	コミュニケーション特論	2
国際協力・開発学特論	2	グローバル文化研究特論	2
宗教文化	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
国際協力・紛争研究特論	2	グローバル化と思想	2
子どもの貧困	2	言語文化論	2
国際協力とビジネス	2	グローバル化と言語	2
音楽学特論	2	自然共生特論	2
視覚芸術特論	2	人間環境特論	2
人と移動	2	グローバル研究調査法	2
多文化共生特論	2		
⑤ 自由科目			
Basic Seminar A	2	ベーシックセミナーA	2
Basic Seminar B	2	ベーシックセミナーB	2

異文化コミュニケーション学科 Dual Language Pathway 学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 8 単位、基盤科目 20 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 26 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・4 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

(3) 異文化コミュニケーション学科 Transitional Bilingual Program 専門教育科目

1 必修科目

① 学部必修科目

Academic Skills A	2	Overview of Intercultural Communication Studies	2
Academic Skills B	2	Cultural Exchange	2

2 選択科目

① 学びの精神

College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
-------------------------	---	-------------------------	---

② 基盤科目

コミュニケーションセミナー1(ドイツ語)	2	コミュニケーションセミナー3B-R(ドイツ語)	4
コミュニケーションセミナー1(フランス語)	2	コミュニケーションセミナー3B-R(フランス語)	4
コミュニケーションセミナー1(スペイン語)	2	コミュニケーションセミナー3B-R(スペイン語)	4
コミュニケーションセミナー1(中国語)	2	コミュニケーションセミナー3B-R(中国語)	4
コミュニケーションセミナー1(朝鮮語)	2	コミュニケーションセミナー3B-R(朝鮮語)	4
コミュニケーションセミナー1(ロシア語)	2	ドイツ語Lecture A	2
コミュニケーションセミナー2(ドイツ語)	2	ドイツ語Lecture B	2
コミュニケーションセミナー2(フランス語)	2	フランス語Lecture A	2
コミュニケーションセミナー2(スペイン語)	2	フランス語Lecture B	2
コミュニケーションセミナー2(中国語)	2	スペイン語Lecture A	2
コミュニケーションセミナー2(朝鮮語)	2	スペイン語Lecture B	2
コミュニケーションセミナー2(ロシア語)	2	中国語Lecture A	2
コミュニケーションセミナー3A-R(英語)	4	中国語Lecture B	2

朝鮮語Lecture A	2	日本語コミュニケーションD	2
朝鮮語Lecture B	2	Japan Studies Program A	4
ビジネス日本語コミュニケーション演習	2	Japan Studies Program B	2
キャリア実践演習A	2	Japan Studies Program C	2
キャリア実践演習B	2	Japan Studies Program D	2
諸言語特別演習A	2	Japan Studies Program E	4
諸言語特別演習B	2	Japan Studies Program F	2
海外留学研修A	12	海外留学研修C1	12
海外留学研修B	14	海外留学研修C2	12
キャリア形成実習	2	Study Abroad in Asia A	12
インターンシップ	2	Study Abroad in Asia B	12
海外日本語教育実践	2	留学、学びのデザイン、キャリア	2
海外日本語教育インターンシップ	2	海外フィールドスタディA	2
Seminar in English A	2	海外フィールドスタディB	2
Seminar in English B	2	国内フィールドスタディA	2
Seminar in English C	2	国内フィールドスタディB	2
Seminar in English D	2	サービスマーケティングA	2
Seminar in English E	2	サービスマーケティングB	2
Seminar in English F	2	サービスマーケティングC	2
Seminar in English G	2	言語研究調査法	2
Seminar in English H	2	異文化トレーニング演習	2
日本語コミュニケーションA	2	コミュニケーション研究調査法	2
日本語コミュニケーションB	2	フィールドワーク	2
日本語コミュニケーションC	2		
③ 基礎科目			
Introduction to Linguistics	2	Globalization and Gender	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	日本語学概論A	2
Introduction to Communication	2	日本語学概論B	2
Introduction to Intercultural Communication	2	国際協力・紛争研究概論	2
Introduction to Media Communication	2	人間環境概論	2
Introduction to Cultural Studies	2	多文化共生概論	2
Introduction to International Development and Cooperation	2	グローバル化と宗教	2
Introduction to the Study of English	2	視覚芸術概論	2
Introduction to Cultural Anthropology	2	音楽学概論	2
		コンピュータ・リテラシー	2
④ 専門科目			
対人コミュニケーション論	2	第1言語習得理論	2
集団コミュニケーション論	2	第2言語習得理論	2
グローバル社会とコミュニケーション	2	外国語教育評価論	2
非言語コミュニケーション論	2	日本語教授法A	2
説得コミュニケーション論	2	日本語教授法B	2
バイリンガリズム研究	2	日本語教育実習	4
社会言語学	2	コミュニケーション文法	2
認知言語学	2	英語教育学	2
語用論	2	英語コミュニケーション教育学	2
通訳入門	2	言語研究特論	2
文化記号論	2	逐次通訳	2
エスニシティとナショナリズム	2	同時通訳入門	2
英語圏文学論	2	翻訳入門	2
間文化研究	2	翻訳応用実践1	2
国際協力・開発学特論	2	翻訳応用実践2	2
宗教と文化	2	通訳翻訳実習	2
国際協力・紛争研究特論	2	通訳翻訳特論	2
子どもの貧困	2	異文化コミュニケーション特論	2
国際協力とビジネス	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
音楽学特論	2	コミュニケーション特論	2
視覚芸術特論	2	グローバル文化研究特論	2
人と移動	2	カルチュラル・スタディーズ特論	2
多文化共生特論	2	グローバル化と思想	2
日本語学特論	2	言語文化論	2
心理言語学	2	グローバル化と言語	2
英語科教育研究	2	自然共生特論	2

人間環境特論	2	Special Topics in ICC	2
グローバル研究調査法	2	Social Movements and Social Change	2
Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles Communication and Citizenship	2	Motivation in Language Learning	2
Transcultural Cinema	2	Intercultural Communication in the Language Classroom	2
Contemporary Culture in Japan	2	Advanced Seminar: Intercultural Communication	4
Religion and Society in Asia	2	Advanced Seminar: Language and Identity	4
Japan in Asia	2	Advanced Seminar: International Cooperation	4
Ethnicity and Globalization in Japan	2	Advanced Seminar: Gender and Communication	4
Multiculturalism in Japan	2	Advanced Seminar: Globalization and Media	4
Language Policy and Multilingualism	2		
⑤ 専門演習・卒業研究			
専門演習1	2	専門演習3	2
専門演習2	2	卒業研究	4
⑥ 卒業課題			
卒業課題 A	2	卒業課題 B	2

異文化コミュニケーション学科 Transitional Bilingual Program に属する学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 8 単位、基盤科目 20 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 26 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

専門演習・卒業研究 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

卒業課題 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・4 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

(4) 異文化コミュニケーション学科 Intercultural Communication for Global Leadership 専門教育科目

1 必修科目

① 学びの精神

College Life Planning A	2	College Life Planning B	2
-------------------------	---	-------------------------	---

② 学部必修科目

Academic Skills A	2	Overview of Global Studies	2
Academic Skills B	2	Cultural Exchange	2
Overview of Language and Communication Studies	2		

2 選択科目

① PEACE 選択科目

Humanities Study1	2	Accounting (Introductory) 1	2
Humanities Study2	2	Accounting (Introductory) 2	2
Humanities Study3	2	Finance (Introductory) 1	2
Humanities Study4	2	Finance (Introductory) 2	2
Humanities Study5	2	Sociological Studies A	2
Humanities Study6	2	Sociological Studies B	2
Humanities Lecture1	2	Sociological Studies C	2
Humanities Lecture2	2	Sociological Studies D	2
Japanese Economy1	2	Lecture and Discussion on Gender C	2
Japanese Economy2	2	Lecture and Discussion on Culture D	2
Japanese Management1	2	Torts	2
Japanese Management2	2	Comparative Family Law	2
Japanese Economic History1	2	Introduction to Legal Studies A	2
Japanese Economic History2	2	Introduction to Legal Studies B	2

Contract A	2	Tourism Study 3(Destination)	2
Contract B	2	Tourism Study 4(Culture)	2
Constitutional Law A	2	Global Society and Local Communities	2
Constitutional Law B	2	Specialized Psychology Lecture	2
Criminal Procedure	2	Cultural Psychology	2
Financial Statement Analysis	2	Psychological Research Methods 1	2
Tourism Study 1(Business)	2	Psychological Research Methods 2	2
Tourism Study 2(Society)	2	International Societyand Sport	2
② 基盤科目			
Communication Seminar 1 (German)	2	Lecture in Chinese B	2
Communication Seminar 1 (French)	2	Lecture in Korean A	2
Communication Seminar 1 (Spanish)	2	Lecture in Korean B	2
Communication Seminar 1 (Chinese)	2	Service Learning C	2
Communication Seminar 1 (Korean)	2	Overseas Field Studies A	2
Communication Seminar 1 (Russian)	2	Overseas Field Studies B	2
Communication Seminar 2 (German)	2	Domestic Field Studies A	2
Communication Seminar 2 (French)	2	Domestic Field Studies B	2
Communication Seminar 2(Spanish)	2	Overseas Japanese Language Teaching Practicum	2
Communication Seminar 2(Chinese)	2	Overseas Japanese Language Education Internship	2
Communication Seminar 2 (Korean)	2	Japan Studies Program A	2
Communication Seminar 2 (Russian)	2	Japan Studies Program E	2
Communication Seminar 3B-R (German)	4	Japan Studies Program F	2
Communication Seminar 3B-R (French)	4	Study Abroad, Study Planning, and Career	
Communication Seminar 3B-R (Spanish)	4	Development	2
Communication Seminar 3B-R (Chinese)	4	Japanese Communication A	2
Communication Seminar 3B-R (Korean)	4	Japanese Communication B	2
Lecture in German A	2	Japanese Communication C	2
Lecture in German B	2	Japanese Communication D	2
Lecture in French A	2	Seminar in Japanese Language Business	
Lecture in French B	2	Communication	2
Lecture in Spanish A	2	Career Skills Development A	2
Lecture in Spanish B	2	Career Skills Development B	2
Lecture in Chinese A	2		
③ 基礎科目			
Introduction to Linguistics	2	Introduction to Media Communication	2
Introduction to the Study of English	2	Introduction to Cultural Studies	2
Introduction to Translation and Interpreting Studies	2	Introduction to International Development and Cooperation	2
Introduction to Communication	2	Introduction to Cultural Anthropology	2
Introduction to Intercultural Communication	2	Globalization and Gender	2
④ 専門科目			
Psycholinguistics	2	Consecutive Interpreting	2
Sociolinguistics	2	Introduction to Simultaneous Interpreting	2
Cognitive Linguistics	2	Introduction to Translation	2
Pragmatics	2	Intermediate Translation 1	2
Theories of Second Language Acquisition	2	Intermediate Translation 2	2
Bilingualism	2	Translation and Interpreting Practicum	2
Measurement and Evaluation in Language Education	2	Topics in Translation and Interpreting	2
Teaching English to Speakers of Other Language: Basic Principles	2	Communication and Citizenship	2
Motivation in Language Learning	2	Transcultural Cinema	2
Intercultural Communication in the Language Classroom	2	Contemporary Culture in Japan	2
Introduction to Interpreting	2	Religion and Society in Asia	2
		Japan in Asia	2
		Ethnicity and Globalization in Japan	2
		Multiculturalism in Japan	2

Language Policy and Multilingualism	2	グローバル社会とコミュニケーション	2
Social Movements and Social Change	2	コミュニケーション・テクノロジーと社会	2
Advanced Seminar: Intercultural Communication	4	コミュニケーション特論	2
Advanced Seminar: Language and Identity	4	グローバル文化研究特論	2
Advanced Seminar: International Cooperation	4	カルチュラル・スタディーズ特論	2
Advanced Seminar: Gender and Communication	4	グローバル化と思想	2
Advanced Seminar: Globalization and Media	4	宗教と文化	2
Special Topics in ICC	2	エスニシティとナショナリズム	2
文化記号論	2	人と移動	2
第1言語習得理論	2	言語文化論	2
英語教育学	2	グローバル化と言語	2
英語コミュニケーション教育学	2	多文化共生特論	2
英語科教育研究	2	国際協力・開発学特論	2
日本語学特論	2	国際協力・紛争研究特論	2
日本語教授法 A	2	子どもの貧困	2
日本語教授法 B	2	国際協力とビジネス	2
日本語教育実習	4	自然共生特論	2
コミュニケーション文法	2	人間環境特論	2
言語研究特論	2	間文化研究	2
非言語コミュニケーション論	2	音楽学特論	2
異文化コミュニケーション特論	2	視覚芸術特論	2
対人コミュニケーション論	2	英語圏文学論	2
集団コミュニケーション論	2	グローバル研究調査法	2
説得コミュニケーション論	2		

⑤ 専門演習・卒業研究

Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 3	2
Advanced Seminar 2	2	Senior Research and Thesis	4

⑥ 卒業課題

Senior Project A	2	Senior Project B	2
------------------	---	------------------	---

異文化コミュニケーション学科 Intercultural Communication for Global Readership に属する学生は、全学共通科目 24 単位、学びの精神 4 単位、専門教育科目については学部必修科目 10 単位、PEACE 選択科目 10 単位、基盤科目 8 単位、基礎科目 12 単位、専門科目 26 単位、更に、選択により以下の科目を修得し、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

① 卒業研究選択者

Advanced Seminar・Senior Research and Thesis 10 単位、自由科目 20 単位

② 卒業課題選択者

Senior Project 4 単位、自由科目 26 単位

自由科目には、指定単位を超えて修得した選択科目・全学共通科目・他学部科目・言語自由科目・4 大学間単位互換制度による他大学の科目及び留学認定科目を算入することができる。

X II スポーツウエルネス学部

(1) スポーツウエルネス学科専門教育科目

1 必修科目

基礎演習(学びの技法を含む)	2	スポーツウエルネスワークショップ B	2
スポーツウエルネス学入門	2	スポーツウエルネスワークショップ C	2
スポーツマンシップ論	2	卒業研究指導演習	2
スポーツリーダーシップ論	2	卒業研究(バイシックコース)	2
スポーツウエルネスワークショップ A	2	卒業研究(アドバンスコース)	8

2 選択科目

① 専門基礎科目

運動方法学演習 1	2	運動方法学演習 4	2
運動方法学演習 2	2	運動方法学演習 5	2
運動方法学演習 3	2	運動方法学演習 6	2

運動方法学演習 7	2	スポーツ科学総論	2
運動方法学演習 8	2	運動方法学	2
運動方法学演習 9	2	生涯スポーツ論	2
運動方法学演習 10	2	運動生理学	2
運動方法学演習 11	2	生理学	2
運動方法学演習 12	2	運動処方・療法	2
運動方法学演習 13	2	解剖学 1	2
運動方法学演習 14	2	解剖学 2	2
運動方法学演習 15	2	アスレティックトレーナーの役割	2
運動方法学演習 16	2	ウエルネスと時間生物学	2
運動方法学演習 17	2	ウエルネス理解のための基礎生命科学	2
運動方法学演習 18	2	環境・サステナビリティ論	2
運動方法学演習 A	2	ウエルネス理解のための細胞生物学	2
運動方法学演習 B	2	抗加齢医学とウエルネス	2
情報処理 1	2	体育原理・体育史	2
情報処理 2	2	スポーツ教育論	2
異文化スタディ	2	データサイエンス概論	2
キャリア形成論	2	スポーツウエルネス学特別講義 A	2
ウエルネス科学総論	2		
② 専門基幹科目			
身体文化論	2	アスレティックリハビリテーション&リコン	
発育・発達・加齢論	2	ディショニング概論	2
スポーツウエルネス心理学 (基礎)	2	測定と評価	2
ストレンクス・コンディショニング論 (基礎)	2	スポーツ医学 (外傷・障害) 1	2
運動・スポーツ栄養学 (基礎)	2	スポーツ医学 (外傷・障害) 2	2
スポーツ社会学	2	コンディショニングの方法	2
測定評価演習	2	アスレティックリハビリテーション実習 1	2
アダプテッド・スポーツ論	2	スポーツと法	2
ダイバーシティ・スポーツ論	2	生物多様性と人間社会	2
スポーツ政策	2	応用生命科学	2
健康政策	2	学校保健・学校安全	2
スポーツコーチ学	2	スポーツデータ収集演習	2
コーチングスキル	2	キャリア教育実習	4
スポーツ・健康産業論	2	スポーツ科学の応用と活用	2
コンディショニングの実際	2	スポーツ現場におけるリスクの管理と対応	2
コンディショニング概論	2		
③ 専門展開科目			
レクリエーション援助論	2	スポーツコーチング演習	2
レクリエーション援助演習	2	専門演習 1	2
メンタルマネジメント	2	専門演習 2	2
スポーツジャーナリズム	2	スポーツコーチング特論	2
バイオメカニクス	2	動作分析法演習	2
スポーツ倫理学	2	ダイバーシティ・スポーツ演習	2
ウエルネスプロモーション論	2	生活習慣病の科学	2
スポーツビジネス論	2	運動処方・療法演習	2
スポーツマネジメント論	2	スポーツウエルネス心理学 (応用)	2
コミュニティスポーツ論	2	運動・スポーツ栄養学 (応用)	2
障害者スポーツ論	2	組織マネジメントサービス論	2
小児保健・精神保健	2	スポーツ行政学	2
公衆衛生学	2	アスレティックリハビリテーション&リコン	
ユニバーサルスポーツ援助技術演習	2	ディショニング 1	2
健康運動指導演習	2	アスレティックリハビリテーション&リコン	
障害者スポーツ実践論	2	ディショニング 2	2
リハビリテーション論	2	救急処置	2

ストレンクス・コンディショニング論(応用)	2	学校運動部指導論	2
スポーツ医学(内科)	2	スポーツ人類学	2
アスレティックリハビリテーション実習2	2	スポーツ工学演習	2
アスレティックリハビリテーション実習3	2	スポーツ哲学	2
アスレティックリハビリテーション実習4	2	スポーツデータ解析演習	2
運動障害と運動負荷試験	2	スポーツビジネスコミュニケーション演習	2
スポーツ教材論	2		

④ 専門英語科目

Quantitative Research Methods in Sport and Exercise	2	Wellness (Advanced)	
Reading and Comprehension in Sport and Wellness (Basic)	2	English Communication in Sport 2	2
English Communication in Sport 1	2	English for Future Careers in Sport and Wellness	2
Introduction to Sport and Wellness Overseas	2	Contemporary Issues in Global Sports	2
International Society and Sport	2	Psychology of Well-Functioning and Performance	2
Comparative Sport Culture	2	Global Education	2
Motivational Psychology in Sports and Exercise	2	英語で学ぶスポーツマネジメント	2
Reading and Comprehension in Sport and	2		

⑤ 専門関連科目

心理学1	2	生涯学習支援論1	2
心理学2	2	生涯学習支援論2	2
生涯学習概論1	2	社会教育経営論1	2
生涯学習概論2	2	社会教育経営論2	2

3 随意科目

保健体育科教育法1	2	保健体育科教育法演習1	2
保健体育科教育法2	2	保健体育科教育法演習2	2

スポーツウエルネス学科の卒業研究ベーシックコースは、全学共通科目28単位、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を4単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を12単位、専門展開科目を22単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得しなければならない。

卒業研究アドバンスコースは、全学共通科目28単位、専門必修科目を14単位、卒業研究科目を10単位、専門基礎科目を22単位、専門基幹科目を10単位、専門展開科目を18単位、専門英語科目を4単位、自由科目を20単位以上、合計126単位以上を修得しなければならない。

いずれのコースにおいても、卒業要件単位を超えて修得した全学共通科目、選択科目、及び専門関連科目、他学部科目、他学科科目、4大学間単位互換制度による他大学の科目を自由科目として卒業要件単位に算入することができる。

なお、専門基礎科目のうち、運動方法学演習1～運動方法学演習18、および運動方法学演習A～運動方法学演習Bから、12単位を選択必修とする。

XIII 環境学部

(1) 環境学科専門教育科目

1 必修科目

リベラルアーツとしての環境学原論1	2	環境科学入門2	2
リベラルアーツとしての環境学原論2	2	環境フィールドスタディ1	2
環境科学入門1	2		

2 選択科目

① 基幹科目		
A 環境総合		
気候変動とカーボンニュートラル	2	資源循環とサーキュラーエコノミー 2
生物多様性とネイチャーポジティブ	2	環境アセスメントと持続可能な開発 2
環境汚染・公害とわたしたちの社会	2	環境データサイエンス 2
B 人間と社会		
自然環境と人間社会	2	環境政策・経済学入門 2
環境倫理	2	環境学のための社会調査法入門 2
環境教育・ESDとシティズンシップ	2	Environmental Issues in Japan and the World 2
環境法入門	2	
C 化学と技術		
環境統計学基礎	2	
環境物理学基礎	2	環境地学基礎 2
環境化学基礎	2	環境デザイン・マネジメント 2
環境生物学基礎	2	Natural Science of Triple Planetary Crisis 2
② 発展科目		
<自然科学領域>		
地球化学	2	地球流体力学 2
材料化学	2	気候学 2
陸上生物学	2	科学史・科学哲学 2
海洋生物学	2	地球環境史 2
生物生態学	2	環境化学実習 2
分子生物学	2	環境生命実習 2
微生物学	2	環境数値解析 2
環境毒性学	2	気象学実習 2
熱力学	2	
<人文・社会科学領域>		
法学概論	2	環境と人権 2
国際環境法	2	環境アクションと市民社会 2
環境行政法	2	持続可能な開発と国際協力 2
環境ガバナンス	2	エシカル消費論 2
市民参加と合意形成	2	環境とメディア 2
環境と国際政治	2	環境正義のための紛争解決学 2
気候・エネルギー政策論	2	社会変革の環境教育学・ESD論 2
経済学概論	2	参画と対話のファシリテーション 2
環境経済学	2	共創のコーディネーション 2
経済学概論	2	環境心理学 2
環境と国際経済	2	地誌学概論 2
サステナビリティ経営論	2	環境文学 2
環境社会学	2	環境とアート 2
環境社会調査法実践	2	哲学概論 2
<環境総合領域>		
地理学概論	2	エネルギー科学 2
都市環境学	2	測量学 2
資源循環学	2	食品科学 2
③ 実践科目		
環境フィールドスタディ2	2	長期フィールドワークD 2
環境リーダーシップEL1	2	長期フィールドワークE 2
環境リーダーシップEL2	2	短期ワークエクスペリエンスA 1
環境リーダーシップEL3	2	短期ワークエクスペリエンスB 1
環境リーダーシップEL4	2	長期ワークエクスペリエンスA 2
短期フィールドワークA	1	長期ワークエクスペリエンスB 2
短期フィールドワークB	1	プロジェクト実習A 2
短期フィールドワークC	1	プロジェクト実習B 2
長期フィールドワークA	2	インタープリテーション実習 2
長期フィールドワークB	2	Environmental Interpretation in English 2
長期フィールドワークC	2	野外活動実習 2
④ 卒業論文・プロジェクト関係科目		
専門演習1	2	専門演習2 2

卒業論文・プロジェクト演習1	2	環境コロキウム1	1
卒業論文・プロジェクト演習2	2	環境コロキウム2	1
卒業論文	8	留学レポートセミナー	1
卒業プロジェクト	8		
3 自由科目			
専門導入科目		大学への化学	2
大学への数学	2	大学への生物学	2
大学への物理学	2	自然科学のための数学	2
専門関連科目			
日本史	2	理科総合実験	2
世界史	2		
4 随意科目			
社会・公民科教育法1	2	理科教育法1	2
社会・公民科教育法2	2	理科教育法2	2
社会・公民科教育法演習1	2	理科教育法演習1	2
社会・公民科教育法演習2	2	理科教育法演習2	2

環境学科は、全学共通科目 28 単位、専門教育科目については必修科目を 10 単位、選択科目のうち基幹科目を 16 単位以上、発展科目 12 単位以上、実践科目 6 単位以上併せて 52 単位、卒業論文・プロジェクト関係科目を 18 単位、自由科目を 16 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。

自由科目には、指定単位数を超えて修得した選択科目の単位を算入することができる。また、専門導入科目、専門関連科目、他学部科目、言語自由科目(全学共通)、並びに 4 大学間単位互換制度による他大学の科目の単位を算入することができる。

XIV 学芸員、司書、司書教諭及び社会教育主事

(1) 学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目

① 必修科目			
生涯学習概論	2	博物館展示論	2
博物館概論	2	博物館教育論	2
博物館経営論	2	博物館情報・メディア論	2
博物館資料論	2	見学・学内実習	2
博物館資料保存論	2	博物館実習(館園実習)	1
② 選択必修科目			
日本文化史1	2	科学史	2
考古学1	2	地学概説	2
美術史1	2	物理学に該当する科目	2
民俗学1	2	化学に該当する科目	2
博物館論演習	2	生物学に該当する科目	2

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、学芸員の資格を取得しようとする者は、学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目から必修科目 10 科目 19 単位、選択必修科目 2 科目以上 4 単位以上、計 23 単位以上を修得しなければならない。

(2) 司書の資格取得に必要な図書館に関する科目

① 必修科目			
生涯学習概論	2	情報検索演習	2
図書館概論	2	情報サービス演習	2
図書館制度・経営論	2	図書館情報資源概論	2
図書館情報技術論	2	情報資源組織論	2
図書館サービス概論	2	メタデータ演習	2
情報サービス論	2	情報アーキテクチャ演習	2
児童サービス論	2	図書館実習	2

② 選択必修科目

図書館基礎特論	2	図書・図書館史	2
図書館サービス特論	2	図書館 UX 論	2
図書館情報資源特論	2	図書館総合演習	2

③ 随意科目

学校経営と学校図書館	2		
------------	---	--	--

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、司書の資格を取得しようとする者は、司書の資格取得に必要な図書館に関する科目から必修科目 14 科目 28 単位、選択必修科目 2 科目以上 4 単位以上、計 32 単位以上を修得しなければならない。

(3) 司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目

① 必修科目

学校経営と学校図書館	2	読書と豊かな人間性	2
図書館情報資源概論	2	情報メディアの活用	2
情報資源組織論	2	図書館概論	2
学習指導と学校図書館	2	情報サービス論	2

② 随意科目

図書館実習(司書教諭)	2	図書館サービス特論	2
図書・図書館史	2	図書館総合演習	2

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、司書教諭の資格を取得しようとする者は、司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目から必修科目 8 科目 16 単位を修得し、かつ教育職員免許状を取得しなければならない。

(4) 社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目

「池袋キャンパス開講科目」

① 必修科目

生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2
生涯学習支援論 1	2	社会教育実践演習	4
生涯学習支援論 2	2		

② 選択必修科目

現代社会と社会教育	2	図書館概論	2
人権と社会教育	2	教育原論	2
家庭教育論	2	教育心理学	2
教育と福祉	2	教育社会学 1	2
博物館概論	2	教育社会学 2	2

「新座キャンパス開講科目」

① 必修科目

生涯学習概論 1	2	社会教育経営論 1	2
生涯学習概論 2	2	社会教育経営論 2	2
生涯学習支援論 1	2	社会教育実践演習	4
生涯学習支援論 2	2		

② 選択必修科目

教育原論	2	ボランティア・NPO 論	2
教育心理学	2	現代コミュニティ論	2
発達心理学	2	コミュニティ開発論	2
ノーマライゼーション論	2	公共哲学	2
福祉文化論	2	コミュニティスポーツ論	2
障害者福祉論	2		

本大学の全ての学部・大学院に在籍する学生で、社会教育主事の資格を取得しようとする者は、原則として所属するキャンパスで開設する社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目から必修科目 16 単位、選択必修科目 8 単位以上、計 24 単位以上を修得しなければならない。

XV 日本語教育センター

1 日本語教育センター科目

日本語 J1-1	1	総合日本語6-8D7	1
日本語 J1-2	1	日本語 J7-1	1
日本語 J1-3	1	日本語 J7-2	1
日本語 J1-4	1	日本語 J7-3	1
日本語 J1-5	1	日本語 J7-4	1
日本語 J2-1	1	総合日本語4-6A	1
日本語 J2-2	1	総合日本語4-6B	1
日本語 J2-3	1	総合日本語4-6C	1
日本語 J2-4	1	総合日本語4-6D	1
日本語 J2-5	1	Business Japanese I1	1
日本語 J3-1	1	Business Japanese I2	1
日本語 J3-2	1	Business Japanese I3	1
日本語 J3-3	1	Business Japanese I4	1
日本語 J3-4	1	Business Japanese I5	1
日本語 J3-5	1	日本語 JO	3
日本語 J4-1	1	日本語 J1S	3
日本語 J4-2	1	日本語 J2S	3
日本語 J4-3	1	日本語 J3S	3
日本語 J4-4	1	日本語演習 1A	1
日本語 J5-1	1	日本語演習 1B	1
日本語 J5-2	1	日本語演習 2A	1
日本語 J5-3	1	日本語演習 2B	1
日本語 J5-4	1	日本語演習 3A	1
日本語 J6-1	1	日本語演習 3B	1
日本語 J6-2	1	Japanese Language and Japanese Culture A	1
日本語 J6-3	1	Japanese Language and Japanese Culture B	1
日本語 J6-4	1	Japanese Language and Japanese Society A	1
総合日本語6-8A1	1	Japanese Language and Japanese Society B	1
総合日本語6-8B1	1	漢字A	1
総合日本語6-8A2	1	漢字B	1
総合日本語6-8B2	1	Business Japanese A1	1
総合日本語6-8A3	1	Business Japanese A2	1
総合日本語6-8B3	1	Business Japanese A3	1
総合日本語6-8A4	1	Business Japanese A4	1
総合日本語6-8B4	1	Business Japanese A5	1
総合日本語6-8A5	1	日本語・日本文化社会講義 1A4	4
総合日本語6-8B5	1	日本語・日本文化社会講義 1B4	4
総合日本語6-8A6	1	日本語・日本文化社会講義 2A4	4
総合日本語6-8B6	1	日本語・日本文化社会講義 2B4	4
総合日本語6-8A7	1	日本語・日本文化社会講義 3A4	4
総合日本語6-8B7	1	日本語・日本文化社会講義 3B4	4
総合日本語6-8C1	1	日本語 1A2	2
総合日本語6-8D1	1	日本語 1B2	2
総合日本語6-8C2	1	日本語 2A2	2
総合日本語6-8D2	1	日本語 2B2	2
総合日本語6-8C3	1	日本語 3A2	2
総合日本語6-8D3	1	日本語 3B2	2
総合日本語6-8C4	1	日本語 J8-AA	2
総合日本語6-8D4	1	日本語 J8-AB	2
総合日本語6-8C5	1	日本語 J8-AC	2
総合日本語6-8D5	1	日本語 J8-BA	2
総合日本語6-8C6	1	日本語 J8-BB	2
総合日本語6-8D6	1	日本語 J8-C	2
総合日本語6-8C7	1	日本語 J8-D	2

日本語 J8-EA	2	日本語 J8-FB	2
日本語 J8-EB	2	日本語 J8-G	2
日本語 J8-FA	2		

表2の1 (第28条関係)

入学検定料	35,000 円
-------	----------

別表2の2 (第28条関係)

大学入学共通テスト利用入試及び外国人留学生入試(書類選考による募集制度)、学校長推薦による募集制度(PEACE/NEXUS)及び英語トラック選抜制度(PEACE)の受験者

入学検定料	大学入学共通テスト利用入試	18,000 円
	外国人留学生入試(書類選考による募集制度)	15,000 円
	学校長推薦による募集制度(PEACE、NEXUS)及び英語トラック選抜制度(PEACE)	15,000 円

別表2の3 (第41条関係)

入学金	200,000 円
-----	-----------

備考 再入学の場合は、2分の1相当額を納めなければならない。

別表2の4 (第41条関係)

(単位 円)

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
文学部 (教育学科初等教育専攻を除く)	1年次	1,178,000	—	1,178,000
	2年次	1,178,000	—	1,178,000
	3年次	1,178,000	—	1,178,000
	4年次	1,128,000	—	1,128,000
	(*) 4年次	1,078,000	—	1,078,000
文学部 教育学科初等教育専攻	1年次	1,178,000	—	1,178,000
	2年次	1,178,000	—	1,178,000
	3年次	1,178,000	10,000	1,188,000
	4年次	1,128,000	—	1,128,000
	(*) 4年次	1,078,000	—	1,078,000
文学部 グローバル ・リベラルアーツ ・プログラム	1年次	1,900,000	—	1,900,000
	2年次	1,900,000	—	1,900,000
	3年次	1,900,000	—	1,900,000
	4年次	1,850,000	—	1,850,000
	(*) 4年次	1,800,000	—	1,800,000
経済・法・観光学部 (国際ビジネス法学科グローバルコースを除く)	1年次	1,171,000	—	1,171,000
	2年次	1,171,000	—	1,171,000
	3年次	1,171,000	—	1,171,000
	4年次	1,121,000	—	1,121,000
	(*) 4年次	1,071,000	—	1,071,000
法学部 (国際ビジネス法学科グローバルコース)	1年次	1,271,000	—	1,271,000
	2年次	1,271,000	—	1,271,000
	3年次	1,271,000	—	1,271,000
	4年次	1,221,000	—	1,221,000
社会学部	1年次	1,171,000	25,000	1,196,000
	2年次	1,171,000	15,000	1,186,000
	3年次	1,171,000	15,000	1,186,000
	4年次	1,121,000	15,000	1,136,000
	(*) 4年次	1,071,000	15,000	1,086,000
理学部 数学科	1年次	1,598,000	—	1,598,000
	2年次	1,598,000	—	1,598,000
	3年次	1,598,000	—	1,598,000
	4年次	1,548,000	—	1,548,000
	(*) 4年次	1,498,000	—	1,498,000

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
理学部 物理学科	1年次	1,598,000	10,000	1,608,000
	2年次	1,598,000	20,000	1,618,000
	3年次	1,598,000	40,000	1,638,000
	4年次	1,548,000	120,000	1,668,000
	(*) 4年次	1,498,000	120,000	1,618,000
理学部 化学科	1年次	1,598,000	40,000	1,638,000
	2年次	1,598,000	80,000	1,678,000
	3年次	1,598,000	—	1,598,000
	4年次	1,548,000	80,000	1,628,000
	(*) 4年次	1,498,000	80,000	1,578,000
理学部 生命理学科	1年次	1,598,000	40,000	1,638,000
	2年次	1,598,000	40,000	1,638,000
	3年次	1,598,000	80,000	1,678,000
	4年次	1,548,000	80,000	1,628,000
	(*) 4年次	1,498,000	80,000	1,578,000
コミュニティ福祉学部 福祉学科	1年次	1,178,000	2,000	1,180,000
	2年次	1,178,000	3,000	1,181,000
	3年次	1,178,000	—	1,178,000
	4年次	1,128,000	—	1,128,000
	(*) 4年次	1,078,000	—	1,078,000
コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	1年次	1,178,000	2,000	1,180,000
	2年次	1,178,000	3,000	1,181,000
	3年次	1,178,000	—	1,178,000
	4年次	1,128,000	—	1,128,000
	(*) 4年次	1,078,000	—	1,078,000
コミュニティ福祉学部 スポーツ福祉学科	4年次	1,128,000	15,000	1,143,000
	(*) 4年次	1,078,000	15,000	1,093,000
経営学部	1年次	1,171,000	40,000	1,211,000
	2年次	1,171,000	20,000	1,191,000
	3年次	1,171,000	20,000	1,191,000
	4年次	1,121,000	20,000	1,141,000
	(*) 4年次	1,071,000	20,000	1,091,000
現代心理学部 心理学科	1年次	1,215,000	15,000	1,230,000
	2年次	1,215,000	15,000	1,230,000
	3年次	1,215,000	15,000	1,230,000
	4年次	1,165,000	15,000	1,180,000
	(*) 4年次	1,115,000	15,000	1,130,000
現代心理学部 映像身体学科	1年次	1,240,000	15,000	1,255,000
	2年次	1,240,000	15,000	1,255,000
	3年次	1,240,000	15,000	1,255,000
	4年次	1,190,000	15,000	1,205,000
	(*) 4年次	1,140,000	15,000	1,155,000
異文化コミュニケーション学部	1年次	1,178,000	10,000	1,188,000
	2年次	1,178,000	3,000	1,181,000
	3年次	1,178,000	3,000	1,181,000
	4年次	1,128,000	1,000	1,129,000
	(*) 4年次	1,078,000	1,000	1,079,000

学部学科プログラム	学年	授業料	実験・実習費	合計
スポーツウエルネス学部	1年次	1,240,000	30,000	1,270,000
	2年次	1,240,000	15,000	1,255,000
	3年次	1,240,000	15,000	1,255,000
	4年次	1,190,000	15,000	1,205,000
環境学部	1年次	1,350,000	40,000	1,390,000

(*) :2015～2019 年度入学者

備考

- 1 授業料は在籍料 120,000 円（半期 60,000 円）を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 文学部教育学科初等教育専攻の者は実験・実習費 10,000 円を納めなければならない。
- 3 理学部において、履修要項の定めるところにより実験を履修しない者および在学留学中の者は実験・実習費は不要とする。同様に、物理学科、化学科、生命理学科のすべての年度入学者において、配当年次以外の年次に実験科目を履修する場合は、各実験科目に定められた金額を加えて徴収する。
2年～4年次配当の理科総合実験を履修する者については、20,000 円を徴収する。
理学部物理学科において、4年次卒業研究 1, 2 として理論物理学を選択する者は、実験・実習費は不要とする。また、理学部物理学科において、3・4年次配当の選択実験（物理学実験 2）を履修する者については 1 科目あたり 40,000 円を、2～4年次配当の実験（化学実験（物）・生物学実験（物））を履修する者については 1 科目あたり 20,000 円を、それぞれ徴収する。
理学部化学科において、3・4年次に配当されている選択実験（研究実験 1, 研究実験 2）を履修する者については 1 科目あたり 40,000 円を徴収する。
理学部生命理学科において、物理学実験（生）を履修する者については 10,000 円を、化学実験（生）を履修する者については 20,000 円を、それぞれ徴収する。
- 4 コミュニティ福祉学部の「ソーシャルワーク実習指導 1」若しくは「精神保健福祉援助実習指導 1」を履修する者は、上記納入金に加えて実習登録費 3,000 円を、「ソーシャルワーク実習」を履修する者は、上記納入金に加えて実習費 62,000 円を、「精神保健福祉援助実習」を履修する者は、上記納入金に加えて実習費 50,000 円を納めなければならない。
- 5 NEXUS プログラム 4.5 年コースの 1 年次第 1 学期目の学費は、別表 2 の 5 に定める。
- 6 異文化コミュニケーション学部の海外留学研修を履修する者の授業料は、履修する年次の授業料を減免し、次の通りとする。（2022 年度以降入学者は大学間協定校へ留学する場合を除く）
2, 3 年次 939,000 円
※新型コロナウイルス感染拡大に係る特例として、4 年次に海外留学研修を履修する者の授業料は、2020 年度～2021 年度入学者 889,000 円、2019 年度入学者 839,000 円とする。

別表 2 の 5（第 41 条関係）

NEXUS プログラム 4.5 年コースの 1 年次第 1 学期目学費

(単位 円)

学部 学科	授業料
文学部	589,000
経済学部	585,500
社会学部	585,500
法学部	585,500
コミュニティ福祉学部	589,000
経営学部	585,500
現代心理学部 心理学科	607,500
現代心理学部 映像身体学科	620,000
スポーツウエルネス学部	620,000
環境学部	675,000

備考

- 1 授業料は在籍料半期 60,000 円を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 1 年次第 2 学期目以降は、所属学部学科の授業料を適用する。
- 3 実験・実習費は、1 年次第 2 学期目より、所属学部学科で定められた実験・実習費を徴収することとする。学部カリキュラムへの合流が 1 年次第 2 学期目より遅れる場合、学部カリキュラムに合流するまでの期間、実験・実習費は徴収しない。

別表 3 (第 47 条関係)

教育職員免許状取得に必要な教職に関する専門科目の受講料	35,000 円
学芸員の資格取得に必要な博物館に関する科目の受講料	35,000 円
司書の資格取得に必要な図書館に関する科目の受講料	35,000 円
司書教諭の資格取得に必要な学校図書館に関する科目の受講料	15,000 円
社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目の受講料	30,000 円

備考

- 1 社会教育主事の資格取得に必要な社会教育に関する科目の受講料は、次の学部・学科の学生に限り、20,000 円とする。
文学部教育学科、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部、スポーツウエルネス学部
- 2 大学院博士課程後期課程の大学院学生で、大学院博士前期課程（修士課程）在学時に別表 3 に掲げる各資格取得に係る受講登録をし、本学則中に定める当該資格取得に係る要件単位を修得しないまま空白の期間なくして後期課程に進学した者は、当該資格取得に係る受講料は不要とする。

別表 4 削除

別表 5 (第 49 条関係)

項 目	邦 文	英 文
入 学 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
退 学 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
在 学 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
卒 業 (見 込) 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
成 績 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
修 了 証 明 書 (1 通につき)	300 円	
単 位 修 得 証 明 書 (1 通につき)	300 円	
学 力 に 関 する 証 明 書 (1 通につき)	300 円	
教育職員免許状取得見込証明書	300 円	
社会福祉士指定科目履修（見込）証明書	300 円	
精神保健福祉士指定科目履修（見込）証明書	300 円	
公認心理師試験卒業証明書・科目履修証明書	300 円	
科 目 等 履 修 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
聴 講 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
学 士 号 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円
調 査 書 (1 通につき)	300 円	
学 生 証 再 発 行 (1 通につき)	2,000 円	
通 学 定 期 乗 車 券 発 行 控 (1 通につき)	300 円	
科 目 等 履 修 生 証 再 発 行 (1 通につき)	2,000 円	
教育職員免許状大学一括申請手数料	800 円	
学校図書館司書教諭講習申込手数料	800 円	
学 位 記 等 再 発 行 (1 通につき)	20,000 円	
そ の 他 の 証 明 書 (1 通につき)	300 円	400 円

別表 6 (第 51 条, 第 52 条関係)

選 考 料	12,000 円
登 録 料	40,000 円 (年額)
受 講 料 (1 単位につき) GLAP を除く	38,000 円
受 講 料 (1 単位につき) GLAP	61,000 円

備考

- 1 第51条第2項の規定による科目等履修生に限り選考料及び登録料は第2年目においてはこれを徴収しない。
- 2 本学の学部又は大学院研究科を卒業、修了したことがある者及び特別外国人学生として在籍したことがある者の選考料及び登録料については2分の1額とする。
- 3 他の教育研究機関との協定により科目等履修生を受け入れる場合、本表にかかわらず、当該協定に基づき選考料、登録料及び受講料を協定による金額とすることができる。

別表7（第1条関係）

学部	教育研究上の目的
文学部	文学部は、世界の多様な文学・言語・文化・歴史・思想・教育に関するテキストや事象に触れる教育研究を通じて、幅広い人文的教養と深い人間理解に裏打ちされ、主体的な批評精神をもって社会に貢献できる人間を育てることを目的とする。
経済学部	経済学部は、教育研究を通じて、幅広い視野と柔軟な頭脳をもって、変動する経済社会に対応できる、自立的な思考能力をもった人材を社会に送り出すことを目的とする。
理学部	理学部は、教育と研究を通じて「科学の専門性を持った教養人」を育成することを目的とする。具体的には「科学の専門知識を有し、専門分野を中心とした領域での課題解決能力を発揮する人材」、「これらの知識や能力を大学院教育によって更に高度に発展させようという人材」、加えて、「自信と誇りを持って社会に出て、大学で学んだ科学的考え方を活用できる人材」の育成をする。
社会学部	建学の精神“PRO DEO ET PATRIA”（普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために尽くす）にもとづき、社会学及び関連領域の学修をつうじて、社会の問題を発見し、分析し、提言できる人間を育てる。
法学部	法学部は、法学・政治学の教育研究を通じて、法曹・行政・企業・ジャーナリズム・政治・NPO・教育など多様な分野でリーダーシップをとり、社会や組織の形成と発展を担う人材の育成を目的とする。
観光学部	観光学部は、観光関連分野に関する教育研究を通じて、広範囲で高度な学識を持ち、諸問題の解決を担う総合的な判断力と優れたリーダーシップを備えた有為な人材を育成することを目的とする。
コミュニティ福祉学部	コミュニティ福祉学部は、「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という基本理念に立ち、教育研究を通じて、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成することを目的とする。
経営学部	経営学部は、教育研究を通じて、価値観が多様化し急変する現代社会において、明確なビジョンと高潔さを有し、持続可能な社会の構築に向けて、経営学に関する専門知識を生かしつつリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的とする。
現代心理学部	現代心理学部は「人間とは何か」という古くからの根本問題を、心、身体、映像に関する諸学の教育研究を通じて、サイエンス、フィロソフィ、アートが融合した、現代世界にふさわしい方法で探究することをその目的とする。

異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学部は、変化を続ける世界の中で、複数の視点からものごとを考え、柔軟な思考力をもって実践的に問題と向き合うことによって、多様で「異なる」他者と共生し、持続可能な未来を創ることのできる人材を育成する。
スポーツウエルネス学部	「すべての人の生きる歓びのために」という基本理念に立ち、スポーツウエルネス学の教育研究活動を通じて、人間の可能性の追求と誰もが快適で活力に満ちたウエルネス社会の実現に寄与する人材を養成する。
環境学部	環境学部は、自然環境と人間の関係を複合的な視点でとらえ、環境問題の解決と持続可能な社会への変革に貢献できる力の育成を目的とする。文理の枠を超えて幅広く知識を身につけ、現実の課題と結びつけながら活用できる能力と、環境正義の概念を理解し、自らの強みを活かしながら、対話と協働の関係を構築できるリーダーシップを養う。

別表8（第5条の2関係）

登録料	10,000円(年額)
-----	-------------

立教大学諸規程集

立教大学編

第2編 学則

立教大学大学院学則

施行	昭和 26 年4月 1日	改正昭和 56 年4月 1日	改正 2004 年4月 1日
改正	昭和 28 年4月 1日	1982 年4月 1日	2005 年4月 1日
	昭和 29 年4月 1日	1983 年4月 1日	2006 年4月 1日
	昭和 30 年4月 1日	1984 年4月 1日	2007 年4月 1日
	昭和 31 年4月 1日	1985 年4月 1日	2008 年4月 1日
	昭和 33 年4月 1日	1986 年4月 1日	2009 年4月 1日
	昭和 35 年4月 1日	1987 年4月 1日	2010 年4月 1日
	昭和 36 年4月 1日	1988 年4月 1日	2011 年4月 1日
	昭和 37 年4月 1日	1988 年4月 2日	2012 年4月 1日
	昭和 38 年4月 1日	1989 年4月 1日	2013 年4月 1日
	昭和 39 年4月 1日	1990 年4月 1日	2014 年4月 1日
	昭和 40 年4月 1日	1991 年4月 1日	2015 年4月 1日
	昭和 41 年4月 1日	1991 年 10 月 11 日	2016 年4月 1日
	昭和 42 年4月 1日	1992 年4月 1日	2017 年4月 1日
	昭和 44 年4月 1日	1993 年4月 1日	2018 年4月 1日
	昭和 46 年4月 1日	1994 年4月 1日	2019 年4月 1日
	昭和 47 年4月 1日	1995 年4月 1日	2020 年4月 1日
	昭和 48 年4月 1日	1996 年4月 1日	2021 年4月 1日
	昭和 49 年4月 1日	1997 年4月 1日	2022 年4月 1日
	昭和 50 年4月 1日	1998 年4月 1日	2023 年4月 1日
	昭和 51 年4月 1日	1999 年4月 1日	2024 年4月 1日
	昭和 52 年4月 1日	2000 年4月 1日	2025 年4月 1日
	昭和 53 年4月 1日	2001 年4月 1日	2026 年4月 1日
	昭和 54 年4月 1日	2002 年4月 1日	2026 年4月 24 日
	昭和 55 年4月 1日	2003 年4月 1日	2027 年4月 1日

第1章 総則

(目的)

第1条 本大学院は、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に、専門の学術を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。

2 研究科ごとの、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表8のとおりとする。

(課程)

第2条 本大学院は、修士課程、博士課程とする。

2 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業等を担うための卓越した能力を培うものとする。

3 博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

4 削除

(研究科、専攻等)

第2条の2 本大学院の修士課程及び博士課程の研究科及び専攻は次のとおりとする。

文学研究科

英米文学専攻
史学専攻
教育学専攻
日本文学専攻
フランス文学専攻
ドイツ文学専攻
比較文明学専攻
超域文化学専攻

経済学研究科

経済学専攻

理学研究科

物理学専攻
化学専攻
数学専攻
生命理学専攻

社会学研究科

社会学専攻

法学研究科

法学政治学専攻

観光学研究科

観光学専攻

コミュニティ福祉学研究科

コミュニティ福祉学専攻

ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン専攻

社会デザイン研究科

社会デザイン学専攻

異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション専攻

経営学研究科

経営学専攻
国際経営学専攻

現代心理学研究科

心理学専攻
臨床心理学専攻
映像身体学専攻

キリスト教学研究科

キリスト教学専攻

人工知能科学研究科

人工知能科学専攻
スポーツウエルネス学研究科
スポーツウエルネス学専攻

- 2 削除
- 3 削除

(課程の区分と修業年限)

第3条 本大学院の標準修業年限は、修士課程2年、博士課程5年とし、博士課程は、これを2年の前期課程及び3年の後期課程に区分する。

- 2 前期課程は、これを修士課程として取り扱う。
- 3 第1項にかかわらず、キリスト教学研究科キリスト教学専攻博士課程前期課程のうち実務経験を有する者を対象としたコースの標準修業年限は1年とする。

(収容定員)

第4条 本大学院の研究科及び専攻の収容定員は、次のとおりとする。

- 1 削除
- 2 博士課程

研究科	専攻	前期課程		後期課程		合計
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文学研究科	英米文学専攻	12名	24名	3名	9名	33名
	史学専攻	15名	30名	6名	18名	48名
	教育学専攻	10名	20名	3名	9名	29名
	日本文学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
	フランス文学専攻	8名	16名	3名	9名	25名
	ドイツ文学専攻	8名	16名	3名	9名	25名
	比較文明学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
	超域文化学専攻	5名	10名	3名	9名	19名
	計	88名	176名	34名	102名	278名
経済学研究科	経済学専攻	40名	80名	5名	15名	95名
理学研究科	物理学専攻	20名	40名	4名	12名	52名
	化学専攻	20名	40名	4名	12名	52名
	数学専攻	5名	10名	3名	9名	19名
	生命理学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	計	60名	120名	15名	45名	165名
社会学研究科	社会学専攻	20名	40名	10名	30名	70名
法学研究科	法学政治学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
観光学研究科	観光学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	15名	30名	5名	15名	45名
ビジュアルデザイン研究科	ビジュアルデザイン専攻	90名	180名	5名	15名	195名
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	50名	100名	5名	15名	115名
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	20名	40名	5名	15名	55名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
	国際経営学専攻	50名	100名	—	—	100名
	計	60名	120名	5名	15名	135名
現代心理学研究科	心理学専攻	10名	20名	3名	9名	29名
	臨床心理学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	映像身体学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	計	40名	80名	11名	33名	113名
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	63名	126名	8名	24名	150名
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
合計		606名	1,212名	134名	402名	1,614名

第4条の2 削除

(修士課程並びに前期課程の修了要件及び修士の学位の専攻分野)

第5条 修士課程又は前期課程に2年以上在学して授業を受け、所定の単位数を修得し、かつ、学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、第3条第3項に規定するコース及び優れた業績を上げた者については、修士課程又は前期課程

に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、当該修士課程又は前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

3 本大学院において授与する修士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

研究科	専攻	専攻分野名
文学研究科	英米文学専攻	文学
	史学専攻	
	教育学専攻	教育学
	日本文学専攻	文学
	フランス文学専攻	
	ドイツ文学専攻	
	比較文明学専攻 超域文化学専攻	比較文明学 文学
経済学研究科	経済学専攻	経済学
		会計学
理学研究科	物理学専攻	理学
	化学専攻	
	数学専攻	
	生命理学専攻	
社会学研究科	社会学専攻	社会学
法学研究科	法学政治学専攻	法学
		政治学
観光学研究科	観光学専攻	観光学
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	コミュニティ福祉学
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	経営管理学
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	社会デザイン学
		公共・社会デザイン学
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	異文化コミュニケーション学
経営学研究科	経営学専攻	経営学
	国際経営学専攻	国際経営学
		公共経営学
現代心理学研究科	心理学専攻	心理学
	臨床心理学専攻	臨床心理学
	映像身体学専攻	映像身体学
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	神学
		文学
		実践神学
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	人工知能科学
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	スポーツウエルネス学

(博士課程の修了要件及び博士の学位の専攻分野)

第6条 博士課程に5年(修士課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学して授業を受け、所定の単位数を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に3年(修士課程を修了した者にあつては当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 標準修業年限が1年以上2年未満の修士課程を修了した者、及び前条第1項のただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了要件は、博士課程に修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に3年(修士課程における在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

3 専門職学位課程を修了した者が博士課程の後期課程に入学した場合は、博士課程後期課程に3年(法科大学院の課程を修了した者にあつては2年)以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については、博士課程後期課程に1年(標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者については、博士課程の3年から当該専門職学位課程の標準

修業年限を減じた期間)以上、在学すれば足りるものとする。

- 4 前3項の規定にかかわらず、第20条第5号の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士課程後期課程に入学した場合は、博士課程後期課程に3年以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 5 前4項の規定にかかわらず、本大学院の博士課程を経ないで論文を提出し博士の学位を請求した者で、論文の審査及び最終試験に合格し、かつ、専攻学術に関し、前4項の規定により本大学院の博士課程を修了した者と同様に広い学識を有することを確認された者に、博士の学位を授与することができる。
- 6 本大学院において授与する博士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

研究科	専攻	専攻分野名
文学研究科	英米文学専攻	文学
	史学専攻	
	教育学専攻	教育学
	日本文学専攻	文学
	フランス文学専攻	
	ドイツ文学専攻	比較文明学
	比較文明学専攻	
	超域文化学専攻	
経済学研究科	経済学専攻	経済学 会計学
理学研究科	物理学専攻	理学
	化学専攻	
	数学専攻	
	生命理学専攻	
社会学研究科	社会学専攻	社会学
法学研究科	法学政治学専攻	法学
		政治学
観光学研究科	観光学専攻	観光学
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	コミュニティ福祉学
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	経営管理学
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	社会デザイン学
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	異文化コミュニケーション学
経営学研究科	経営学専攻	経営学
現代心理学研究科	心理学専攻	心理学
	臨床心理学専攻	臨床心理学
	映像身体学専攻	映像身体学
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	神学
		文学
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	人工知能科学
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	スポーツウエルネス学

(学位論文等の審査及び試験)

第7条 学位論文及び特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験等については、別に定める。

(最長在学年数)

第8条 本大学院における最長在学年数は、修士課程及び前期課程にあつては4年、後期課程にあつては6年とする。

(研究室)

第9条 本大学院の目的を達成し、学生の研究指導を行うため、各研究科にその専攻部門に応じて研究室を置く。

- 2 研究室に関する規程は、別に定める。

(学年及び学期)

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて次の2期とする。

春学期 4月1日から9月19日まで

秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）で規定する休日

(3) 本大学創立記念日 5月5日

(4) 春季休業 2月上旬から3月下旬まで

(5) 夏季休業 7月下旬から9月中旬まで

(6) 冬季休業 12月下旬から翌年1月上旬まで

2 前項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

第2章 教育課程

(教育方法)

第12条 本大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。

(教育方法の特例)

第12条の2 次の研究科に、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行う修士課程及び博士課程を置き、次の専攻を置く。

経済学研究科	経済学専攻	前期課程
経営学研究科	経営学専攻	前期課程
観光学研究科	観光学専攻	前期課程
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	博士課程
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	博士課程
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	博士課程
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	博士課程
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	博士課程

(履修方法等)

第13条 各研究科における授業科目及び各科目の単位数並びに研究指導等の履修方法並びに第5条第1項及び第6条第1項において定める修得すべき単位数は、各研究科においてこれを定め、別表1のとおりとする。

(単位の認定)

第14条 授業科目を履修した者に対しては、試験の上、その合格者に所定の単位を与える。

(他大学の大学院等における授業科目の履修及び研究指導)

第15条 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、本学の平和・コミュニティ研究機構及び他大学の大学院とあらかじめ協議の上、同機構及び当該大学院において履修した授業科目（外国の大学院が行う通信教育における授業科目を国内において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を国内において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合を含む。）について修得した単位を、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、学生が本大学院に入学する前に、大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学院に入学した後の本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、他大学の大学院等とあらかじめ協議の上、当該大学院等において研究指導を受けることを認めることができる。

4 第1項、第2項及び第28条の規定により修得した授業科目の単位を、本大学院の修了に必要な単位数として算入する場合は、次の各号に掲げる単位数を超えないものとする。ただし、次の各号により、算入することができる単位数は、合わせて20単位を超えないものとする。

(1) 第1項及び第28条の規定により修得した授業科目の単位 合わせて15単位

(2) 第2項の規定により他大学の大学院において修得した授業科目の単位 15 単位

(教育職員免許状の種類)

第15条の2 各研究科専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

研究科	専攻	種類・教科		
		中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状	その他 専修免許状
文学研究科	英米文学専攻	英語	英語	
	史学専攻	社会	地理歴史, 公民	
	教育学専攻	社会	公民	小学校
	日本文学専攻	国語	国語	
	フランス文学専攻	フランス語	フランス語	
	ドイツ文学専攻	ドイツ語	ドイツ語	
	比較文明学専攻	社会(2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)	
超域文化学専攻	社会	地理歴史, 公民		
経済学研究科	経済学専攻	社会	地理歴史, 公民, 商業	
理学研究科	物理学専攻	理科	理科	
	化学専攻	理科	理科	
	数学専攻	数学	数学	
	生命理学専攻	理科	理科	
社会学研究科	社会学専攻	社会	公民	
法学研究科	法学政治学専攻	社会	公民	
観光学研究科	観光学専攻	社会		
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	社会	公民, 福祉(2022 年度入学者まで)	
		保健体育 (2022年度入 学者まで)	保健体育 (2022年度入 学者まで)	
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	社会	公民	
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	英語	英語	
経営学研究科	経営学専攻	社会(2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)	
現代心理学研究科	心理学専攻		公民(2018年度 入学者まで)	
	臨床心理学専攻		公民(2018年度 入学者まで)	
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	社会, 宗教	地理歴史, 公民, 宗教	
スポーツ福祉学研究科	スポーツ福祉学専攻	保健体育	保健体育	

第3章 教員組織

(教員組織)

第16条 本大学院の授業及び研究指導担当教員は、原則として本大学教授、准教授又は講師を充てる。

2 研究科委員長の要請により、特別任用教員及び助教を充てることができる。

(大学院委員会)

第17条 本大学院に総長、研究科委員長及び研究科委員中の若干名をもって組織する大学院委員会を置き、次の事項を審議する。

- (1) 博士学位の授与に関する事項
- (2) 大学院学則及び諸規程の変更に関する事項
- (3) その他大学院に関する重要事項

2 総長は、大学院委員会を招集し、その議長となる。

(研究科委員会)

第18条 本大学院の各研究科に、その授業及び研究指導担当の専任教員をもって組織する研究科委員会を置き、次の事項を審議する。

- (1) 研究科委員長及び大学院委員会委員の選出並びに担当教員の人事に関する事項
- (2) 入学試験、学位論文の審査及び最終試験に関する事項
- (3) 教育課程、入学、休学、再入学、退学及び除籍に関する事項
- (4) 学生の賞罰に関する事項
- (5) その他研究科に関する事項
- (6) 総長の諮問事項

2 研究科委員長の要請により、特別任用教員及び助教を加えることができる。

3 研究科委員長は、研究科委員会を招集し、その議長となる。

4 その他研究科委員会の構成及び運営に関わる事項については立教大学教授会規程を準用する。

第18条の2 日本語教育センターに所属する特別外国人学生については、日本語教育センター運営会議(以下「運営会議」という。)を第18条第1項に規定する研究科委員会とみなして第36条の2を適用する。この場合において、規定中「研究科委員会」とあるのは「日本語教育センター運営会議」とする。

2 前項のほか、日本語教育センター運営会議その他の日本語教育センター科目の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第4章 入学、休学、復学、再入学、退学及び除籍

(修士課程及び前期課程への入学)

第19条 修士課程又は前期課程に入学を許可する者は、次の各号の一に該当し、かつ、選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を取得した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上の課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

(後期課程への進学又は編入学)

第20条 後期課程に進学又は編入学を許可する者は、次の各号の一に該当し、かつ、選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 専門職学位を有する者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 外国の学校, 学校教育法施行規則第 156 条第 3 号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し, 大学院設置基準 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し, 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において, 修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で, 24 歳に達したもの

(入学の時期)

第 2 1 条 入学の時期は, 学年又は学期の初めとする。

2 第 36 条の 2 に規定する特別外国人学生の入学時期は, 各年の 4 月 1 日又は 9 月 1 日とすることができる。

3 第 38 条の 5 に規定する短期プログラム受講生の受入時期は, 別に定める細則による。

(入学志願手続)

第 2 2 条 入学志願者は, 別表 2 による入学検定料を納入し, 所定の手続をしなければならない。

(入学手続)

第 2 3 条 選抜試験に合格した者で本大学院に入学しようとする者は, 保証人を定め, 所定の期日までに保証人届出書を提出し, その他指定された手続をしなければならない。

2 本大学院は, 前項の手続を完了した者に対して入学を許可する。

(休学及び退学等)

第 2 4 条 病気その他の事由によって休学又は退学しようとする者は, 保証人連署をもって願い出て, 許可を受けなければならない。なお, その事実を証明する書面の提出を求めることがある。

2 休学の期間は, 当該学期間とし在学年数に算入しない。

3 休学回数は, 通算して修士課程及び博士課程前期課程は 4 回, 博士課程後期課程は 6 回を超えることができない。

4 休学者は, 第 2 項により休学した期間終了後, 学期の初めにおいて復学する。

5 第 1 項により退学した者が再入学を願い出たときは, 学年又は学期の初めにおいて許可することがある。再入学を許可された者は, 前条に規定する手続をしなければならない。

(除籍)

第 2 5 条 次の各号の一に該当する者は, 除籍する。

- (1) 第 8 条に規定する最長在学年数を超えた者
- (2) 学費を納めない者

第 2 5 条の 2 入学, 休学, 再入学及び退学の許可並びに除籍は, 研究科委員会の議を経て, 総長が行う。

第 5 章 留学

第 2 6 条 本大学院の学生が本大学院との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定, 又は本大学院からの留学に関する協定が成立している外国の大学, 又はこれに相当する高等教育機関等及び本学が認めた同等の大学, 機関の授業科目を履修し, 又は研究指導を受けるため当該大学等への留学を希望するときは, 審査の上, 本人の教育上有益であると認める場合, これを許可することがある。

2 前項による留学は, 本大学院における学籍上の扱いを在学のままとする留学 (以下「在学留学」という。) 及び休学とする留学 (以下「休学留学」という。) の 2 種とする。

第 2 7 条 在学留学の許可を受けた者については, その許可を受けた期間を本大学院における在学年数に算入する。

第 2 8 条 在学留学の許可を得た者が, 留学した大学等において修得した単位又は成果のうち, 研究科委員会が適当と認めたものは, 本大学院の課程の修了に必要な単位数に算入することができる。ただし, 算入することができる単位数は, 第 15 条第 4 項第 1 号のとおりとする。

2 休学留学の許可を得た者が, 留学した大学等において修得した単位又は成果のうち, 研究科委員会が適当と認めたものは, 本大学院の単位として認定することがある。

第 2 9 条 第 24 条の規定は, 休学留学のための休学に準用する。

第6章 学費その他

第30条 選抜試験に合格した者で本大学院に入学しようとする者は、別表3の1及び別表3の2による学費を指定された入学手続期間内に納めなければならない。

2 学生は別表3の2による学費を毎学年授業開始後の指定の期日までに納めなければならない。

3 第1項及び前項に定める学費のうち授業料及び実験・実習費は、春学期・秋学期に分納するものとする。

4 学費とは、入学金、授業料（在籍料を含む。）及び実験・実習費をいう。

第31条 学費は、休学中も別に定める額を納めなければならない。

第32条 学年の途中で退学する場合も、学費は別に定める額を納めなければならない。

第33条 既に納めた学費その他の納入金は、次項及び第3項に定めた場合を除いて、返還しない。

2 選抜試験に合格し学費その他の納入金を納めた者のうち、やむを得ない事由により、所定の手続きに則り入学辞退願を提出した者については、入学金を除く学費その他の納入金を返還するものとする。

3 出願時に卒業見込みや所定単位修得見込みなどで選抜試験に合格し、学費その他の納入金を納めた後に、卒業不可や所定単位未修得などが確定し、入学資格要件を満たすことができなくなった者には、届け出により入学金を含む学費その他の納入金を返還するものとする。

第34条 在学中の学費その他について変更のあった場合には、新たに定められた額に基づいて納めなければならない。

第35条 証明書等の交付を受ける者は、別表4による手数料を納めなければならない。

第36条 学費滞納者には、当該年次の単位認定、研究指導の認定及び学位の授与を行わない。

第6章の2 特別外国人学生

(特別外国人学生)

第36条の2 本大学院と協定のある外国の大学から派遣される学生及び政府その他の機関から本大学院に委託される外国人学生は、研究科委員会等の審査の上、特別外国人学生として入学を許可することができる。

第36条の3 入学を許可された特別外国人学生は、所定の手続をし、かつ、別に定める納入金を納めなければならない。

(単位の認定)

第36条の4 特別外国人学生が履修した授業科目については、所定の単位を与えることができる。

(学則の準用)

第36条の5 特別外国人学生については、第5条及び第6条第1項から第4項までを除き本学則を準用する。

第36条の6 前4条に定めるほか、特別外国人学生の受入に関して必要な事項は、立教大学学則及び立教大学大学院学則に定める特別外国人学生の受入に関する細則に定める。

第7章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生、研修生、短期プログラム受講生

(特別聴講学生)

第37条 本大学院と協定のある他大学院学生が、本大学院の授業科目の学修を願い出るときは、特別聴講学生として許可することができる。

2 前項により聴講を許可された者は、別表5による特別聴講料を納入し、所定の手続をしなければならない。

3 特別聴講学生が、その聴講した科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

(特別研究学生)

第37条の2 本大学院が教育研究上有益と認めるときは、他大学院等の学生の研究指導を受託し、特別研究学生として学修を許可することがある。

2 削除

3 本条で規定した以外の事項については、別に定める規程による。

(科目等履修生)

第38条 各研究科所定の授業科目中その1授業科目又は数授業科目の学修を願い出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することがある。

2 公共団体又はその他の機関より本大学院の授業科目の学修を委託された者に対して選考の上、科目等履修生として学修を許可することがある。

3 科目等履修生として学修を願い出る者は、別表6による選考料を納めなければならない。

4 科目等履修生として学修を許可された者は、別表6による登録料、受講料及び委託料を納めなければならない。

5 科目等履修生が、その履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

6 本条で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

(研究生)

第38条の2 大学院博士課程後期課程の正規の学生の研究に支障のない範囲において、次の者を選考の上、研究生として受け入れを許可することがある。ただし、専任の職務についている者は除くものとする。

(1) 本大学院の博士課程後期課程において所定の研究指導を受け、博士の学位を取得した者で、引き続き研究を希望する者

(2) 本大学院の博士課程後期課程において所定の研究指導を受け、在学6年経過後に退学した者で、引き続き研究を希望する者

2 前項により研究生として受け入れを許可された者は、別表7による登録料を納入し、所定の手続をしなければならない。

第38条の3 削除

(研修生)

第38条の4 本大学院の博士課程前期課程において所定の研究指導を受け、修士の学位を取得し、本大学院の博士課程後期課程への進学の前準備をする者を、大学院博士課程前期課程の正規の学生の研究に支障のない範囲において選考の上、研修生として受け入れを許可することがある。

2 前項により研修生として受け入れを許可された者は、別表7による登録料を納入し、所定の手続をしなければならない。

(短期プログラム受講生)

第38条の5 主に海外の大学院等の高等教育機関に在籍する学生で、各研究科が本学で実施する短期間の教育プログラムに参加を願い出る者に対して、短期プログラム受講生として受入を許可することがある。

2 短期プログラム受講生が履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

第39条 削除

(学則の準用)

第40条 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生及び研修生については、第5条、第6条第1項から第4項までを除き本学則を準用する。

第40条の2 短期プログラム受講生については、第5条、第6条第1項から第4項まで及び第25条の2を除き本学則を準用し、第38条の5で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

第8章 改廃

(改廃)

第41条 本学則の改廃は、順次、大学院委員会、理事会の議決をもって行う。

2 前項に係る主務官庁への届出又は申請は、主務官庁の定めるところによる。

附 則
本学則に規定する事項のほかは立教大学学則を準用する。
本学則は、昭和 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 33 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 35 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 36 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 37 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 38 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 39 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 40 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 41 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 44 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 46 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 47 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1982 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1983 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1984 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1985 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1986 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1987 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1988 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1988 年 4 月 2 日から施行し、第 38 条の 2 の規定は、1988 年 4 月 1 日から適用する。

附 則
本学則は、1989 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1990 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1991 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1991 年 10 月 11 日から施行し、1991 年 7 月 1 日から適用する。

附 則
本学則は、1992 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1993 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1994 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1995 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1996 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2003年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2016年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2018年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2023年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2024年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2025年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2026年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2027年4月1日から施行する。

別表 1 (第 13 条関係)

1 大学院文学研究科

文学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法について次のとおり定める。

(1) (ア) 英米文学専攻 (前期課程)

英米文学研究方法論 1	2	米文学特殊研究 3A	2
英米文学研究方法論 2	2	米文学特殊研究 3B	2
英文学特殊研究 1A	2	米文学特殊研究 4A	2
英文学特殊研究 1B	2	米文学特殊研究 4B	2
英文学特殊研究 2A	2	米文学特殊研究 5A	2
英文学特殊研究 2B	2	米文学特殊研究 5B	2
英文学特殊研究 3A	2	米文学特殊研究 6A	2
英文学特殊研究 3B	2	米文学特殊研究 6B	2
英文学特殊研究 4A	2	米文学特殊研究 7A	2
英文学特殊研究 4B	2	米文学特殊研究 7B	2
英文学特殊研究 5A	2	米文学特殊研究 8A	2
英文学特殊研究 5B	2	米文学特殊研究 8B	2
英文学特殊研究 6A	2	英語学特殊研究 1A	2
英文学特殊研究 6B	2	英語学特殊研究 1B	2
英文学特殊研究 7A	2	英語学特殊研究 2A	2
英文学特殊研究 7B	2	英語学特殊研究 2B	2
米文学特殊研究 1A	2	英語学特殊研究 3A	2
米文学特殊研究 1B	2	英語学特殊研究 3B	2
米文学特殊研究 2A	2	英語学特殊研究 4A	2
米文学特殊研究 2B	2	英語学特殊研究 4B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、英米文学研究方法論 4 単位は必修とし、英文学、米文学、英語学の各分野から 2 分野以上にわたって 16 単位以上を修得すること。なお、10 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 英米文学専攻 (後期課程)

英文学特論 1A	2	米文学特論 3B	2
英文学特論 1B	2	米文学特論 5A	2
英文学特論 2A	2	米文学特論 5B	2
英文学特論 2B	2	米文学特論 7A	2
英文学特論 3A	2	米文学特論 7B	2
英文学特論 3B	2	米文学特論 8A	2
米文学特論 1A	2	米文学特論 8B	2
米文学特論 1B	2	英語学特論 1A	2
米文学特論 3A	2	英語学特論 1B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (ア) 史学専攻 (前期課程)

修士論文指導演習	1	日本史特殊研究 5A	2
日本史特殊研究 1A	2	日本史特殊研究 5B	2
日本史特殊研究 1B	2	日本史演習 1	2
日本史特殊研究 2A	2	日本史演習 2	2
日本史特殊研究 2B	2	日本史演習 3	2
日本史特殊研究 3A	2	日本史演習 4	2
日本史特殊研究 3B	2	日本史演習 5	2
日本史特殊研究 4A	2	日本史演習 6	2
日本史特殊研究 4B	2	史学史 A	2

史学史 B	2	東洋史演習 4B	2
東洋史特殊研究 1A	2	西洋史特殊研究 1	4
東洋史特殊研究 1B	2	西洋史特殊研究 2A	2
東洋史特殊研究 2	4	西洋史特殊研究 2B	2
東洋史特殊研究 3A	2	西洋史特殊研究 3A	2
東洋史特殊研究 3B	2	西洋史特殊研究 3B	2
東洋史特殊研究 4A	2	西洋史特殊研究 4A	2
東洋史特殊研究 4B	2	西洋史特殊研究 4B	2
東洋史特殊研究 5A	2	西洋史特殊研究 5A	2
東洋史特殊研究 5B	2	西洋史特殊研究 5B	2
東洋史演習 1A	2	西洋史演習 1A	2
東洋史演習 1B	2	西洋史演習 1B	2
東洋史演習 2A	2	西洋史演習 2A	2
東洋史演習 2B	2	西洋史演習 2B	2
東洋史演習 3A	2	西洋史演習 3A	2
東洋史演習 3B	2	西洋史演習 3B	2
東洋史演習 4A	2		

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、修士論文指導演習 2 単位を必修とする。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 史学専攻（後期課程）

史学研究方法論 A	2	東洋史特論 C	2
史学研究方法論 B	2	東洋史特論 D	2
日本史特論 A	2	東洋史特論 E	2
日本史特論 B	2	東洋史特論 F	2
日本史特論 C	2	西洋史特論 A	2
日本史特論 D	2	西洋史特論 B	2
日本史特論 E	2	西洋史特論 C	2
日本史特論 F	2	西洋史特論 D	2
東洋史特論 A	2	史学史研究 A	2
東洋史特論 B	2	史学史研究 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自分の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (ア) 教育学専攻（前期課程）

教育哲学研究 1	2	教育思想史研究 1	2
教育哲学研究 2	2	教育思想史研究 2	2
日本教育史研究 1	2	教育学特殊研究 1	2
日本教育史研究 2	2	教育学特殊研究 2	2
外国教育史研究 1	2	教育学特殊研究 3	2
外国教育史研究 2	2	教育学特殊研究 4	2
教育社会学研究 1	2	教育学特殊研究 5	2
教育社会学研究 2	2	教育学演習 1	2
教育心理学研究 1	2	教育学演習 2	2
教育心理学研究 2	2	教育学演習 3	2
教育方法学研究 1	2	教育学演習 4	2
教育方法学研究 2	2	教育学演習 5	2
社会教育研究 1	2	教育学演習 6	2
社会教育研究 2	2	教育学演習 7	2
比較教育学研究 1	2	教育学演習 8	2
比較教育学研究 2	2	教育学演習 9	2

上記科目より、30 単位以上を選択修得しなければならない。なお、10 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 教育学専攻（後期課程）

教育哲学基礎研究	2	教育学特論 1	2
日本教育史基礎研究	2	教育学特論 2	2
外国教育史基礎研究	2	教育学特論 3	2
教育社会学基礎研究	2	教育学特論 4	2
教育心理学基礎研究	2	教育学特論 5	2
教育方法学基礎研究	2	教育学特論 6	2
社会教育学基礎研究	2	教育学特論 7	2
比較教育学基礎研究	2	教育学特論 8	2
教育思想史基礎研究	2	教育学特論 9	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(4) (ア) 日本文学専攻（前期課程）

日本文学演習 1A	2	日本文学研究 1B	2
日本文学演習 1B	2	日本文学研究 2A	2
日本文学演習 2A	2	日本文学研究 2B	2
日本文学演習 2B	2	日本文学研究 3A	2
日本文学演習 3A	2	日本文学研究 3B	2
日本文学演習 3B	2	日本文学研究 4A	2
日本文学演習 4A	2	日本文学研究 4B	2
日本文学演習 4B	2	日本文学研究 5A	2
日本文学演習 5A	2	日本文学研究 5B	2
日本文学演習 5B	2	日本文学研究 6A	2
日本文学演習 6A	2	日本文学研究 6B	2
日本文学演習 6B	2	日本語学研究 1A	2
日本文学演習 7A	2	日本語学研究 1B	2
日本文学演習 7B	2	日本語学研究 2A	2
日本語学演習 1	2	日本語学研究 2B	2
日本語学演習 2	2	中国文学研究 1	2
日本文学研究 1A	2	中国文学研究 2	2

上記科目より、30単位以上を選択修得しなければならない。なお、8単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 日本文学専攻（後期課程）

日本文学特殊研究 P1A	2	日本文学特殊研究 P5B	2
日本文学特殊研究 P1B	2	日本文学特殊研究 P6A	2
日本文学特殊研究 P2A	2	日本文学特殊研究 P6B	2
日本文学特殊研究 P2B	2	日本語学特殊研究 P1A	2
日本文学特殊研究 P3A	2	日本語学特殊研究 P1B	2
日本文学特殊研究 P3B	2	日本語学特殊研究 P2A	2
日本文学特殊研究 P4A	2	日本語学特殊研究 P2B	2
日本文学特殊研究 P4B	2	中国文学特殊研究 P1A	2
日本文学特殊研究 P5A	2	中国文学特殊研究 P1B	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(5) (ア) フランス文学専攻（前期課程）

フランス文学特殊研究 1A	2	フランス文学特殊研究 4A	2
フランス文学特殊研究 1B	2	フランス文学特殊研究 4B	2
フランス文学特殊研究 2A	2	フランス文学特殊研究 5A	2
フランス文学特殊研究 2B	2	フランス文学特殊研究 5B	2
フランス文学特殊研究 3A	2	フランス語学特殊研究 1A	2
フランス文学特殊研究 3B	2	フランス語学特殊研究 1B	2

フランス文学演習 1A	2	フランス語学演習 1B	2
フランス文学演習 1B	2	フランス語学演習 2A	2
フランス文学演習 2A	2	フランス語学演習 2B	2
フランス文学演習 2B	2	フランス語学演習 3A	2
フランス語学演習 1A	2	フランス語学演習 3B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、フランス語学特殊研究 1A・1B、フランス語学演習 1A・1B の 4 科目はかならず修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) フランス文学専攻（後期課程）

フランス文学特殊研究 1A	2	フランス文学特殊研究 4A	2
フランス文学特殊研究 1B	2	フランス文学特殊研究 4B	2
フランス文学特殊研究 2A	2	フランス文学特殊研究 5A	2
フランス文学特殊研究 2B	2	フランス文学特殊研究 5B	2
フランス文学特殊研究 3A	2	フランス語学特殊研究 1A	2
フランス文学特殊研究 3B	2	フランス語学特殊研究 1B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(6) (ア) ドイツ文学専攻（前期課程）

ドイツ文学特殊研究 1A	2	ドイツ文学特殊研究 9A	2
ドイツ文学特殊研究 1B	2	ドイツ文学特殊研究 9B	2
ドイツ文学特殊研究 2A	2	ドイツ語学特殊研究 1A	2
ドイツ文学特殊研究 2B	2	ドイツ語学特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 3A	2	ドイツ語学特殊研究 2A	2
ドイツ文学特殊研究 3B	2	ドイツ語学特殊研究 2B	2
ドイツ文学特殊研究 4A	2	ドイツ語学特殊研究 3A	2
ドイツ文学特殊研究 4B	2	ドイツ語学特殊研究 3B	2
ドイツ文学特殊研究 5A	2	ドイツ語教育特殊研究 1A	2
ドイツ文学特殊研究 5B	2	ドイツ語教育特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 6A	2	ドイツ語教育特殊研究 2A	2
ドイツ文学特殊研究 6B	2	ドイツ語教育特殊研究 2B	2
ドイツ文学特殊研究 7A	2	ドイツ学特殊研究 A	2
ドイツ文学特殊研究 7B	2	ドイツ学特殊研究 B	2
ドイツ文学特殊研究 8A	2	ドイツ文化史特殊研究 A	2
ドイツ文学特殊研究 8B	2	ドイツ文化史特殊研究 B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) ドイツ文学専攻（後期課程）

ドイツ文学特殊研究 8A	2	ドイツ語教育特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 8B	2	ドイツ文化史特殊研究 A	2
ドイツ語教育特殊研究 1A	2	ドイツ文化史特殊研究 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(7) (ア) 比較文明学専攻（前期課程）

現代文明学特殊研究 1 （比較方法研究）	2	現代文明学特殊研究 5 （文明批判論）	2
現代文明学特殊研究 2	2	現代文明学演習 1	2
現代文明学特殊研究 3	2	現代文明学演習 2	2
現代文明学特殊研究 4	2	現代文明学演習 3	2

現代文明学演習 4	2	文明工学演習 5	2
現代文明学演習 5	2	言語多文化学特殊研究 1	2
文明工学特殊研究 1	2	言語多文化学特殊研究 2	2
文明工学特殊研究 2	2	言語多文化学特殊研究 3	2
文明工学特殊研究 3	2	言語多文化学特殊研究 4	2
文明工学特殊研究 4	2	言語多文化学特殊研究 5	2
文明工学特殊研究 5	2	言語多文化学演習 1	2
文明工学演習 1	2	言語多文化学演習 2	2
文明工学演習 2	2	言語多文化学演習 3	2
文明工学演習 3	2	言語多文化学演習 4	2
文明工学演習 4	2	言語多文化学演習 5	2

上記科目より、30 単位以上を選択修得しなければならない。ただし、現代文明学特殊研究 1・5 のうちいずれか 1 科目はかならず修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 比較文明学専攻（後期課程）

1 必修科目

比較文明学特殊研究 1	2	比較文明学特殊研究 2	2
-------------	---	-------------	---

2 選択科目

比較文明学特殊研究 3	2	比較文明学特殊研究 7	2
比較文明学特殊研究 4	2	比較文明学特殊研究 8	2
比較文明学特殊研究 5	2	比較文明学特殊研究 9	2
比較文明学特殊研究 6	2		

上記科目より、必修科目 4 単位、選択科目 2 単位、計 6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(8) (7) 超域文化学専攻（前期課程）

地域社会研究方法論 A (合同ゼミナール)	2	文化人類学特殊研究 3A (民族誌)	2
地域社会研究方法論 B (合同ゼミナール)	2	文化人類学特殊研究 3B (民族誌)	2
地理学特殊研究 1A (ヨーロッパ研究)	2	超域文化学特殊研究 1	2
地理学特殊研究 1B (ヨーロッパ研究)	2	超域文化学特殊研究 2	2
地理学特殊研究 2A (アジア・アフリカ研究)	2	超域文化学特殊研究 3	2
地理学特殊研究 2B (アジア・アフリカ研究)	2	地理学調査演習 A (海外フィールドワーク)	2
地理学特殊研究 3A (南北アメリカ研究)	2	地理学調査演習 B (海外フィールドワーク)	2
地理学特殊研究 3B (南北アメリカ研究)	2	地域社会調査演習 A (国内フィールドワーク)	2
文化人類学特殊研究 1A (文化ダイナミクス論)	2	地域社会調査演習 B (国内フィールドワーク)	2
文化人類学特殊研究 1B (文化ダイナミクス論)	2	地理学演習 1A (地域研究論)	2
文化人類学特殊研究 2A (表象文化論)	2	地理学演習 1B (地域研究論)	2
文化人類学特殊研究 2B (表象文化論)	2	地理学演習 2A (文化環境論)	2
		地理学演習 2B (文化環境論)	2
		文化人類学演習 1A (民族文化論)	2

文化人類学演習 1B (民族文化論)	2	超域文化学演習 1B (複合文化論)	2
文化人類学演習 2A (文化環境論)	2	超域文化学演習 2A (芸能論)	2
文化人類学演習 2B (文化環境論)	2	超域文化学演習 2B (芸能論)	2
超域文化学演習 1A (複合文化論)	2		

上記科目より、演習 8 単位以上を含め 30 単位以上を修得しなければならない。なお、演習以外の科目について 8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 超域文化学専攻 (後期課程)

地域社会調査特殊研究 A	2	地域社会調査実習 B	2
地域社会調査特殊研究 B	2	地理学調査実習 A	2
地域社会調査実習 A	2	地理学調査実習 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(9) 共通科目

① SDGs リサーチ関連科目

SDGs リサーチ特殊演習1	2	SDGs 特殊研究1	2
SDGs リサーチ特殊演習2	2	SDGs 特殊研究2	2
SDGs リサーチ特殊演習3	2	SDGs 特殊研究3	2
SDGs リサーチ特殊演習4	2	SDGs 特殊研究4	2

② 人文情報・メディア学関連科目

人文情報・メディア学特殊演習1	2	人文情報・メディア学特殊研究1	2
人文情報・メディア学特殊演習2	2	人文情報・メディア学特殊研究2	2
人文情報・メディア学特殊演習3	2	人文情報・メディア学特殊研究3	2
人文情報・メディア学特殊演習4	2	人文情報・メディア学特殊研究4	2

上記科目について、修得単位の算入先は、「他専攻科目／他研究科科目」とする。

2 大学院経済学研究科

経済学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 経済学専攻 (前期課程) (昼間) (社会人コース)

① 必修科目

演習特別指導 1	4	演習追加指導 1	2
演習特別指導 2	4	演習追加指導 2	2

② 選択科目

経済学史特論 1	2	計量経済特論 1	2
経済学史特論 2	2	計量経済特論 2	2
流通・分配特論 1	2	財政学1特論 1	2
流通・分配特論 2	2	財政学1特論 2	2
価値論特論 1	2	財政学2特論 1	2
価値論特論 2	2	財政学2特論 2	2
景気変動特論 1	2	財政学3特論 1	2
景気変動特論 2	2	財政学3特論 2	2
現代経済特論 1	2	税法特論 1	2
現代経済特論 2	2	税法特論 2	2

税法 A 特論 1	2	外国貿易特論 2	2
税法 A 特論 2	2	社会政策特論 1	2
税法 B 特論 1	2	社会政策特論 2	2
税法 B 特論 2	2	労働経済特論 1	2
現代金融特論 1	2	労働経済特論 2	2
現代金融特論 2	2	中小企業特論 1	2
国際金融特論 1	2	中小企業特論 2	2
国際金融特論 2	2	アジア経済特論 1	2
経済統計特論 1	2	アジア経済特論 2	2
経済統計特論 2	2	証券経済特論 1	2
近代経済学1特論 1	2	証券経済特論 2	2
近代経済学1特論 2	2	現代企業特論 1	2
近代経済学2特論 1	2	現代企業特論 2	2
近代経済学2特論 2	2	コーポレートファイナンス特論 1	2
近代経済学3特論 1	2	コーポレートファイナンス特論 2	2
近代経済学3特論 2	2	環境経済特論 1	2
統計学特論 1	2	環境経済特論 2	2
統計学特論 2	2	アメリカ経済特論 1	2
財政学 A 特論 1	2	アメリカ経済特論 2	2
財政学 A 特論 2	2	国際企業法務特論 1	2
財政学 B 特論 1	2	国際企業法務特論 2	2
財政学 B 特論 2	2	企業環境 A 特論 1	2
アメリカ経済史特論 1	2	企業環境 A 特論 2	2
アメリカ経済史特論 2	2	企業環境 B 特論 1	2
社会思想史特論 1	2	企業環境 B 特論 2	2
社会思想史特論 2	2	企業環境 C 特論 1	2
日本経済史特論 1	2	企業環境 C 特論 2	2
日本経済史特論 2	2	資本市場特論 1	2
アジア経済史特論 1	2	資本市場特論 2	2
アジア経済史特論 2	2	会計学特論 1	2
ヨーロッパ経済史特論 1	2	会計学特論 2	2
ヨーロッパ経済史特論 2	2	経営分析特論 1	2
経営史特論 1	2	経営分析特論 2	2
経営史特論 2	2	管理会計特論 1	2
東洋史特論 1	2	管理会計特論 2	2
東洋史特論 2	2	財務会計特論 1	2
西洋史特論 1	2	財務会計特論 2	2
西洋史特論 2	2	原価計算特論 1	2
現代経済史特論 1	2	原価計算特論 2	2
現代経済史特論 2	2	会計史特論 1	2
経済政策特論 1	2	会計史特論 2	2
経済政策特論 2	2	国際会計特論 1	2
工業経済特論 1	2	国際会計特論 2	2
工業経済特論 2	2	会計情報特論 1	2
都市政策特論 1	2	会計情報特論 2	2
都市政策特論 2	2	会計監査特論 1	2
農業政策特論 1	2	会計監査特論 2	2
農業政策特論 2	2	経済情報特論 1	2
日本経済特論 1	2	経済情報特論 2	2
日本経済特論 2	2	リサーチ手法特論	2
世界経済特論 1	2	英語プレゼンテーション特論	2
世界経済特論 2	2	国際経済事情	2
国際経済特論 1	2	経済史特論 1	2
国際経済特論 2	2	経済史特論 2	2
外国貿易特論 1	2	中国経済特論 1	2

中国経済特論 2	2	Special Lecture on Thesis Guidance	2
Special Lecture on Conference Presentation	2		

上記科目より，必修科目 8 単位，選択科目 22 単位以上，計 30 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 経済学専攻（後期課程）

① 選択科目

経済学史特殊講義 1	2	都市政策特殊講義 1	2
経済学史特殊講義 2	2	都市政策特殊講義 2	2
価値論特殊講義 1	2	日本経済特殊講義 1	2
価値論特殊講義 2	2	日本経済特殊講義 2	2
景気変動特殊講義 1	2	世界経済特殊講義 1	2
景気変動特殊講義 2	2	世界経済特殊講義 2	2
計量経済特殊講義 1	2	社会政策特殊講義 1	2
計量経済特殊講義 2	2	社会政策特殊講義 2	2
財政学1特殊講義 1	2	労働経済特殊講義 1	2
財政学1特殊講義 2	2	労働経済特殊講義 2	2
財政学2特殊講義 1	2	中小企業特殊講義 1	2
財政学2特殊講義 2	2	中小企業特殊講義 2	2
財政学3特殊講義 1	2	アジア経済特殊講義 1	2
財政学3特殊講義 2	2	アジア経済特殊講義 2	2
税法特殊講義 1	2	証券経済特殊講義 1	2
税法特殊講義 2	2	証券経済特殊講義 2	2
経済統計特殊講義 1	2	現代企業特殊講義 1	2
経済統計特殊講義 2	2	現代企業特殊講義 2	2
近代経済学1特殊講義 1	2	アメリカ経済特殊講義 1	2
近代経済学1特殊講義 2	2	アメリカ経済特殊講義 2	2
近代経済学2特殊講義 1	2	コーポレートファイナンス特殊講義 1	2
近代経済学2特殊講義 2	2	コーポレートファイナンス特殊講義 2	2
近代経済学3特殊講義 1	2	会計学特殊講義 1	2
近代経済学3特殊講義 2	2	会計学特殊講義 2	2
日本経済史特殊講義 1	2	管理会計特殊講義 1	2
日本経済史特殊講義 2	2	管理会計特殊講義 2	2
アジア経済史特殊講義 1	2	原価計算特殊講義 1	2
アジア経済史特殊講義 2	2	原価計算特殊講義 2	2
ヨーロッパ経済史特殊講義 1	2	会計監査特殊講義 1	2
ヨーロッパ経済史特殊講義 2	2	会計監査特殊講義 2	2
経営史特殊講義 1	2	リサーチ手法特殊講義	2
経営史特殊講義 2	2	英語プレゼンテーション特殊講義	2
経済政策特殊講義 1	2	中国経済特殊講義 1	2
経済政策特殊講義 2	2	中国経済特殊講義 2	2
工業経済特殊講義 1	2	Advanced Lecture on Conference Presentation	2
工業経済特殊講義 2	2	Advanced Lecture on Thesis Guidance	2

上記科目より，選択科目 6 単位以上を修得しなければならない。また，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

3 大学院理学研究科

理学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 物理学専攻（前期課程）

① 必修科目

輪講 1	1	輪講 2	1
------	---	------	---

輪講 3	1	輪講 4	1
② 選択必修科目			
特別研究(理論)	3	特別研究 2(実験)	3
修士論文指導演習(理論)	3	特別研究 3(実験)	3
特別研究 1(実験)	3	修士論文指導演習(実験)	3
③ 選択科目			
重力特論	2	現代物理学特別講義 2	2
素粒子特論 1	2	現代物理学特別講義 3	2
素粒子特論 2	2	現代物理学特別講義 4	2
量子場理論	2	放射線生物学特論	2
量子場特論	2	放射線治療物理学	2
天体物理学	2	相対論	2
天体物理特論	2	素粒子論	2
宇宙物理特論 1	2	宇宙論	2
宇宙物理特論 2	2	数理物理学	2
数理物理特論 1	2	統計物理学	2
数理物理特論 2	2	原子核物理学	2
原子・分子物理特論	2	天体核物理学	2
電子工学特論	2	原子・分子物理学	2
放射線計測特論	2	分子分光物理学	2
宇宙放射線特論	2	ハドロン物理学	2
高エネルギー宇宙物理学特論	2	宇宙放射線物理学	2
惑星大気物理特論	2	惑星大気物理学	2
惑星物理特論	2	惑星物理学	2
現代物理学特別講義 1	2	高エネルギー宇宙物理学	2
④ 随意科目			
医学概論	2	医学物理学実習	1

理論物理学を研究分野とするものは、必修科目 4 単位、選択必修科目特別研究(理論) 6 単位、選択科目 20 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

原子核・放射線物理学、宇宙地球系物理学を研究分野にするものは、必修科目 4 単位、選択必修科目特別研究(実験) 12 単位、選択科目 14 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 物理学専攻(後期課程)

輪講 A	1	惑星大気物理特論	2
輪講 B	1	惑星物理特論	2
重力特論	2	現代物理学特別講義 1	2
素粒子特論 1	2	現代物理学特別講義 2	2
素粒子特論 2	2	現代物理学特別講義 3	2
量子場理論	2	現代物理学特別講義 4	2
量子場特論	2	放射線生物学特論	2
天体物理学	2	放射線治療物理学	2
天体物理特論	2	相対論	2
宇宙物理特論 1	2	素粒子論	2
宇宙物理特論 2	2	宇宙論	2
数理物理特論 1	2	数理物理学	2
数理物理特論 2	2	統計物理学	2
原子・分子物理特論	2	原子核物理学	2
電子工学特論	2	天体核物理学	2
放射線計測特論	2	原子・分子物理学	2
宇宙放射線特論	2	分子分光物理学	2
高エネルギー宇宙物理学特論	2	ハドロン物理学	2

宇宙放射線物理学	2	惑星物理学	2
惑星大気物理学	2	高エネルギー宇宙物理学	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (7) 化学専攻 (前期課程)

① 必修科目

輪講 1	1	特別研究 1	3
輪講 2	1	特別研究 2	3
輪講 3	1	特別研究 3	3
輪講 4	1	修士論文指導演習	3

② 選択科目

選択科目 I

分析化学基礎特論	2	無機化学基礎特論	2
分析化学応用特論 1	2	無機化学応用特論 1	2
分析化学応用特論 2	2	無機化学応用特論 2	2

選択科目 II

物理化学基礎特論	2	物理化学応用特論 3	2
物理化学応用特論 1	2	物理化学応用特論 4	2
物理化学応用特論 2	2	物理化学応用特論 5	2

選択科目 III

有機化学基礎特論	2	有機化学応用特論 3	2
有機化学応用特論 1	2	有機化学応用特論 4	2
有機化学応用特論 2	2		

選択科目 IV

特別講義 1	2	特別講義 8	2
特別講義 2	2	特別講義 9	2
特別講義 3	2	特別講義 10	2
特別講義 4	2	特別講義 11	2
特別講義 5	2	特別講義 12	2
特別講義 6	2	化学英語	2
特別講義 7	2		

上記科目より、必修科目 16 単位 (輪講 4 単位, 特別研究 12 単位), 選択科目 14 単位以上 (選択科目 I ~ III から各 2 単位以上, 選択科目 IV から 4 単位以上) 修得しなければならない。

(1) 化学専攻 (後期課程)

輪講 A	1	有機化学応用特論 3	2
輪講 B	1	有機化学応用特論 4	2
分析化学応用特論 1	2	特別講義 1	2
分析化学応用特論 2	2	特別講義 2	2
無機化学応用特論 1	2	特別講義 3	2
無機化学応用特論 2	2	特別講義 4	2
物理化学応用特論 1	2	特別講義 5	2
物理化学応用特論 2	2	特別講義 6	2
物理化学応用特論 3	2	特別講義 7	2
物理化学応用特論 4	2	特別講義 8	2
物理化学応用特論 5	2	特別講義 9	2
有機化学応用特論 1	2	特別講義 10	2
有機化学応用特論 2	2	特別講義 11	2

特別講義 12	2	化学英語	2
---------	---	------	---

上記科目より，6単位以上を修得しなければならない。かつ，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (7) 数学専攻（前期課程）

① 必修科目

数学研究 1	3	数学研究 4	3
数学研究 2	3	プレゼンテーション演習 1	2
数学研究 3	3	プレゼンテーション演習 2	2

② 選択科目

解析学特論 1	2	統計数学特論 2	2
解析学特論 2	2	統計数学特論 3	2
解析学特論 3	2	統計数学特論 4	2
解析学特論 4	2	応用数学特論 1	2
解析学特論 5	2	応用数学特論 2	2
解析学特論 6	2	応用数学特論 3	2
解析学特論 7	2	応用数学特論 4	2
解析学特論 8	2	計算機特論 1	2
代数学特論 1	2	計算機特論 2	2
代数学特論 2	2	計算機特論 3	2
代数学特論 3	2	計算機特論 4	2
代数学特論 4	2	計算機特論 5	2
代数学特論 5	2	計算機特論 6	2
代数学特論 6	2	計算機特論 7	2
代数学特論 7	2	計算機特論 8	2
代数学特論 8	2	情報科学特論 1	2
幾何学特論 1	2	情報科学特論 2	2
幾何学特論 2	2	情報科学特論 3	2
幾何学特論 3	2	情報科学特論 4	2
幾何学特論 4	2	情報科学特論 5	2
幾何学特論 5	2	情報科学特論 6	2
幾何学特論 6	2	情報科学特論 7	2
幾何学特論 7	2	情報科学特論 8	2
幾何学特論 8	2	確率論 1	2
確率論特論 1	2	確率論 2	2
確率論特論 2	2	確率論 3	2
確率論特論 3	2	数理統計学 1	2
確率論特論 4	2	数理統計学 2	2
統計数学特論 1	2	数理統計学 3	2

上記科目より，必修科目 16 単位，選択科目 14 単位以上，計 30 単位以上を修得しなければならない。

(1) 数学専攻（後期課程）

解析学特論 1	2	代数学特論 2	2
解析学特論 2	2	代数学特論 3	2
解析学特論 3	2	代数学特論 4	2
解析学特論 4	2	代数学特論 5	2
解析学特論 5	2	代数学特論 6	2
解析学特論 6	2	代数学特論 7	2
解析学特論 7	2	代数学特論 8	2
解析学特論 8	2	幾何学特論 1	2
代数学特論 1	2	幾何学特論 2	2

幾何学特論 3	2	計算機特論 3	2
幾何学特論 4	2	計算機特論 4	2
幾何学特論 5	2	計算機特論 5	2
幾何学特論 6	2	計算機特論 6	2
幾何学特論 7	2	計算機特論 7	2
幾何学特論 8	2	計算機特論 8	2
確率論特論 1	2	情報科学特論 1	2
確率論特論 2	2	情報科学特論 2	2
確率論特論 3	2	情報科学特論 3	2
確率論特論 4	2	情報科学特論 4	2
統計数学特論 1	2	情報科学特論 5	2
統計数学特論 2	2	情報科学特論 6	2
統計数学特論 3	2	情報科学特論 7	2
統計数学特論 4	2	情報科学特論 8	2
応用数学特論 1	2	確率論 1	2
応用数学特論 2	2	確率論 2	2
応用数学特論 3	2	確率論 3	2
応用数学特論 4	2	数理統計学 1	2
計算機特論 1	2	数理統計学 2	2
計算機特論 2	2	数理統計学 3	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(4) (7) 生命理学専攻（前期課程）

① 必修科目

輪講 1	1	特別研究 1	3
輪講 2	1	特別研究 2	3
輪講 3	1	特別研究 3	3
輪講 4	1	修士論文指導演習	3

② 選択科目

生命理学概論	2	分子生物学特論 2	2
分子生物学概論	2	細胞生物学特論	2
生物物理学概論	2	生物物理学特論	2
生物化学概論	2	生物化学特論 1	2
細胞生物学概論	2	生物化学特論 2	2
生命理学特論	2	生命理学特別講義 1	2
分子生物学特論 1	2	生命理学特別講義 2	2

上記科目より、必修科目 16 単位、選択科目 14 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(4) 生命理学専攻（後期課程）

① 必修科目

輪講 A	1	分子生物学特論 1	2
輪講 B	1	分子生物学特論 2	2
生命理学概論	2	細胞生物学特論	2
分子生物学概論	2	生物物理学特論	2
生物物理学概論	2	生物化学特論 1	2
生物化学概論	2	生物化学特論 2	2
細胞生物学概論	2	生命理学特別講義 1	2
生命理学特論	2	生命理学特別講義 2	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導および輪講を受けなければならない。

4 大学院社会学研究科

社会学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 社会学専攻（前期課程）

① 必修科目

社会学基礎論	2	研究指導演習	1
修士論文作成演習	1	研究指導演習	1
修士論文作成演習	1		

② 選択科目

<調査法科目>

調査計画法	2	質的分析法	2
量的分析法	2		

<プロジェクト科目>

プロジェクト研究 A	4	プロジェクト研究 D	4
プロジェクト研究 B	4	プロジェクト研究 E	4
プロジェクト研究 C	4		

<基礎科目>

現代社会学理論	2	政治社会学	2
相互行為論	2	産業・労働社会学	2
社会階層論	2	都市社会学	2
ジェンダーとセクシュアリティ	2	環境社会学	2
人種とエスニシティ	2	メディア社会学	2
社会老年学	2	文化人類学	2
家族社会学	2	カルチュラルスタディーズ	2
宗教社会学	2	科学技術社会論	2

③ 自由科目

<発展科目>

消費社会・消費文化研究	2	マイグレーション論	2
消費社会・消費文化演習	2	マイグレーション論演習	2
エスノメソドロジー研究	2	都市と空間の社会学	2
エスノメソドロジー演習	2	都市と空間の社会学演習	2
環境社会学研究	2	メディア史研究	2
環境社会学演習	2	メディア史演習	2
現代社会理論研究	2	映像メディア論研究	2
現代社会理論演習	2	映像メディア論演習	2
家族社会学演習	2	オルタナティブ・メディア研究	2
家族社会学研究	2	オルタナティブ・メディア演習	2
地域社会学研究	2	質的メディア研究	2
地域社会学演習	2	質的メディア演習	2
産業・労働社会学研究	2	ジャーナリズムスタディーズ研究	2
産業・労働社会学演習	2	ジャーナリズムスタディーズ演習	2
計量社会学研究	2	ネットワーク社会論研究	2
計量社会学演習	2	ネットワーク社会論演習	2
地域・福祉政策研究	2	相互行為論研究	2
地域・福祉政策演習	2	相互行為論演習	2
グローバル都市研究	2	社会関係論研究	2
グローバル都市演習	2	社会関係論演習	2
宗教社会学研究	2	ライフストーリー研究	2
宗教社会学演習	2	ライフストーリー演習	2

音楽社会学研究	2	ジェンダー演習	2
音楽社会学演習	2	社会運動論研究	2
デジタル・メディア研究	2	社会運動論演習	2
デジタル・メディア演習	2	社会学特殊研究 A	2
現代文化社会論	2	社会学特殊研究 B	2
現代文化社会論演習	2	社会学特殊研究 C	2
国際社会学	2	社会学特殊研究 D	2
国際社会学演習	2	社会学特殊研究 E	2
文化人類学研究	2	社会学特殊研究 F	2
文化人類学演習	2	社会学特殊研究 G	2
教育社会学研究	2	社会学特殊研究 H	2
教育社会学演習	2	社会学特殊研究 I	2
Web スタディーズ論研究	2	社会学特殊研究 J	2
Web スタディーズ論演習	2	社会学特殊研究 K	2
経済社会学	2	社会学特殊研究 L	2
経済社会学演習	2	社会学特殊研究 M	2
ジェンダー研究	2	社会学特殊研究 N	2
＜リサーチ英語演習＞			
リサーチ英語演習 A	2	リサーチ英語演習 B	2
＜アカデミック・ライティング科目＞			
学術論文の技法	2		
＜社会学特別講座＞			
社会学特別講座 1	2	社会学特別講座 2	2

博士課程前期課程は、必修科目（社会学基礎論 2 単位，研究指導演習 2 単位，修士論文作成演習 2 単位）計 6 単位，選択科目（調査法科目 2 単位，基礎科目及びプロジェクト科目のなかから 12 単位）から 14 単位以上，自由科目（発展科目，リサーチ英語演習，アカデミック・ライティング科目，社会学特別講座）から 12 単位以上を修得しなければならない。ただし，自由科目については，他研究科科目 8 単位までを選択科目として修了に必要な単位として算入することができる。

(イ) 社会学専攻（後期課程）

① 選択科目

＜調査法科目＞			
調査計画法	2	質的分析法	2
量的分析法	2		
＜社会学研究特論＞			
社会学基礎論	2	政治社会学	2
現代社会学理論	2	産業・労働社会学	2
相互行為論	2	都市社会学	2
社会階層論	2	環境社会学	2
ジェンダーとセクシュアリティ	2	メディア社会学	2
人種とエスニシティ	2	文化人類学	2
社会老年学	2	カルチュラルスタディーズ	2
家族社会学	2	科学技術社会論	2
宗教社会学	2		

博士課程後期課程にあつては，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また，選択科目（調査法科目および社会学研究特論）から 6 単位以上を修得しなければならない。ただし，他研究科後期課程科目あるいは他大学院後期課程科目（入学前既修得を含む）の 2 単位までを修了に必要な単位として算入することができる。

5 大学院法学研究科

法学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 法学政治学専攻（前期課程）

＜法学系＞			
法学研究基礎	2	民法特論 C	2
英米法研究	2	商法研究	2
英米法特論	2	商法特論	2
国際法研究	2	民事訴訟法研究	2
国際法特論	2	民事訴訟法特論	2
国際私法研究	2	刑法研究	2
国際私法特論	2	刑法特論	2
国際経済法研究	2	刑事訴訟法研究	2
国際経済法特論	2	刑事訴訟法特論	2
国際取引法研究	2	経済法研究	2
国際取引法特論	2	経済法特論	2
法哲学研究	2	知的財産法研究	2
法哲学特論	2	知的財産法特論	2
法社会学研究	2	労働法研究	2
法社会学特論	2	労働法特論	2
憲法研究	2	環境法研究	2
憲法特論	2	環境法特論	2
行政法研究	2	租税法研究	2
行政法特論	2	租税法特論	2
民法研究 A	2	判例研究	2
民法研究 B	2	法学総合演習(1)	1
民法特論 A	2	法学総合演習(2)	1
民法特論 B	2	法学政治学特別リサーチ	2
＜政治学系＞			
政治学研究基礎	2	日本政治思想史研究	2
現代政治理論研究	2	日本政治思想史特論	2
政治学特論	2	欧州政治思想史研究	2
政治過程研究	2	欧州政治思想史特論	2
政治過程特論	2	国際政治研究	2
ヨーロッパ政治研究	2	国際政治特論	2
ヨーロッパ政治特論	2	行政学研究	2
アメリカ政治研究	2	行政学特論	2
アメリカ政治特論	2	公共政策特論	2
アジア政治研究	2	地方自治特論	2
アジア政治特論	2	政治学総合演習(1)	1
日本政治史研究	2	政治学総合演習(2)	1
日本政治史特論	2	法学政治学特別リサーチ	2
＜法学・政治共通＞			
統計学特論	2	特別研究指導 A2	2
社会調査特論	2	特別研究指導 B1	2
特別研究指導 A1	2	特別研究指導 B2	2

法学政治学専攻は、特別研究指導 A1・A2・B1・B2 を各 2 単位合計 8 単位、本専攻科目を 12 単位、本専攻・他研究科・法学部・単位互換協定大学院の各科目から 10 単位、計 30 単位以上を修得しなければならない。ただし、他研究科科目は 4 単位、法学部科目は 4 単位、単位互換協定大学院科目は 8 単位を、それぞれ超えて修了要件単位とすることができない。

(イ) 法学政治学専攻（後期課程）

＜法学系＞			
法学総合演習(1)	1	法学研究基礎	2
法学総合演習(2)	1		
＜政治学系＞			
政治学総合演習(1)	1	政治学研究基礎	2
政治学総合演習(2)	1		

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また、法学総合演習(1)・(2)または政治学総合演習(1)・(2)から6単位以上修得しなければならない。ただし、法科大学院修了者については、法学総合演習(1)・(2)、政治学総合演習(1)・(2)以外に、法学研究基礎または政治学研究基礎を修得しなければならない。

6 大学院観光学研究科

観光学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 観光学専攻 (前期課程)

① 必修科目

観光研究基礎指導 A	2	修士論文指導演習 B	2
観光研究基礎指導 B	2	観光研究演習 A	1
修士論文指導演習 A	2	観光研究演習 B	1

② 選択科目

観光経済学研究	2	観光文学研究(1)	2
観光経営研究	2	観光文学研究(2)	2
観光行動研究	2	観光マーケティング研究	2
観光地調査研究法	2	観光歴史学研究	2
観光環境・計画学研究(1)	2	経営財務1	2
観光環境・計画学研究(2)	2	経営財務2	2
観光環境・計画学研究(3)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント1	2
観光社会学研究(1)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント2	2
観光社会学研究(2)	2	マーケティング・エッセンシャルズ1	2
観光社会学研究(3)	2	マーケティング・エッセンシャルズ2	2
観光人類学研究(1)	2	マーケティング・リサーチ1	2
観光人類学研究(2)	2	マーケティング・リサーチ2	2
観光人類学研究(3)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント1	2
観光政策学研究	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント2	2
観光地理学研究(1)	2	観光研究特論 A	2
観光地理学研究(2)	2	観光研究特論 B	2
観光地理学研究(3)	2		

上記科目より、必修科目 10 単位、選択科目 20 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 観光学専攻 (後期課程)

選択科目

観光経済学研究	2	観光政策学研究	2
観光経営研究	2	観光社会学研究(1)	2
観光行動研究	2	観光社会学研究(2)	2
観光地調査研究法	2	観光社会学研究(3)	2
観光環境・計画学研究(1)	2	観光人類学研究(1)	2
観光環境・計画学研究(2)	2	観光人類学研究(2)	2
観光環境・計画学研究(3)	2	観光人類学研究(3)	2

観光地理学研究(1)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント1	2
観光地理学研究(2)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント2	2
観光地理学研究(3)	2	マーケティング・エッセンシャルズ1	2
観光文学研究(1)	2	マーケティング・エッセンシャルズ2	2
観光文学研究(2)	2	マーケティング・リサーチ1	2
観光マーケティング研究	2	マーケティング・リサーチ2	2
観光歴史学研究	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント1	2
経営財務1	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント2	2
経営財務2	2		

上記科目より、選択科目6単位以上を修得しなければならない。博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

7 大学院コミュニティ福祉学研究科

コミュニティ福祉学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) コミュニティ福祉学専攻（前期課程）

① 必修科目

研究基礎	2	研究指導 2	2
研究指導 1	2	研究指導 3	2

② 選択科目

コミュニティ福祉学研究演習	2	地方自治特論	2
保健医療福祉連携特論	2	社会的連帯経済特論	2
地域福祉特論	2	福祉政治特論	2
生活困窮者支援特論	2	福祉経済特論	2
権利擁護特論	2	社会運動研究特論	2
司法福祉学特論	2	生命倫理学特論	2
医療ソーシャルワーク特論	2	公共研究特論	2
女性支援政策特論	2	地域政策特論	2
高齢者福祉特論	2	都市地理学特論	2
居住福祉特論	2	政策法務特論	2
障害者支援特論	2	政策評価特論	2
社会保障特論	2	市民教育特論	2
ソーシャルワーク特殊研究1	2	社会調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究2	2	量的調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究3	2	質的調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究4	2	コミュニティ政策特殊研究1(コミュニティ学)	2
福祉政策特論	2	コミュニティ政策特殊研究2(コミュニティ学)	2
社会開発学特論	2	コミュニティ政策特殊研究3(政策学)	2
地域社会学特論	2	コミュニティ政策特殊研究4(政策学)	2

上記科目より、必修科目8単位、選択科目22単位以上を修得しなければならない。なお、他専攻の科目から10単位までを履修し、選択科目に含めることができるものとする。

(イ) コミュニティ福祉学専攻（後期課程）

① 選択科目

保健医療福祉連携特論	2	司法福祉学特論	2
地域福祉特論	2	医療ソーシャルワーク特論	2
生活困窮者支援特論	2	女性支援政策特論	2
権利擁護特論	2	高齢者福祉特論	2

居住福祉特論	2	福祉経済特論	2
障害者支援特論	2	社会運動研究特論	2
社会保障特論	2	生命倫理学特論	2
ソーシャルワーク特殊研究1	2	公共研究特論	2
ソーシャルワーク特殊研究2	2	地域政策特論	2
ソーシャルワーク特殊研究3	2	都市地理学特論	2
ソーシャルワーク特殊研究4	2	政策法務特論	2
福祉政策特論	2	政策評価特論	2
社会開発学特論	2	市民教育特論	2
地域社会学特論	2	コミュニティ政策特殊研究1(コミュニティ学)	2
地方自治特論	2	コミュニティ政策特殊研究2(コミュニティ学)	2
社会的連帯経済特論	2	コミュニティ政策特殊研究3(政策学)	2
福祉政治特論	2	コミュニティ政策特殊研究4(政策学)	2

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また、上記科目より、選択科目 6 単位以上を修得しなければならない。なお、他専攻の科目から 2 単位までを履修し、選択科目に含めることができるものとする。

8 大学院ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) ビジネスデザイン専攻（前期課程）

① 必修科目

創造的マネジメントのための戦略的／創造的思考法
ビジネスシミュレーション 4

② 選択必修科目

修了研究モジュール

論文指導 1	2	論文指導 2	2
--------	---	--------	---

③ 選択科目

修了研究モジュール

専門研究A	2	ビジネスデザイン基礎	2
専門研究B	2	ビジネスリサーチ基礎	2
特別演習1	2	ビジネスデザイン演習1	2
特別演習2	2	ビジネスデザイン演習2	2

基礎モジュール

<創造的マネジメントのための基礎理論>

経済学

経済学基礎 1	2	企業経済学 2	2
経済学基礎 2	2	アグリフードシステム論 1	2
現代経済論 1	2	アグリフードシステム論 2	2
現代経済論 2	2	アジア経済論 1	2
企業経済学 1	2	アジア経済論 2	2

会計学

キャッシュフロー・マネジメント 1	2	財務会計 1	2
キャッシュフロー・マネジメント 2	2	財務会計 2	2
管理会計 1	2	会計学基礎 1	2
管理会計 2	2	原価計算基礎 1	2

会計学基礎 3	2	企業分析 1	2
原価計算基礎 3	2	企業分析 2	2
会計学 1	2	会計学基礎 OD	2
会計学 2	2	原価計算基礎 OD	2
ファイナンス			
企業財務基礎	2	経営財務1	2
国際金融論 1	2	経営財務2	2
国際金融論 2	2	経営財務3	2
金融経済論 1	2	経営財務4	2
金融経済論 2	2	M&A1	2
証券経済論 1	2	M&A2	2
証券経済論 2	2	企業財務基礎 OD	2
不動産運用設計	2		
戦略策定と戦略経営			
経営学基礎 1	2	コーポレート・ストラテジー4	2
経営学基礎 2	2	マーケティング・ストラテジー1	2
日本の企業経営	2	マーケティング・ストラテジー2	2
コーポレート・ストラテジー1	2	プラットフォーム戦略 1	2
コーポレート・ストラテジー2	2	プラットフォーム戦略 2	2
コーポレート・ストラテジー3	2		
マーケティング&マーケティングリサーチ			
マーケティング・エッセンシャルズ 1	2	マーケティング・リサーチ 2	2
マーケティング・エッセンシャルズ 2	2	B to B マーケティング 1	2
流通システム論 1	2	B to B マーケティング 2	2
流通システム論 2	2	ブランドデザイン	2
消費者行動論 1	2	デザイン経営	2
消費者行動論 2	2	ソーシャルイノベーションデザイン	2
消費者行動論 3	2	街づくりデザイン	2
消費者行動論 4	2	フードシステムデザイン	2
マーケティング・リサーチ 1	2		
組織デザイン			
ビジネス・オーガニゼーション 1	2	ビジネス・オーガニゼーション 4	2
ビジネス・オーガニゼーション 2	2	組織情報論 1	2
ビジネス・オーガニゼーション 3	2	組織情報論 2	2
人材マネジメント			
ヒューマン・リソース・マネジメント 1	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 6	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 2	2	キャリアデザイン 1	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 3	2	キャリアデザイン 2	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 4	2	キャリアデザイン 3	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 5	2	キャリアデザイン 4	2
企業法と税法			
企業法務 1	2	租税論 1	2
企業法務 2	2	租税論 2	2
<創造的意思決定のための基礎的スキルと実践知識>			
統計と調査			
統計学 1	2	統計学基礎 1	2
統計学 2	2	統計学基礎 2	2
調査法 1	2	統計学基礎 OD	2
調査法 2	2	統計処理演習	2

Introduction to Statistics 1	2	Introduction to Statistics 2	2
コミュニケーションスキルと論理的思考法			
クリティカル・シンキング	2	コーチング 2	2
コーチング 1	2		
応用／専門モジュール			
ビジネスデザイン			
コンサルティング・メソッド 1	2	オペレーション・マネジメント 1	2
コンサルティング・メソッド 2	2	オペレーション・マネジメント 2	2
ケース・ライティング 1	2	不動産アセットマネジメント 1	2
ケース・ライティング 2	2	不動産アセットマネジメント 2	2
ビジネスモデル入門	2	ビジネスデザイン特講 1A	2
新商品開発 1	2	ビジネスデザイン特講 1B	2
新商品開発 2	2	ビジネスデザイン特講 2A	2
スタートアップ・ストラテジー1	2	ビジネスデザイン特講 2B	2
スタートアップ・ストラテジー2	2	ビジネスデザイン特講 3A	2
不動産ビジネス論 1	2	ビジネスデザイン特講 3B	2
不動産ビジネス論 2	2	ビジネスデザイン特講 4A	2
Business Case Studies 1	2	ビジネスデザイン特講 4B	2
Business Case Studies 2	2	ビジネスデザイン特講 5A	2
ビジネスケースメソッド 1	2	ビジネスデザイン特講 5B	2
ビジネスケースメソッド 2	2	ネゴシエーション	2
トップマネジメント			
リーダーシップ論 1	2	エグゼクティブ・リーダーシップ	2
リーダーシップ論 2	2	トップマネジメント論	2
経営者人材開発論	2		
ビジネスフィロソフィー			
ビジネス・エシックス 1	2	日本経済論 1	2
ビジネス・エシックス 2	2	日本経済論 2	2
CSR 1	2	コーポレート・ガバナンス	2
CSR 2	2	経営史	2
コーポレート・フィロソフィー	2		
PR／ブランドマネジメント			
パブリック・リレーションズ 1	2	コーポレート・マーケティング	2
パブリック・リレーションズ 2	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 1	2
ブランド・マーケティング 1	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 2	2
ブランド・マーケティング 2	2		
グローバルマネジメント			
グローバルマーケティング 1	2	Global Management 1	2
グローバルマーケティング 2	2	Global Management 2	2
グローバルマーケティング 3	2	グローバル経営戦略 1	2
グローバルマーケティング 4	2	グローバル経営戦略 2	2
産業クラスター論	2	グローバル経営人材育成法 1	2
インターナショナルビジネス 1	2	グローバル経営人材育成法 2	2
インターナショナルビジネス 2	2		
シードマネジメント／MOT			
知的経営論	2	テクノロジーマネジメント 4	2
イノベーション・マネジメント	2	テクノロジー・マーケティング	2
テクノロジー&ストラテジー	2	テクノトレンド 1	2
テクノロジーマネジメント 1	2	テクノトレンド 2	2
テクノロジーマネジメント 2	2	インダストリアルマネジメント 1	2
テクノロジーマネジメント 3	2	インダストリアルマネジメント 2	2

リーディング産業論	2	シードマネジメント特講 1B	2
情報メディアビジネス論	2	シードマネジメント特講 2A	2
シードマネジメント特講 1A	2	シードマネジメント特講 2B	2
ベンチャー／スモールビジネスマネジメント			
スモールビジネス 1	2	ベンチャー金融論	2
スモールビジネス 2	2	アントレプレナーシップ	2
ベンチャー企業論	2	起業家のためのクリエイティブシンキング	2
ホスピタリティ&サービスマネジメント			
ホスピタリティ・マネジメント 1	2	ホスピタリティデザイン特講 1A	2
ホスピタリティ・マネジメント 2	2	ホスピタリティデザイン特講 1B	2
ホスピタリティ人材開発論	2	ホスピタリティデザイン特講 2A	2
ホスピタリティ人材管理論	2	ホスピタリティデザイン特講 2B	2
F&Bマネジメント論	2	ホスピタリティデザイン特講 3A	2
フードサービス・チェーンオペレーション	2	ホスピタリティデザイン特講 3B	2
エンターテインメント・ビジネス論 1	2	ホスピタリティデザイン特講 4A	2
エンターテインメント・ビジネス論 2	2	ホスピタリティデザイン特講 4B	2
サービス・イノベーション	2	ホスピタリティデザイン特講 5A	2
サービス経済学 1	2	ホスピタリティデザイン特講 5B	2
サービス経済学 2	2	ホテルインベストメント 1	2
ホテルマネジメント 1	2	ホテルインベストメント 2	2
ホテルマネジメント 2	2	ホテル経営戦略	2
ホテルアセットマネジメント 1	2	医療経済学概論	2
ホテルアセットマネジメント 2	2	医療経営学概論	2
食文化とツーリズム	2	ホテルディベロップメント 1	2
メディカル・ビジネス論	2	ホテルディベロップメント 2	2
介護・シニアビジネス論	2	観光地調査研究法	2
ホスピタリティ&サービスマーケティング			
サービス・マーケティング 1	2	F&Bマーケティング 1	2
サービス・マーケティング 2	2	F&Bマーケティング 2	2
都市と観光			
都市マネジメント 1	2	観光地マネジメント 3	2
都市マネジメント 2	2	観光地マネジメント 4	2
観光地域政策論 1	2	都市経済学 1	2
観光地域政策論 2	2	都市経済学 2	2
観光地域経済論 1	2	観光経営研究 1	2
観光地域経済論 2	2	観光経営研究 2	2
トラベルビジネス・ベーシック	2	観光産業研究	2
観光地マネジメント 1(イノベーション)	2	地域イノベーションデザイン	2
観光地マネジメント 2(ネットワーク)	2		
Business & Society			
ワーク・ライフ・バランス 1	2	企業論 1	2
ワーク・ライフ・バランス 2	2	企業論 2	2
ソーシャルビジネス	2		
デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション			
データサイエンス基礎	2	DX戦略論2	2
デジタル・ビジネスプランニング	2	DX人財戦略	2
IT 産業論	2	マーケティングサイエンス	2
経営とデジタル	2	データサイエンス1	2
DX経営	2	データサイエンス2	2
DX戦略論1	2		

修士論文（ビジネスデザイン）又は修士論文（ビジネスリサーチ）のいずれかを必修とする。上記科目より，必修科目4単位，選択必修科目から4単位，選択科目から32単位，合計40単位以上を修得しなければならない。

(イ) ビジネスデザイン専攻（後期課程）

リサーチワークA(研究指導科目)

経営学特別研究1	2	経営学特別研究18	2
経営学特別研究2	2	経営学特別研究19	2
経営学特別研究3	2	経営学特別研究20	2
経営学特別研究4	2	経営学特別研究21	2
経営学特別研究5	2	経営学特別研究22	2
経営学特別研究6	2	経営学特別研究23	2
経営学特別研究7	2	経営学特別研究24	2
経営学特別研究8	2	経営学特別研究25	2
経営学特別研究9	2	経営学特別研究26	2
経営学特別研究10	2	経営学特別研究27	2
経営学特別研究11	2	経営学特別研究28	2
経営学特別研究12	2	経営学特別研究31	2
経営学特別研究13	2	経営学特別研究32	2
経営学特別研究14	2	経営学特別研究33	2
経営学特別研究15	2	経営学特別研究34	2
経営学特別研究16	2	経営学特別研究35	2
経営学特別研究17	2	経営学特別研究36	2

リサーチワークB(論文指導科目)

経営学研究法演習1	2	経営学研究法演習2	2
-----------	---	-----------	---

コースワーク

現代経済論 1(D)	2	ビジネス・オーガニゼーション 3(D)	2
現代経済論 2(D)	2	ビジネス・オーガニゼーション 4(D)	2
アグリフードシステム論 1(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 1(D)	2
アグリフードシステム論 2(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 2(D)	2
アジア経済論 1(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 3(D)	2
アジア経済論 2(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 4(D)	2
キャッシュフロー・マネジメント 1(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 5(D)	2
キャッシュフロー・マネジメント 2(D)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 6(D)	2
会計学基礎 3(D)	2	キャリアデザイン1(D)	2
原価計算基礎 3(D)	2	キャリアデザイン2(D)	2
企業分析 1(D)	2	キャリアデザイン3(D)	2
企業分析 2(D)	2	キャリアデザイン4(D)	2
企業財務基礎(D)	2	日本の企業経営(D)	2
経営財務1(D)	2	クリティカル・シンキング(D)	2
経営財務2(D)	2	コーチング1(D)	2
経営学基礎1(D)	2	コーチング2(D)	2
経営学基礎2(D)	2	スタートアップ・ストラテジー1(D)	2
コーポレート・ストラテジー1(D)	2	スタートアップ・ストラテジー2(D)	2
コーポレート・ストラテジー2(D)	2	Business Case Studies1(D)	2
コーポレート・ストラテジー3(D)	2	Business Case Studies2(D)	2
コーポレート・ストラテジー4(D)	2	オペレーション・マネジメント 1(D)	2
プラットフォーム戦略1(D)	2	オペレーション・マネジメント 2(D)	2
プラットフォーム戦略2(D)	2	ビジネスデザイン特講 3A(D)	2
マーケティング・エッセンシャルズ 1(D)	2	ビジネスデザイン特講 3B(D)	2
マーケティング・エッセンシャルズ 2(D)	2	ビジネスデザイン特講 4A(D)	2
流通システム論 1(D)	2	ビジネスデザイン特講 4B(D)	2
流通システム論 2(D)	2	ビジネスデザイン特講 5A(D)	2

ビジネスデザイン特講 5B(D)	2	ホテルインベストメント 1(D)	2
ネゴシエーション(D)	2	ホテルインベストメント 2(D)	2
リーダーシップ論 1(D)	2	ホテルディベロップメント 1(D)	2
リーダーシップ論 2(D)	2	ホテルディベロップメント 2(D)	2
コーポレート・マーケティング(D)	2	サービス・マーケティング 1(D)	2
ラグジュアリーブランド・マネジメント 1(D)	2	サービス・マーケティング 2(D)	2
ラグジュアリーブランド・マネジメント 2(D)	2	都市マネジメント 1(D)	2
グローバル・マーケティング 3(D)	2	都市マネジメント 2(D)	2
グローバル・マーケティング 4(D)	2	観光地域経済論 1(D)	2
インターナショナルビジネス 1(D)	2	観光地域経済論 2(D)	2
インターナショナルビジネス 2(D)	2	観光地マネジメント 1(イノベーション) (D)	2
テクノロジーマネジメント 1(D)	2	観光地マネジメント 2(ネットワーク) (D)	2
テクノロジーマネジメント 2(D)	2	都市経済学 1(D)	2
テクノトレンド 1(D)	2	都市経済学 2(D)	2
テクノトレンド 2(D)	2	観光経営研究 1(D)	2
インダストリアルマネジメント 1(D)	2	観光経営研究 2(D)	2
インダストリアルマネジメント 2(D)	2	マーケティング・リサーチ 1(D)	2
リーディング産業論(D)	2	マーケティング・リサーチ 2(D)	2
ベンチャー企業論(D)	2	ビジネスケースメソッド 1(D)	2
ベンチャー金融論(D)	2	ビジネスケースメソッド 2(D)	2
アントレプレナーシップ(D)	2	M&A 1(D)	2
ホテルマネジメント 1(D)	2	M&A 2(D)	2
ホテルマネジメント 2(D)	2	企業論 1(D)	2
ホテルアセットマネジメント 1(D)	2	企業論 2(D)	2
ホテルアセットマネジメント 2(D)	2	スモールビジネス 1(D)	2
メディカル・ビジネス論(D)	2	スモールビジネス 2(D)	2
介護・シニアビジネス論(D)	2	データサイエンス 1(D)	2
ホスピタリティデザイン特講 3A(D)	2	データサイエンス 2(D)	2
ホスピタリティデザイン特講 3B(D)	2	地域イノベーションデザイン(D)	2

博士予備論文の合格を経て博士学位申請論文の合格を必修とする。博士学位申請論文の提出に際し、別途研究科が定める基準を満たしていることを要する。

上記科目より、リサーチワーク A のうち正指導教授が担当する科目 12 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワークより 6 単位、合計 24 単位以上を修得しなければならない。

大学院学則第 6 条（優れた研究業績をあげた者）の規定により標準修業年限を短縮し修了する場合、修業年限 1 年ではリサーチワーク A 4 単位、リサーチワーク B 4 単位、コースワーク 6 単位、合計 14 単位以上、修業年限 1.5 年ではリサーチワーク A 6 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 18 単位以上、修業年限 2 年ではリサーチワーク A 8 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 20 単位以上、修業年限 2.5 年ではリサーチワーク A 10 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 22 単位以上を修得しなければならない。

9 大学院社会デザイン研究科

社会デザイン研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 社会デザイン学専攻（前期課程）

社会デザイン学コース

社会デザイン学特殊研究 1 (社会学原論)	2	(ライフサイクル論)	
社会デザイン学特殊研究 3 (自然学の方法)	2	社会デザイン学特殊研究 6	2
社会デザイン学特殊研究 4 (アイデンティティ論)	2	(社会デザイン学への招待)	
社会デザイン学特殊研究 5	2	社会デザイン学特殊研究 7	2
		(人間の安全保障と社会デザイン)	
		社会デザイン学特殊研究 8	2
		(メディアとしての読書文化論)	

社会デザイン学特殊研究 9 (21世紀社会デザインと市民組織)	2	社会組織理論演習 20 (社会組織開発論)	2
社会デザイン学特殊研究 10 (21世紀社会デザインとNGO)	2	社会組織理論演習 21 (地方自治と社会政策)	2
社会デザイン学特殊研究 14 (社会デザイン学の可能性1)	2	社会組織理論演習 22 (インクルーシブキャピタリズム)	2
社会デザイン学特殊研究 15 (宗教と社会デザイン)	2	社会組織理論演習 23 (コーオウンド・ビジネス)	2
社会デザイン学特殊研究 16 (アートと社会デザイン)	2	社会組織理論演習 24 (社会課題と対話の実践)	2
社会デザイン学特殊研究 17 (リスク学原論)	2	社会組織理論演習 25 (ライフストーリーと社会的帰属)	2
社会デザイン学特殊研究 18 (論文作成法 I)	2	社会組織理論特講 1	2
社会デザイン学特殊研究 20 (論文作成法 II)	2	社会組織理論特講 2	2
社会デザイン学特殊研究 22 (留学生のための学術論文作成法)	2	コミュニティデザイン学演習 1 (社会デザインとしての市民活動)	2
社会デザイン学特殊研究 24 (プラットフォームと社会デザイン)	2	コミュニティデザイン学演習 2 (グループ対話と社会デザイン)	2
社会デザイン学特殊研究 25 (オーラルヒストリーとデジタルアーカイブ)	2	コミュニティデザイン学演習 3 (当事者臨床論)	2
社会デザイン学特殊研究 26 (社会デザイン学の可能性 2)	2	コミュニティデザイン学演習 4 (ローカリズム原論 1)	2
社会デザイン学特講 1	2	コミュニティデザイン学演習 5 (ローカリズム原論 2)	2
社会デザイン学特講 2	2	コミュニティデザイン学演習 6 (ローカリズムの可能性)	2
社会組織理論演習 1 (社会デザインと社会学の方法)	2	コミュニティデザイン学演習 7 (アフリカと国際協力)	2
社会組織理論演習 2 (公共と政策デザイン)	2	コミュニティデザイン学演習 8 (ボランティアと社会デザイン)	2
社会組織理論演習 3 (社会的人間存在論)	2	コミュニティデザイン学演習 9 (資源と環境の経済社会論)	2
社会組織理論演習 4 (対話と社会デザイン)	2	コミュニティデザイン学演習 11 (コミュニティマネジメント論)	2
社会組織理論演習 5 (持続可能社会と行政ガバナンス)	2	コミュニティデザイン学演習 12 (ソーシャルビジネス論)	2
社会組織理論演習 6 (非営利組織制度論)	2	コミュニティデザイン学演習 13 (ソーシャルイノベーション論)	2
社会組織理論演習 7 (福祉システム論)	2	コミュニティデザイン学演習 14 (文化政策論 1)	2
社会組織理論演習 8 (社会を眼差すアートの世界)	2	コミュニティデザイン学演習 15 (ソーシャル・ガバナンス論)	2
社会組織理論演習 9 (持続可能社会と地域ガバナンス)	2	コミュニティデザイン学演習 16 (社会組織とフォロワーシップ)	2
社会組織理論演習 10 (市民社会組織・政策論)	2	コミュニティデザイン学演習 17 (ジェンダーとリプロダクション)	2
社会組織理論演習 13 (ライフコースとキャリア)	2	コミュニティデザイン学演習 18 (哲学対話の理論と実践)	2
社会組織理論演習 15 (社会調査法 I)	2	コミュニティデザイン学演習 19 (エリアマネジメント論)	2
社会組織理論演習 17 (社会調査法 II)	2	コミュニティデザイン学演習 20 (CSR/ESG 金融総論-1)	2
社会組織理論演習 19 (市民社会論)	2	コミュニティデザイン学演習 21 (助成と評価)	2

コミュニティデザイン学演習 22 (文化政策論 2)	2	コミュニティデザイン学演習 55 (看取り・吊いの社会デザイン)	2
コミュニティデザイン学演習 23 (問い直しの社会史)	2	コミュニティデザイン学演習 56 (生命技術と 21 世紀社会)	2
コミュニティデザイン学演習 24 (地域文化政策とアートマネジメント)	2	コミュニティデザイン学演習 57 (社会デザインと福祉課題1)	2
コミュニティデザイン学演習 25 (公共と市民社会)	2	コミュニティデザイン学演習 58 (「新しい公共」の社会学)	2
コミュニティデザイン学演習 26 (政策立案・評価)	2	コミュニティデザイン学演習 59 (社会課題と企業経営)	2
コミュニティデザイン学演習 27 (貧困と社会的排除 1)	2	コミュニティデザイン学演習 60 (共生社会の地域マネジメント)	2
コミュニティデザイン学演習 28 (男性学基礎論)	2	コミュニティデザイン学演習 61 (ドキュメンタリーと社会デザイン 1)	2
コミュニティデザイン学演習 29 (都市環境生活論)	2	コミュニティデザイン学演習 62 (エシカル消費総論-1)	2
コミュニティデザイン学演習 32 (ソーシャル・マーケティング論)	2	コミュニティデザイン学演習 63 (聞き書きとコミュニケーション)	2
コミュニティデザイン学演習 33 (ソーシャルキャピタルと地域創造)	2	コミュニティデザイン学演習 64 (多様性社会とパーソナリティ類型)	2
コミュニティデザイン学演習 34 (子どもと若者の社会福祉論)	2	コミュニティデザイン学演習 65 (映像ジャーナリズム論)	2
コミュニティデザイン学演習 36 (コミュニケーションと国際協力 1)	2	コミュニティデザイン学演習 66 (デジタル・アーカイブ論)	2
コミュニティデザイン学演習 37 (持続可能な都市デザイン)	2	コミュニティデザイン学演習 67 (メディア研究方法論)	2
コミュニティデザイン学演習 38 (社会的合意形成とコミュニティ)	2	コミュニティデザイン学演習 68 (ソーシャルキャリアの理論と実践)	2
コミュニティデザイン学演習 39 (ジェンダーとコミュニティ)	2	コミュニティデザイン学演習 69 (「デジタル化」と社会デザイン)	2
コミュニティデザイン学演習 40 (サステナブル・コミュニティ論)	2	コミュニティデザイン学演習 70 (文化財保護と社会デザイン)	2
コミュニティデザイン学演習 42 (ソーシャルアントレプレナー論)	2	コミュニティデザイン学特講 1	2
コミュニティデザイン学演習 43 (CSR基礎論)	2	コミュニティデザイン学特講 2	2
コミュニティデザイン学演習 44 (アジア・アフリカの社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 1 (防災政策論)	2
コミュニティデザイン学演習 45 (親密性と現代社会)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 2 (経済学と人間学)	2
コミュニティデザイン学演習 48 (社会問題の分析理論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 3 (都市再生論)	2
コミュニティデザイン学演習 49 (市民社会とアーカイブズ)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 4 (ダークツーリズム)	2
コミュニティデザイン学演習 50 (場の人間学)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 5 (災害とアート)	2
コミュニティデザイン学演習 51 (現代人類学)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 6 (日本の安全保障)	2
コミュニティデザイン学演習 52 (アフリカ地域研究)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 7 (グローバル化の再検証)	2
コミュニティデザイン学演習 53 (CSR/ESG 金融総論-2)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 8 (国際交渉と SDGs)	2
コミュニティデザイン学演習 54 (エシカル・ビジネス論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 9 (戦争・紛争と情報戦)	2
		グローバル・リスクガバナンス演習 10 (リスクガバナンス論)	2
		グローバル・リスクガバナンス演習 11 (リスクコミュニケーション論)	2

グローバル・リスクガバナンス演習 12 (権利と法と科学:持続可能社会のガバナンス)	2	(人を大切にする組織・経営倫理論)	
グローバル・リスクガバナンス演習 13 (危機管理とリーダーシップ論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 39 (日中企業のリスクマネジメント)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 14 (情報セキュリティ)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 40 (企業倫理 A)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 15 (モビリティと社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 41 (企業倫理 B)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 16 (コミュニティガバナンスと社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 42 (避難生活の社会デザイン)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 17 (リスク移転と保険)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 43 (アドボカシーとソーシャルイノベーション)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 18 (少子高齢化社会と社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 44 (自己決定権と意思決定支援)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 19 (グローバル社会から考える人権)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 45 (環境人文学)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 20 (イスラム社会と国際協力)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 46 (しょうがいを持つ方の社会的包摂)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 22 (ホロコースト再考)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 47 (パブリックヘルスと健康科学)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 23 (人間の安全保障論)	2	グローバル・リスクガバナンス特講 1	2
グローバル・リスクガバナンス演習 24 (メディアと政治・世論)	2	グローバル・リスクガバナンス特講 2	2
グローバル・リスクガバナンス演習 25 (気候変動とリスクマネジメント)	2	社会デザイン学集中演習 1A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 26 (リスク学と企業の危機管理)	2	社会デザイン学集中演習 1B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 27 (人新世の社会デザイン学概論)	2	社会デザイン学集中演習 2A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 28 (事件・事故ケーススタディ)	2	社会デザイン学集中演習 2B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 29 (災害と事業継続計画 BCP)	2	社会デザイン学集中演習 3A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 31 (エシカル消費総論-2)	2	社会デザイン学集中演習 3B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 32 (法務危機[コンプライアンス])	2	社会デザイン学集中演習 4A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 33 (アジアと平和 1)	2	社会デザイン学集中演習 4B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 34 (アジアと平和 2)	2	社会デザイン学集中演習 4B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 35 (CSR と企業組織)	2	社会デザイン学集中演習 5A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 36 (コミュニケーションと危機管理 1)	2	社会デザイン学集中演習 5B	1
グローバル・リスクガバナンス演習 37 (災間文化論)	2	社会デザイン学集中演習 6A	1
グローバル・リスクガバナンス演習 38	2	社会デザイン学集中演習 6B	1
		社会デザイン学集中演習 8A	1
		社会デザイン学集中演習 8B	1
		社会デザイン学集中演習 9A	1
		社会デザイン学集中演習 9B	1
		社会デザイン学集中演習 10A	1
		社会デザイン学集中演習 10B	1
		社会デザイン学集中演習 11A	1
		社会デザイン学集中演習 11B	1
		社会デザイン学集中演習 13A	1
		社会デザイン学集中演習 13B	1
		社会デザイン学集中演習 15A	1
		社会デザイン学集中演習 15B	1
		社会デザイン学集中演習 16A	1
		社会デザイン学集中演習 16B	1
		社会デザイン学集中演習 17A	1
		社会デザイン学集中演習 17B	1

修士論文，研究報告書のいずれかを必修とする。上記科目より 30 単位以上を修得しなければならない。

- (イ) 社会デザイン学専攻 (前期課程)
公共・社会デザイン学コース

① 選択必修科目			
Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2
② 選択科目 1			
Qualitative Research Methods	2	Quantitative Research Methods	2
Philosophy and Ethics	2	Academic Writing	2
Corporate Social Responsibilities	2	Human Security	2
Organization Theories	2	Capacity Development	2
Cooperation with national and transnational Civil Society Organizations	2	Anthropocene studies / Political Economy of Climate Change	2
Social Development		Civic Agency for Sustainability	2
Human Resource Development	2	Environmental Education	2
Public Administration	2	Advanced Seminar on Social Development and Administration 1	2
Research Methodology	2		
Japanese Modernity and Development	2		
③ 選択科目 2			
Disaster Risk Management	2	Local Government and Public Services	2
SDGs and Environment	2	Public Policy	2
Peace, Security and Justice	2	Public Policy Development in Asia	2
Gender Equalities	2	Environmental Policy and Disaster Management	2
Sustainable Education	2	Inequality and Poverty	2
Disabilities	2	Development Planning and Policy Evaluation	2
Political Ecology	2	Natural Resource Management and Environmental Policy	2
Political Geography	2	Asian Economic Development	2
Environmental Humanities	2	Local Initiatives and SDGs	2
Inclusion	2	Learning Local Initiatives through Field trips	2
Population, Migration and refugee issues	2	Advanced Seminar on Social Development and Administration 2	2
Social Network Theory and Analysis	2		
Public Management	2		
Project Cycle Management	2		
Public Private Partnership	2		
④ 随意科目			
Advanced Seminar1	2	Advanced Seminar2	2

修士論文，研究報告書のいずれかを必修とする。選択必修科目から 4 単位，選択科目 1 から 10 単位，選択科目 2 から 16 単位以上，計 30 単位以上修得しなければならない。

(ウ) 社会デザイン学専攻（後期課程）

< I 群 >

社会組織理論特別研究 1A	2	コミュニティデザイン学特別研究 3A	2
社会組織理論特別研究 1B	2	コミュニティデザイン学特別研究 3B	2
社会組織理論特別研究 2A	2	コミュニティデザイン学特別研究 4A	2
社会組織理論特別研究 2B	2	コミュニティデザイン学特別研究 4B	2
社会組織理論特別研究 3A	2	危機管理学特別研究 1A	2
社会組織理論特別研究 3B	2	危機管理学特別研究 1B	2
コミュニティデザイン学特別研究 1A	2	危機管理学特別研究 2A	2
コミュニティデザイン学特別研究 1B	2	危機管理学特別研究 2B	2
コミュニティデザイン学特別研究 2A	2	危機管理学特別研究 3A	2
コミュニティデザイン学特別研究 2B	2	危機管理学特別研究 3B	2

< II 群 >

社会デザイン学主題別研究 1A	2	社会デザイン学主題別研究 7B	2
社会デザイン学主題別研究 1B	2	社会デザイン学主題別研究 8A	2
社会デザイン学主題別研究 2A	2	社会デザイン学主題別研究 8B	2
社会デザイン学主題別研究 2B	2	社会デザイン学主題別研究 11A	2
社会デザイン学主題別研究 3A	2	社会デザイン学主題別研究 11B	2
社会デザイン学主題別研究 3B	2	社会デザイン学主題別研究 12A	2
社会デザイン学主題別研究 4A	2	社会デザイン学主題別研究 12B	2
社会デザイン学主題別研究 4B	2	社会デザイン学主題別研究 13A	2
社会デザイン学主題別研究 5A	2	社会デザイン学主題別研究 13B	2
社会デザイン学主題別研究 5B	2	社会デザイン学主題別研究 14A	2
社会デザイン学主題別研究 6A	2	社会デザイン学主題別研究 14B	2
社会デザイン学主題別研究 6B	2	社会デザイン学主題別研究 15A	2
社会デザイン学主題別研究 7A	2	社会デザイン学主題別研究 15B	2

I 群科目から、正指導教員が担当する科目 12 単位以上、及び副指導教員が担当する科目 12 単位以上を修得して研究指導を受けるとともに、II 群科目から 6 単位以上を修得しなければならない。

10 大学院異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 異文化コミュニケーション専攻（前期課程）

① 必修科目

研究指導演習 A	2	修士論文指導演習 A	2
研究指導演習 B	2	修士論文指導演習 B	2

② 領域共通選択科目

言語教育研究基礎論	2	調査研究方法論 A	2
言語コミュニケーション研究基礎論	2	調査研究方法論 B	2
通訳翻訳研究基礎論	2	Intercultural Communication in Language Teaching	2
コミュニケーション研究基礎論	2	Seminar in Applied Linguistics A	2
異文化コミュニケーション研究基礎論	2	Reserch Methods	2
グローバル文化研究基礎論	2		
国際協力・人類学基礎論	2		

③ 領域選択科目

言語コミュニケーション研究特殊講義 A	2	通訳翻訳テクノロジー論	2
言語コミュニケーション研究特殊講義 B	2	会議通訳入門	2
言語コミュニケーション研究特殊講義 C	2	会議通訳 1	2
言語コミュニケーション理論	2	会議通訳 2	2
言語教育研究特殊講義 A	2	翻訳の原理と方法	2
言語教育研究特殊講義 B	2	翻訳演習 1	2
言語教育研究特殊講義 C	2	翻訳演習 2	2
言語教育理論 A	2	通訳翻訳専門実習 A	2
言語教育理論 B	2	通訳翻訳専門実習 B	2
Seminar in Language Curriculum C	2	異文化コミュニケーション理論	2
Teaching and Learning Vocabulary	2	コミュニケーション研究特殊講義 A	2
Psychology of the Language Learner	2	コミュニケーション研究特殊講義 B	2
Seminar in Language Curriculum A	2	コミュニケーション研究特殊講義 C	2
Seminar in Language Curriculum B	2	コミュニケーション研究特殊講義 D	2
Seminar in Applied Linguistics B	2	コミュニケーション理論	2
Seminar in Applied Linguistics C	2	人類学特論	2
Bilingualism and Language Contact	2	人類学特殊講義A	2
通訳翻訳研究特殊講義	2	人類学特殊講義B	2

グローバル文化研究特論A	2	国際協力特論	2
グローバル文化研究特論B	2	文化研究特殊講義A	2
文化研究特論	2	文化研究特殊講義B	2
		文化研究特殊講義C	2
国際協力特殊講義A	2	文化研究特殊講義D	2
国際協力特殊講義B	2		

修士論文又は課題研究のいずれかを必修とする。必修科目の中から6単位、領域共通選択科目6単位、領域選択科目14単位、自由科目4単位以上、計30単位以上修得すること。ただし、指定単位を超えて修得した必修科目（2単位まで）、指定単位を超えて修得した選択科目、及び本学他研究科前期課程科目、平和・コミュニティ研究機構科目、派遣留学・認定校留学制度による単位認定科目、入学前に修得した他大学大学院前期課程科目を自由科目として修了要件単位に算入することができる。

(イ) 異文化コミュニケーション専攻（後期課程）

① 研究指導

研究指導A		研究指導C	
研究指導B		研究指導D	

② 選択科目

言語教育研究基礎論	2	通訳翻訳研究特殊講義	2
言語コミュニケーション研究基礎論	2	通訳翻訳テクノロジー論	2
通訳翻訳研究基礎論	2	会議通訳入門	2
コミュニケーション研究基礎論	2	会議通訳1	2
異文化コミュニケーション研究基礎論	2	会議通訳2	2
グローバル文化研究基礎論	2	翻訳の原理と方法	2
国際協力・人類学基礎論	2	翻訳演習1	2
調査研究方法論 A	2	翻訳演習2	2
調査研究方法論 B	2	通訳翻訳専門実習 A	2
Intercultural Communication in Language Teaching	2	通訳翻訳専門実習 B	2
Seminar in Applied Linguistics A	2	異文化コミュニケーション理論	2
Reserch Methods	2	コミュニケーション研究特殊講義A	2
言語コミュニケーション研究特殊講義A	2	コミュニケーション研究特殊講義B	2
言語コミュニケーション研究特殊講義B	2	コミュニケーション研究特殊講義C	2
言語コミュニケーション研究特殊講義C	2	コミュニケーション研究特殊講義D	2
言語コミュニケーション理論	2	コミュニケーション理論	2
言語教育研究特殊講義A	2	人類学特論	2
言語教育研究特殊講義B	2	人類学特殊講義A	2
言語教育研究特殊講義C	2	人類学特殊講義B	2
言語教育理論A	2	グローバル文化研究特論A	2
言語教育理論B	2	グローバル文化研究特論B	2
Seminar in Language Curriculum C	2	文化研究特論	2
Teaching and Learning Vocabulary	2	国際協力特殊講義A	2
Psychology of the Language Learner	2	国際協力特殊講義B	2
Seminar in Language Curriculum A	2	国際協力特論	2
Seminar in Language Curriculum B	2	文化研究特殊講義A	2
Seminar in Applied Linguistics B	2	文化研究特殊講義B	2
Seminar in Applied Linguistics C	2	文化研究特殊講義C	2
Bilingualism and Language Contact	2	文化研究特殊講義D	2

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を6学期分以上受けなければならない。また、選択科目の中から6単位以上修得すること。

11 大学院経営学研究科

経営学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 経営学専攻（前期課程）

① 必修科目

経営学概論	2	人材開発・組織開発論 2	2
経営戦略論	2	リーダーシップ開発論	2
戦略的人的資源管理 (パーソルグループ寄附講座)	2	データアナリティクス演習	4
組織行動論	2	リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト 1	2
人材開発・組織開発論 1	2	リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト 2	2
		リーダーシップ・ウエルカム・プロジェクト	2

② 選択科目

ケースで学ぶリーダーシップ	2	質的研究法	2
医療とリーダーシップ	2	チームワーク論	2
戦略的人事務論 (パーソルグループ寄附講座)	2	人材開発・組織開発実践論	2
リーダーシップの理論	2	マネジリアル・コーチング論	2
キャリアとリーダーシップ論	2	グループ・プロセスへの働きかけ演習	2
		ナラティブの心理学	2

必修科目 24 単位，選択科目から 6 単位以上を修得する。さらに特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者に対し，修士学位を授与する。

(イ) 経営学専攻（後期課程）

① 必修科目

リサーチ・メソドロジーA	2	リサーチ・メソドロジーC	2
リサーチ・メソドロジーB	2		

必修科目 6 単位を取得する。さらに，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。

(2) (ア) 国際経営学専攻（前期課程）国際経営学コース

① 必修科目

<ビジネス・プロポーザル・コアコース>			
Module 1	1	Module 4	2
Module 2	2	Module 5	2
Module 3	2	Module 6	1
<Final Research Project>			
Final Research Project	4		

② 選択科目

Human Resource Management in Japan	2	in Global Business	
Multinational Enterprises and Strategy in Asia	2	International Sports Business	2
Strategic Technological Innovation in Asia	2	International Sports Finance	2
Business Environment: Political Economy of Asia	2	International Sports Marketing	2
Corporate Social Responsibility: A Japanese Perspective	2	Advanced Topics in Accounting	2
Marketing in Japan	2	Sustainability	2
Strategic Financial Management	2	Cases in General Management	2
Japanese Economy	2	Advanced Seminar in Global Business 1	2
Strategic Communication	2	Advanced Seminar in Global Business 2	2
		Advanced Seminar in Global Business 3	2
		Advanced Seminar in Global Business 4	2

Advanced Seminar in Global Business 5	2	Advanced Seminar in Global Business 16	2
Advanced Seminar in Global Business 6	2	Advanced Seminar in Global Business 17	2
Advanced Seminar in Global Business 7	2	Advanced Seminar in Global Business 18	2
Advanced Seminar in Global Business 8	2	Advanced Seminar in Global Business 19	2
Advanced Seminar in Global Business 9	2	Advanced Seminar in Global Business 20	2
Advanced Seminar in Global Business 10	2	Leadership in Global Organization	2
Advanced Seminar in Global Business 11	2	Business and Society in Asia	2
Advanced Seminar in Global Business 12	2	Cases in Marketing Strategy	2
Advanced Seminar in Global Business 13	2	and Operations	
Advanced Seminar in Global Business 14	2	International Financial Management	2
Advanced Seminar in Global Business 15	2	Good Business Initiative Workshop	2

<言語科目>

Business Japanese I 1	1	Business Japanese A 1	1
Business Japanese I 2	1	Business Japanese A 2	1
Business Japanese I 3	1	Business Japanese A 3	1
Business Japanese I 4	1	Business Japanese A 4	1
Business Japanese I 5	1	Business Japanese A 5	1

<特別研究指導演習科目(随意科目)>

Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2

必修科目から、ビジネス・プロポーザル・コアコース 10 単位、ファイナル・リサーチ・プロジェクト 4 単位、計 14 単位、選択科目(言語科目を除く。)から 16 単位以上を修得する。さらに特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者に対し、修士学位を授与する。

(4) 国際経営学専攻(前期課程) 公共経営学コース

① 選択必修科目

Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2

② 選択科目 1

Research Methodology	2	Mathematics for Economics and Management	2
Applied Microeconomics	2	Public Administration	2
Statistics for Economics and Management	2	Public Management	2
Applied Econometrics	2	Public Finance and Budgeting	2

③ 選択科目 2

Social Network Theory and Analysis	2	Agricultural Economics and Policy Analysis	2
Project Cycle Management	2	Natural Resource Management	2
Public Private Partnership	2	and Environmental Policy	
Local Government and Public Services	2	International Finance	2
Public Policy	2	Urban and Regional Economics	2
Japanese Politics	2	Japanese Economy	2
Public Policy Development in Asia	2	Development Economics	2
Environmental Policy and Disaster Management	2	Asian Economic Development	2
Human Resource Management	2	Applied Macroeconomics	2
Investment and Asset Pricing	2	Cross Section and Panel	2
Financial Accounting and Reporting	2	Data Analysis	
Inequality and Poverty	2	Special Topics in MPMA	2
Development Planning and Policy Evaluation	2		

④ 随意科目

Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 5	2
Advanced Seminar 2	2	Advanced Seminar 6	2
Advanced Seminar 3	2	Advanced Seminar 7	2
Advanced Seminar 4	2	Advanced Seminar 8	2

選択必修科目から4単位、選択科目1から10単位、選択科目2から16単位以上、計30単位以上を修得する。さらに修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に対し、修士学位を授与する。

12 大学院現代心理学研究科

現代心理学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (7) 心理学専攻（前期課程）

① 必修科目

基礎心理学研究法	2	修士論文指導演習1	2
応用心理学研究法	2	修士論文指導演習2	2

② 選択科目A

認知心理学特殊研究	2	現代心理学特殊研究	2
社会心理学特殊研究	2	心理統計法特殊研究	2
産業・組織心理学特殊研究	2	知覚心理学特殊研究	2
応用行動分析学特殊研究	2	認知・身体心理学特殊研究	2
発達心理学特殊研究	2		

③ 選択科目B

認知心理学特殊演習	2	英語論文作成演習	2
社会心理学特殊演習	2	知覚心理学特殊演習	2
産業・組織心理学特殊演習	2	現代心理学特殊演習	2
発達心理学特殊演習	2	認知・身体心理学特殊演習	2

④ 選択科目C

心理臨床特殊研究1	2	心理療法特殊研究	2
精神医学特殊研究	2	学校心理学特殊研究	2
コミュニティ心理学特殊研究	2		

上記科目より、必修科目8単位、選択科目（A，B，C）より22単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目のうち4単位までを本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(1) 心理学専攻（後期課程）

選択科目

知覚心理学特殊研究	2	認知・身体心理学特殊研究	2
認知心理学特殊研究	2	発達心理学特殊研究	2
社会心理学特殊研究	2	現代心理学特殊演習	2
産業・組織心理学特殊研究	2		

上記科目より6単位以上を修得しなければならない。
博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (7) 臨床心理学専攻（前期課程）

① 必修科目

臨床心理学特論1	2	(心理支援に関する理論と実践)	
臨床心理学特論2	2	臨床心理面接特論2	2
臨床心理面接特論1	2	臨床心理査定演習1	2

(心理的アセスメントに関する理論と実践)		修士論文指導演習 2	2
臨床心理査定演習 2	2		
臨床心理基礎実習 1	1		
修士論文指導演習 1	2		

② 選択科目

臨床心理学研究法特論	2	コミュニティ・アプローチ特論	2
心理統計法特論 1	2	(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	
発達心理学特論	2	臨床心理学特殊研究 2	2
(福祉分野に関する理論と支援の展開)		臨床心理学特殊研究 3	2
認知心理学特論	2	臨床心理学特殊研究 5	2
社会心理学特論	2	(教育分野に関する理論と支援の展開)	
組織心理学特論	2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
社会病理学特論	2	心の健康教育に関する理論と実践	2
(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		心理実践実習1(基礎)	1
精神医学特論	2	心理実践実習3	1
(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		心理実践実習4	1
心身医学特論	2	臨床心理基礎実習 2	1
(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		臨床心理実習1(心理実践実習 2)	1
障害児・者心理学特論	2	臨床心理実習 2	1
(福祉分野に関する理論と支援の展開)			

上記科目より、必修科目 17 単位、選択科目 13 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(1) 臨床心理学専攻（後期課程）

必修科目

臨床心理学研究法	2
----------	---

上記科目より 6 単位を修得しなければならない。

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (ア) 映像身体学専攻（前期課程）

① 必修科目

映像身体学原論	2	修士論文指導演習 1	2
映像身体学研究法	2	修士論文指導演習 2	2

② 選択科目

映像身体学特殊研究1	2	身体論ワークショップ 2	2
映像身体学特殊研究2	2	身体論ワークショップ 3	2
映像身体学特殊研究3	2	身体論ワークショップ 4	2
映像身体学特殊研究4	2	身体論ワークショップ 5	2
映像身体学特殊研究5	2	身体論ワークショップ 6	2
映像身体学特殊研究6	2	映像論ワークショップ 1	2
映像身体学特殊研究7	2	映像論ワークショップ 2	2
映像身体学特殊演習1	2	映像論ワークショップ 3	2
映像身体学特殊演習2	2	映像論ワークショップ 4	2
映像身体学特殊演習3	2	映像論ワークショップ 5	2
映像身体学特殊演習4	2	舞台制作プロデュース論演習	2
映像身体学特殊演習5	2	映像制作プロデュース論演習	2
映像身体学特殊演習6	2	アート・マネジメント論演習	2
映像身体学特殊演習7	2	映像機器・施設ワークショップ	2
身体論ワークショップ 1	2		

上記科目より，必修科目 8 単位，選択科目 22 単位以上，計 30 単位以上を修得しなければならない。なお，選択科目のうち 4 単位までを本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 映像身体学専攻（後期課程）

選択科目			
映像身体学原論	2	映像身体学研究法	2
映像身体学特殊研究1	2	映像身体学特殊演習1	2
映像身体学特殊研究2	2	映像身体学特殊演習2	2
映像身体学特殊研究3	2	映像身体学特殊演習3	2
映像身体学特殊研究4	2	映像身体学特殊演習4	2
映像身体学特殊研究5	2	映像身体学特殊演習5	2
映像身体学特殊研究6	2	映像身体学特殊演習6	2
映像身体学特殊研究7	2	映像身体学特殊演習7	2

上記科目より 6 単位以上を修得しなければならない。博士課程後期課程にあつては，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

13 大学院キリスト教学研究科

キリスト教学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) キリスト教学専攻（前期課程）

① 選択必修科目			
キリスト教学共同演習 1	2	キリスト教学共同演習 2	2
② 選択科目			
アングリカニズム・エキュメニズム研究	2	宗教史・宗教学演習	2
キリスト教倫理学研究	2	キリスト教文化論演習 1	2
現代神学思想研究	2	キリスト教文化論演習 2	2
古代イスラエル研究	2	宗教人間学演習	2
原始キリスト教研究	2	アジア・キリスト教演習	2
キリスト教史研究	2	宗教教育演習	2
キリスト教美術研究	2	フィールドワーク演習 1	2
比較宗教研究	2	フィールドワーク演習 2	2
アジア・キリスト教研究	2	サーヴィスラーニング 1	2
フィールドスタディ 1	2	サーヴィスラーニング 2	2
フィールドスタディ 2	2	オルガン演奏法 1	2
キリスト教音楽研究 1	2	オルガン演奏法 2	2
キリスト教音楽研究 2	2	合唱・聖歌隊指導法 1	2
神学思想演習 1	2	合唱・聖歌隊指導法 2	2
神学思想演習 2	2	声楽基礎演習	2
キリスト教思想史演習	2	会衆賛美論演習 1	2
聖書学演習(旧約)1	2	会衆賛美論演習 2	2
聖書学演習(旧約)2	2	教会音楽史演習 1	2
聖書学演習(新約)1	2	教会音楽史演習 2	2
聖書学演習(新約)2	2		

上記科目より，選択必修科目 4 単位，選択科目 26 単位以上，計 30 単位以上を修得しなければならない。なお，10 単位までは，本大学院他研究科等の科目をもってかえることができる。

(イ) キリスト教学専攻（後期課程）

キリスト教学共同特別演習 1	2	キリスト教学共同特別演習 2	2
----------------	---	----------------	---

アングリカニズム・エキュメニズム特殊研究	2	比較宗教特殊研究	2
キリスト教倫理学特殊研究	2	アジア・キリスト教特殊研究	2
現代神学思想特殊研究	2	フィールドスタディ 1	2
古代イスラエル特殊研究	2	フィールドスタディ 2	2
原始キリスト教特殊研究	2	キリスト教音楽特殊研究 1	2
キリスト教史特殊研究	2	キリスト教音楽特殊研究 2	2
キリスト教美術特殊研究	2		

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

14 大学院人工知能科学研究科

人工知能科学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 人工知能科学専攻（前期課程）

①必修科目			
機械学習	2	先端科学技術の倫理	2
深層学習	2	機械学習演習	2
②選択必修科目			
プロジェクトチーム実習 1	3	特別研究 3	3
プロジェクトチーム実習 2	3	修士論文指導演習	3
③選択科目			
データサイエンス概論	2	Python プログラミング	2
人工知能概論	2	人工知能科学特別演習	2
統計モデリング1	2	人工知能科学特別演習 1	1
複雑ネットワーク科学	2	人工知能科学特別演習 2	1
情報科学概論	2	深層学習演習 1	2
数理科学概論	2	深層学習演習 2	2
社会情報科学概論	2	輪講1	2
計算機科学概論	2	輪講2	2
人工知能の哲学	2	データサイエンス実習	2
AI ビジネス特論	2	人工知能 ELSI	2
自然言語処理特論	2	金融会計DX特論	1
人工知能社会実装	2	サイバーセキュリティ概論	1
認識技術特論	2	情報工学特論	1
脳神経科学特論	2	AI・デジタル経済圏の法律実務	1
統計モデリング 2	2	AI 計算機実習	1
量子情報特論	2	特別研究 1	3
量子コンピュータ特論	1	特別研究 2	3

上記科目より、必修科目 8 単位、選択科目 22 単位（選択必修科目「プロジェクトチーム実習 1」、「プロジェクトチーム実習 2」、「特別研究 3」及び「修士論文指導演習」を含む。）以上、計 30 単位以上を修得するとともに、研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る審査及び最終試験に合格すること。

(イ) 人工知能科学専攻（後期課程）

①リサーチワーク科目（研究指導）			
人工知能科学特別研究 1	3	人工知能科学特別研究 5	3
人工知能科学特別研究 2	3	人工知能科学特別研究 6	3
人工知能科学特別研究 3	3	人工知能科学特別研究 A	3
人工知能科学特別研究 4	3	人工知能科学特別研究 B	3

人工知能科学先端演習 2

②コースワーク科目

人工知能科学特別講義	2	脳神経科学特論(D)	2
人工知能科学特別講究 1	2	量子情報特論(D)	2
人工知能科学特別講究 2	2	量子コンピュータ特論(D)	1
社会情報科学概論(D)	2	深層学習演習1(D)	2
計算機科学概論(D)	2	深層学習演習2(D)	2
統計モデリング1(D)	2	人工知能科学特別演習(D)	2
統計モデリング2(D)	2	人工知能科学特別演習 1(D)	1
複雑ネットワーク科学(D)	2	人工知能科学特別演習 2(D)	1
自然言語処理特論(D)	2	データサイエンス実習(D)	2

上記科目より、リサーチワーク科目（研究指導）20 単位、コースワーク科目を 6 単位、計 26 単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること。

15 大学院スポーツウエルネス学研究科

スポーツウエルネス学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) スポーツウエルネス学専攻（前期課程）

① 必修科目

研究基礎	2	研究指導 2	2
プロジェクト研究	2	研究指導 3	2
研究指導 1	2		

② 選択科目

スポーツウエルネス研究 1(スポーツ社会学)	2	スポーツウエルネス研究 15(データサイエンス)	2
スポーツウエルネス研究 2(野外教育、環境教育)	2	スポーツウエルネス研究 16(ウエルネス科学)	2
スポーツウエルネス研究 3(トレーニング科学、コーチング)	2	スポーツウエルネス研究 17(アダプテッド・スポーツ)	2
スポーツウエルネス研究 4(環境生理学、神経科学)	2	スポーツウエルネス研究 18(スポーツメディア)	2
スポーツウエルネス研究 5(ウエルネスセンター学)	2	スポーツウエルネス研究 19(環境教育)	2
スポーツウエルネス研究 6(スポーツ栄養学)	2	スポーツウエルネス研究 20(スポーツマンシップ、スポーツ産業)	2
スポーツウエルネス研究 7(スポーツ医学)	2	スポーツウエルネス研究 21(スポーツ文化と教育)	2
スポーツウエルネス研究 8(健康心理学)	2	スポーツウエルネス研究 22(アスレティックトレーニング学、コンディショニング)	2
スポーツウエルネス研究 9(バイオメカニクス)	2	スポーツウエルネス研究 23(抗加齢医学、時間医療科学)	2
スポーツウエルネス研究 10(スポーツ・運動心理学)	2	スポーツウエルネス研究 24(ウエルネス医学)	2
スポーツウエルネス研究 11(スポーツ方法学)	2		
スポーツウエルネス研究 12(分子細胞生物学)	2		
スポーツウエルネス研究 13(スポーツマネジメント)	2		
スポーツウエルネス研究 14(トレーナー科学)	2		

スポーツウエルネス研究 3, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 20, 22 をスポーツ分野科目とする。
 スポーツウエルネス研究 1, 2, 4, 5, 8, 12, 16, 17, 18, 19, 21, 23, 24 をウエルネス分野科目とする。

必修科目から 10 単位、選択必修科目としてスポーツ分野科目から 8 単位、ウエルネス分野科目から 8 単位の計 16 単位、選択科目としてスポーツ分野科目、ウエルネス分野科目、他研究科開講科目等から 4 単位の合計 30 単位以上を修得することに加え、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に対し、修士の学位を授与する。

(イ) スポーツウエルネス学専攻（後期課程）

① 選択科目

スポーツウエルネス研究 1(スポーツ社会学)	2	スポーツウエルネス研究 2(野外教育、環境教育)	2
------------------------	---	--------------------------	---

スポーツウエルネス研究 3(トレーニング科学、コーチング)	2	スポーツウエルネス研究 16(ウエルネス科学)	2
スポーツウエルネス研究 4(環境生理学、神経科学)	2	スポーツウエルネス研究 17(アダプテッド・スポーツ)	2
スポーツウエルネス研究 5(ウエルネスシエンター学)	2	スポーツウエルネス研究 18(スポーツメディア)	2
スポーツウエルネス研究 6(スポーツ栄養学)	2	スポーツウエルネス研究 19(環境教育)	2
スポーツウエルネス研究 7(スポーツ医学)	2	スポーツウエルネス研究 20(スポーツマンシップ、スポーツ産業)	2
スポーツウエルネス研究 8(健康心理学)	2	スポーツウエルネス研究 21(スポーツ文化と教育)	2
スポーツウエルネス研究 9(バイオメカニクス)	2	スポーツウエルネス研究 22(アスレティックトレーニング学、コンディショニング)	2
スポーツウエルネス研究 10(スポーツ・運動心理学)	2	スポーツウエルネス研究 23(抗加齢医学、時間医療科学)	2
スポーツウエルネス研究 11(スポーツ方法学)	2	スポーツウエルネス研究 24(ウエルネス医学)	2
スポーツウエルネス研究 12(分子細胞生物学)	2		
スポーツウエルネス研究 13(スポーツマネジメント)	2		
スポーツウエルネス研究 14(トレーナー科学)	2		
スポーツウエルネス研究 15(データサイエンス)	2		

スポーツウエルネス研究 3, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 20, 22 をスポーツ分野科目とする。
 スポーツウエルネス研究 1, 2, 4, 5, 8, 12, 16, 17, 18, 19, 21, 23, 24 をウエルネス分野科目とする。

博士課程後期課程に3年以上在学し、選択必修科目としてスポーツ分野科目から2単位、ウエルネス分野科目から2単位の計4単位、選択科目としてスポーツ分野科目、ウエルネス分野科目、他研究科開講科目等から2単位の合計6単位以上を修得し、かつ学位論文作成等に対する指導(研究指導)を受け、中間報告等により途中経過の確認の後、博士論文を提出しその審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

別表 2 (第 22 条関係)

入学検定料	35,000 円
-------	----------

別表 3 の 1 (第 30 条関係)

入学金	225,000 円
-----	-----------

備 考

- 1 本学の学部又は大学院研究科に過去に入学金を納入し、卒業、修了又は退学したことがある者が、文学研究科、経済学研究科、理学研究科、社会学研究科、法学研究科、観光学研究科、コミュニティ福祉学研究科、異文化コミュニケーション研究科、経営学研究科（国際経営学専攻公共経営学コースを除く。）、キリスト教学研究科、現代心理学研究科、若しくはスポーツウエルネス学研究科前期課程・後期課程に入学する場合は、2分の1相当額を納めることとする。ただし、本学の大学院研究科前期課程又は法務研究科の修了者が、後期課程に入学する場合は、徴収しない。
- 2 本学の学部又は大学院研究科に過去に入学金を納入し、卒業、修了したことがある者がビジネスデザイン研究科、社会デザイン研究科又は人工知能科学研究科に入学する場合は、徴収しない。また、退学したことがある者が入学する場合は、2分の1相当額を納めることとする。
- 3 経営学研究科国際経営学専攻公共経営学コース、社会デザイン研究科社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースに入学する場合は、徴収しない。
- 4 再入学の場合は、2分の1相当額を納めなければならない。ただし、経営学研究科国際経営学専攻公共経営学コース、社会デザイン研究科社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースに入学する場合は、徴収しない。

別表 3 の 2 (第 30 条関係)

	文学・コミュニティ福祉学・キリスト教学・異文化コミュニケーション研究科				
	前期課程		後期課程		
	1 年次	2 年次	1 年次	2 年次	3 年次
授 業 料	690,000 円	690,000 円	664,500 円	664,500 円	664,500 円
合 計	690,000 円	690,000 円	664,500 円	664,500 円	664,500 円

	経済学・社会学・法学・観光学研究科				
	前期課程		後期課程		
	1 年次	2 年次	1 年次	2 年次	3 年次
授 業 料	683,000 円	683,000 円	658,000 円	658,000 円	658,000 円
合 計	683,000 円	683,000 円	658,000 円	658,000 円	658,000 円

	経営学研究科経営学専攻				
	前期課程		後期課程		
	1 年次	2 年次	1 年次	2 年次	3 年次
授 業 料	1,175,000 円	1,175,000 円	658,000 円	658,000 円	658,000 円
合 計	1,175,000 円	1,175,000 円	658,000 円	658,000 円	658,000 円

	経営学研究科国際経営学専攻 (公共経営学コースを除く)	
	前期課程	
	1 年次	2 年次
授 業 料	683,000 円	683,000 円
合 計	683,000 円	683,000 円

	経営学研究科国際経営学専攻 (公共経営学コース)	
	前期課程	
	1 年次	2 年次
授 業 料	1,800,000 円	1,800,000 円
合 計	1,800,000 円	1,800,000 円

	現代心理学研究科（臨床心理学専攻を除く）				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	723,000円	723,000円	696,500円	696,500円	696,500円
実験・実習費	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
合計	738,000円	738,000円	711,500円	711,500円	711,500円

	現代心理学研究科臨床心理学専攻				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	723,000円	723,000円	696,500円	696,500円	696,500円
実験・実習費	30,000円	30,000円	15,000円	15,000円	15,000円
合計	753,000円	753,000円	711,500円	711,500円	711,500円

	理学研究科（数学専攻）				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
合計	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円

	理学研究科（物理学・生命理学専攻）				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
実験・実習費	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
合計	827,000円	827,000円	773,000円	773,000円	773,000円

	理学研究科（化学専攻）				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
実験・実習費	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
合計	867,000円	867,000円	813,000円	813,000円	813,000円

	スポーツウェルネス学研究科	
	前期課程	
	1年次	2年次
授業料	723,000円	723,000円
実験・実習費	15,000円	15,000円
合計	738,000円	738,000円

	スポーツウェルネス学研究科			
	後期課程			
	1年次	2年次	3年次 (2023年度入学者)	3年次 (2022年度以前入学者)
授業料	696,500円	696,500円	696,500円	664,500円
実験・実習費	15,000円	15,000円	15,000円	0円
合計	711,500円	711,500円	711,500円	664,500円

	ビジネスデザイン・社会デザイン研究科 (社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースを除く)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円
合計	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円

	社会デザイン研究科 (社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コース)	
	前期課程	
	1年次	2年次
授業料	1,800,000円	1,800,000円
合計	1,800,000円	1,800,000円

	人工知能科学研究科				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	1,500,000円	1,500,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円
合計	1,500,000円	1,500,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円

備考

- 1 授業料は在籍料 120,000 円（半期 60,000 円）を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 理学研究科の者で下記に該当するものについては、実験・実習費を徴収しない。
 - ①数学専攻の者
 - ②物理学専攻の者で履修要項の定めるところにより実験を履修しないもの
 - ③在学留学中の者

別表 3 の 3 削除

別表 3 の 4 削除

別表 4（第 35 条関係）

項 目		邦 文	英 文
入 学 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
退 学 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
在 学 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
修 了 (見 込) 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
成 績 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
修 了 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
単 位 修 得 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
学 力 に 関 す る 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
教 育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
公 認 心 理 師 試 験 修 了 証 明 書 ・ 科 目 履 修 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
臨 床 心 理 士 受 験 申 請 資 格 証 明 書	(1 通につき)	300 円	
科 目 等 履 修 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
聴 講 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
学 士 号 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円
調 査 書	(1 通につき)	300 円	
学 生 証 再 発 行	(1 通につき)	2,000 円	
通 学 定 期 乗 車 券 発 行 控	(1 通につき)	300 円	
科 目 等 履 修 生 証 再 発 行	(1 通につき)	2,000 円	
教 育 職 員 免 許 状 大 学 一 括 申 請 手 数 料	(1 通につき)	800 円	
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 習 申 込 手 数 料	(1 通につき)	800 円	
学 位 記 等 再 発 行	(1 通につき)	20,000 円	
そ の 他 の 証 明 書	(1 通につき)	300 円	400 円

別表 5 (第 37 条関係)

特別聴講料	別に定める
-------	-------

別表 6 (第 38 条関係)

選考料	12,000 円
委託料	別に定める
登録料	40,000 円 (年額)
受講料 (1 単位につき)	38,000 円

備 考

- 1 本学の学部又は大学院研究科を卒業、修了したことがある者及び特別外国人学生として在籍したことがある者の選考料及び登録料については 2 分の 1 額とする。
- 2 ビジネスデザイン研究科及び社会デザイン研究科科目の受講料 (1 単位につき) は、58,000 円とする。人工知能科学研究科科目の受講料 (1 単位につき) は、83,000 円とする。
- 3 ビジネスデザイン研究科を修了し、同研究科の審査を経た学生が、同研究科科目を半期 10 単位受講する場合は登録料 20,000 円、受講料を 327,000 円とする。また、同研究科科目を年間 20 単位 (半期 10 単位ずつ) 受講する場合、登録料 20,000 円、受講料を 565,000 円とする。ただし同一年度内において半期の受講を繰り返すときは、それぞれの受講料が必要であり、また半期と年間の受講を変更したとしても差額の減免や返金は行わない。
- 4 他の教育研究機関との協定により科目等履修生を受け入れる場合、本表にかかわらず、当該協定に基づき選考料、委託料、登録料及び受講料を協定による金額とすることができる。

別表 7 (第 38 条の 2, 第 38 条の 4 関係)

登録料	60,000 円
-----	----------

別表 7 の 2 (第 38 条の 3 関係) 削除

別表 8 (第 1 条関係)

研 究 科	教育研究上の目的
文学研究科	文学研究科は、学士課程教育における一般的ならびに専門的教養の上に、文学、史学、超域文化学、教育学、比較文明学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
経済学研究科	経済学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経済、経済政策、会計を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
理学研究科	理学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、理学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
社会学研究科	社会学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、社会学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
法学研究科	法学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、法学、政治学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
観光学研究科	観光学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、観光学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。

コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、コミュニティ福祉学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経営学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
社会デザイン研究科	社会デザイン研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、社会デザイン学、公共・社会デザイン学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、異文化コミュニケーション学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
経営学研究科	経営学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経営学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
現代心理学研究科	現代心理学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、心理学、臨床心理学、映像身体学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
キリスト教学研究科	キリスト教学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、キリスト教学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
人工知能科学研究科	人工知能科学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、人工知能科学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、スポーツウエルネス学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。

(2)立教大学 大学学則および大学院学則変更事項を記載した書類

立教大学大学学則

○変更の事由

2027年4月より、収容定員を変更するため。

○変更点

1. 改正履歴

改正履歴に「2027年4月1日」を追加

2. 第3条(学部、学科等)

以下のとおり変更

- ・学部 文学部史学科
- ・入学定員 216 名
- ・収容定員 864 名
- ・学部 文学部教育学科
- ・入学定員 100 名
- ・収容定員 400 名
- ・学部 法学部法学科
- ・入学定員 350 名
- ・収容定員 1,400 名
- ・学部 法学部国際ビジネス法学科
- ・入学定員 125 名
- ・収容定員 500 名

3. 附則

施行期日(2027年4月1日)を追加

立教大学 大学院学則

○変更の事由

2027年4月より、収容定員を変更するため

○変更点

1. 改正履歴

改正履歴に「2027年4月1日」を追加

2. 第4条

以下のとおり変更

文学研究科 英米文学専攻 前期課程

- ・入学定員 12 名
- ・収容定員 24 名
- ・合計 33 名

合計(大学院全体)

- ・前期課程 入学定員 606 名
- ・前期課程 収容定員 1,212 名
- ・合計 1,614 名

3. 附則

施行期日(2027年4月1日)を追加

以上

(3)立教大学大学学則および大学院学則変更部分の新旧対照表

立教大学大学学則変更部分の新旧対照表

(新)					(旧)				
立教大学学則					立教大学学則				
第1章 総則 第1条～第2条(略)					第1章 総則 第1条～第2条(略)				
第3条 本大学の学部, 学科及びその収容定員は, 次のとおりとする。					第3条 本大学の学部, 学科及びその収容定員は, 次のとおりとする。				
学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	学 部	学 科	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
文学部	キリスト教学科	50名		200名	文学部	キリスト教学科	50名		200名
	史学科	<u>216名</u>		<u>864名</u>		史学科	<u>215名</u>		<u>860名</u>
	教育学科	<u>100名</u>		<u>400名</u>		教育学科	<u>101名</u>		<u>404名</u>
	(略)	(略)		(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)		(略)	
法学部	法学科	<u>350名</u>		<u>1,400名</u>	法学部	法学科	<u>360名</u>		<u>1,440名</u>
	政治学科	110名		440名		政治学科	110名		440名
	国際ビジネス法学科	<u>125名</u>		<u>500名</u>		国際ビジネス法学科	<u>115名</u>		<u>460名</u>
(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)		(略)	
合計		5,066名	0名	20,264名	合計		5,066名	0名	20,264名

立教大学大学院学則変更部分の新旧対照表

(新)							(旧)						
立教大学大学院学則							立教大学大学院学則						
第1章 総則 第1条～第3条(略)							第1章 総則 第1条～第3条(略)						
(収容定員)							(収容定員)						
第4条 本大学院の研究科及び専攻の収容定員は、次のとおりとする。							第4条 本大学院の研究科及び専攻の収容定員は、次のとおりとする。						
1 削除							1 削除						
2 博士課程							2 博士課程						
研究科	専攻	前期課程		後期課程		合計	研究科	専攻	前期課程		後期課程		合計
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員				入学定員	収容定員			
文学研究科	英米文学専攻 (略)	12名	24名	3名 (略)	9名	33名 (略)	文学研究科	英米文学専攻 (略)	18名	36名	3名 (略)	9名	45名 (略)
(略)	(略)			(略)		(略)	(略)	(略)			(略)		(略)
合計		606名	1,212名	134名	402名	1,614名	合計		612名	1,224名	134名	402名	1,626名

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和9（2027）年度からの収容定員を下表のとおり変更する。

研究科・専攻		2026年度				2027年度			
		前期課程		後期課程		前期課程		後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
文学研究科	英米文学専攻	18	36	3	9	12	24	3	9
	史学専攻	15	30	6	18	15	30	6	18
	教育学専攻	10	20	3	9	10	20	3	9
	日本文学専攻	20	40	8	24	20	40	8	24
	フランス文学専攻	8	16	3	9	8	16	3	9
	ドイツ文学専攻	8	16	3	9	8	16	3	9
	比較文明学専攻	10	20	5	15	10	20	5	15
	超域文化学専攻	5	10	3	9	5	10	3	9
計		94	188	34	102	88	176	34	102

【変更内容】

文学研究科英米文学専攻博士課程前期課程の収容定員を36名から24名とする。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

文学研究科博士課程前期課程は、学士課程教育における一般的ならびに専門的教養の上に、文学、史学、超域文化学、教育学、比較文明学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的として設置されている。本課程は設置以来、大学などの研究機関で研究を行う優れた研究者や企業等において活躍する高度専門職業人を数多く輩出し、学術研究に対して大きな貢献を行ってきた。

現行の本課程の収容定員は研究科全体で188名（入学定員94名）であり、過去10年にわたり、充足率が5割程度で推移してきている。しかし、特に英米文学専攻においては、充足率が2～3割程度の状況にある。18歳人口の減少に伴う大学での研究職の減少もあり、とりわけ人文学においては、大学院修了後の展望を持つことが難しい状態にあることを反映して、大学院への進学を希望する学生数が増加しない状況が続いている。

一方、令和6（2024）年度に受審した認証評価においては、本課程を含む定員未充足が改善課題とされており、これを受けて本研究科ではこの間、学部学生への進学説明会の開催や最短5年で修士号を取得できるデュアル・プログラムを始動する等の内部進学者を増やす努力を行ってきた。しかしながら、その効果は残念ながら十分ではなく、特に英米文学専攻においては、本課程への入学者の質を保ったまま、その数を今後早い時期に飛躍的に増加する見通しを持つことができない状況である。

以上のことから、英米文学専攻においては、2027年度から収容定員を36名から24名（入学定員18名

から 12 名) に減少させることとした。

入学定員充足率および収容定員充足率の推移

博士課程前期課程

専攻	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
英米文学専攻	志願者数	12	10	7	5	10	11	7	6	9	7
	入学者数	6	6	2	4	3	4	3	4	4	5
	入学定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	入学定員比率	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	16.7%	22.2%	16.7%	22.2%	22.2%	27.8%
	在籍者数	10	12	12	7	8	8	9	7	9	9
	収容定員	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
	収容定員比率	27.8%	33.3%	33.3%	19.4%	22.2%	22.2%	25.0%	19.4%	25.0%	25.0%
文学研究科	志願者数	78	79	85	91	98	94	74	119	108	136
	入学者数	38	44	40	40	33	30	29	43	34	45
	入学定員	104	104	104	94	94	94	94	94	94	94
	入学定員比率	36.5%	42.3%	38.5%	42.6%	35.1%	31.9%	30.9%	45.7%	36.2%	47.9%
	在籍者数	102	93	102	97	84	68	69	85	96	97
	収容定員	208	208	208	198	188	188	188	188	188	188
	収容定員比率	49.0%	44.7%	49.0%	49.0%	44.7%	36.2%	36.7%	45.2%	51.1%	51.6%

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容について

収容定員を減少することによる教育課程等の変更はないが、英米文学専攻における教育課程は、最適化・高度化の観点から毎年度見直しを行っており、同等以上の内容が担保されている。

(イ) 教育方法および履修指導方法の変更内容について

収容定員を減少することによる教育方法および履修指導方法の変更はないが、前述の通り、2023 年度から、文学部・文学研究科・キリスト教学研究科では、最短 5 年で修士号を取得できるデュアル・プログラムを始動しており、学士課程から連続性をもった指導を行える体制が整っている。

(ウ) 教員組織の変更内容について

収容定員を減少することによる教員組織の変更はない。英米文学専攻においては、大学院設置基準第 9 条に基づく告示が規定する必要教員数を上回る教員を配置している。今回の収容定員の変更によって、文学研究科博士課程前期課程全体の入学定員は 94 名から 88 名に、収容定員は、完成年度に 188 名から 176 名に減少することになる。仮に 2025 年度の入学者数、在籍者数をこれに当てはめた場合には次のような比率に改善することとなる。また、英米文学専攻博士課程前期課程の収容定員に対する、教員一人当たりの学生数は、4.5 名から 3 名に向上する。

【2025年度入学者数、在籍者数で比較した場合】

入学者数	45名
【従 来】入学定員／入学定員比率	94名／47.9%
【変更後】入学定員／入学定員比率	88名／51.1%
在籍者数	97名
【従 来】収容定員／収容定員比率	188名／51.6%
【変更後】収容定員／収容定員比率	176名／55.1%

(エ) 施設・設備の変更内容について

今回の収容定員変更に伴う、大学全体の施設・設備の変更は行わないが、令和8(2026)年4月に環境学部環境学科が新設されたことに伴い、教室については令和6(2024)年度および令和9(2027)年度にキャンパス既存施設の改修により増加される。環境学部環境学科が完成年度となる2029年までには教室増加の対応がなされ、池袋キャンパスにおける施設・設備においては、これまでと同等以上の内容が担保されている。

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 収容定員を変更する組織の概要	
①収容定員を変更する組織の概要.....	- 2 -
②収容定員を変更する組織の特色.....	- 2 -
(2) 人材需要の社会的な動向等	
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、 地域的、社会的動向の分析.....	- 2 -
②中長期的な18歳人口等対象人口の全国的、地域的動向の分析.....	- 3 -
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域.....	- 4 -
④既設組織の定員充足の状況.....	- 5 -
(3) 学生確保の見通し	
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果.....	- 5 -
ア 既設組織における取組とその目標.....	- 5 -
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標.....	- 5 -
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を 変更する組織での入学者の見込み数.....	- 6 -
②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と 方法の類似性と定員充足状況）.....	- 7 -
ア 競合校の選定理由と本学英米文学専攻との比較分析、優位性.....	- 7 -
イ 競合校の入学志願動向等.....	- 9 -
ウ 学生納付金等の金額設定の理由.....	- 10 -
③先行事例分析.....	- 10 -
④学生確保に関するアンケート調査.....	- 11 -
⑤人材需要に関するアンケート調査等.....	- 11 -
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由.....	- 12 -

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
文学研究科英米文学専修 博士課程前期課程	12 (18)	なし	24 (36)	東京都豊島区西池袋 3-34-1

【変更内容】

- ・文学研究科英米文学専攻博士課程前期課程の収容定員を 36 名から 24 名とする。

②収容定員を変更する組織の特色

立教大学大学院(以下、本学という)文学研究科英米文学専攻博士課程前期課程は、中世から現代までの英米文学、詩、戯曲、英語史、英語圏文学を網羅し、豊富な文献資料に基づく少人数教育を実践している点に特色がある。また、他大学院との単位互換や充実した海外フィールドスタディに取り組んでいる。これらを通じて高度な専門知識と異文化理解力を養うことができ、設置以来、多くの研究者や高度専門職業人を育成してきている。

一方で、「学則変更の趣旨等を記載した書類 イ学則変更(収容定員変更)の必要性」にも記載した通り、英米文学専攻においては、過去 10 年にわたり、充足率が 2～3 割程度の状況が続いており、2027 年度から収容定員を 36 名から 24 名(入学定員 18 名から 12 名)に減少させることとした。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

本届出で定員を変更しようとする組織で養成する人材は、以下の通り、中央教育審議会答申で言及されている事項と密接に関連しており、社会的な人材需要の動向等を踏まえたものであるといえる。

中央教育審議会による「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～(答申)令和 7 年 2 月 21 日 中央教育審議会」「1. 今後の高等教育の目指すべき姿 (3) 育成する人材像」において、「生成 AI 等の技術革新が進む社会において AI に代替されるのではなく、AI をはじめとしたデジタル等の最先端の技術も使いこなし、持続可能な社会の担い手や創り手として真に人が果たすべきことを果たせる力といえる。これは、「主体性」、「リーダーシップ」、「創造力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「表現力」、「集中力・粘り強さ」、「コミュニケーション能力」等の資質・能力と言い換えることもでき、一人一人がそれぞれの個性に応じて身に付け、伸ばすことで、その能力を発揮していくことが

期待される。」としている。また、同「(5) 高等教育政策の目的／①質について」および「②規模について」において、大学院で学ぶ者および修了者の増加の重要性に触れている。

本学文学研究科英米文学専攻においては、前述の通り、高度な専門知識と異文化理解力を身につけることができる。ディプロマポリシーで定める通り、「自らの学問的営為や成果を踏まえながら、現代社会において出会うであろう多様な事態に対して臨機応変に対応できる柔軟な発想力を備えた人材」であり、本専攻で輩出する人材は、上記、社会の要請に合致するものである。

一方で、日本成長戦略会議人材育成分科会より示されている「高校から大学・大学院等を通じた人材育成システム改革ビジョン」（2026年4月28日）によれば、2040年には、文系大学・大学院卒の人材の供給と需要には76万人もの供給過多が見込まれると指摘されている。18歳人口の減少に伴う大学での研究職の減少もあり、とりわけ人文学においては、大学院修了後の展望を持つことが難しい状態が続くことが想定される。

②中長期的な18歳人口等対象人口の全国的、地域的動向の分析

令和7年1月の中央教育審議会大学分科会（第181回）の資料によれば、18歳人口は2026年の109万人から2035年には96万人と、およそ13万人減少するとされており、全国的に18歳人口の減少には歯止めがかかっていない。また、本学が立地する東京都と埼玉県、またこれに隣接する千葉県及び神奈川県（以下「一都三県」という）の18歳人口の推計においても全国と同様に減少傾向にある（表2）。

【表2：一都三県の18歳人口予測】

（単位：万人）

	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
埼玉県	6.2	6.2	6.2	6.0	6.0	6.0	6.0	5.9	5.7	5.5
千葉県	5.3	5.2	5.2	5.1	5.1	5.0	5.0	5.0	4.8	4.7
東京都	10.7	10.8	10.8	10.6	10.7	10.4	10.6	10.6	10.3	10.0
神奈川県	7.6	7.5	7.6	7.4	7.4	7.3	7.4	7.3	7.0	6.8

（出典：株式会社教育企画センターが学校基本調査をもとに作成した資料

<https://www.pcpe.jp/blog/20260113-266/>を加工して作成）

その一方で、大学院への進学者の推移を見ると、表3のとおり本学における入学者の主な出身都道府県である一都三県では大きく減少することなく、増加傾向で推移している。本学では、学士課程在籍学生の約8割が一都三県の出身者で構成されており、内部進学者を含め、全国的な18歳人口の減少傾向の影響を一定程度受けるものの、大学院学生数の上昇に伴って、今後も入学者数を一定数、確保できることが見込まれる。よって、今後、カリキュラム編成の普段の改善や内部進学者への広報等の方策により、変更後の定員による、定員充足を目指す。

【表3：全国および一都三県の大学院学生数の推移】

(単位：人)

	2022	2023	2024	2025
全国	261,782	265,977	271,639	277,132
埼玉県	4,153	4,227	4,450	4,533
千葉県	9,064	9,369	9,751	9,663
東京都	75,029	75,801	77,187	78,656
神奈川県	12,155	12,416	12,806	13,067

(出典：令和4年度～同7年度学校基本調査をもとに作成)

【参考資料 URL】

中央教育審議会大学分科会（第181回）資料

https://www.mext.go.jp/content/20250128-mxt_koutou02-000039884_14.pdf

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

文学研究科博士課程前期課程においては、直近5年間の平均で、志願者の28.8%、入学者の52.9%が内部進学者である、また、そのうち、英米文学専攻においては、志願者の55.8%、入学者の70.3%が、内部進学者であることから、以下に記載する本学の学士課程への入学者と同一の傾向が想定される。

本学学部生の直近の一般選抜における出身高校所在地域別の入学者数等は表4のとおりであり、志願者では、全体の79.2%が、入学者では、全体の79.7%が一都三県の出身者で構成されている。したがって、大学院においても一都三県を主な学生募集地域として想定しているが、学生の多様化を促す意味からも、全国から学生を確保することができるように周知・PR活動に取り組む。

【表4：令和8（2026）年度一般選抜の出身高校所在地域別状況】

	志願者数	合格者数	入学者数
北海道・東北	1,942	433	74
北関東	3,912	784	138
一都三県	55,595	12,436	2,034
甲信越・東海	4,820	1,006	176
近畿	836	154	25
中国	662	145	22
四国	316	71	10
九州・沖縄	1,752	319	57
その他（外国等）	359	60	15
合計	70,194	15,408	2,551

④既設組織の定員充足の状況

英米文学専攻の基礎となる学部である文学部文学科における、入学定員の直近5年間の充足状況については、資料1のとおりである。年度による変動は見られるものの、おおむね安定して定員を充足する状況で推移している。これは、本学のPR・広報活動が一定の成果を挙げていることを示すものである。英米文学専攻においては、「(2)人材需要の社会的な動向等 ③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域」にも記載した通り、入学者の70.3%が内部進学者であり、文学部文学科が安定して、入学定員を充足している状況は、今後もの内部進学者の基盤形成に寄与することが見込まれる。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

既設組織における取組として、本学大学院においては、研究科ごとに進学相談会を実施している他、学内会議（学内のすべての学部（研究科）から委員が出席する）である「キャリア支援委員会」においては、令和4（2022）年度以降、研究科におけるキャリア支援の状況の共有と分析、学部学生への進学支援等を課題として継続的に取り扱っており、学部学生のキャリア支援の一環としても大学院進学支援を全学的に行っている。

文学研究科においては、大学院説明会、公開授業を毎年度実施している。特に、内部進学者獲得の施策として、文学部ガイダンスおよび「文学部案内」における大学院進学案内を実施している他、学部のキャリア支援プログラムであるOBOG座談会に大学院デーを設定し、大学院進学後のキャリア・イメージが具体化できるようにしている。これらの取組の実績は、以下に記載の通りである。

また、カリキュラム編成においても、令和2（2020）年度入学者よりコースワーク制度が、令和6（2024）年度から、文学部・文学研究科・キリスト教学研究科では最短5年で修士号を取得できるデュアル・プログラム導入され、内部進学者にとっては、学部から大学院へ、博士課程前期課程から博士課程後期課程へのスムーズな接続が可能となっている。

このように、全学的小および文学研究科独自の観点において、学生確保の取り組みを推進している。

■大学院説明会（文学研究科）

令和7（2025）年度においては、6月21日（土）にキリスト教学研究科と合同で対面での大学院説明会を実施した。開催にあたっては、学部学生に対して一斉メールで開催案内を送付し、大学院進学への関心を喚起した。

当該大学院説明会の参加者数は、66人であり、前年度の47人と比べて増加した。また、

6月24日（火）から30日（月）に授業公開を実施し、40人の参加者があった。

■OBOG 座談会に大学院デー

学部のキャリア支援プログラムである OBOG 座談会に大学院デーを設定し、大学院進学後のキャリア・イメージの具体化を促すとともに、直接 OBOG と直接質疑応答ができるイベントを実施した。令和7（2025）年度においては、延べ18人が参加した。

■デュアル・プログラム実績

令和6（2024）年度から、文学部・文学研究科・キリスト教学研究科では最短5年で修士号を取得できるデュアル・プログラム導入され、令和7（2025）年度は11人の学生が申請を行った。今後も利用促進を進める。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員設定を変更する組織での入学者の見込み数

現行の収容定員は研究科全体で188名（入学定員94名）であり、過去10年にわたり、充足率が5割程度で推移している。しかし、特に英米文学専攻においては、充足率が2～3割程度の状況にある。18歳人口の減少に伴う大学での研究職の減少もあり、とりわけ人文学においては、大学院修了後の展望を持つことが難しい状態にあることを反映して、大学院への進学を希望する学生数が増加しない状況が続いている。

一方、本学が選択している認証評価機関である公益財団法人大学基準協会からは、本課程の定員未充足を改善するよう強い指摘を受けており、これを受けて本研究科ではこの間、学部学生への進学説明会の開催や最短5年で修士号を取得できる「デュアル・プログラム」を始動し、内部進学者を増やす努力を行ってきた。しかしながら、その効果は残念ながら十分ではなく、特に英米文学専攻においては、本過程への入学者の質を保ったまま、その数を今後早い時期に飛躍的に増加する見通しを持つことができない状況である。

【表5：入学定員充足率および収容定員充足率の推移】

本学文学研究科および英米文学専攻（博士課程前期課程）（直近10年）

入学定員充足率および収容定員充足率の推移

博士課程前期課程

専攻	項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
英米文学専攻	志願者数	12	10	7	5	10	11	7	6	9	7
	入学者数	6	6	2	4	3	4	3	4	4	5
	入学定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	入学定員比率	33.3%	33.3%	11.1%	22.2%	16.7%	22.2%	16.7%	22.2%	22.2%	27.8%
	在籍者数	10	12	12	7	8	8	9	7	9	9
	収容定員	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
	収容定員比率	27.8%	33.3%	33.3%	19.4%	22.2%	22.2%	25.0%	19.4%	25.0%	25.0%
文学研究科	志願者数	78	79	85	91	98	94	74	119	108	136
	入学者数	38	44	40	40	33	30	29	43	34	45
	入学定員	104	104	104	94	94	94	94	94	94	94
	入学定員比率	36.5%	42.3%	38.5%	42.6%	35.1%	31.9%	30.9%	45.7%	36.2%	47.9%
	在籍者数	102	93	102	97	84	68	69	85	96	97
	収容定員	208	208	208	198	188	188	188	188	188	188
	収容定員比率	49.0%	44.7%	49.0%	49.0%	44.7%	36.2%	36.7%	45.2%	51.1%	51.6%

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と本学英米文学専攻との比較分析、優位性

競合校の選定理由としては、学校種の類似性は、本学と同様の「私立大学（基礎となる学部は4年制）」であること、学力層の類似性は、学校法人河合塾による大学(学部)偏差値を参考にした。学問分野の類似性は、当該大学院の教育課程、専攻の編成状況を踏まえ、学校基本調査の学科系統分類表の「3. 研究科分類」中分類を参考所在地の類似性については、定員を変更しようとしている研究科の所在地である「東京都」に所在している大学の教育組織であることを条件に、以下の2つの研究科を選定した。

- ・ 明治大学大学院 文学研究科
- ・ 青山学院大学大学院 文学研究科

■ 競合校との比較分析

教育内容と方法

文学部については、取り上げた2大学院のいずれも、英語による文学、史学、教育学等を専攻に持ち、専攻の構成に類似している点が見受けられるが、本学部の大きな特徴は、本学が建学以来、実践を積み重ねてきたリベラルアーツ教育を基盤に、現代社会の課題を視野に入れ、伝統的な文献学から現代文化研究まで多様な領域をカバーしている点である。また、文学研究科においては、年間30件以上のシンポジウムや研究会が実施され、自らの選考に留まらない学術的交流を行う環境が整っている。

また、前述の通り、2020年度入学者よりコースワーク制度が、2024年度から、文学部・文学研究科・キリスト教学研究科では最短5年で修士号を取得できるデュアル・プログラム

導入され、内部進学者にとっては、学部から大学院へ、博士課程前期課程から博士課程後期課程へのスムーズな接続が可能となっている。

入試

入試制度において、文学研究科博士課程前期課程においては、春学期、秋学期の2回制を採っており、学内外の学生が、受験しやすい体制となっている。

修学支援

本学大学院においては、オフィスアワーが設定され、履修指導、学生生活全般に関する相談を行う。あわせて、図書館には、本学の大学院博士課程後期課程の学生が、学修の仕方やレポート・論文作成についてアドバイスをおこなう、ラーニングアドバイザーが設置されている。

また、本学では全研究科に共通する奨学金制度を運用しており、奨学目的の奨学金制度と、育成目的の奨学金制度を幅広く展開している。前期課程を含む大学院生のみを対象とした奨学金は、2025年度は計10種類（全て給与型）あり、2025年度は477人に対し、支給額は約111,883,500円である。競合する他大学院と比較しても充実した奨学金制度を設けており、引き続きこれらの制度を活用して修学支援に取り組む。

就職支援

本学ではキャリア支援方針として「①学生が、社会的および職業的に自立した個人としての自分らしい人生のあり方を追求できるように支援する。②学生が、一生を通じて自らの資質を向上させ、教養をもって社会に貢献できる人となるよう支援する。」ことを掲げ、キャリア支援・就職支援を主管する全学組織であるキャリアセンターと各学部が協働することにより、充実した就職支援体制を構築している。キャリアセンターでは、就職ガイダンス、業界企業研究講座、自己分析講座等の80種類を超えるプログラムを毎年度300回以上開催しており、適時適切な情報提供と継続的な支援を実施している。各種プログラムには、学部学生と一緒に参加するもののほか、博士課程前期課程向けのプログラムも用意されている。

また、本学の特徴として、各学部にキャリア支援のコーディネーターを専属で配置し、キャリアセンターと連携しながらキャリア支援を実施しており、前述の通り、文学部・文学研究科においては、学部独自の支援プログラムとして、OBOG座談会・大学院デーを設定している。これらの就職支援体制のもと、今後も個々の学生に寄り添った就職支援を実施する。

なお、本学博士課程前期課程における修了生の就職率は、直近の3年度で89.9%、88.1%、88.8%、就職以外も含む、進路決定率は、87.5%、92.9%、95.1%と推移しており、本学の就職支援体制が一定の成果を挙げていると言える。

イ 競合校の入学志願動向等

英米文学専攻と併願が想定される他大学院研究科の入学定員の充足状況は、下記の表7のとおりである。

【表7：競合校の過去3年度志願状況】

文学研究科 博士前期・修士課程	入学 定員	R5年度		R6年度		R7年度		平均 充足率
		入学 者数	充足率	入学 者数	充足率	入学 者数	充足率	
明治大学大学院 文学研究科 英文学専攻	6	1	0.17	5	0.83	4	0.67	0.55
明治大学大学院 文学研究科	80	59	0.74	73	0.91	66	0.83	0.83
青山学院大学大学院 文学研究科 英米文学専攻	20	13	0.65	7	0.35	14	0.70	0.57
青山学院大学大学院 文学研究科	46	35	0.76	28	0.60	30	0.65	0.67

文学部	入学 定員	R5年度		R6年度		R7年度		平均 充足率
		入学 者数	充足率	入学 者数	充足率	入学 者数	充足率	
明治大学	910	956	107%	756	83%	980	107%	99%
青山学院大学	740	787	106%	806	109%	786	106%	107%

英米文学専攻と併願や競合が想定される各大学院が、公表している令和5年度から令和7年度の平均の入学定員充足状況について、いずれも文学研究科全体では、入学定員の7～8割程度で推移しており、入学定員を充足していない。さらに、英米文学専攻（明治大学大学院は、英文学専攻）においては、入学定員の5割程度であり、文学研究科全体に比べると充足率が低い状況である。直近の令和7年度入学者については、明治大学文学研究科全体で入学定員80人に対して、入学者数66人、定員充足率83%、英文学専攻では、入学定員6人に対して、入学者数4人、定員充足率67%、青山学院大学文学研究科で入学定員46人に対して、入学者数30人、定員充足率65%、英米文学専攻では、入学定員20人に対して、入学者数14人、定員充足率70%となっている。年度によって、入学定員充足率に増減はあり、定員を充足しない状況ではあるものの、他大学院の英米文学専攻の学生募集においては、本学に比べて高い充足率となっており、英米文学研究への一定のニーズがあることが分か

る。

また、基礎となる学部である、文学部の志願者数、入学者数は、上昇傾向が続いている。

河合塾「2026 年度主要私大志願状況」によれば、上記各 2 大学および本学は、いずれも前年の志願者を上回る状況が続いており、「文・人文」分野の全国的な人材需要の上昇基調は、本学および競合校においても、複数年にわたって継続している。基礎となる学部においては、安定して志願者を集めることが期待でき、今後も大学院博士課程前期課程の内部進学者の基盤形成に寄与することが見込まれる。

【参考資料 URL】

1) 河合塾「2026 年度主要私大志願状況」

<https://www.keinet.ne.jp/teacher/exam/topic/25/20260225.pdf>

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

今回の収容定員の変更による、学生等納付金の変更はない。学生納付金（学費等納入金）について、入学金 225,000 円は文学研究科を含む全研究科同額である。文学研究科博士課程前期課程の授業料は 690,000 円、実験・実習費については徴収をしていない（別途、学生健康保険互助組合費 3,500 円）。本学の教育環境を維持し、質の高い教育を提供し続けるために必要な水準として設定している。

また、本学と併願、競合が想定される競合校の学生納付金は表 8 のとおりであり、学生確保の観点から見ても、競合校と比較しても同程度の金額設定となっていることを確認しており、適切であるといえる。

【表 8：本学と競合校の博士課程前期課程学生納付金一覧(2026 年度)】 (単位：円)

	立教大学大学院 文学研究科	明治大学大学院 文学研究科 (臨床人間学を除く)	青山学院大学大学院 文学研究科 英米文学専攻
入学金	225,000	200,000	290,000
授業料	690,000	560,000	435,000
実験実習費	-	-	-
施設費等	-	-	50,000
その他	-	60,000	90,000
合計	915,000	820,000	865,000

③先行事例分析

既設組織を廃止して新設組織を設定する場合に該当しない。

④学生確保に関するアンケート調査

大学院の収容定員変更に係る学則変更の届出のため、省略する。本学における、過去の志願者数、入学者数等の実績は、上記表4の通りであり、引き続き、定員を充足に向けた取り組みを継続する。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

本学文学研究科英米文学専攻は、設置以来、大学などの研究機関で研究を行う優れた研究者や企業等で活躍する高度専門職業人を数多く輩出し、学術研究に対して大きな貢献を行ってきた。日本私立大学連盟が2026年3月に発表した「持続可能な未来社会を拓く私立大学大学院教育の推進と変革(提言)」によれば、大学教員数は、高等教育へのニーズの高まりに合わせ過去50年間で2倍以上に拡大しており、特に私立大学では約3倍と拡大が顕著な状況にある。また、本学文学研究科を含め、人文学系の大学院修了者の希望する進路として、大学などの研究機関における研究者以外に、初等、中等教育の教員職があるが、一種免許状取得者の養成は私立大学が約7割を担っているにもかかわらず、専修免許状取得者の養成ではその割合が約3割程度であることから、専修免許状に関してはまだまだ拡充の余地があると言える(資料2-1・2)。

さらに、日本経済団体連合会が実施した「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート」(2024年2月20日)によると、民間企業等において、採用選考基準として専攻分野における専門性以外に、文系修士・文系博士に求める能力は、「課題設定・解決能力、探究力」が最も多いことがわかる(資料3)。これは、本学文学研究科が定めるディプロマポリシーに掲げる「現代社会において出会うであろう多様な事態に対して臨機応変に対応できる柔軟な発想力」「未知の問題の発掘や、既知の問題に対する新しい接近法・解決法の発見を行い、その結果として、新しい問題群や学問領域を開拓できる高度な研究能力」との親和性があり、本研究科修了者の民間企業等における高度専門職業人としての活躍が引き続き期待できる。

一方で、上述の「持続可能な未来社会を拓く私立大学大学院教育の推進と変革(提言)」によれば、2025年に約65万人いた大学進学者数は2040年に約46万人となり、現在よりも約30%減少することが予測され、2025年の大学院学生数は約28万人であることから、2025年以降も大学進学者と大学院学生数の比率が一定と仮定すると、2040年の大学院学生数は約20万人と推定されている。国立大学大学院が2025(令和7)年度の学生数約16万人を維持し、残る学生数を公立大学と私立大学が現在と同じ比率で按分する場合、2040年の私立大学大学院学生は約3.2万人となり、現在よりも約7万人減少するという計算になる(資料2-3)。

さらに、日本成長戦略会議人材育成分科会が、2026年4月に発表した「高校から大学・大学院等を通じた人材育成システム改革ビジョン～人への投資の好循環による強い経済の実現～」によれば、2040年には、文系大学・大学院卒業・修了の人材需要は、76万人の余

剰となるという厳しい予測が示されている。本学においても、今後、文学研究科においては、本過程への入学者の質を保ったまま、その数を今後早い時期に飛躍的に増加する見通しを持つことが難しい状況である。

（４） 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

今回の定員変更は、入学者に「学士課程教育で修得した神学（キリスト教学）、文学、史学、教育学のいずれか、またはその関連領域の、一般的ならびに専門的教養と外国語文献の読解力のうえに、批判的精神（自らの責任で真理性を検証する態度）と鋭利な問題意識をもって英米文学の諸分野を研究しようとする学生」を求めるといふ本研究科のアドミッションポリシーに基づき、質の高い学生を継続的に確保しようとするものである。また、令和6（2024）年度に受審した認証評価においては、本課程を含む定員未充足が改善課題とされており、これを受けて本研究科ではこの間、学部学生への進学説明会の開催や最短5年で修士号を取得できるデュアル・プログラムを始動する等の内部進学者を増やす努力を行ってきた。しかしながら、その効果は残念ながら十分ではなく、特に英米文学専攻においては、本課程への入学者の質を保ったまま、その数を今後早い時期に飛躍的に増加する見通しを持つことができない状況である。

以上のことから、英米文学専攻においては、2027年度から収容定員を36名から24名（入学定員18名から12名）に減少させることとした。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

資料 1	既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）文学部文学科.....	- 2 -
資料 2	日本私立大学連盟「持続可能な未来社会を拓く私立大学大学院教育の推進と変革(提言)」 (2026 年 3 月)	
1	設置形態別大学教員（本務者）数の推移.....	- 3 -
2	設置形態別教員免許状（一種・専修）取得者.....	- 3 -
3	18 歳人口と大学進学者数、大学院学生数の推計.....	- 4 -
資料 3	日本経済団体連合会「博士人材と女性理工系人材の育成・活躍に関するアンケート」 (2024 年 2 月 20 日)	- 5 -

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

資料 1

大学学部学科等名： 立教大学 文学部文学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	140人	139人	124人	128人	144人	135人
		受験者数	140人	139人	124人	128人	144人	135人
		合格者数	45人	35人	37人	42人	49人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	16人	12人	21人	20人	17人
	実人数	志願者数	140人	139人	124人	128人	144人	135人
		受験者数	140人	139人	124人	128人	144人	135人
		合格者数	45人	35人	37人	42人	49人	42人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	14人	16人	12人	21人	20人	17人
	入学者数	31人	19人	25人	21人	29人	25人	
	学校推薦型選抜	募集人数	136人	136人	136人	145人	96人	130人
		延べ人数	志願者数	178人	151人	164人	164人	173人
受験者数			178人	151人	164人	164人	173人	166人
合格者数			178人	151人	164人	164人	173人	166人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	178人	151人	164人	164人	173人	166人
		受験者数	178人	151人	164人	164人	173人	166人
		合格者数	178人	151人	164人	164人	173人	166人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		178人	151人	164人	164人	173人	166人	
一般選抜		募集人数	298人	298人	298人	298人	298人	298人
		延べ人数	志願者数	5489人	5166人	4752人	4336人	4843人
	受験者数		5268人	4941人	4548人	4137人	4623人	4703人
	合格者数		1184人	1301人	1197人	1255人	1075人	1202人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		920人	1004人	899人	967人	820人	922人
	実人数	志願者数	4354人	4137人	3809人	3503人	3924人	3945人
		受験者数	4184人	3969人	3667人	3347人	3760人	3785人
		合格者数	1062人	1126人	1060人	1095人	958人	1060人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	798人	829人	762人	807人	703人	780人
	入学者数	264人	297人	298人	288人	255人	280人	
	共通テスト利用入試	募集人数	66人	66人	66人	66人	66人	66人
		延べ人数	志願者数	2275人	2185人	1948人	2153人	2317人
受験者数			2275人	2185人	1948人	2153人	2317人	2176人
合格者数			540人	620人	516人	719人	793人	638人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			507人	563人	493人	675人	737人	595人
実人数		志願者数	2275人	2185人	1948人	2153人	2317人	2176人
		受験者数	2275人	2185人	1948人	2153人	2317人	2176人
		合格者数	540人	620人	516人	719人	793人	638人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	507人	563人	493人	675人	737人	595人
入学者数		33人	57人	23人	44人	56人	43人	
その他の特別選抜		募集人数	23人	23人	33人	33人	12人	25人
		延べ人数	志願者数	194人	202人	169人	200人	61人
	受験者数		194人	202人	169人	200人	61人	165人
	合格者数		54人	60人	58人	48人	27人	49人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		27人	44人	30人	26人	-8人	24人
	実人数	志願者数	194人	202人	169人	200人	61人	165人
		受験者数	194人	202人	169人	200人	61人	165人
		合格者数	54人	60人	58人	48人	27人	49人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	27人	44人	30人	26人	-8人	24人
	入学者数	27人	16人	28人	22人	35人	26人	
	合計	募集人数	533人	533人	543人	552人	482人	529人
		延べ人数	志願者数	8276人	7843人	7157人	6981人	7538人
受験者数			8055人	7618人	6953人	6782人	7318人	7345人
合格者数			2001人	2167人	1972人	2228人	2117人	2097人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1468人	1627人	1434人	1689人	1569人	1557人
実人数		志願者数	7141人	6814人	6214人	6148人	6619人	6587人
		受験者数	6971人	6646人	6072人	5992人	6455人	6427人
		合格者数	1879人	1992人	1835人	2068人	2000人	1955人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1346人	1452人	1297人	1529人	1452人	1415人
入学者数		533人	540人	538人	539人	548人	540人	

3. 入学定員充足率

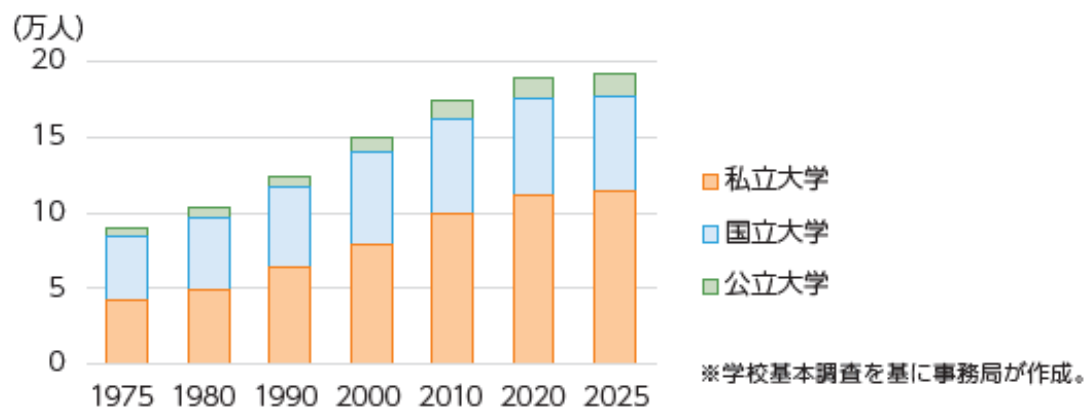
	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	537人	552人	552人	552人	552人	549人
入学定員充足率	0.99	0.98	0.97	0.98	0.99	0.98
歩留率	0.27	0.25	0.27	0.24	0.26	0.26

（備考）「その他の特別選抜」は、帰国生入試、社会人入試、外国人留学生入試、国際コース選抜入試、アスリート選抜入試の合計値を記入している。このうちアスリート選抜入試は第一～第三までの志望学科を記入するため、各学科に振り分け後の数値を用いている。

資料 2

日本私立大学連盟「持続可能な未来社会を拓く私立大学大学院教育の推進と変革(提言)」
(2026年3月)

1 設置形態別大学教員（本務者）数の推移



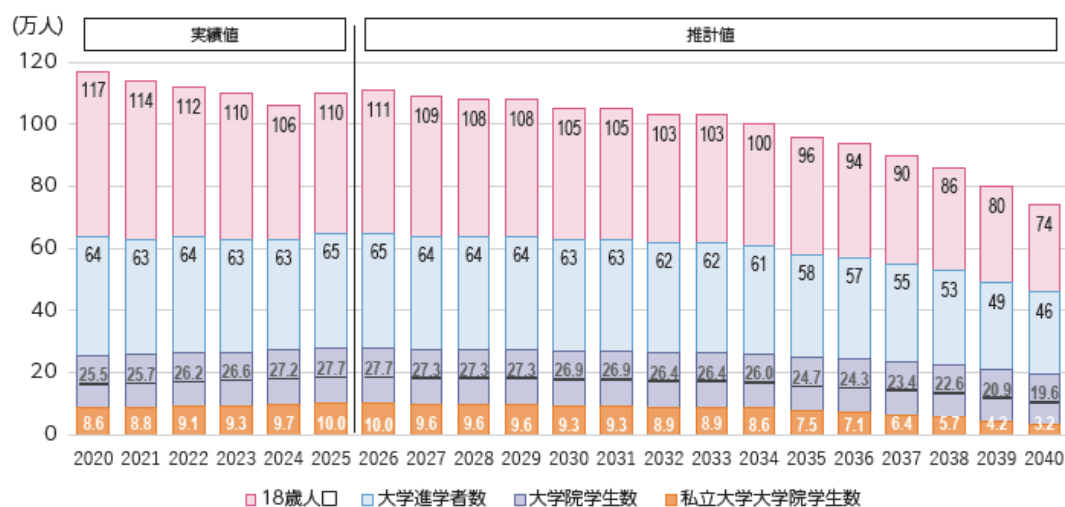
【図 3 設置形態別大学教員（本務者）数の推移】

2 設置形態別教員免許状（一種・専修）取得者

【表 5 設置形態別教員免許状（一種・専修）取得者数】

設置形態	教員免許状取得者数	
	一種免許状	専修免許状
私立大学	84,924 (68.3%)	2,263 (27.8%)
国立大学	35,264 (28.4%)	5,606 (68.8%)
公立大学	4,118 (3.3%)	278 (3.4%)
計	124,306	8,147

3 18歳人口と大学進学者数、大学院学生数の推計

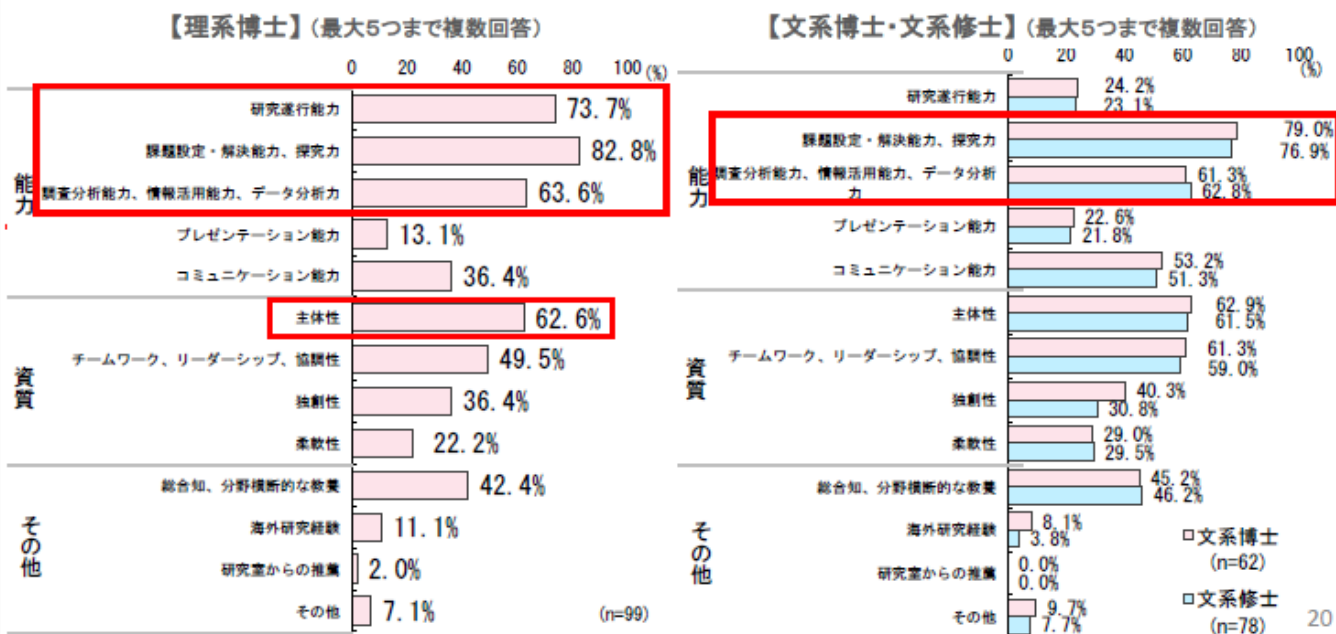


※ 18歳人口及び大学進学者数は文部科学省作成資料、大学院学生数は学校基本調査を基に事務局が作成。
 ※ 下線は日本の大学院全体の学生数、白字は私立大学大学院の学生数。
 ※ 2026年度以降の大学院学生数は、2025年度の大学進学者数と大学院学生数の比率が以降も一定と仮定し推計。
 ※ 2026年度以降の国立大学の大学院学生数は2025年度と同数（約16万人）と仮定。公立大学と私立大学の大学院学生数は、上記により推計した学生数から国立大学の大学院学生数を差し引いた値を、2025年度における公立大学と私立大学間の大学院学生数の比率により按分して推計。

【図 17 18歳人口と大学進学者数、大学院学生数の推計】

6. 博士人材に求める人材像〔採用選考基準として、専攻分野の専門性以外に、重視すること〕

- 採用選考基準として、専攻分野における専門性以外に、他の学位(文系修士は学士)と比べて特に高いレベルを求めているものについて、理系博士には、「課題設定・解決能力、探究力」83%(82社)、「研究遂行能力」74%(73社)、「調査分析能力、情報活用能力、データ分析力」64%(63社)、「主体性」63%(62社)の順に多い。
- 文系博士には、「課題設定・解決能力、探究力」79%(49社)、「主体性」63%(39社)、「調査分析能力、情報活用能力、データ分析力」61%(38社)、「チームワーク、リーダーシップ、協調性」61%(38社)の順に多い。
- 理系博士と比べると、文系博士・修士には、「研究遂行能力」をあまり重視せず、「チームワーク、リーダーシップ、協調性」「コミュニケーション能力」を求める傾向が見取れる。



教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ニシハラ レンタ 西原 廉太 <令和3年4月1日>		博士（神学）		立教大学学長（令和3.4～令和11.3）